

下野市
だれもが輝く社会づくりに関する
アンケート調査結果報告書

令和 7 年 3 月

下 野 市

目 次

1 調査の概要	1
(1)調査の目的	2
(2)調査の方法	2
(3)回収結果	3
(4)報告書の見方について	3
2 調査結果 ①市民	5
1.あなたご自身やご家族のことについておたずねします	6
2. 仕事についておたずねします	10
3. 生活全般についておたずねします	54
4. 地域・社会参加についておたずねします	65
5. 老後・定年後についておたずねします	76
6. 健康についておたずねします	80
7. 教育についておたずねします	82
8. 男女の人権についておたずねします	84
9. 生活上の困難な問題についておたずねします	103
10. 男性も女性も共に輝く社会の形成についておたずねします	123
11. 自由記述	163
3 調査結果 ②中学生	165
4 調査結果 ③事業所	203
1.事業所の状況についてうかがいます。	204
2.女性の登用についてうかがいます。	212
3.ワーク・ライフ・バランスについてうかがいます。	220
4.各種ハラスメントについてうかがいます。	239
5.男女共同参画に関する取り組みについてうかがいます。	243

1 調査の概要

(1)調査の目的

本市では、現行プランの計画期間が令和7年度で終了することから、社会情勢に対応した、男女が共に支え合い、個性と能力を十分に発揮して輝きながら心豊かに暮らすことができる地域づくりを目指し、令和8年度を始期とした第四次計画を策定いたします。

そのため、現行プランの見直しと今後の施策に調査結果を反映させることを目的として、本調査を実施しました。

(2)調査の方法

① 市民	実施概要
調査期間	令和6年9月 27 日(金)～令和6年 10 月 18 日(金)
調査地域	下野市全域
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査対象者	下野市内に居住している 16 歳以上の市民
標本数	2,000(男女各 1,000)人

② 中学生	実施概要
調査期間	令和6年11月1日(金)～令和 6 年 11 月 29 日(金)
調査地域	下野市全域
調査方法	学校配布・学校回収
調査対象者	下野市内の中・義務教育学校に通う中学2年生及び義務教育学校8年生
標本数	518 人

③ 事業所	実施概要
調査期間	令和6年 11 月 1 日(金)～令和6年 11 月 22 日(金)
調査地域	下野市全域
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査対象者	下野市内に事務所を設置している事業所
標本数	339 事業所

(3)回収結果

	配布数	回収数	回収率
① 市民	2,000 件	628 件	31.4%
② 中学生	518 件	470 件	90.7%
③ 事業所	339 件	88 件	26.0%

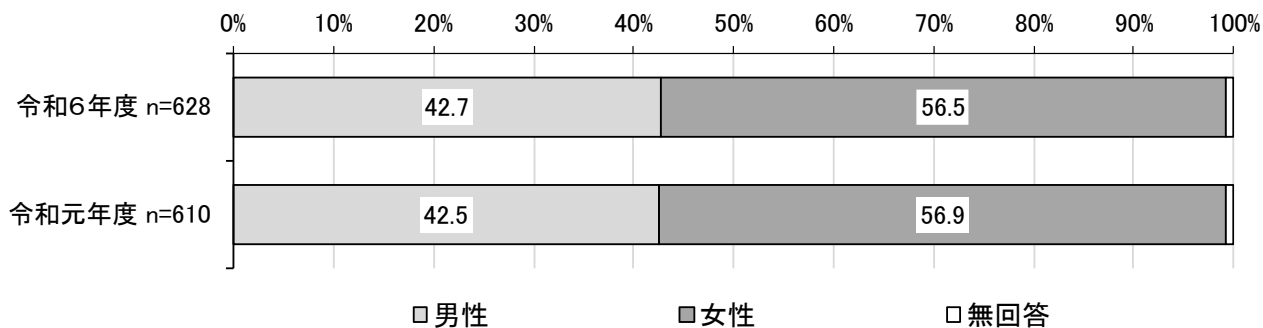
(4)報告書の見方について

1. 集計結果を百分率(%)で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記としています。このため、百分率の合計が100にならない場合があります。
2. 母数(n=●と表記)は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数としています。
3. 回答がない場合や、定められた以上の回答があった場合(一つ選択する設問で複数選択など)は「無回答」として集計しています。
4. グラフ等表示に際して、選択肢が多い場合や文言が長い場合は、選択肢の文言を簡略化している場合があります。
5. グラフにおいて、2%未満の数値の表記を省略しています。
6. 設問の回答形式について、単一回答形式を「SA(Single Answer)」、複数回答形式を「MA(Multi Answer)」と省略して表記しています。
7. 過去調査と同様の設問・選択肢の場合、前回調査との経年比較を行い、その結果をグラフにて掲載しています。
8. 経年比較を行っている設問において、構成比欄に「―」が記載されている場合、該当年度では記載の選択肢が存在せず、構成比が掲載されている年度から新設された選択肢を意味します。

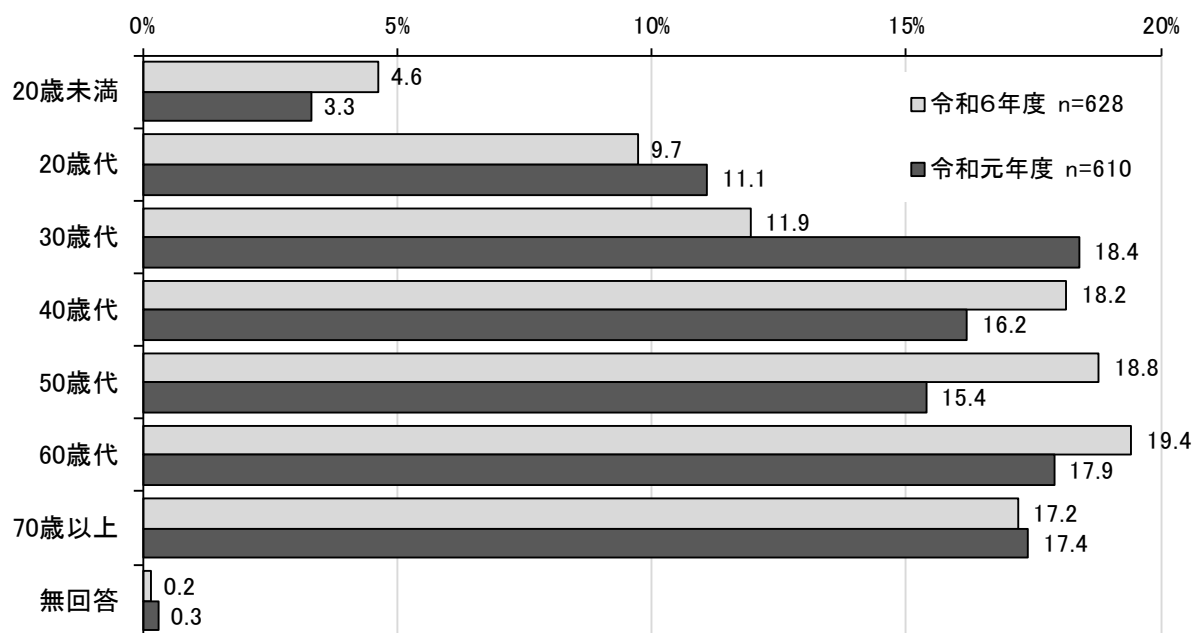
2 調査結果 ①市民

1.あなたご自身やご家族のことについておたずねします

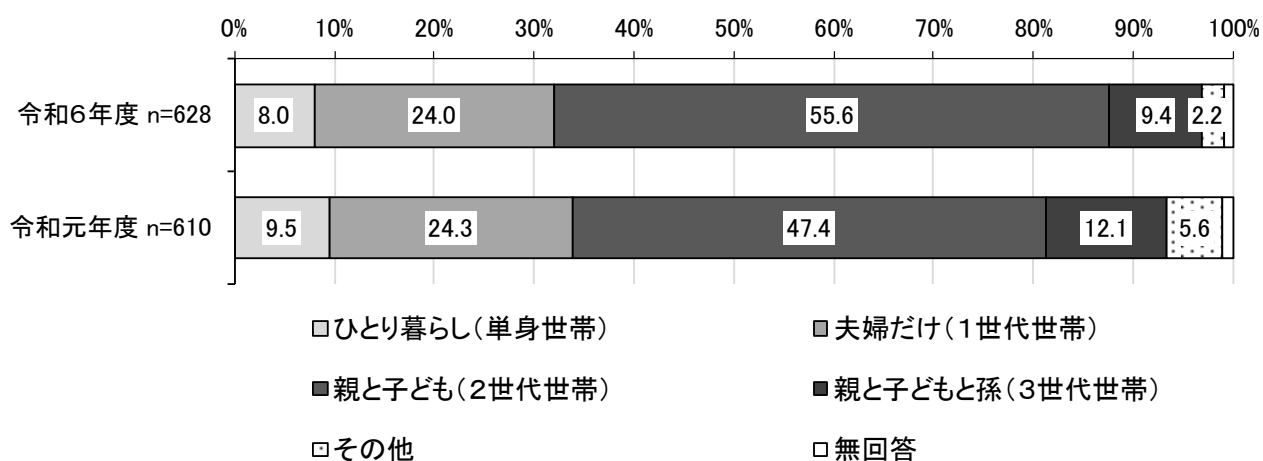
問1 あなたの自認する性別をお答えください。(当てはまる選択肢がない場合、より近い選択肢をお選びいただくか、次の設問にお進みください。)(SA)



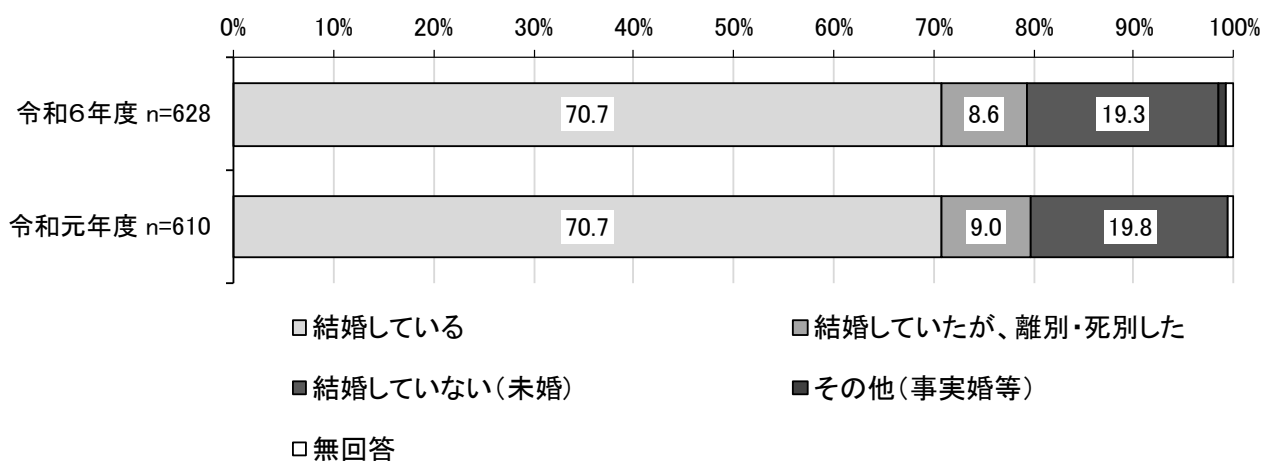
問2 あなたの年齢をお答えください。(SA)



問3 あなたの家族構成についてお答えください。(SA)

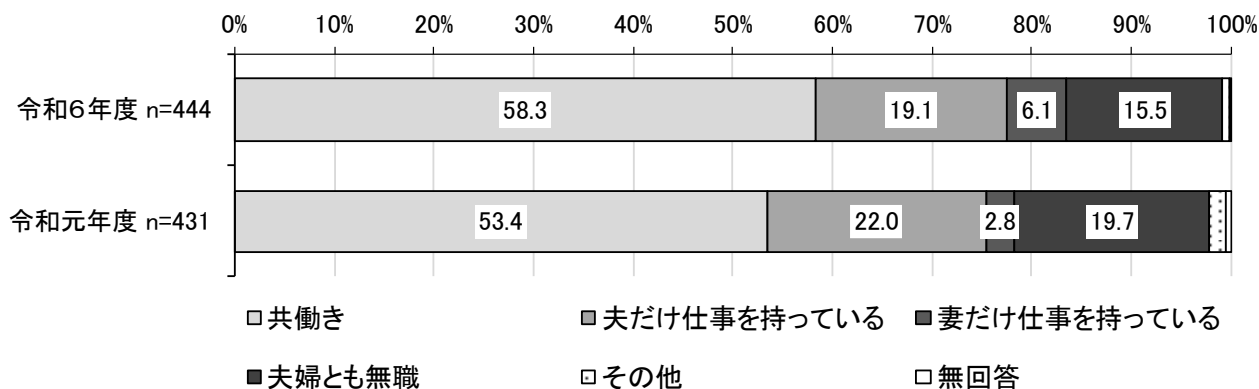


問4 あなたは結婚していますか。(SA)



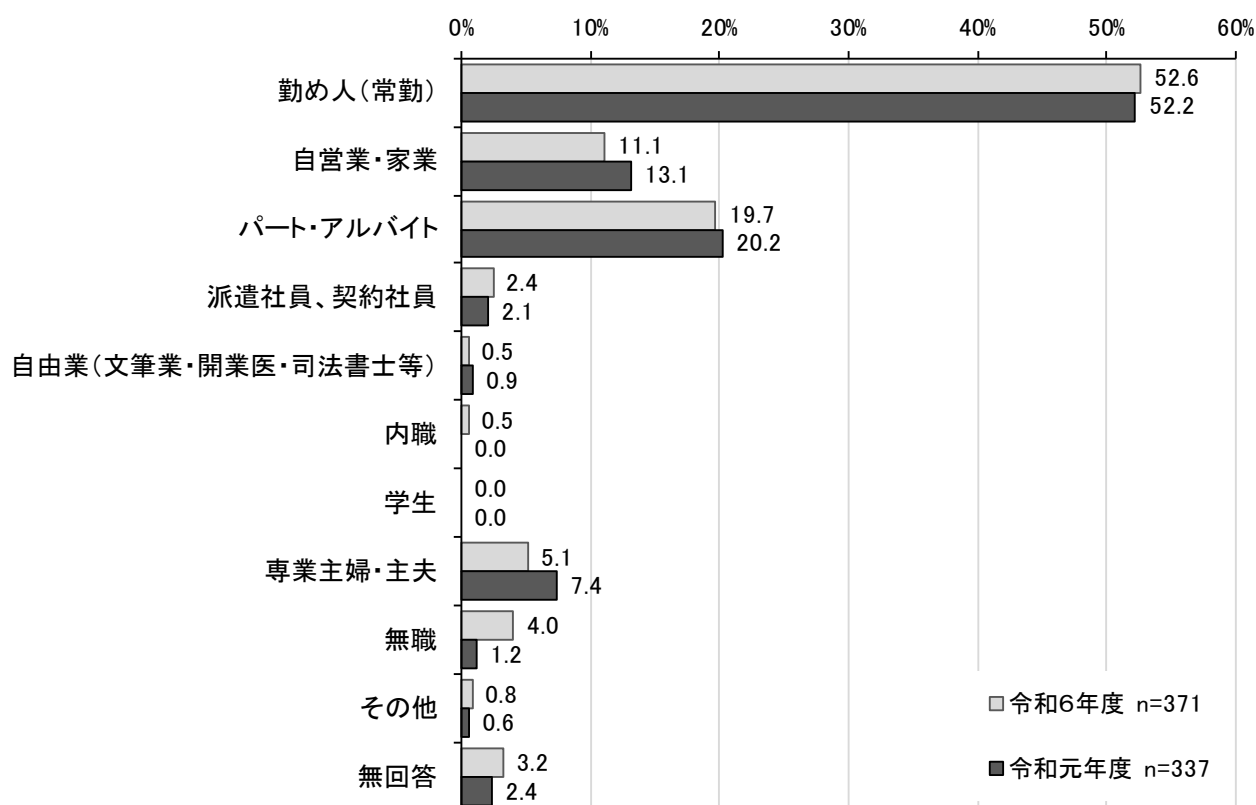
問4-1 問4で「結婚している」を選択した方

あなたの世帯は、次のどれに当てはまりますか。(SA)



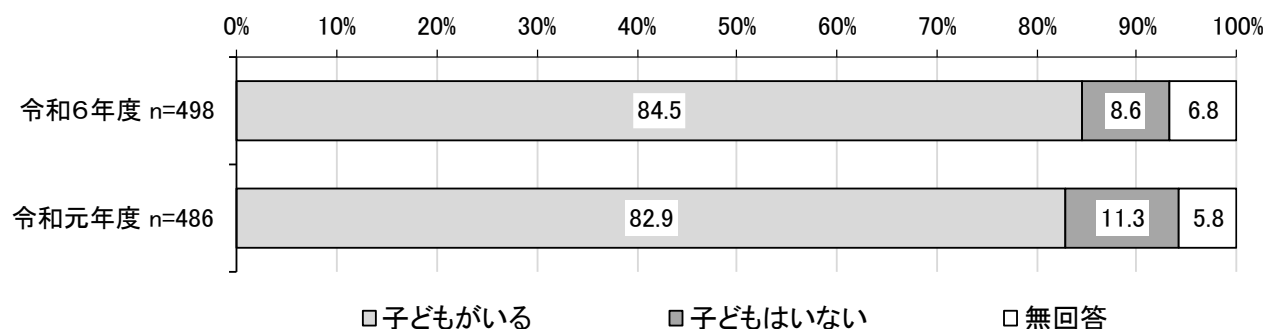
問4-2 問4-1で「共働き」「夫だけ仕事を持っている」「妻だけ仕事を持っている」を選択した方

配偶者の職業は何ですか。(SA)



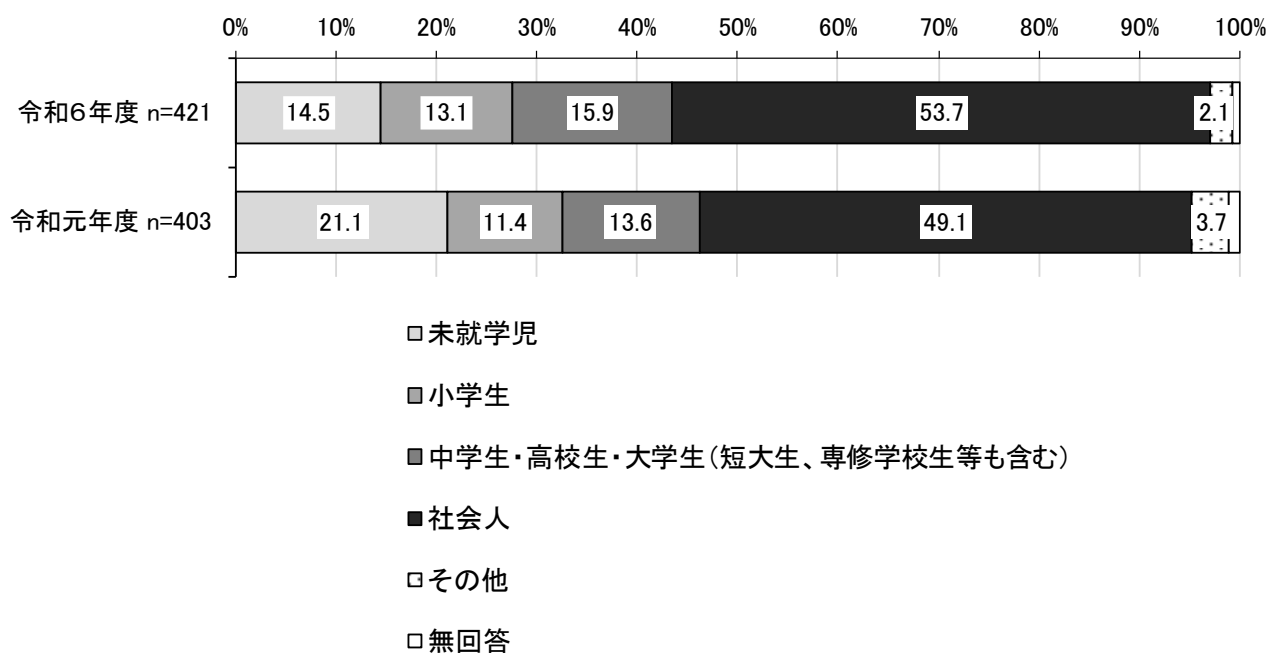
問5 問4で「結婚している」または「結婚していたが、離別・死別した」を選択した方

あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。現在同居されていない方も含めてお答えください。(SA)



問5-1 問5で「子どもがいる」を選択した方

一番下のお子さんは次のどれに当てはまりますか。(SA)

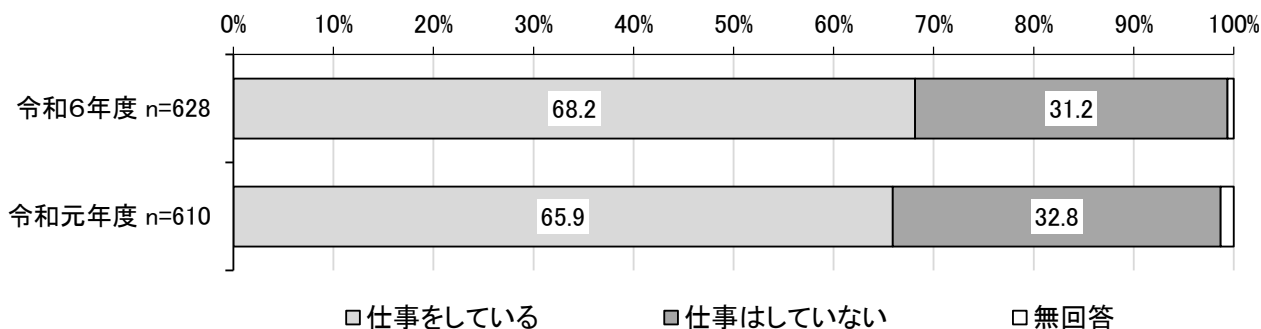


2. 仕事についておたずねします

問6 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。(SA)

収入を得る仕事をしているかについては、「仕事をしている」が 68.2%、「仕事はしていない」が 31.2%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



性別にみると、男女ともに「仕事をしている」が約7割となっています。

年代別にみると、20歳代から50歳代で「仕事をしている」と回答した方の割合は7割以上となっている一方で、20歳未満では 24.1%、70歳以上では 30.6%となっています。

単位: %

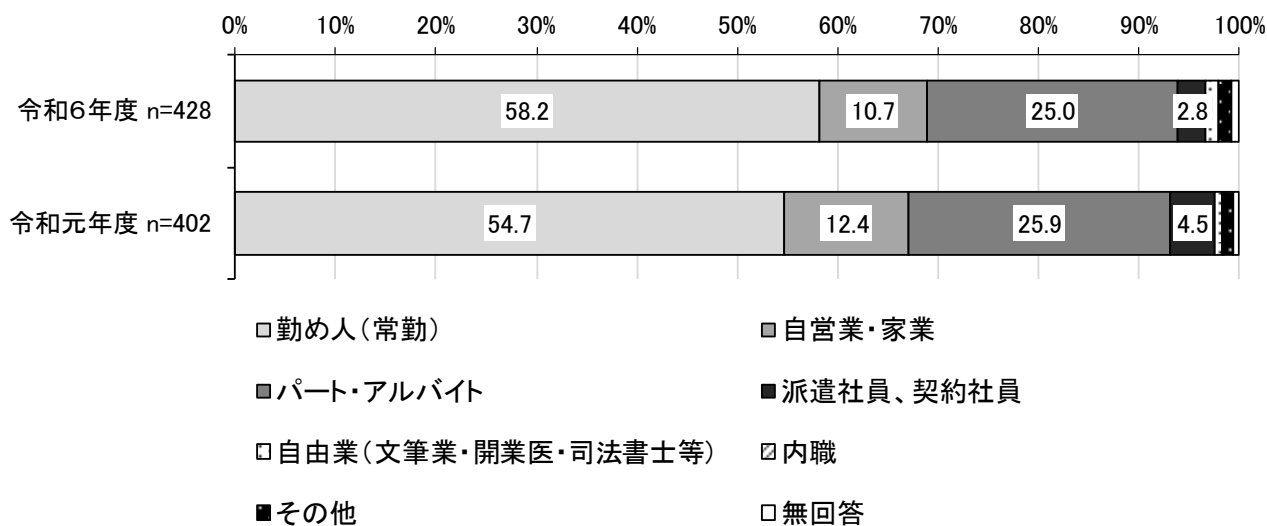
		仕事をしている	仕事はしていない	無回答
全体 n=628		68.2	31.2	0.6
性別	男性 n=268	70.1	29.1	0.7
	女性 n=355	66.8	32.7	0.6
	無回答 n=5	60.0	40.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	24.1	72.4	3.4
	20歳代 n=61	77.0	23.0	0.0
	30歳代 n=75	81.3	18.7	0.0
	40歳代 n=114	92.1	7.9	0.0
	50歳代 n=118	83.1	16.1	0.8
	60歳代 n=122	63.1	36.9	0.0
	70歳以上 n=108	30.6	67.6	1.9
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

問6-1 問6で「仕事をしている」を選択した方

あなたの職業は、次のどれに当てはまりますか。(SA)

職業については、「勤め人(常勤)」が 58.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 25.0%、「自営業・家業」が 10.7%となっています。

前回調査と比較して「勤め人(常勤)」が 3.5 ポイント増加しています。



性別にみると、「勤め人(常勤)」と回答した方の割合は、男性は 70.2%である一方で、女性は 49.4%に留まっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「自営業・家業」と回答した方の割合が高くなっています。

単位: %

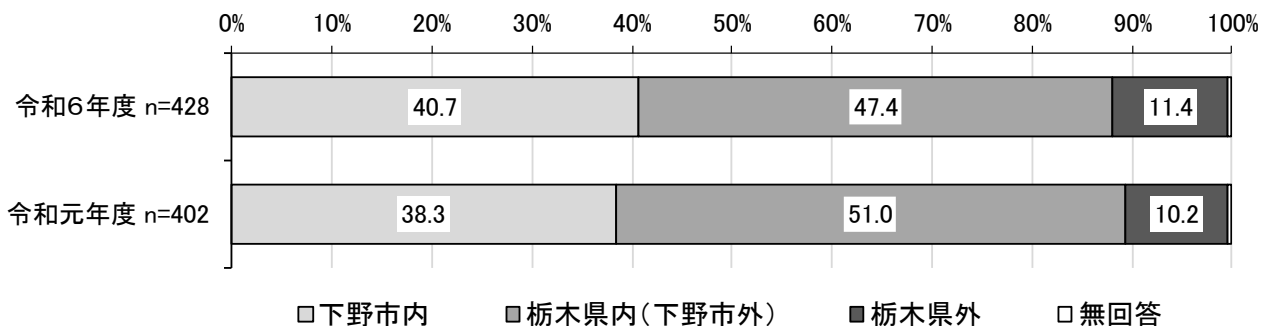
		勤め人 (常勤)	自営業・ 家業	パート・ アルバイト	派遣社員、 契約社員	自由業 (文筆業・ 開業医・ 司法書士 等)	内職	その他	無回答
全体 n=428		58.2	10.7	25.0	2.8	1.2	0.0	1.4	0.7
性別	男性 n=188	70.2	14.9	9.6	2.7	1.1	0.0	1.1	0.5
	女性 n=237	49.4	7.6	36.7	3.0	1.3	0.0	1.7	0.4
	無回答 n=3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年代別	20歳未満 n=7	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=47	76.6	0.0	21.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=61	83.6	3.3	9.8	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 n=105	66.7	7.6	19.0	2.9	2.9	0.0	0.0	1.0
	50歳代 n=98	61.2	9.2	26.5	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
	60歳代 n=77	31.2	13.0	41.6	6.5	1.3	0.0	5.2	1.3
	70歳以上 n=33	21.2	51.5	21.2	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-2 問6で「仕事をしている」を選択した方

あなたの主な仕事場は、次のどれに当てはまりますか。(SA)

主な仕事場については、「栃木県内(下野市外)」が 47.4%で最も高く、次いで「下野市内」が 40.7%、「栃木県外」が 11.4%となっています。

前回調査と比較して「栃木県内(下野市外)」が 3.6 ポイント減少しています。



性別にみると、男性は「栃木県内(下野市外)」、女性は「下野市内」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下を除き、年代が上がるにつれ「下野市内」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

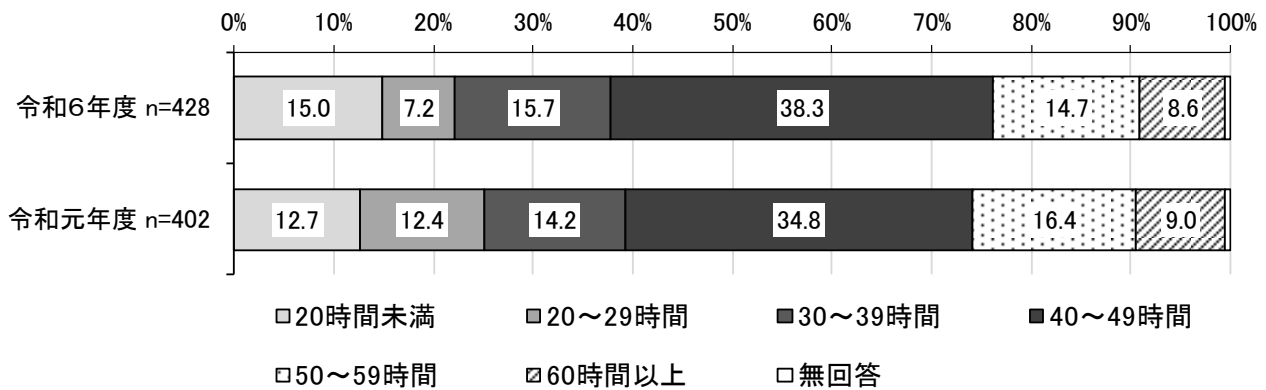
		下野市内	栃木県内 (下野市 外)	栃木県外	無回答
全体 n=428		40.7	47.4	11.4	0.5
性別	男性 n=188	30.9	51.1	17.6	0.5
	女性 n=237	48.1	45.1	6.8	0.0
	無回答 n=3	66.7	0.0	0.0	33.3
年代別	20歳未満 n=7	71.4	14.3	14.3	0.0
	20歳代 n=47	38.3	51.1	10.6	0.0
	30歳代 n=61	27.9	62.3	9.8	0.0
	40歳代 n=105	35.2	55.2	9.5	0.0
	50歳代 n=98	33.7	49.0	16.3	1.0
	60歳代 n=77	51.9	35.1	13.0	0.0
	70歳以上 n=33	72.7	21.2	3.0	3.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-3 問6で「仕事をしている」を選択した方

あなたは、1週間でおよそ何時間くらい働いていますか。(残業時間も含まれます。)(SA)

1週間の就労時間については、「40～49 時間」が 38.3%で最も高く、次いで「30～39 時間」が 15.7%、「20 時間未満」が 15.0%となっています。

前回調査と比較して「20～29 時間」が 5.2 ポイント減少しています。



性別にみると、「50～59 時間」と回答した方の割合は、男性では 26.1%である一方で、女性は 5.9%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「40～49 時間」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

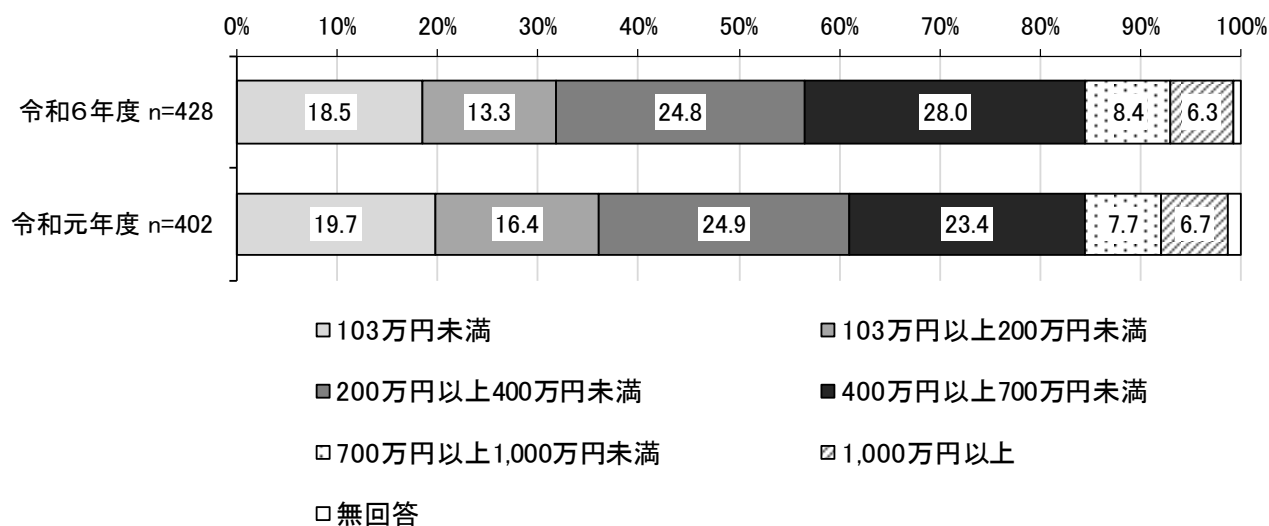
		20時間未満	20～29時間	30～39時間	40～49時間	50～59時間	60時間以上	無回答
全体 n=428		15.0	7.2	15.7	38.3	14.7	8.6	0.5
性別	男性 n=188	8.0	3.2	9.6	39.9	26.1	13.3	0.0
	女性 n=237	20.7	10.5	20.3	37.1	5.9	5.1	0.4
	無回答 n=3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
年代別	20歳未満 n=7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	6.4	2.1	12.8	57.4	12.8	8.5	0.0
	30歳代 n=61	4.9	4.9	19.7	49.2	13.1	8.2	0.0
	40歳代 n=105	7.6	6.7	17.1	41.9	17.1	9.5	0.0
	50歳代 n=98	12.2	7.1	11.2	37.8	19.4	12.2	0.0
	60歳代 n=77	28.6	10.4	22.1	23.4	10.4	3.9	1.3
	70歳以上 n=33	33.3	12.1	9.1	24.2	12.1	6.1	3.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-4 問6で「仕事をしている」を選択した方

あなたの昨年1年間の総収入(税込み)は、おおよそいくらでしたか。(SA)

昨年1年間の総収入(税込み)については、「400 万円以上 700 万円未満」が 28.0%で最も高く、次いで「200 万円以上 400 万円未満」が 24.8%、「103 万円未満」が 18.5%となっています。

前回調査と比較して「400 万円以上 700 万円未満」が 4.6 ポイント増加しています。



性別にみると、「103 万円未満」と回答した方の割合は、男性では 9.6%である一方で、女性は 25.3%となっています。

年代別にみると、40 歳代、50 歳代で「700 万円以上 1,000 万円未満」と回答した方の割合は、約 15%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

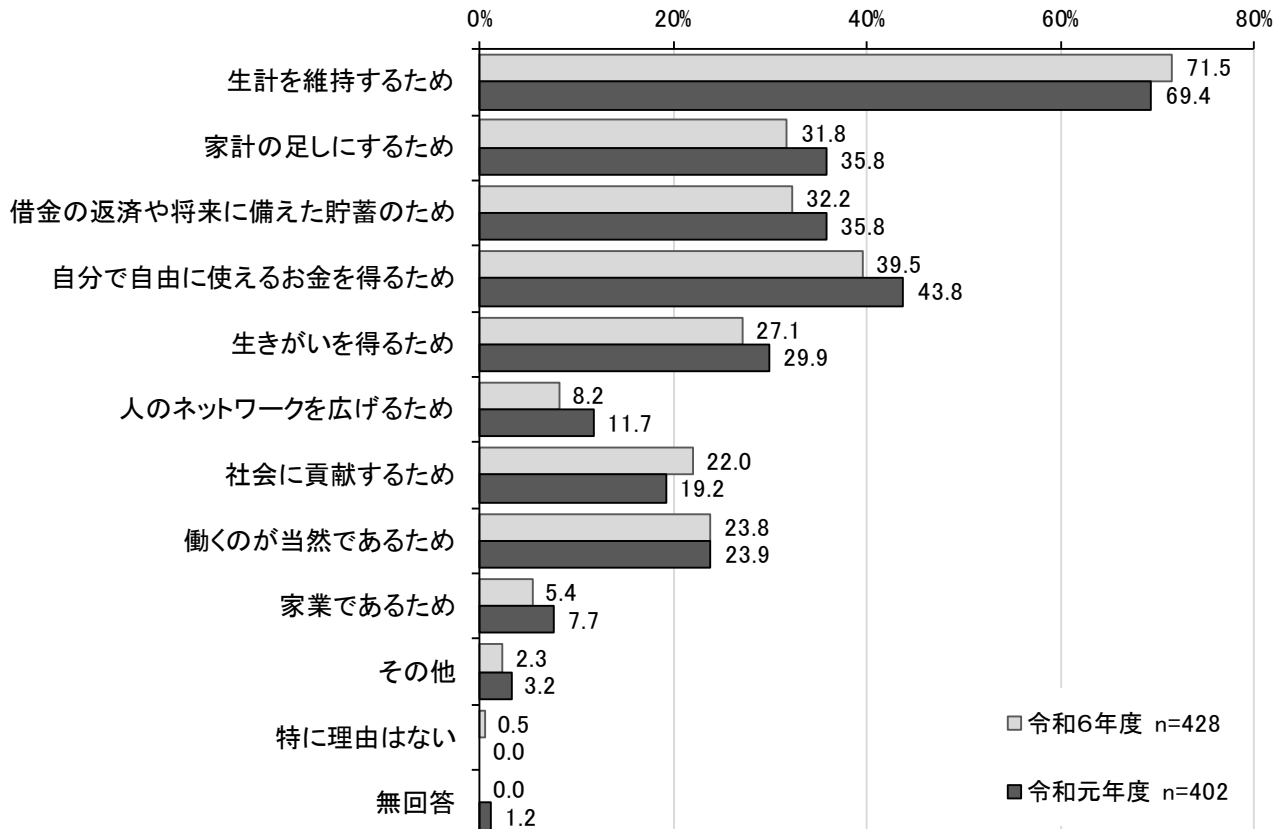
		103万円 未満	103万円 以上 200万円 未満	200万円 以上 400万円 未満	400万円 以上 700万円 未満	700万円 以上 1,000万円 未満	1,000万円 以上	無回答
全体 n=428		18.5	13.3	24.8	28.0	8.4	6.3	0.7
性別	男性 n=188	9.6	5.9	19.7	35.6	14.9	13.3	1.1
	女性 n=237	25.3	19.0	29.1	22.4	3.4	0.8	0.0
	無回答 n=3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年代別	20歳未満 n=7	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=47	17.0	4.3	46.8	31.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=61	9.8	9.8	36.1	39.3	1.6	3.3	0.0
	40歳代 n=105	9.5	12.4	20.0	37.1	15.2	5.7	0.0
	50歳代 n=98	18.4	9.2	17.3	27.6	16.3	11.2	0.0
	60歳代 n=77	24.7	26.0	23.4	13.0	3.9	7.8	1.3
	70歳以上 n=33	36.4	21.2	15.2	15.2	0.0	6.1	6.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-5 問6で「仕事をしている」を選択した方

あなたが現在働いているのは、どのような理由からですか。(MA)

現在働いている理由については、「生計を維持するため」が 71.5%で最も高く、次いで「自分で自由に使えるお金を得るため」が 39.5%、「借金の返済や将来に備えた貯蓄のため」が 32.2%となっています。

前回調査と比較して「自分で自由に使えるお金を得るため」が 4.3 ポイント減少しています。



性別にみると、「自分で自由に使えるお金を得るため」と回答した方の割合は、男性では 25.5%である一方で、女性は 51.1%となっています。

年代別にみると、70 歳以上で「家業であるため」と回答した方の割合は、30.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		生計を維持 するため	家計の足し にするため	借金の返 済や将来に 備えた貯蓄 のため	自分で自由 に使えるお 金を得る ため	生きがいを 得るため	人のネット ワークを広 げるため	社会に貢献 するため	働くのが当 然である ため
全体 n=428		71.5	31.8	32.2	39.5	27.1	8.2	22.0	23.8
性別	男性 n=188	78.2	18.1	34.0	25.5	17.6	4.8	18.1	28.2
	女性 n=237	67.1	42.6	30.8	51.1	35.0	11.0	24.9	20.3
	無回答 n=3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
年代別	20歳未満 n=7	14.3	0.0	0.0	100.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	70.2	17.0	36.2	66.0	25.5	10.6	12.8	40.4
	30歳代 n=61	86.9	32.8	42.6	44.3	19.7	8.2	13.1	31.1
	40歳代 n=105	81.0	38.1	38.1	35.2	30.5	6.7	26.7	23.8
	50歳代 n=98	81.6	36.7	35.7	38.8	31.6	13.3	32.7	23.5
	60歳代 n=77	53.2	27.3	19.5	28.6	26.0	5.2	18.2	19.5
	70歳以上 n=33	39.4	33.3	15.2	21.2	24.2	3.0	15.2	3.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

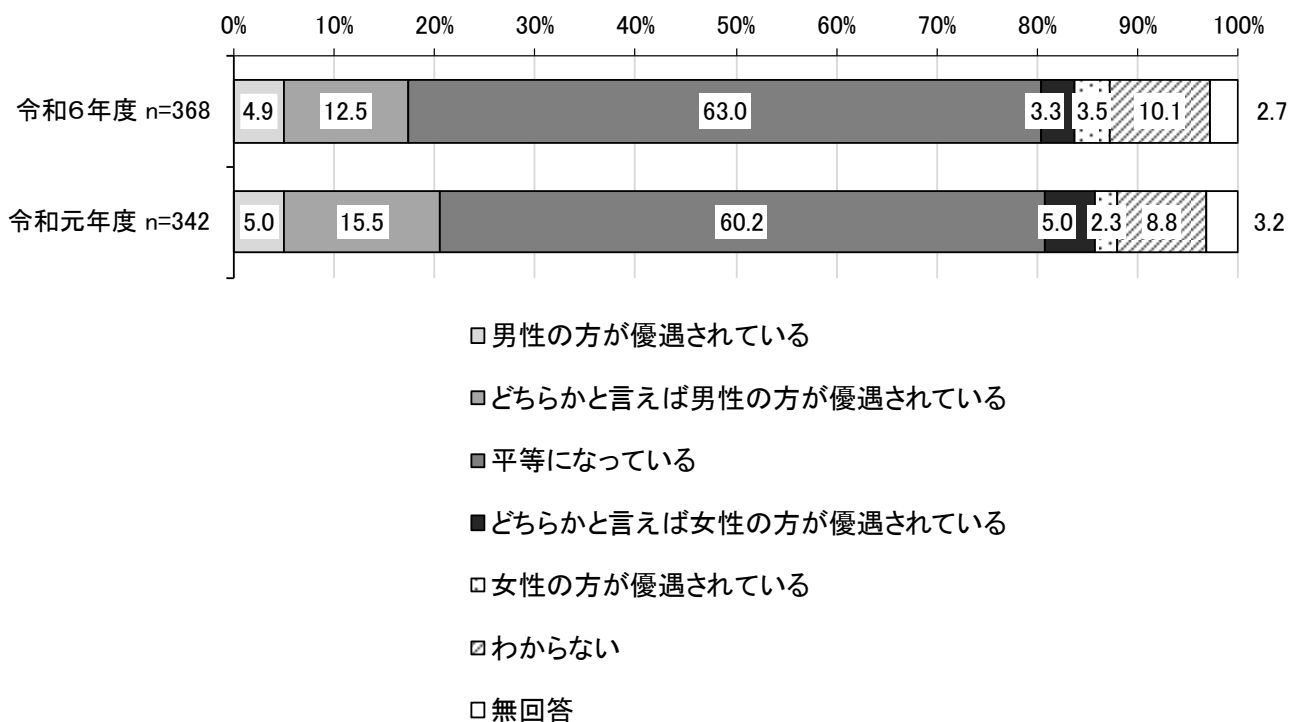
		家業である ため	その他	特に理由は ない	無回答
全体 n=428		5.4	2.3	0.5	0.0
性別	男性 n=188	6.9	3.2	0.5	0.0
	女性 n=237	4.2	1.7	0.4	0.0
	無回答 n=3	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=47	0.0	4.3	0.0	0.0
	30歳代 n=61	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 n=105	3.8	0.0	0.0	0.0
	50歳代 n=98	4.1	4.1	0.0	0.0
	60歳代 n=77	6.5	3.9	2.6	0.0
	70歳以上 n=33	30.3	3.0	0.0	0.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0

**問6-6 問6-1で「勤め人(常勤)」「パート・アルバイト」「派遣社員、契約社員」を選択した方
あなたの職場では、男女の扱いが平等になっていると思いますか。(SA)**

①募集や採用

募集や採用については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 17.4%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 6.8%、「平等になっている」が 63.0%となっています。

前回調査と比較して『男性の方が優遇されている』が 3.1 ポイント減少しています。



性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 23.9%、女性が 12.8%となっています。

年代別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、60 歳以上で 24.6%と、他の年代と比較してやや高くなっています。

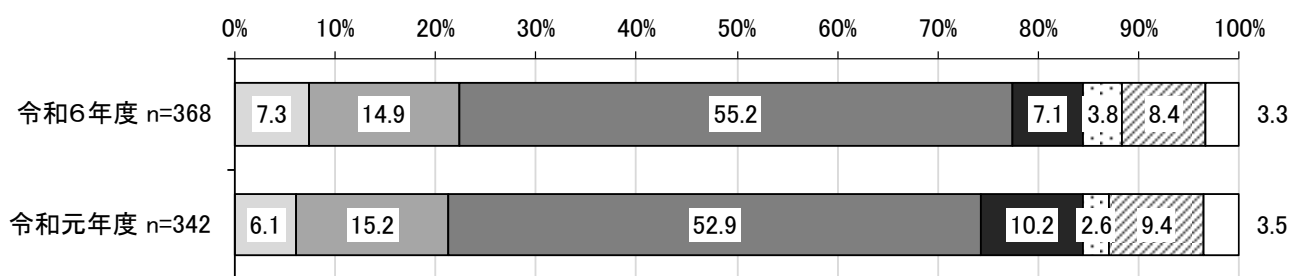
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		4.9	12.5	63.0	3.3	3.5	10.1	2.7
性別	男性 n=155	6.5	17.4	63.9	2.6	0.6	7.1	1.9
	女性 n=211	3.8	9.0	63.0	3.8	5.7	11.4	3.3
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	4.3	4.3	72.3	8.5	0.0	10.6	0.0
	30歳代 n=59	5.1	13.6	64.4	1.7	8.5	6.8	0.0
	40歳代 n=93	5.4	12.9	62.4	5.4	2.2	8.6	3.2
	50歳代 n=87	4.6	13.8	59.8	1.1	3.4	12.6	4.6
	60歳代 n=61	4.9	19.7	55.7	1.6	4.9	9.8	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	0.0	71.4	0.0	0.0	14.3	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②職務内容

職務内容については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 22.2%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 10.9%、「平等になっている」が 55.2%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 2.3 ポイント増加しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☒ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 29.1%、女性が 17.5%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「平等になっている」と回答した方の割合は、85.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

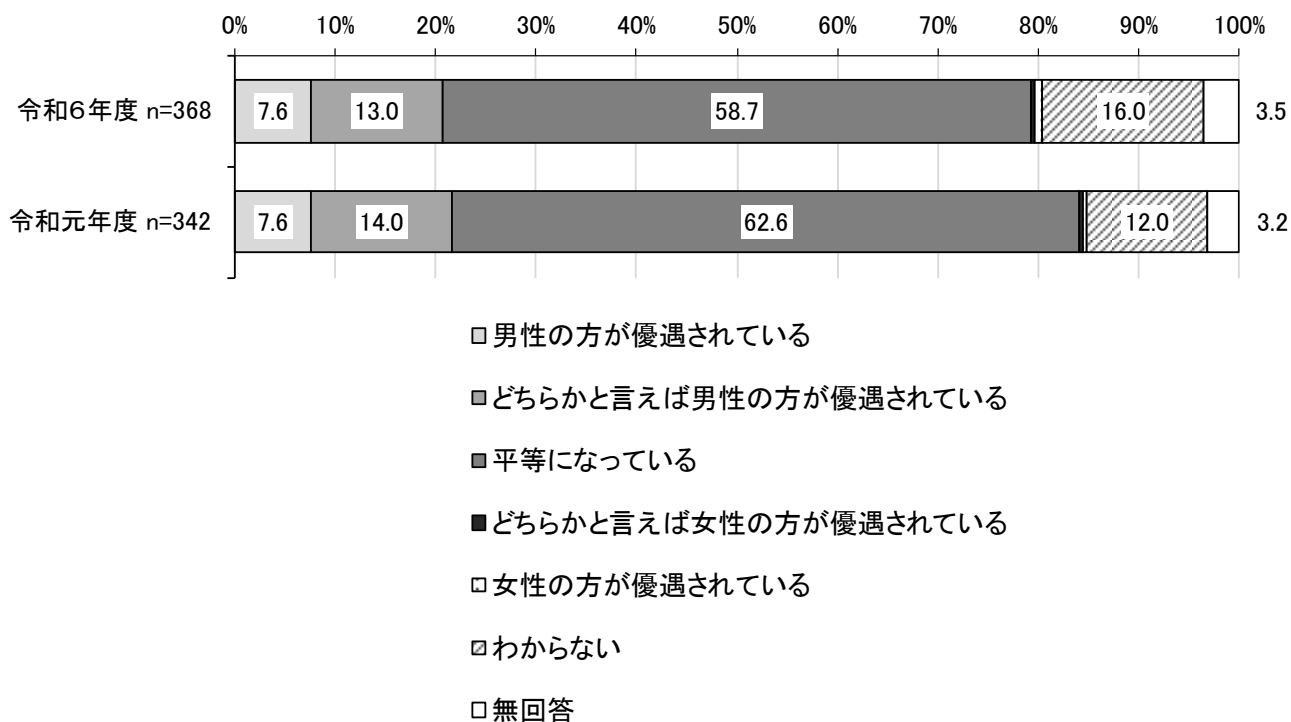
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		7.3	14.9	55.2	7.1	3.8	8.4	3.3
性別	男性 n=155	9.7	19.4	51.0	10.3	1.3	5.8	2.6
	女性 n=211	5.7	11.8	58.3	4.7	5.7	10.0	3.8
	無回答 n=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	6.4	12.8	66.0	2.1	0.0	10.6	2.1
	30歳代 n=59	8.5	11.9	59.3	8.5	6.8	5.1	0.0
	40歳代 n=93	9.7	12.9	50.5	12.9	4.3	7.5	2.2
	50歳代 n=87	5.7	17.2	52.9	3.4	4.6	9.2	6.9
	60歳代 n=61	6.6	23.0	49.2	6.6	3.3	8.2	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	7.1	57.1	7.1	0.0	14.3	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③賃金

賃金については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 20.6%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 1.1%、「平等になっている」が 58.7%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 3.9 ポイント減少しています。



性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 20.0%、女性が 20.9%となっています。

年代別にみると、70 歳以上を除き「平等になっている」と回答した方の割合は、年代が下がるにつれ高くなっています。

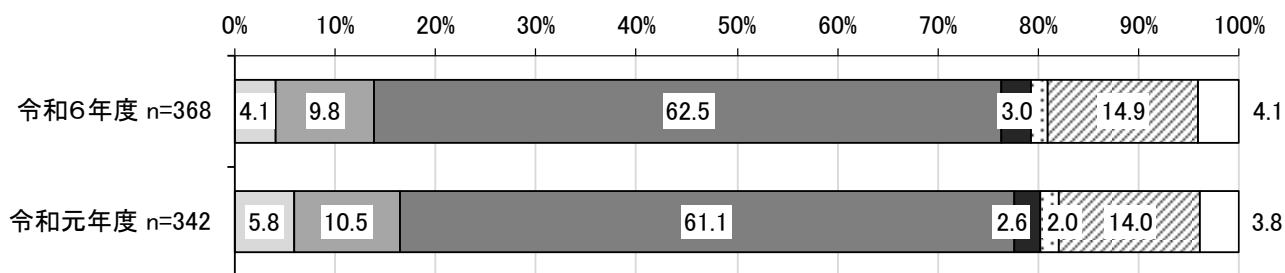
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		7.6	13.0	58.7	0.3	0.8	16.0	3.5
性別	男性 n=155	5.2	14.8	65.8	0.0	0.0	11.6	2.6
	女性 n=211	9.5	11.4	54.0	0.5	1.4	19.0	4.3
	無回答 n=2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	6.4	10.6	74.5	0.0	0.0	6.4	2.1
	30歳代 n=59	10.2	10.2	66.1	0.0	0.0	13.6	0.0
	40歳代 n=93	11.8	10.8	59.1	1.1	0.0	14.0	3.2
	50歳代 n=87	4.6	13.8	52.9	0.0	3.4	18.4	6.9
	60歳代 n=61	4.9	23.0	44.3	0.0	0.0	24.6	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	7.1	57.1	0.0	0.0	21.4	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④上司との関係

上司との関係については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 13.9%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 4.6%、「平等になっている」が 62.5%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が12.2%、女性が15.1%となっています。

年代別にみると、60歳代で『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、21.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

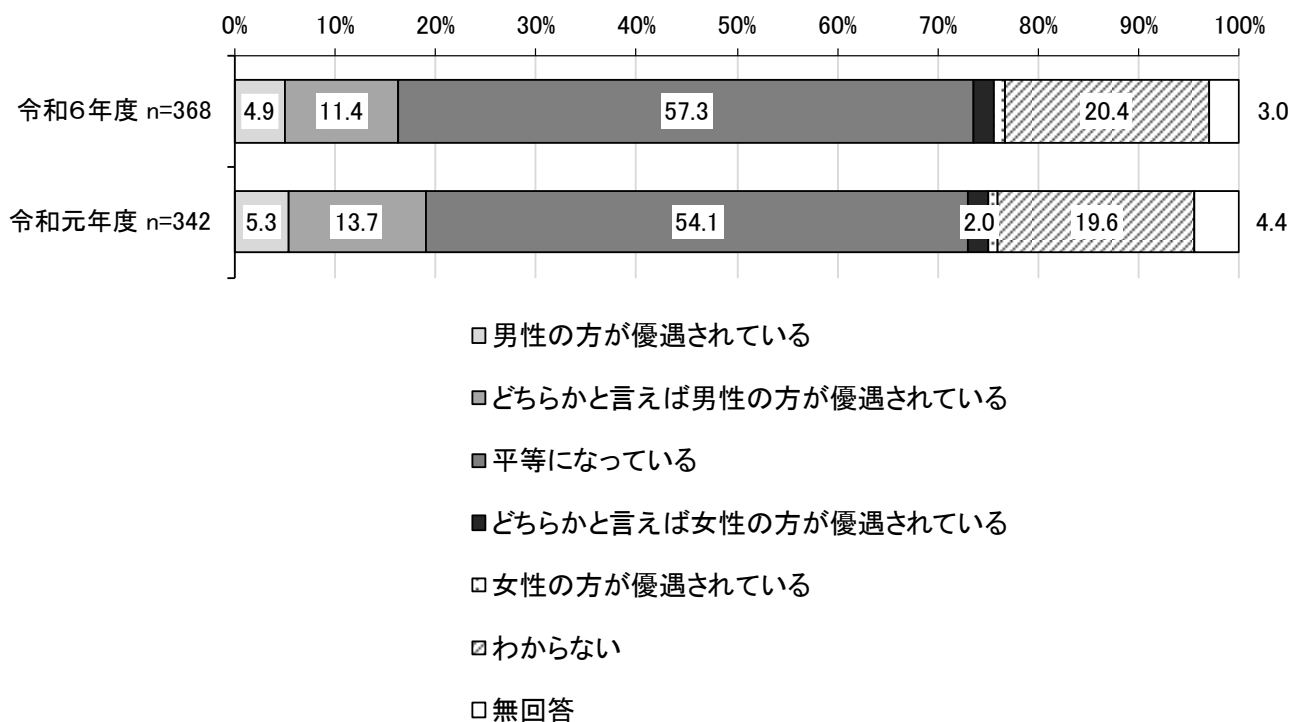
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		4.1	9.8	62.5	3.0	1.6	14.9	4.1
性別	男性 n=155	3.2	9.0	66.5	4.5	1.9	11.6	3.2
	女性 n=211	4.7	10.4	59.7	1.9	1.4	17.1	4.7
	無回答 n=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	20歳代 n=47	2.1	8.5	76.6	2.1	0.0	8.5	2.1
	30歳代 n=59	8.5	3.4	71.2	6.8	0.0	10.2	0.0
	40歳代 n=93	4.3	10.8	61.3	4.3	2.2	14.0	3.2
	50歳代 n=87	1.1	11.5	59.8	1.1	4.6	14.9	6.9
	60歳代 n=61	4.9	16.4	49.2	1.6	0.0	21.3	6.6
	70歳以上 n=14	7.1	0.0	50.0	0.0	0.0	35.7	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤人事考課・評価

人事考課・評価については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 16.3%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 3.0%、「平等になっている」が 57.3%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 3.2 ポイント増加しています。



性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 16.2%、女性が 16.6%となっています。

年代別にみると、60 歳代で『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は 24.6%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

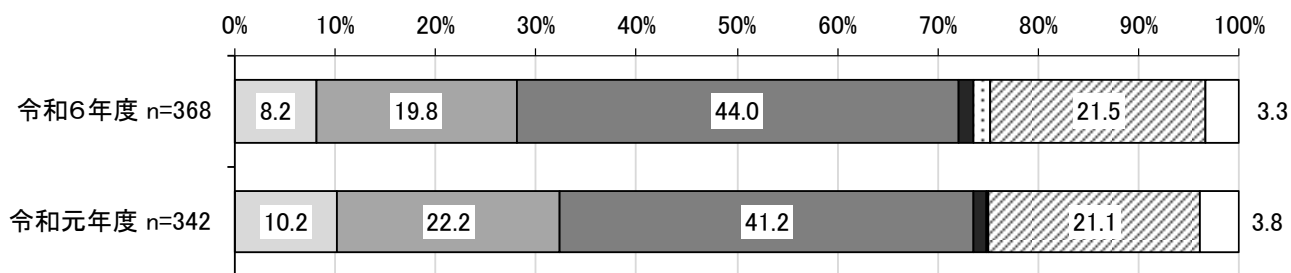
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		4.9	11.4	57.3	1.9	1.1	20.4	3.0
性別	男性 n=155	3.9	12.3	59.4	3.2	1.3	17.4	2.6
	女性 n=211	5.7	10.9	56.4	0.9	0.9	21.8	3.3
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	0.0
	20歳代 n=47	2.1	12.8	70.2	2.1	0.0	10.6	2.1
	30歳代 n=59	5.1	6.8	64.4	3.4	0.0	20.3	0.0
	40歳代 n=93	8.6	11.8	53.8	4.3	0.0	18.3	3.2
	50歳代 n=87	3.4	9.2	59.8	0.0	3.4	19.5	4.6
	60歳代 n=61	3.3	21.3	44.3	0.0	1.6	26.2	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	0.0	42.9	0.0	0.0	42.9	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥昇進・昇格

昇進・昇格については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 28.0%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 3.2%、「平等になっている」が 44.0%となっています。

前回調査と比較して『男性の方が優遇されている』が 4.4 ポイント減少しています。



- 男性の方が優遇されている
- どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 32.3%、女性が 25.1%となっています。

年代別にみると、20 歳代から 60 歳代では『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は約3割となっている一方で、20 歳未満では 0.0%、70 歳以上では 7.1%となっています。

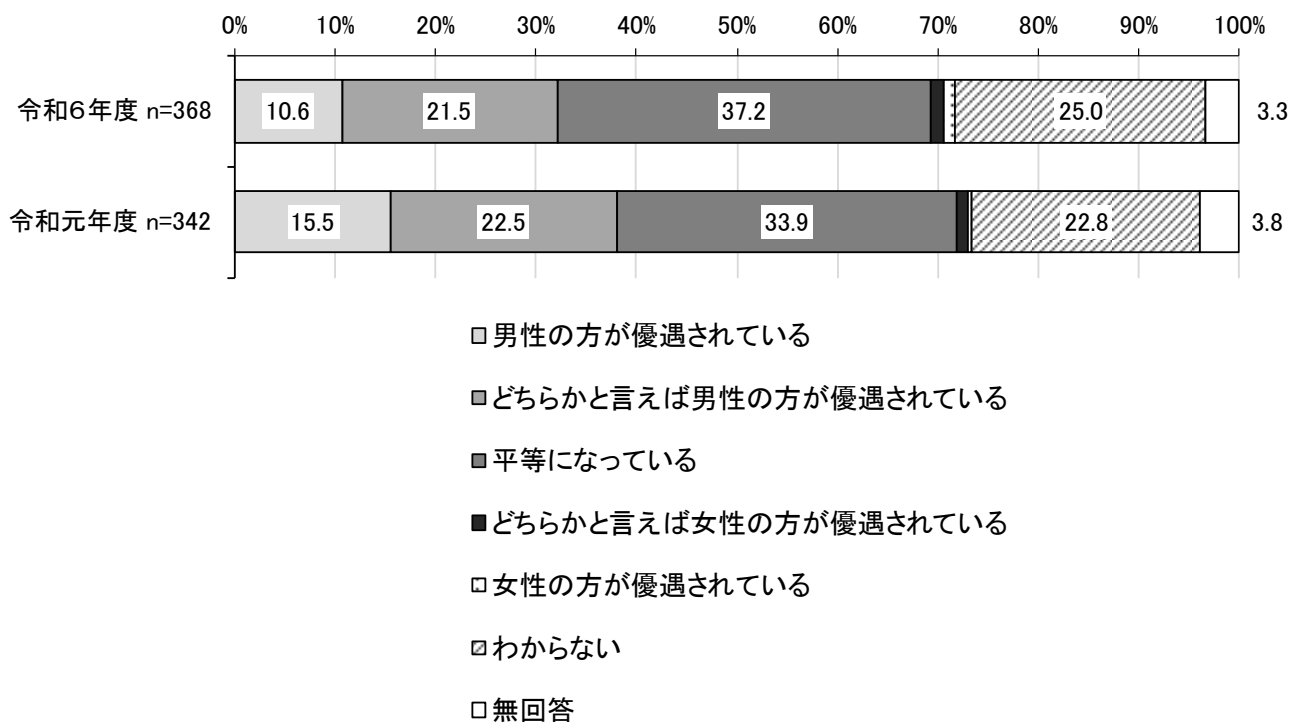
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		8.2	19.8	44.0	1.6	1.6	21.5	3.3
性別	男性 n=155	7.1	25.2	39.4	2.6	2.6	20.6	2.6
	女性 n=211	9.0	16.1	47.9	0.9	0.9	21.3	3.8
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0
	20歳代 n=47	6.4	19.1	57.4	2.1	0.0	12.8	2.1
	30歳代 n=59	8.5	16.9	54.2	1.7	0.0	18.6	0.0
	40歳代 n=93	12.9	19.4	45.2	2.2	1.1	17.2	2.2
	50歳代 n=87	5.7	24.1	34.5	1.1	4.6	23.0	6.9
	60歳代 n=61	6.6	24.6	36.1	1.6	1.6	26.2	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	0.0	35.7	0.0	0.0	50.0	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦幹部職員への採用

幹部職員への採用については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 32.1%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 2.5%、「平等になっている」が 37.2%となっています。

前回調査と比較して『男性の方が優遇されている』が 5.9 ポイント減少しています。



性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 37.4%、女性が 28.4%となっています。

年代別にみると、20 歳代から 60 歳代では『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は約3割となっている一方で、20 歳未満では 0.0%、70 歳以上では 7.1%となっています。

単位：%

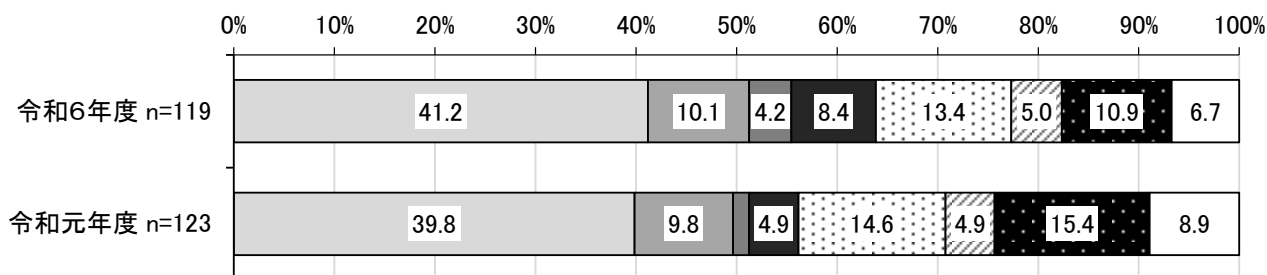
		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=368		10.6	21.5	37.2	1.4	1.1	25.0	3.3
性別	男性 n=155	9.0	28.4	35.5	0.0	1.9	22.6	2.6
	女性 n=211	11.8	16.6	38.9	2.4	0.5	26.1	3.8
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別	20歳未満 n=7	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0
	20歳代 n=47	10.6	19.1	44.7	2.1	0.0	21.3	2.1
	30歳代 n=59	13.6	18.6	47.5	1.7	0.0	18.6	0.0
	40歳代 n=93	14.0	22.6	37.6	1.1	1.1	21.5	2.2
	50歳代 n=87	9.2	23.0	32.2	1.1	2.3	25.3	6.9
	60歳代 n=61	6.6	29.5	27.9	1.6	1.6	29.5	3.3
	70歳以上 n=14	7.1	0.0	28.6	0.0	0.0	57.1	7.1
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-7 問6-1 で「パート・アルバイト」「派遣社員、契約社員」「内職」を選択した方

あなたが、パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、内職を選んだ主な理由は何ですか。(SA)

現在の働き方を選んだ主な理由については、「自分の好きな時間に働くことができ、家庭との両立がしやすいため」が 41.2%で最も高く、次いで「正社員で働きたかったが、就職先がなかったため」が 13.4%、「残業等もなく、仕事の責任が軽くてすむため」が 10.1%となっています。

前回調査と比較して「配偶者控除を受けることができる範囲に収入を抑えたいため」が 3.5 ポイント増加しています。



- ☐ 自分の好きな時間に働くことができ、家庭との両立がしやすいため
- ☐ 残業等もなく、仕事の責任が軽くてすむため
- ☐ 家族等の同意を得やすいため
- ☒ 配偶者控除を受けることができる範囲に収入を抑えたいため
- ☐ 正社員で働きたかったが、就職先がなかったため
- ☐ 長く勤めるつもりがないため
- ☒ その他
- ☐ 無回答

性別にみると、「長く勤めるつもりがないため」と回答した方の割合は、男性は21.7%である一方で、女性は1.1%となっています。

年代別にみると、20歳代で「正社員で働きたかったが、就職先がなかったため」と回答した方の割合は、27.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

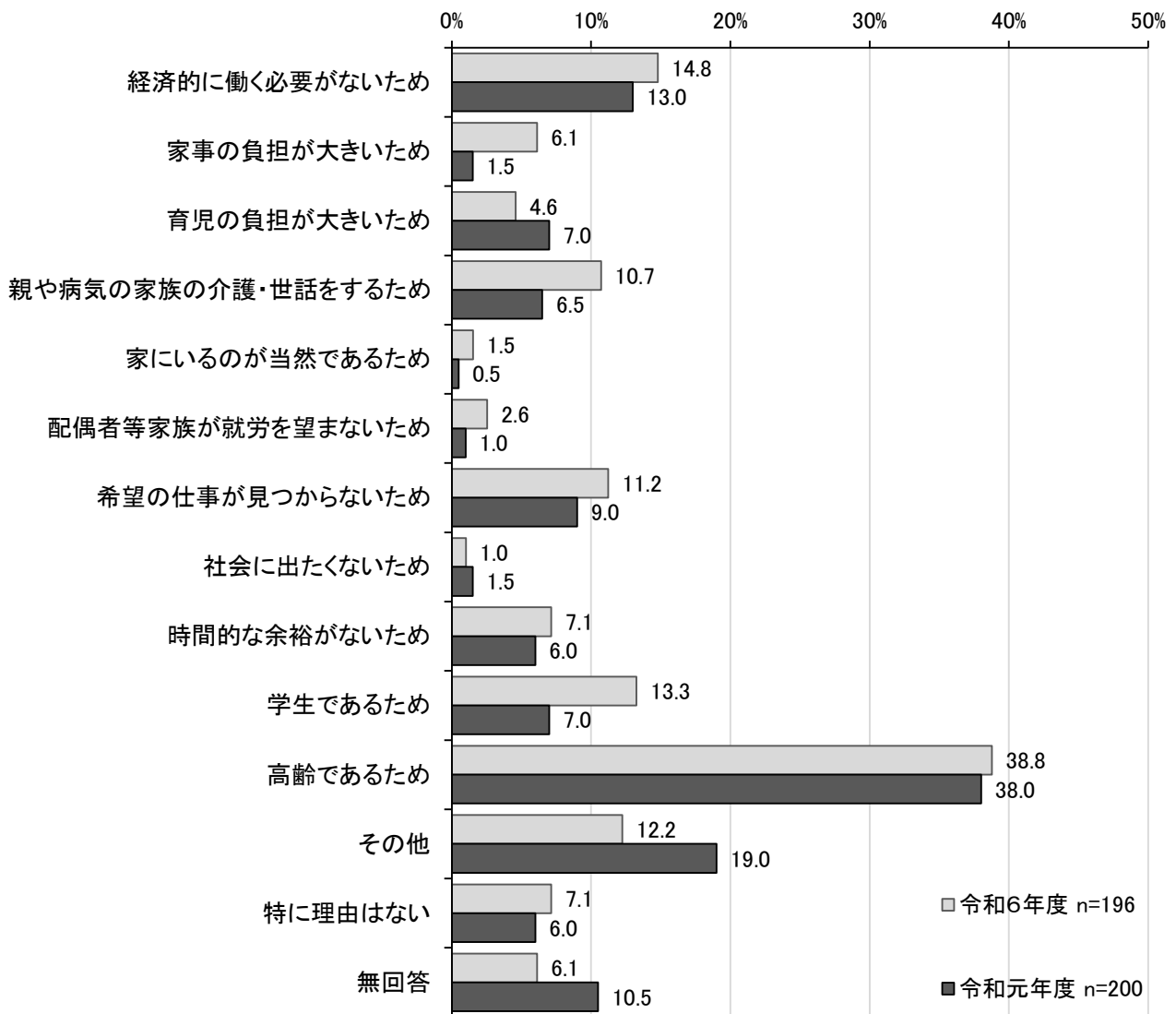
		自分の好きな時間に働くことができ、家庭との両立がしやすいため	残業等もなく、仕事の責任が軽くてすむため	家族等の同意を得やすいため	配偶者控除を受けることができる範囲に収入を抑えたため	正社員で働きたかったが、就職先がなかったため	長く勤めるつもりがないため	その他	無回答
全体 n=119		41.2	10.1	4.2	8.4	13.4	5.0	10.9	6.7
性別	男性 n=23	30.4	17.4	4.3	0.0	13.0	21.7	8.7	4.3
	女性 n=94	43.6	8.5	4.3	10.6	12.8	1.1	11.7	7.4
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 n=11	36.4	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	27.3	0.0
	30歳代 n=8	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0
	40歳代 n=23	43.5	8.7	4.3	0.0	13.0	4.3	0.0	26.1
	50歳代 n=27	33.3	14.8	7.4	22.2	11.1	0.0	7.4	3.7
	60歳代 n=37	43.2	10.8	2.7	8.1	13.5	5.4	16.2	0.0
	70歳以上 n=7	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-8 問6で「仕事はしていない」を選択した方

あなたが現在働いていないのは、どのような理由からですか。(MA)

現在働いていない理由については、「高齢であるため」が 38.8%で最も高く、次いで「経済的に働く必要がないため」が 14.8%、「学生であるため」が 13.3%となっています。

前回調査と比較して「学生であるため」が 6.3 ポイント増加しています。



性別にみると、「高齢であるため」と回答した方の割合は、男性は 46.2%である一方で、女性は 33.6%となっています。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代で「育児の負担が大きい」と回答した方の割合は約3割となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		経済的に働く必要がないため	家事的負担が大きい	育児の負担が大きい	親や病気の家族の介護・世話をするため	家にいるのが当然であるため	配偶者等家族が就労を望まないため	希望の仕事が見つからないため	社会に出たくないため
全体 n=196		14.8	6.1	4.6	10.7	1.5	2.6	11.2	1.0
性別	男性 n=78	7.7	3.8	0.0	6.4	0.0	1.3	11.5	0.0
	女性 n=116	19.8	7.8	7.8	13.8	2.6	2.6	11.2	1.7
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	30歳代 n=14	7.1	0.0	35.7	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	40歳代 n=9	22.2	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	50歳代 n=19	21.1	15.8	0.0	36.8	5.3	5.3	26.3	0.0
	60歳代 n=45	20.0	6.7	0.0	20.0	2.2	2.2	11.1	0.0
	70歳以上 n=73	17.8	5.5	0.0	6.8	1.4	4.1	9.6	0.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

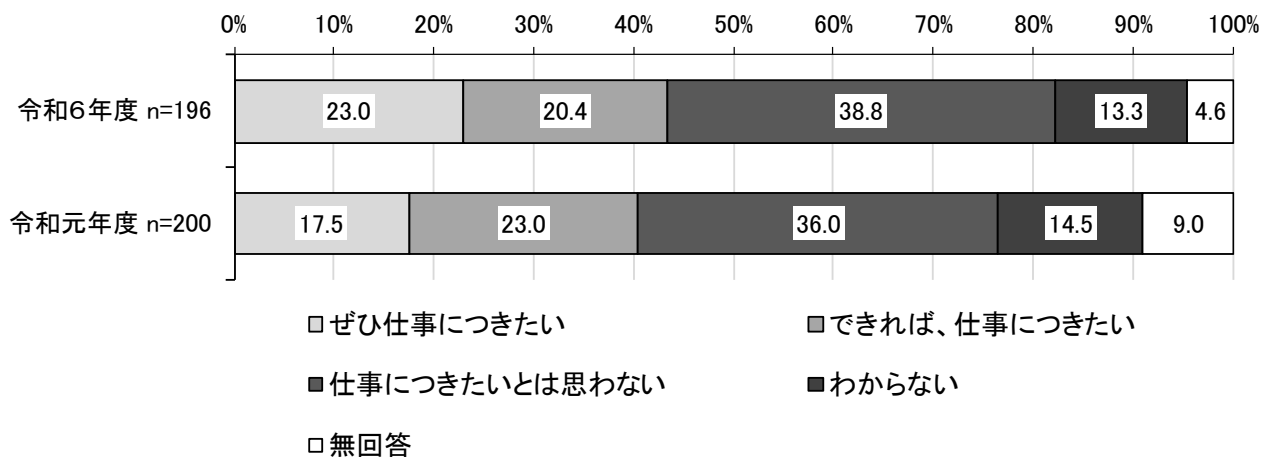
単位：％

		時間的な余裕がないため	学生であるため	高齢であるため	その他	特に理由はない	無回答
全体 n=196		7.1	13.3	38.8	12.2	7.1	6.1
性別	男性 n=78	1.3	17.9	46.2	10.3	7.7	9.0
	女性 n=116	11.2	10.3	33.6	13.8	6.9	4.3
	無回答 n=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=21	9.5	90.5	0.0	0.0	0.0	9.5
	20歳代 n=14	7.1	50.0	0.0	14.3	14.3	7.1
	30歳代 n=14	21.4	0.0	0.0	35.7	7.1	0.0
	40歳代 n=9	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	50歳代 n=19	15.8	0.0	0.0	21.1	10.5	10.5
	60歳代 n=45	2.2	0.0	33.3	17.8	13.3	8.9
	70歳以上 n=73	1.4	0.0	82.2	2.7	4.1	4.1
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問6-9 問6で「仕事はしていない」を選択した方

あなたは今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。(SA)

今後、収入を得る仕事につきたいかについては、「仕事につきたいとは思わない」が38.8%で最も高く、次いで「ぜひ仕事につきたい」が23.0%、「できれば、仕事につきたい」が20.4%となっています。前回調査と比較して「ぜひ仕事につきたい」が5.5ポイント増加しています。



性別にみると、男女ともに「仕事につきたいとは思わない」と回答した方の割合が最も高くなっています。年代別にみると、年代が下がるにつれ「ぜひ仕事につきたい」と回答した方の割合が高くなっています。

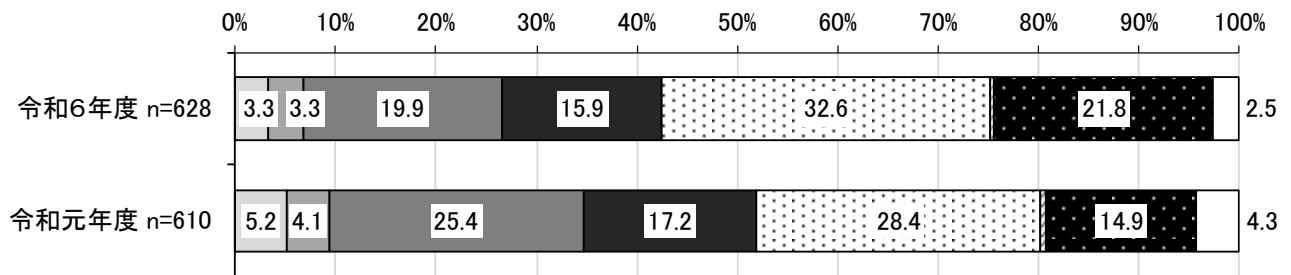
単位: %

		ぜひ仕事につきたい	できれば、仕事につきたい	仕事につきたいとは思わない	わからない	無回答
全体 n=196		23.0	20.4	38.8	13.3	4.6
性別	男性 n=78	25.6	17.9	41.0	10.3	5.1
	女性 n=116	21.6	21.6	37.1	15.5	4.3
	無回答 n=2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=21	85.7	4.8	0.0	0.0	9.5
	20歳代 n=14	57.1	14.3	0.0	21.4	7.1
	30歳代 n=14	57.1	28.6	7.1	0.0	7.1
	40歳代 n=9	22.2	44.4	0.0	33.3	0.0
	50歳代 n=19	21.1	21.1	31.6	21.1	5.3
	60歳代 n=45	8.9	22.2	42.2	22.2	4.4
	70歳以上 n=73	1.4	20.5	67.1	8.2	2.7
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問7 一般的に、女性が仕事を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(SA)

一般的に、女性が仕事を持つことをどう考えているかについては、「子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい」が 32.6%で最も高く、次いで「その他」が 21.8%、「子どもができたらず仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が 19.9%となっています。

前回調査と比較して「子どもができたらず仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が 5.5 ポイント減少しています。



- ☐ 結婚するまでは仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができるまでは仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができたらず仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができたらずパート等に切り替える方がよい
- ☐ 子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい
- ☐ 女性には仕事を持たない方がよい
- ☐ その他
- ☐ 無回答

性別にみると、「子どもができたら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」と回答した方の割合は、男性は 26.5%となっている一方で、女性は 14.9%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい」と回答した方の割合は、51.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

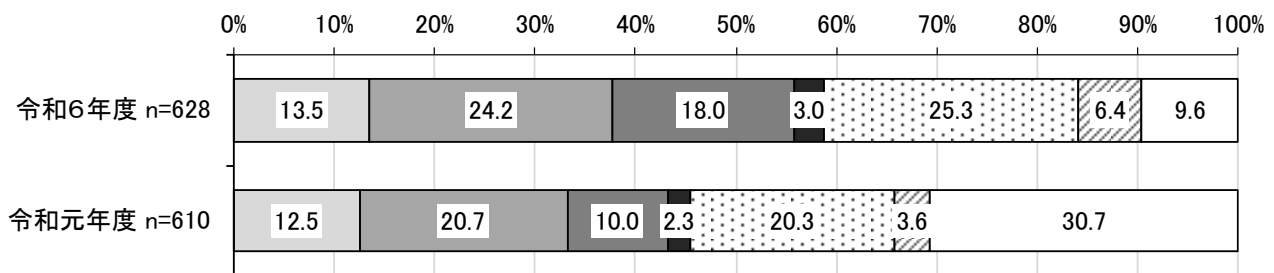
		結婚するまでは仕事を持つ方がよい	子どもがで きるまでは 仕事を持つ 方がよい	子どもがで きたら仕事 を辞め、子 どもが大き くなったら 再び仕事 を持つ方が よい	子どもがで きたらパート 等に切り 替える方が よい	子どもがで きてフル タイムで仕 事を続ける 方がよい	女性は仕 事を持た ない方が よい	その他	無回答
全体 n=628		3.3	3.3	19.9	15.9	32.6	0.5	21.8	2.5
性別	男性 n=268	4.1	1.9	26.5	13.8	31.0	0.7	18.7	3.4
	女性 n=355	2.8	4.5	14.9	17.7	34.1	0.3	23.9	1.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	6.9	13.8	17.2	51.7	0.0	10.3	0.0
	20歳代 n=61	1.6	0.0	16.4	18.0	36.1	0.0	27.9	0.0
	30歳代 n=75	2.7	4.0	16.0	21.3	32.0	0.0	24.0	0.0
	40歳代 n=114	5.3	1.8	14.0	14.0	28.1	0.9	34.2	1.8
	50歳代 n=118	3.4	3.4	19.5	16.1	26.3	0.0	28.0	3.4
	60歳代 n=122	0.8	7.4	21.3	10.7	39.3	0.8	15.6	4.1
	70歳以上 n=108	6.5	0.9	31.5	18.5	30.6	0.9	6.5	4.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問8 あなたは、今までに育児休業・介護休業を取得しましたか。(SA)

①育児休業

育児休業を取得したことがあるかについては、「休業取得に該当しない(子ども、介護が必要な親族はいない)」が 25.3%で最も高く、次いで「制度はあるが、取得したことはない」が 24.2%、「制度がないため、取得できない(取得できなかった)」が 18.0%となっています。

前回調査と比較して「制度がないため、取得できない(取得できなかった)」が 8.0 ポイント増加しています。



- 取得した・取得中である
- 制度はあるが、取得したことはない
- 制度がないため、取得できない(取得できなかった)
- 制度について知らなかったため、取得していない
- 休業取得に該当しない(子ども、介護が必要な親族はいない)
- その他
- 無回答

性別にみると、「取得した・取得中である」と回答した方の割合は、男性は 4.1%である一方で、女性は 20.8%となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ「制度はあるが、取得したことはない」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

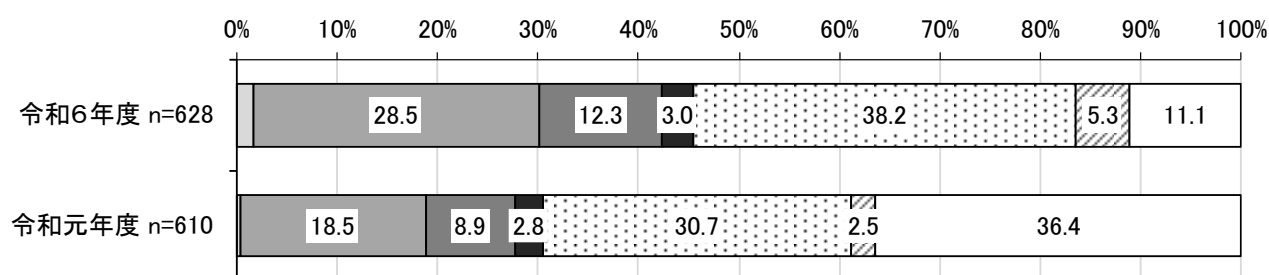
単位：%

		取得した・ 取得中である	制度はある が、取得し たことは ない	制度がない ため、取得 できない (取得でき なかった)	制度につい て知らな かったた め、取得 していない	休業取得に 該当しない (子ども、介 護が必要な 親族は いない)	その他	無回答
全体 n=628		13.5	24.2	18.0	3.0	25.3	6.4	9.6
性別	男性 n=268	4.1	34.7	23.9	2.6	21.6	3.4	9.7
	女性 n=355	20.8	16.6	13.5	3.4	28.2	8.2	9.3
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	3.4	3.4	0.0	72.4	6.9	13.8
	20歳代 n=61	13.1	11.5	1.6	1.6	60.7	6.6	4.9
	30歳代 n=75	32.0	21.3	6.7	0.0	34.7	4.0	1.3
	40歳代 n=114	21.1	25.4	16.7	3.5	21.1	10.5	1.8
	50歳代 n=118	13.6	28.0	17.8	5.1	22.0	5.9	7.6
	60歳代 n=122	5.7	33.6	32.0	1.6	9.8	6.6	10.7
	70歳以上 n=108	5.6	23.1	24.1	5.6	12.0	3.7	25.9
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②介護休業

介護休業を取得したことがあるかについては、「休業取得に該当しない(子ども、介護が必要な親族はいない)」が 38.2%で最も高く、次いで「制度はあるが、取得したことはない」が 28.5%、「制度がないため、取得できない(取得できなかった)」が 12.3%となっています。

前回調査と比較して「制度はあるが、取得したことはない」が 10.0 ポイント増加しています。



- ☐ 取得した・取得中である
- ☐ 制度はあるが、取得したことはない
- ☐ 制度がないため、取得できない(取得できなかった)
- ☐ 制度について知らなかったため、取得していない
- ☐ 休業取得に該当しない(子ども、介護が必要な親族はいない)
- ☐ その他
- ☐ 無回答

性別にみると、「制度はあるが、取得したことはない」と回答した方の割合は、男性は 36.6%である一方で、女性は 22.8%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「制度はあるが、取得したことはない」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

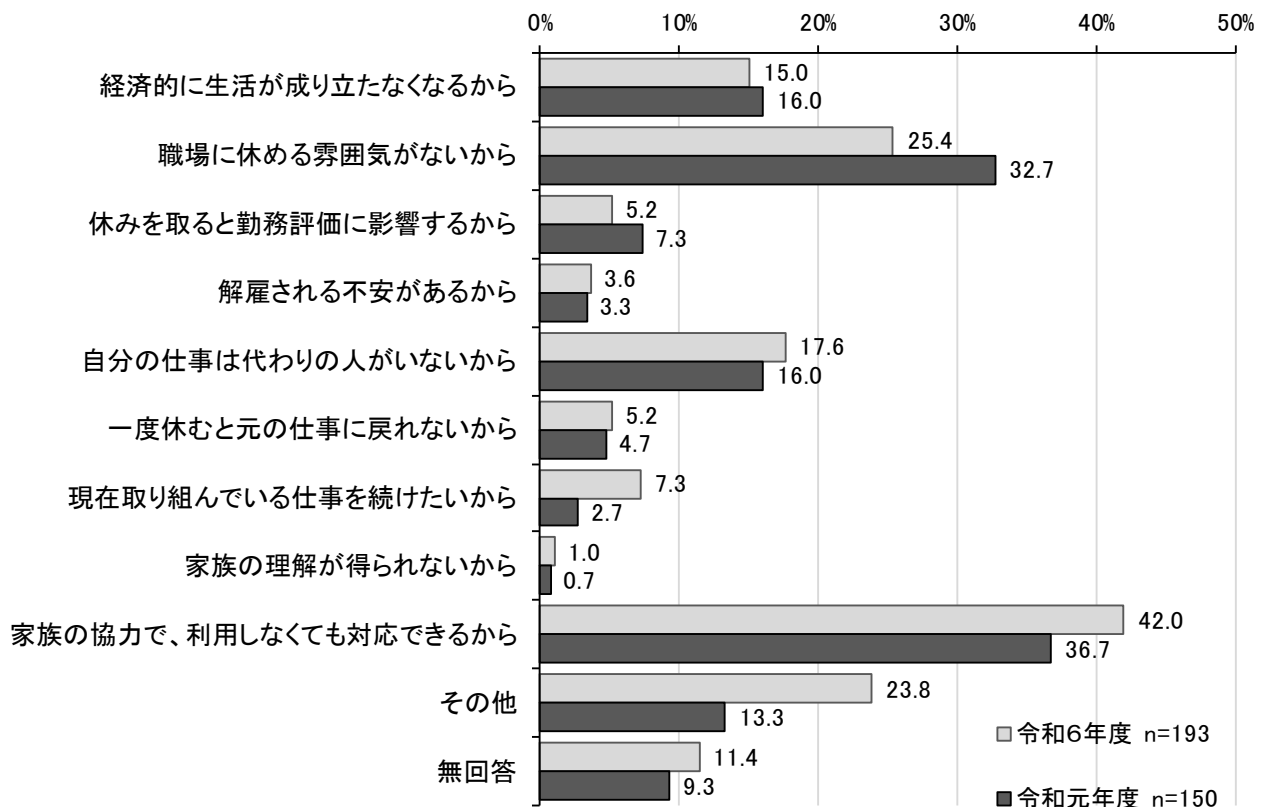
単位：％

		取得した・ 取得中である	制度はある が、取得し たことは ない	制度がない ため、取得 できない (取得でき なかった)	制度につい て知らな かったた め、取得 していない	休業取得に 該当しない (子ども、介 護が必要な 親族は いない)	その他	無回答
全体 n=628		1.6	28.5	12.3	3.0	38.2	5.3	11.1
性別	男性 n=268	0.7	36.6	17.9	1.9	29.1	3.7	10.1
	女性 n=355	2.3	22.8	8.2	3.9	45.1	5.9	11.8
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	3.4	3.4	0.0	75.9	6.9	10.3
	20歳代 n=61	1.6	14.8	0.0	0.0	70.5	6.6	6.6
	30歳代 n=75	1.3	29.3	2.7	0.0	60.0	0.0	6.7
	40歳代 n=114	0.9	32.5	10.5	5.3	42.1	5.3	3.5
	50歳代 n=118	1.7	32.2	13.6	4.2	33.9	5.9	8.5
	60歳代 n=122	3.3	41.0	20.5	3.3	17.2	5.7	9.0
	70歳以上 n=108	0.9	20.4	19.4	3.7	18.5	6.5	30.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

**問8-1 問8の①または②で「制度はあるが、取得したことはない」を選択した方
育児休業・介護休業の制度を利用しない理由は何ですか。(MA)**

育児休業・介護休業の制度を利用しない理由については、「家族の協力で、利用しなくても対応できるから」が42.0%で最も高く、次いで「職場に休める雰囲気がないから」が25.4%、「自分の仕事は代わりの人がいないから」が17.6%となっています。

前回調査と比較して「職場に休める雰囲気がないから」が7.3ポイント減少しています。



性別にみると、「自分の仕事は代わりの人がいないから」と回答した方の割合は、男性は 24.1%である一方で、女性は 9.5%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「経済的に生活が成り立たなくなるから」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

		経済的に生活が成り立たなくなるから	職場に休める雰囲気がないから	休みを取ると勤務評価に影響するから	解雇される不安があるから	自分の仕事は代わりの人がいないから	一度休むと元の仕事に戻れないから	現在取り組んでいる仕事を続けたいから	家族の理解が得られないから
全体 n=193		15.0	25.4	5.2	3.6	17.6	5.2	7.3	1.0
性別	男性 n=108	16.7	28.7	6.5	4.6	24.1	3.7	10.2	0.0
	女性 n=84	13.1	21.4	3.6	2.4	9.5	7.1	3.6	2.4
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=9	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
	30歳代 n=19	26.3	31.6	0.0	0.0	5.3	0.0	15.8	0.0
	40歳代 n=42	19.0	33.3	4.8	4.8	28.6	7.1	4.8	0.0
	50歳代 n=47	17.0	29.8	12.8	6.4	12.8	10.6	4.3	0.0
	60歳代 n=51	5.9	19.6	3.9	2.0	15.7	3.9	9.8	3.9
	70歳以上 n=24	8.3	20.8	0.0	4.2	25.0	0.0	4.2	0.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

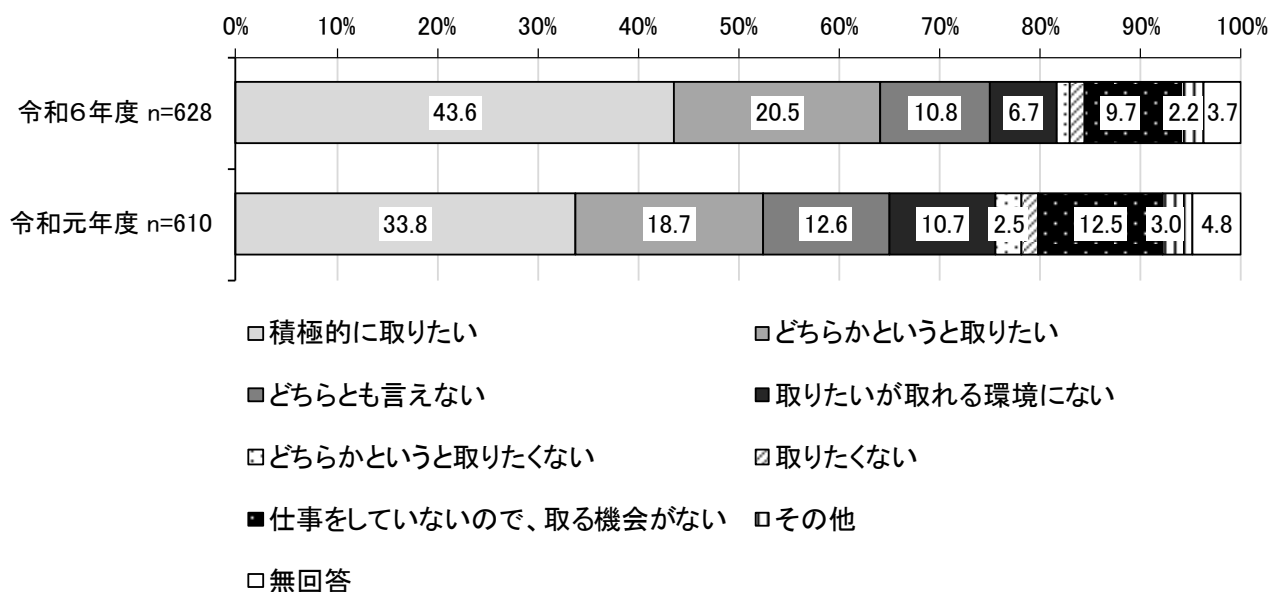
		家族の協力で、利用しなくても対応できるから	その他	無回答
全体 n=193		42.0	23.8	11.4
性別	男性 n=108	47.2	15.7	4.6
	女性 n=84	35.7	33.3	20.2
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0
年代別	20歳未満 n=1	0.0	100.0	0.0
	20歳代 n=9	33.3	55.6	22.2
	30歳代 n=19	31.6	26.3	21.1
	40歳代 n=42	35.7	19.0	9.5
	50歳代 n=47	42.6	19.1	2.1
	60歳代 n=51	47.1	25.5	11.8
	70歳以上 n=24	54.2	20.8	20.8
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0

問9 育児休業や介護休業を取得することについて、あなたはどうお考えですか。(SA)

※現在取得する予定がない方も、将来取る必要が生じた場合としてお答えください。

育児休業や介護休業を取得することについてどう考えているかについては、「積極的に取りたい」が43.6%で最も高く、次いで「どちらかというに取りたい」が20.5%、「どちらとも言えない」が10.8%となっています。

前回調査と比較して「積極的に取りたい」が9.8ポイント増加しています。



性別にみると、「積極的にとりたい」と回答した方の割合は、男性は 34.0%である一方で、女性は 51.5%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「積極的にとりたい」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

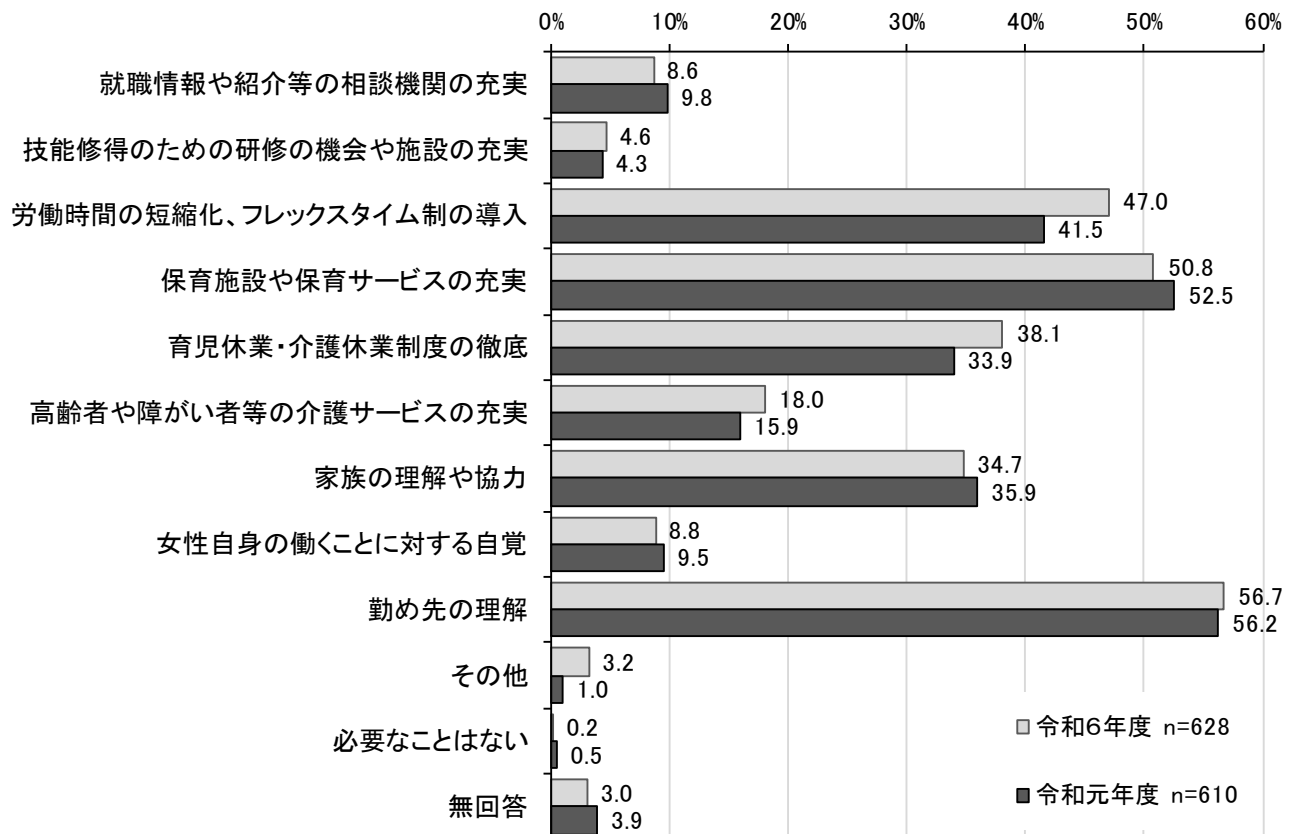
単位：%

		積極的に 取りたい	どちらか という と 取りたい	どちら とも 言 え な い	取り たい が 取 れ る 環 境 に な い	どちら か と い う と 取 り た く な い	取り た く な い	仕事 を し て い な い の で 、 取 る 機 会 が な い	その他	無回答
全体 n=628		43.6	20.5	10.8	6.7	1.3	1.4	9.7	2.2	3.7
性別	男性 n=268	34.0	19.8	17.5	9.7	1.1	1.5	10.1	2.6	3.7
	女性 n=355	51.5	20.8	5.9	4.5	1.4	1.4	9.3	1.7	3.4
	無回答 n=5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	65.5	13.8	6.9	0.0	0.0	3.4	10.3	0.0	0.0
	20歳代 n=61	68.9	16.4	6.6	1.6	1.6	1.6	3.3	0.0	0.0
	30歳代 n=75	61.3	22.7	6.7	5.3	0.0	2.7	1.3	0.0	0.0
	40歳代 n=114	40.4	23.7	15.8	13.2	0.0	1.8	3.5	0.9	0.9
	50歳代 n=118	38.1	26.3	11.9	11.0	3.4	0.8	4.2	1.7	2.5
	60歳代 n=122	37.7	19.7	13.1	4.9	0.0	0.8	18.0	1.6	4.1
	70歳以上 n=108	27.8	14.8	8.3	2.8	2.8	0.9	21.3	8.3	13.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 10 女性が結婚・出産後も働き続けるため、また再就職するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

女性が結婚・出産後も働き続けるため、また再就職するために必要なことについては、「勤め先の理解」が 56.7%で最も高く、次いで「保育施設や保育サービスの充実」が 50.8%、「労働時間の短縮化、フレックスタイム制の導入」が 47.0%となっています。

前回調査と比較して「労働時間の短縮化、フレックスタイム制の導入」が 5.5 ポイント増加しています。



性別にみると、「家族の理解や協力」と回答した方の割合は、男性は 29.5%である一方で、女性は 39.2%となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ「高齢者や障がい者等の介護サービスの充実」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

		就職情報 や紹介等 の相談機 関の充 実	技能修得 のための研 修の機会 や施設の 充実	労働時間 の短縮化、 フレックス タイム制の導 入	保育施設 や保育サー ビスの充実	育児休業・ 介護休業 制度の徹 底	高齢者や 障がい者等 の介護サー ビスの充実	家族の理 解や協力	女性自身 の働くこと に対する自 覚
全体 n=628		8.6	4.6	47.0	50.8	38.1	18.0	34.7	8.8
性別	男性 n=268	9.7	3.4	43.7	51.5	40.3	15.3	29.5	12.7
	女性 n=355	7.6	5.4	50.1	50.7	36.3	19.7	39.2	5.6
	無回答 n=5	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	3.4	34.5	55.2	62.1	10.3	34.5	0.0
	20歳代 n=61	9.8	4.9	63.9	57.4	42.6	9.8	37.7	3.3
	30歳代 n=75	6.7	2.7	68.0	56.0	33.3	5.3	38.7	6.7
	40歳代 n=114	7.0	5.3	47.4	55.3	28.1	7.9	41.2	16.7
	50歳代 n=118	11.9	5.9	51.7	46.6	32.2	21.2	33.1	8.5
	60歳代 n=122	7.4	4.1	37.7	50.0	46.7	31.1	30.3	7.4
	70歳以上 n=108	10.2	4.6	31.5	42.6	39.8	25.0	30.6	9.3
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

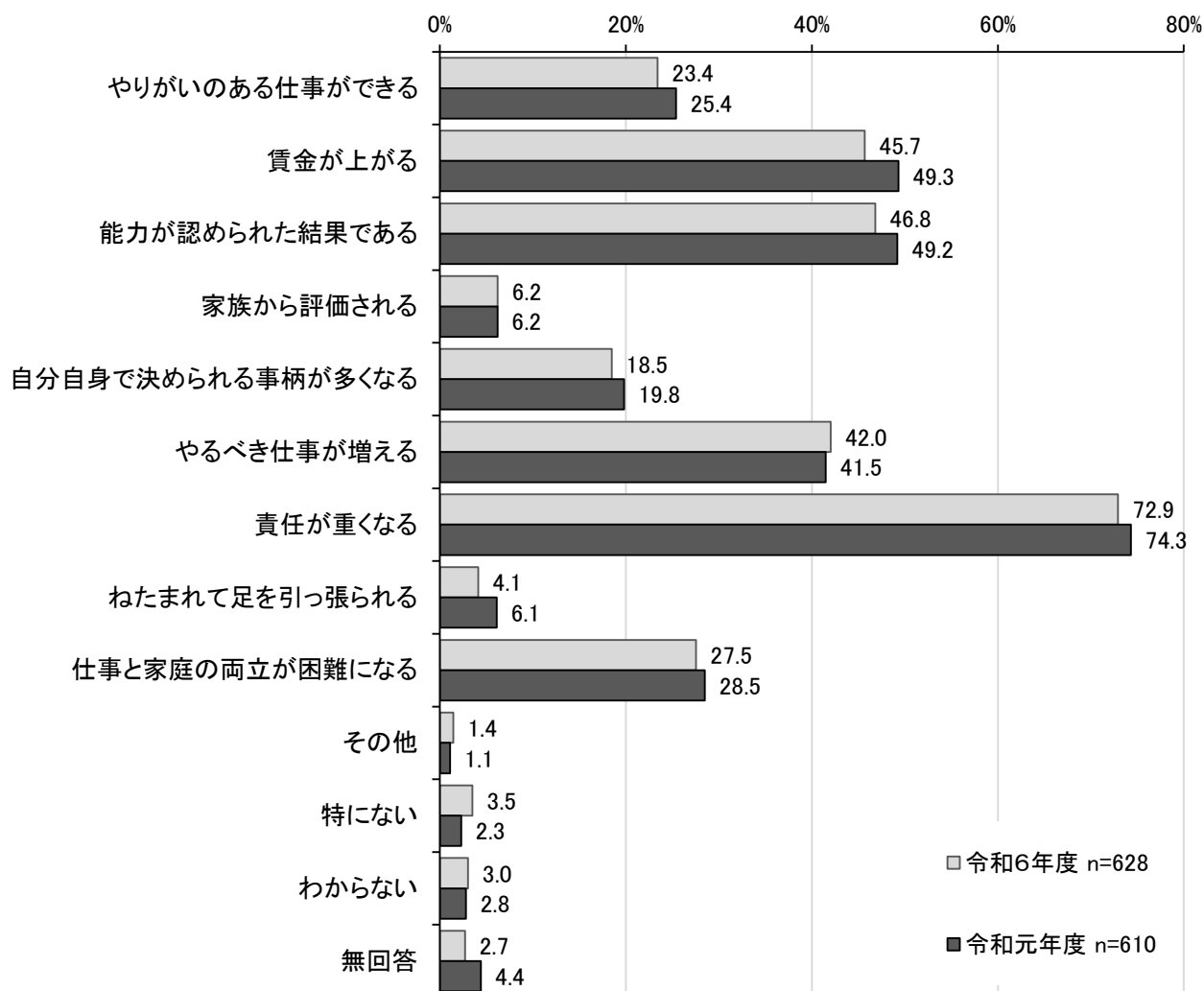
単位：％

		勤め先の 理解	その他	必要なこと はない	無回答
全体 n=628		56.7	3.2	0.2	3.0
性別	男性 n=268	56.3	2.2	0.0	3.7
	女性 n=355	57.2	3.7	0.3	2.3
	無回答 n=5	40.0	20.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	72.4	3.4	0.0	0.0
	20歳代 n=61	55.7	1.6	0.0	1.6
	30歳代 n=75	64.0	6.7	0.0	1.3
	40歳代 n=114	56.1	6.1	0.0	0.9
	50歳代 n=118	61.0	1.7	0.8	1.7
	60歳代 n=122	54.1	1.6	0.0	1.6
	70歳以上 n=108	46.3	1.9	0.0	11.1
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0

問 11 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。(MA)

管理職以上に昇進することへのイメージについては、「責任が重くなる」が 72.9%で最も高く、次いで「能力が認められた結果である」が 46.8%、「賃金が上がる」が 45.7%となっています。

前回調査と比較して「賃金が上がる」が 3.6 ポイント減少しています。



性別にみると、「能力が認められた結果である」と回答した方の割合は、男性は 39.6%である一方で、女性は 52.4%となっています、

年代別にみると、年代が下がるにつれ「賃金が上がる」と回答した方の割合が高くなっています。

単位：％

		やりがいの ある仕事か できる	賃金が 上がる	能力が認め られた結果 である	家族から 評価される	自分自身で 決められる 事柄が多くな る	やるべき仕 事が増える	責任が 重くなる	ねたまれて 足を引っ張 られる
全体 n=628		23.4	45.7	46.8	6.2	18.5	42.0	72.9	4.1
性別	男性 n=268	21.3	44.0	39.6	6.0	22.4	39.2	72.4	3.7
	女性 n=355	25.1	47.3	52.4	6.2	15.5	44.5	73.5	4.5
	無回答 n=5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	17.2	65.5	55.2	17.2	13.8	37.9	69.0	6.9
	20歳代 n=61	18.0	59.0	49.2	8.2	8.2	45.9	80.3	3.3
	30歳代 n=75	18.7	56.0	41.3	5.3	21.3	52.0	81.3	0.0
	40歳代 n=114	16.7	49.1	43.0	5.3	24.6	49.1	77.2	4.4
	50歳代 n=118	31.4	48.3	50.0	6.8	17.8	47.5	79.7	7.6
	60歳代 n=122	27.0	38.5	54.1	4.1	19.7	32.0	63.9	3.3
	70歳以上 n=108	25.9	27.8	38.9	5.6	16.7	32.4	62.0	3.7
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

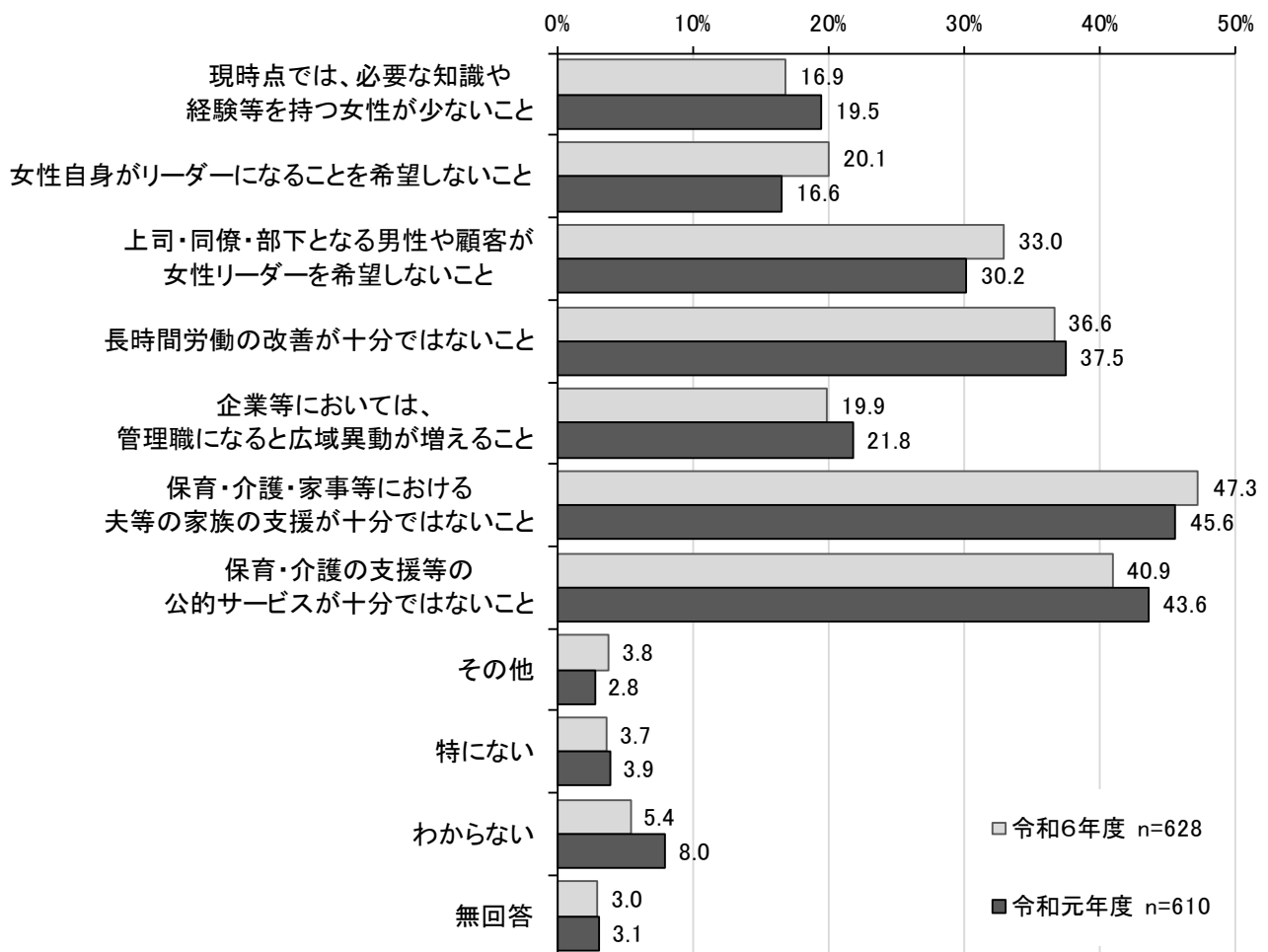
単位：％

		仕事と家庭 の両立が 困難になる	その他	特にない	わからない	無回答
全体 n=628		27.5	1.4	3.5	3.0	2.7
性別	男性 n=268	14.9	1.9	5.6	3.0	3.4
	女性 n=355	36.9	1.1	2.0	3.1	2.0
	無回答 n=5	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	3.4	0.0	10.3	0.0
	20歳代 n=61	29.5	0.0	0.0	0.0	1.6
	30歳代 n=75	41.3	1.3	5.3	0.0	0.0
	40歳代 n=114	30.7	2.6	0.9	1.8	0.9
	50歳代 n=118	27.1	0.8	3.4	2.5	0.8
	60歳代 n=122	23.0	1.6	6.6	4.9	1.6
	70歳以上 n=108	25.9	0.9	4.6	4.6	11.1
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12 あなたは、政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(MA)

政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものについては、「保育・介護・家事等における夫等の家族の支援が十分ではないこと」が 47.3%で最も高く、次いで「保育・介護の支援等の公的サービスが十分ではないこと」が 40.9%、「長時間労働の改善が十分ではないこと」が 36.6%となっています。

前回調査と比較して「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が3.5ポイント増加しています。



性別にみると、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」と回答した方の割合は、男性は 22.4%である一方で、女性は 40.6%となっています。

年代別にみると、30 歳代で「保育・介護・家事等における夫等の家族の支援が十分ではないこと」と回答した方の割合が 61.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		現時点では、必要な知識や経験等を持つ女性が少ないこと	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	長時間労働の改善が十分ではないこと	企業等においては、管理職になると広域異動が増えること	保育・介護・家事等における夫等の家族の支援が十分ではないこと	保育・介護の支援等の公的サービスが十分ではないこと	その他
全体 n=628		16.9	20.1	33.0	36.6	19.9	47.3	40.9	3.8
性別	男性 n=268	19.4	23.9	22.4	32.5	21.3	38.8	35.1	3.7
	女性 n=355	14.4	17.5	40.6	40.0	18.3	53.8	45.6	3.9
	無回答 n=5	60.0	0.0	60.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	17.2	37.9	13.8	3.4	24.1	24.1	3.4
	20歳代 n=61	8.2	13.1	31.1	41.0	14.8	47.5	42.6	3.3
	30歳代 n=75	22.7	21.3	44.0	42.7	22.7	61.3	44.0	5.3
	40歳代 n=114	15.8	19.3	34.2	31.6	15.8	50.0	34.2	8.8
	50歳代 n=118	16.1	28.8	34.7	31.4	27.1	41.5	38.1	2.5
	60歳代 n=122	17.2	16.4	29.5	45.9	19.7	50.0	52.5	2.5
	70歳以上 n=108	19.4	19.4	25.0	37.0	22.2	44.4	39.8	0.9
	無回答 n=1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

		特にない	わからない	無回答
全体 n=628		3.7	5.4	3.0
性別	男性 n=268	6.0	5.6	4.1
	女性 n=355	2.0	5.4	2.0
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	24.1	3.4
	20歳代 n=61	1.6	9.8	0.0
	30歳代 n=75	1.3	4.0	0.0
	40歳代 n=114	4.4	4.4	0.9
	50歳代 n=118	2.5	4.2	2.5
	60歳代 n=122	4.9	5.7	1.6
	70歳以上 n=108	5.6	0.9	11.1
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0

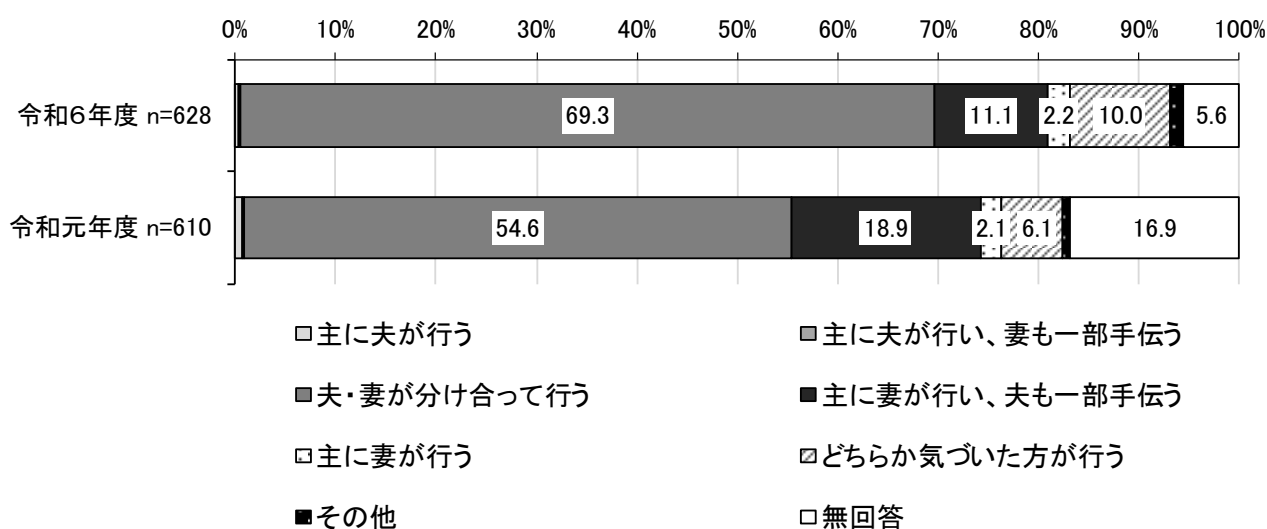
3. 生活全般についておたずねします

問 13 家事(掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片づけ等)は、どのように行ふべきだと思いますか。理想をお答えください(①)。また、結婚をしている方のみ、実際にあなたの家庭において、主に誰が行っていますか(②)。(SA)

① 理想(全員)

家事の役割分担の理想については、「夫・妻が分け合って行ふ」が 69.3%で最も高く、次いで「主に妻が行い、夫も一部手伝う」が 11.1%、「どちらか気づいた方が行ふ」が 10.0%となっています。

前回調査と比較して「夫・妻が分け合って行ふ」が 14.7 ポイント増加しています。



性別にみると、「主に妻が行い、夫も一部手伝う」と回答した方の割合は、男性は 15.3%である一方で、女性は 7.9%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「夫・妻が分け合って行く」と回答した方の割合が最も高くなっています。

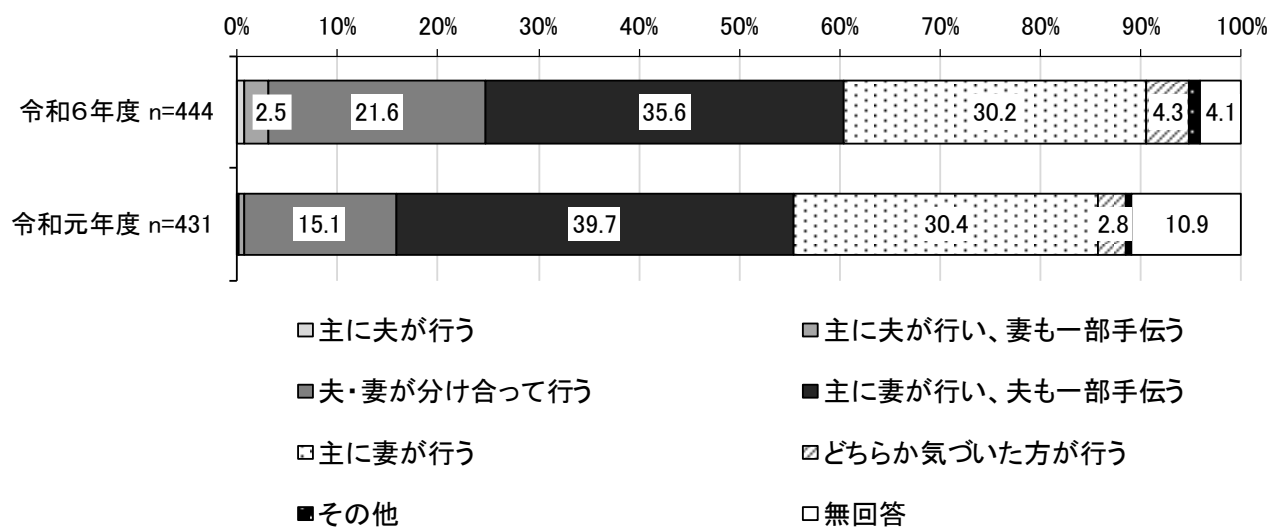
単位：%

		主に夫が行う	主に夫が行い、妻も一部手伝う	夫・妻が分け合って行く	主に妻が行い、夫も一部手伝う	主に妻が行う	どちらか気づいた方が行く	その他	無回答
全体 n=628		0.3	0.2	69.3	11.1	2.2	10.0	1.3	5.6
性別	男性 n=268	0.4	0.0	64.9	15.3	3.4	9.3	1.5	5.2
	女性 n=355	0.3	0.3	73.0	7.9	1.4	10.7	1.1	5.4
	無回答 n=5	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	0.0	82.8	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0
	20歳代 n=61	0.0	0.0	85.2	3.3	0.0	6.6	0.0	4.9
	30歳代 n=75	0.0	1.3	74.7	5.3	1.3	16.0	1.3	0.0
	40歳代 n=114	0.0	0.0	68.4	12.3	2.6	10.5	3.5	2.6
	50歳代 n=118	0.0	0.0	70.3	11.0	2.5	13.6	0.0	2.5
	60歳代 n=122	0.8	0.0	67.2	15.6	3.3	7.4	0.0	5.7
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	54.6	15.7	2.8	7.4	1.9	17.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

② 現状（結婚している方のみ）

家事の役割分担の現状については、「主に妻が行い、夫も一部手伝う」が 35.6%で最も高く、次いで「主に妻が行う」が 30.2%、「夫・妻が分け合って行う」が 21.6%となっています。

前回調査と比較して「夫・妻が分け合って行う」が 6.5 ポイント増加しています。



性別にみると、「主に妻が行う」と回答した方の割合は、男性は 26.8%である一方で、女性は 32.7%となっています、

年代別にみると、年代が下がるにつれ「夫・妻が分け合って行う」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

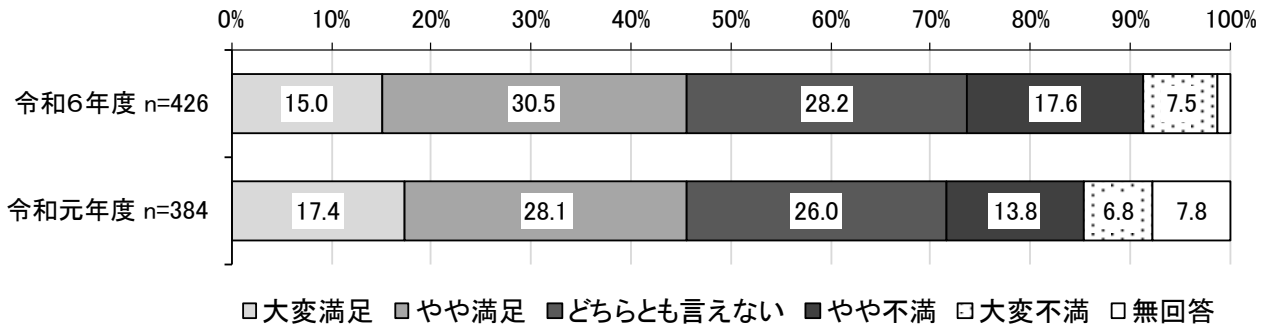
単位：%

		主に夫が行う	主に夫が行い、妻も一部手伝う	夫・妻が分け合って行う	主に妻が行い、夫も一部手伝う	主に妻が行う	どちらか気づいた方が行う	その他	無回答
全体 n=444		0.7	2.5	21.6	35.6	30.2	4.3	1.1	4.1
性別	男性 n=190	1.1	4.2	23.7	35.3	26.8	4.2	1.1	3.7
	女性 n=251	0.4	1.2	20.3	35.9	32.7	4.4	1.2	4.0
	無回答 n=3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=18	0.0	0.0	61.1	22.2	0.0	5.6	0.0	11.1
	30歳代 n=49	0.0	2.0	32.7	32.7	20.4	12.2	0.0	0.0
	40歳代 n=95	0.0	4.2	25.3	35.8	26.3	5.3	3.2	0.0
	50歳代 n=93	3.2	3.2	11.8	39.8	40.9	1.1	0.0	0.0
	60歳代 n=103	0.0	1.9	18.4	38.8	32.0	2.9	1.9	3.9
	70歳以上 n=86	0.0	1.2	17.4	31.4	32.6	3.5	0.0	14.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 14 問 13 の②で回答した、家庭での実際の役割分担の満足感についてお聞かせください。(SA)

家庭での実際の役割分担の満足感については、「やや満足」が 30.5%で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 28.2%、「やや不満」が 17.6%となっています。

前回調査と比較して「大変満足」が 2.4 ポイント減少しています。



性別にみると、「やや不満」と回答した方の割合は、男性は 6.6%である一方で、女性は 25.7%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「大変満足」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

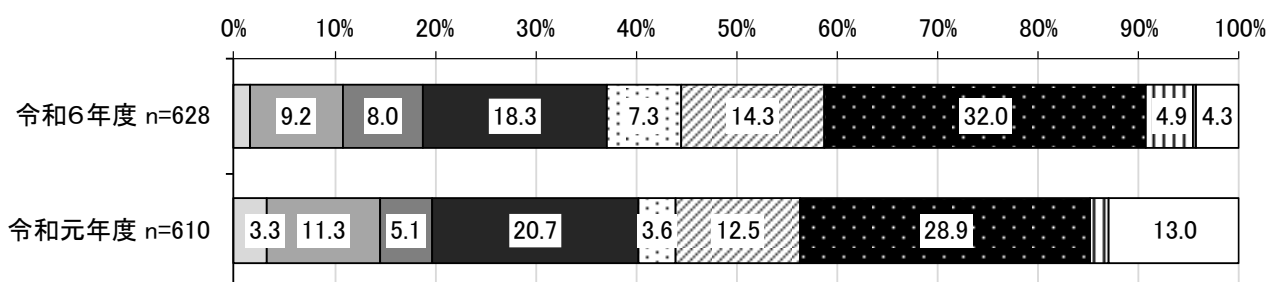
		大変満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	大変不満	無回答
全体 n=426		15.0	30.5	28.2	17.6	7.5	1.2
性別	男性 n=183	21.3	32.8	35.0	6.6	3.3	1.1
	女性 n=241	10.4	28.6	23.2	25.7	10.8	1.2
	無回答 n=2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=16	50.0	12.5	18.8	12.5	6.3	0.0
	30歳代 n=49	24.5	32.7	14.3	22.4	6.1	0.0
	40歳代 n=95	11.6	34.7	25.3	21.1	7.4	0.0
	50歳代 n=93	10.8	23.7	40.9	15.1	8.6	1.1
	60歳代 n=99	14.1	31.3	28.3	15.2	9.1	2.0
	70歳以上 n=74	12.2	35.1	27.0	17.6	5.4	2.7
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 15 生活の中での、仕事、家庭生活、個人の生活(地域活動、趣味・学習等)の優先度について、当てはまる①あなたの理想と②あなたの現状をお選びください。(SA)

①理想

生活の中での理想の優先度については、「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先」が 32.0%で最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が 18.3%、「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先」が 14.3%となっています。

前回調査と比較して「仕事」と「個人の生活」を共に優先」が 3.7 ポイント増加しています。



- ☐ 「仕事」を優先
- ☐ 「家庭生活」を優先
- ☐ 「個人の生活」を優先
- ☒ 「仕事」と「家庭生活」を共に優先
- ☐ 「仕事」と「個人の生活」を共に優先
- ☐ 「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先
- ☒ 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先」と回答した方の割合は、男性は25.4%である一方で、女性は37.2%となっています、

年代別にみると、「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先」と回答した方の割合は20歳未満、20歳代で2割以上となっており、他の年代と比較して高くなっています。

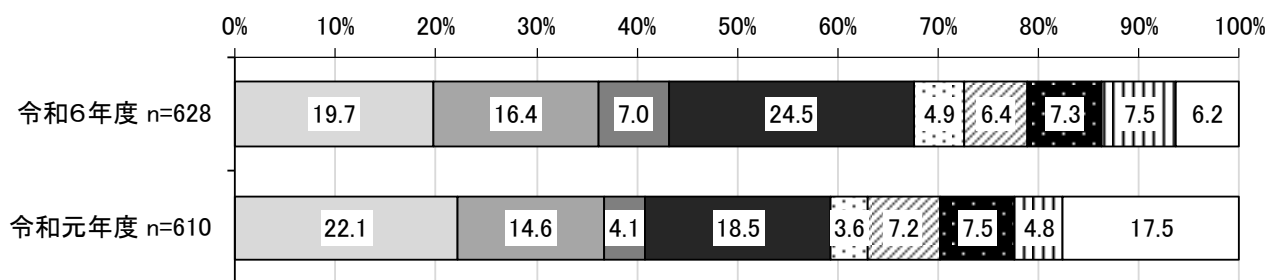
単位：%

		「仕事」を 優先	「家庭生 活」を優先	「個人の生 活」を優先	「仕事」と 「家庭生 活」を共に 優先	「仕事」と 「個人の生 活」を共に 優先	「家庭生 活」と「個人 の生活」を 共に優先	「仕事」と 「家庭生 活」と「個人 の生活」を 共に優先	わからない	無回答
全体 n=628		1.6	9.2	8.0	18.3	7.3	14.3	32.0	4.9	4.3
性別	男性 n=268	3.7	8.6	9.0	21.3	8.6	14.2	25.4	6.0	3.4
	女性 n=355	0.0	9.6	7.3	16.1	6.5	14.6	37.2	4.2	4.5
	無回答 n=5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	13.8	13.8	10.3	20.7	20.7	20.7	0.0
	20歳代 n=61	1.6	8.2	16.4	9.8	13.1	24.6	19.7	6.6	0.0
	30歳代 n=75	0.0	16.0	12.0	17.3	5.3	13.3	32.0	2.7	1.3
	40歳代 n=114	2.6	13.2	6.1	18.4	8.8	13.2	34.2	0.9	2.6
	50歳代 n=118	0.0	7.6	6.8	19.5	7.6	18.6	36.4	1.7	1.7
	60歳代 n=122	1.6	4.9	6.6	22.1	3.3	11.5	40.2	4.9	4.9
	70歳以上 n=108	3.7	9.3	3.7	19.4	7.4	7.4	25.9	9.3	13.9
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②現状

生活の中での現状の優先度については、「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が 24.5%で最も高く、次いで「仕事」を優先」が 19.7%、「家庭生活」を優先」が 16.4%となっています。

前回調査と比較して「仕事」と「家庭生活」を共に優先」が 6.0 ポイント増加しています。



- 「仕事」を優先
- 「家庭生活」を優先
- 「個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭生活」を共に優先
- 「仕事」と「個人の生活」を共に優先
- 「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先
- わからない
- 無回答

性別にみると、「家庭生活」を優先」と回答した方の割合は、男性は 8.6％である一方で、女性は 22.3％となっています、

年代別にみると、年代が下がるにつれ「個人の生活」を優先」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

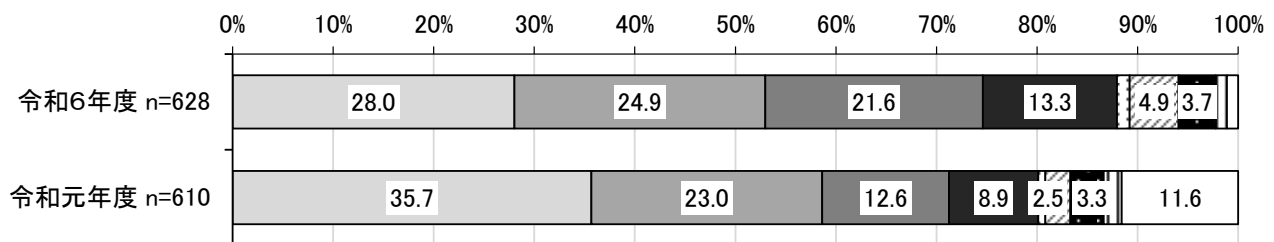
単位：％

		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」を共に優先	「仕事」と「個人の生活」を共に優先	「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」を共に優先	わからない	無回答
全体 n=628		19.7	16.4	7.0	24.5	4.9	6.4	7.3	7.5	6.2
性別	男性 n=268	23.5	8.6	10.1	25.4	5.2	6.7	7.5	8.6	4.5
	女性 n=355	16.9	22.3	4.8	23.9	4.5	6.2	7.3	6.8	7.3
	無回答 n=5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	10.3	0.0	31.0	0.0	10.3	3.4	3.4	27.6	13.8
	20歳代 n=61	11.5	6.6	16.4	19.7	14.8	3.3	9.8	14.8	3.3
	30歳代 n=75	28.0	18.7	9.3	22.7	1.3	4.0	9.3	5.3	1.3
	40歳代 n=114	24.6	20.2	2.6	32.5	4.4	1.8	6.1	2.6	5.3
	50歳代 n=118	28.8	15.3	0.8	28.8	5.9	5.1	5.9	4.2	5.1
	60歳代 n=122	15.6	18.9	4.1	27.0	2.5	12.3	9.0	5.7	4.9
	70歳以上 n=108	11.1	18.5	8.3	19.4	2.8	10.2	6.5	10.2	13.0
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問16 今後、男性も女性も共に、家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことがもっとも重要だと思いますか。(MA)

今後、男性も女性も共に、家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加するために最も重要だと思うことについては、「労働時間の短縮や休暇制度の普及等により、仕事優先の考え方を見直す」が28.0%で最も高く、次いで「夫婦間や家族間でコミュニケーションをとる」が24.9%、「男性が家事や育児等に関わることへの抵抗感をなくす」が21.6%となっています。

前回調査と比較して「男性が家事や育児等に関わることへの抵抗感をなくす」が9.0ポイント増加しています。



- ☐ 労働時間の短縮や休暇制度の普及等により、仕事優先の考え方を見直す
- ☐ 夫婦間や家族間でコミュニケーションをとる
- ☐ 男性が家事や育児等に関わることへの抵抗感をなくす
- ☒ 男性も女性も共に育児や介護、地域活動等を担うための地域のネットワークづくり
- ☐ 生活と仕事の両立を応援する講座の開催
- ☐ 家庭や地域での生活と仕事の両立の問題について相談できる窓口の設置
- ☒ その他
- ☐ 特に必要なことはない
- ☐ 無回答

※令和元年度調査では単一回答「1つのみ」でしたが、1つに絞るには選択肢が多数あるため、今回調査では複数回答「3つまで」としています。また、構成比については、令和6年度調査で回答があった数値の合計が100.0となるよう按分して数値を算出しています。

性別にみると、「男性が家事や育児等に関わることへの抵抗感をなくす」と回答した方の割合は、男性は39.2%である一方で、女性は51.5%となっています。

年代別にみると、20歳代で「男性も女性も共に育児や介護、地域活動等を担うための地域のネットワークづくり」と回答した方の割合は41.0%となっており他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

		労働時間の短縮や 休暇制度の普及等により、 仕事優先の考え方を 見直す	夫婦間や 家族間でコ ミュニケー ションをとる	男性が家 事や育児 等に関わる ことへの抵 抗感をなく す	男性も女性 も共に育児 や介護、 地域活動 等を担うた めの地域の ネットワー クづくり	生活と仕事 の両立を応 援する講座 の開催	家庭や地 域での生活 と仕事の 両立の問題 について 相談できる 窓口の設 置	その他	特に必要な ことはない	無回答
全体 n=628		59.6	53.0	46.0	28.3	2.7	10.4	7.8	2.4	2.4
性別	男性 n=268	60.1	53.4	39.2	28.4	4.5	13.1	6.0	3.0	2.6
	女性 n=355	59.7	53.0	51.5	28.2	1.1	8.2	9.3	2.0	2.0
	無回答 n=5	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	51.7	65.5	69.0	6.9	0.0	6.9	3.4	6.9	3.4
	20歳代 n=61	77.0	44.3	37.7	41.0	4.9	16.4	4.9	1.6	0.0
	30歳代 n=75	80.0	48.0	40.0	25.3	1.3	5.3	16.0	0.0	2.7
	40歳代 n=114	61.4	49.1	34.2	25.4	2.6	7.0	14.0	3.5	1.8
	50歳代 n=118	56.8	53.4	50.0	24.6	3.4	6.8	6.8	3.4	1.7
	60歳代 n=122	54.9	56.6	50.8	31.1	2.5	13.9	3.3	1.6	1.6
	70歳以上 n=108	43.5	57.4	51.9	33.3	2.8	14.8	4.6	1.9	5.6
	無回答 n=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

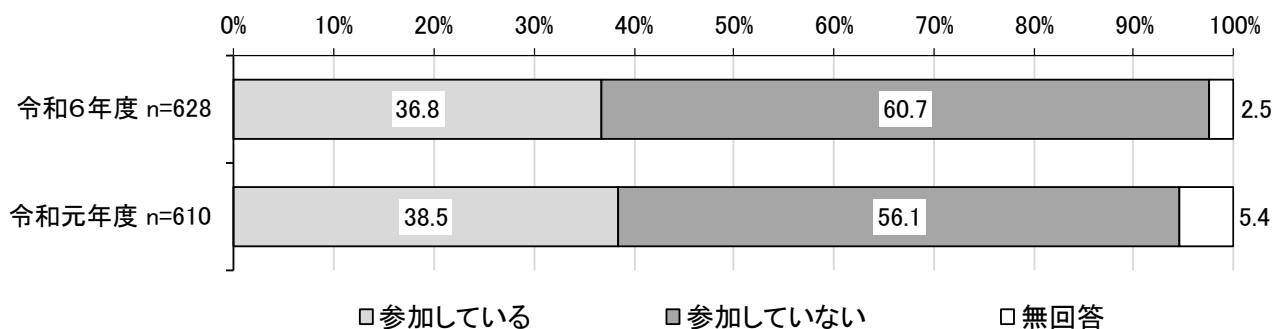
4. 地域・社会参加についておたずねします

問 17 あなたは現在、次にあげるような地域活動に参加していますか。(SA)

- ☐ 自治会等の地域活動
- ☐ 地域の仲間同士が集まって行う研究会や勉強会
- ☐ 趣味やスポーツの活動
- ☐ 子ども会や青少年スポーツチームの指導や世話
- ☐ 保育園・幼稚園の保護者会、学校のPTA活動
- ☐ NPO活動(環境問題、消費者問題、リサイクル等)
- ☐ ボランティア活動(高齢者や障がい者の介護・介助、子育て、被災地での活動等を含む)

地域活動への現在の参加状況については、「参加している」が 36.8%、「参加していない」が 60.7% となっています。

前回調査と比較して「参加していない」が 4.6 ポイント増加しています。



性別にみると、「参加している」と回答した方の割合は男性が 37.3%、女性が 36.6%となっています。
年代別にみると、年代が高くなるにつれ「参加している」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

		参加している	参加していない	無回答
全体 n=628		36.8	60.7	2.5
性別	男性 n=268	37.3	59.7	3.0
	女性 n=355	36.6	61.4	2.0
	無回答 n=5	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	10.3	86.2	3.4
	20歳代 n=61	11.5	88.5	0.0
	30歳代 n=75	26.7	70.7	2.7
	40歳代 n=114	42.1	55.3	2.6
	50歳代 n=118	39.8	58.5	1.7
	60歳代 n=122	44.3	52.5	3.3
	70歳以上 n=108	48.1	48.1	3.7
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

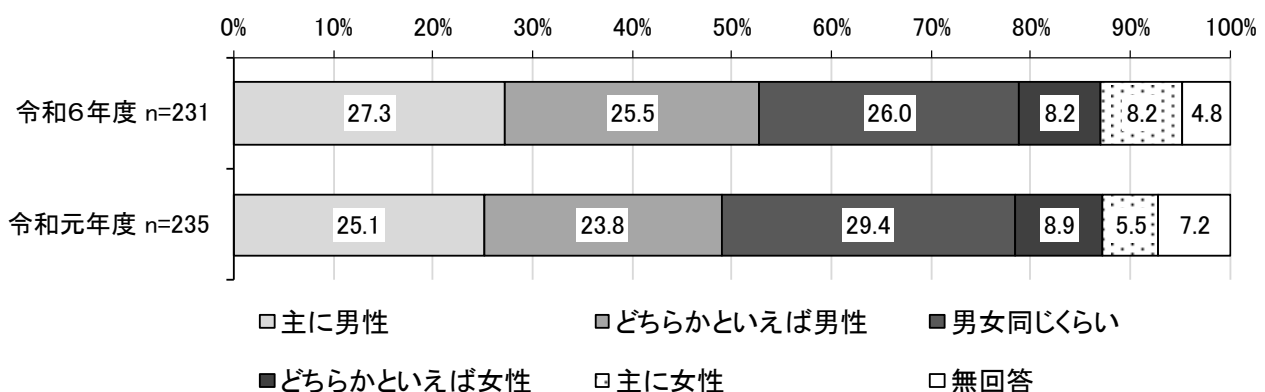
問 17-1 問 17 で「参加している」を選択した方

あなたが参加している地域活動の現状について、当てはまるものをお選びください。(SA)

①催し物の企画等を決定するのは？

催し物の企画等の決定については、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 52.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 16.4%、「男女同じくらい」が 26.0%となっています。

前回調査と比較して『男性』が 3.9 ポイント増加しています。



性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が 66.0%、女性が 43.1%となっています。

年代別にみると、30 歳代で『女性』と回答した方の割合は 35.0%と、他の年代と比較して高くなっています。

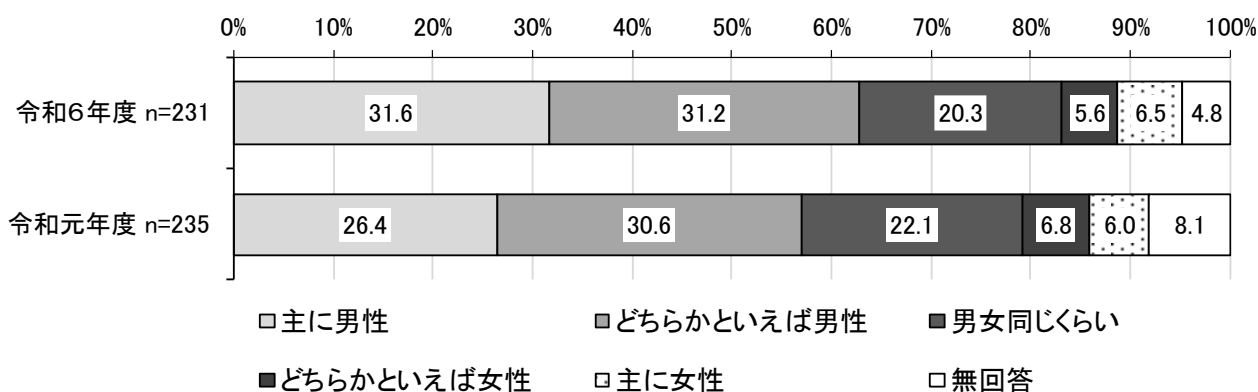
単位：%

		主に男性	どちらかとい えば男性	男女同じく らい	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		27.3	25.5	26.0	8.2	8.2	4.8
性別	男性 n=100	36.0	30.0	24.0	3.0	4.0	3.0
	女性 n=130	20.8	22.3	26.9	12.3	11.5	6.2
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=7	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0
	30歳代 n=20	25.0	10.0	30.0	5.0	30.0	0.0
	40歳代 n=48	16.7	25.0	29.2	10.4	14.6	4.2
	50歳代 n=47	27.7	23.4	34.0	8.5	4.3	2.1
	60歳代 n=54	29.6	35.2	22.2	5.6	1.9	5.6
	70歳以上 n=52	34.6	23.1	19.2	7.7	5.8	9.6
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②地域活動を取り仕切るのは？

地域活動の取り仕切りについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が62.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が12.1%、「男女同じくらい」が20.3%となっています。

前回調査と比較して『男性』が5.8ポイント増加しています。



性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が71.0%、女性が56.1%となっています。

年代別にみると、20歳代で『女性』と回答した方の割合は42.9%と、他の年代と比較して高くなっています。

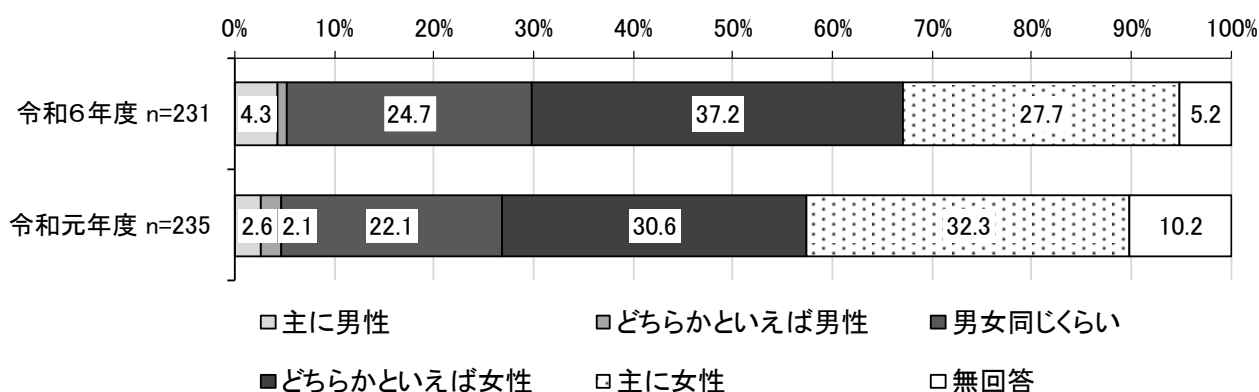
単位：%

		主に男性	どちらかといえば男性	男女同じくらい	どちらかといえば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		31.6	31.2	20.3	5.6	6.5	4.8
性別	男性 n=100	38.0	33.0	21.0	4.0	1.0	3.0
	女性 n=130	26.9	29.2	20.0	6.9	10.8	6.2
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=7	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0
	30歳代 n=20	25.0	25.0	15.0	5.0	30.0	0.0
	40歳代 n=48	27.1	31.3	20.8	6.3	10.4	4.2
	50歳代 n=47	42.6	23.4	25.5	2.1	4.3	2.1
	60歳代 n=54	29.6	38.9	20.4	5.6	1.9	3.7
	70歳以上 n=52	32.7	36.5	13.5	3.8	1.9	11.5
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③集会等の時に、お茶くみや片づけをするのは？

集会等の時の、お茶くみや片づけについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 5.2%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 64.9%、「男女同じくらい」が 24.7%となっています。

前回調査と比較して大きな変動はありません。



性別にみると、『女性』と回答した方の割合は、男性が 53.0%、女性が 73.9%となっています。
 年代別にみると、すべての年代で『女性』と回答した方の割合が5割を超えています。

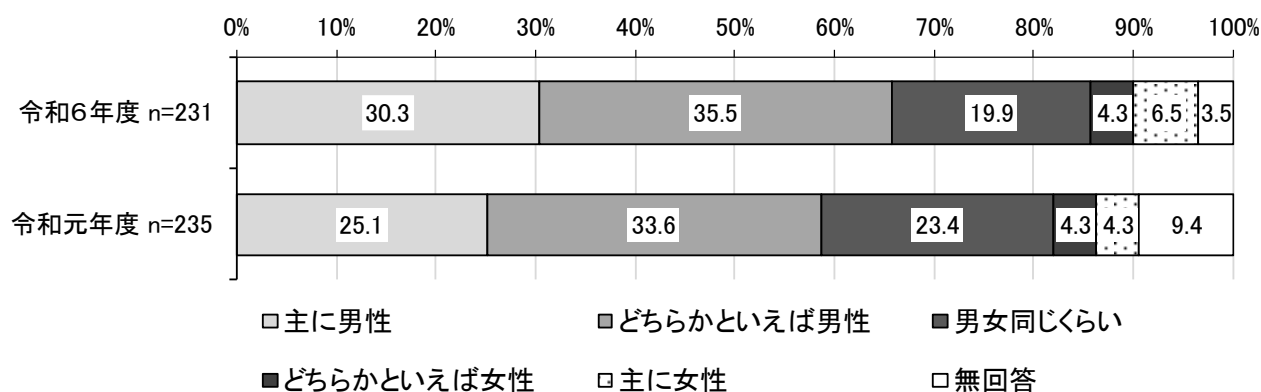
単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	男女同じく らい	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		4.3	0.9	24.7	37.2	27.7	5.2
性別	男性 n=100	9.0	2.0	32.0	38.0	15.0	4.0
	女性 n=130	0.8	0.0	19.2	36.2	37.7	6.2
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代 n=7	14.3	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3
	30歳代 n=20	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
	40歳代 n=48	6.3	0.0	14.6	31.3	43.8	4.2
	50歳代 n=47	6.4	0.0	34.0	38.3	19.1	2.1
	60歳代 n=54	5.6	0.0	27.8	48.1	14.8	3.7
	70歳以上 n=52	0.0	3.8	25.0	40.4	19.2	11.5
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④役職につくのは？

役職については、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 65.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 10.8%、「男女同じくらい」が 19.9%となっています。

前回調査と比較して「男女同じくらい」が 3.5 ポイント減少しています。



性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が 69.0%、女性が 63.1%となっています。

年代別にみると、20 歳代で「男女同じくらい」と回答した方の割合は 42.9%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

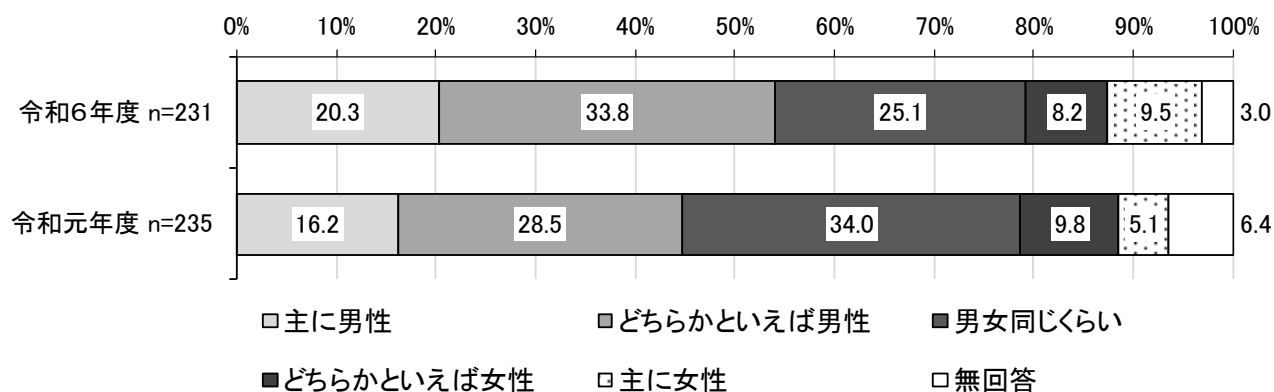
単位：%

		主に男性	どちらかとい えば男性	男女同じく らい	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		30.3	35.5	19.9	4.3	6.5	3.5
性別	男性 n=100	33.0	36.0	24.0	3.0	1.0	3.0
	女性 n=130	28.5	34.6	16.9	5.4	10.8	3.8
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=7	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=20	15.0	35.0	20.0	5.0	25.0	0.0
	40歳代 n=48	31.3	31.3	14.6	8.3	10.4	4.2
	50歳代 n=47	34.0	29.8	27.7	2.1	6.4	0.0
	60歳代 n=54	24.1	48.1	18.5	5.6	1.9	1.9
	70歳以上 n=52	40.4	30.8	15.4	1.9	1.9	9.6
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤主に活動を担っているのは？

主に活動を担っている方については、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 54.1%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 17.7%、「男女同じくらい」が 25.1%となっています。

前回調査と比較して『男性』が 9.4 ポイント増加しています。



性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が 64.0%、女性が 46.2%となっています。

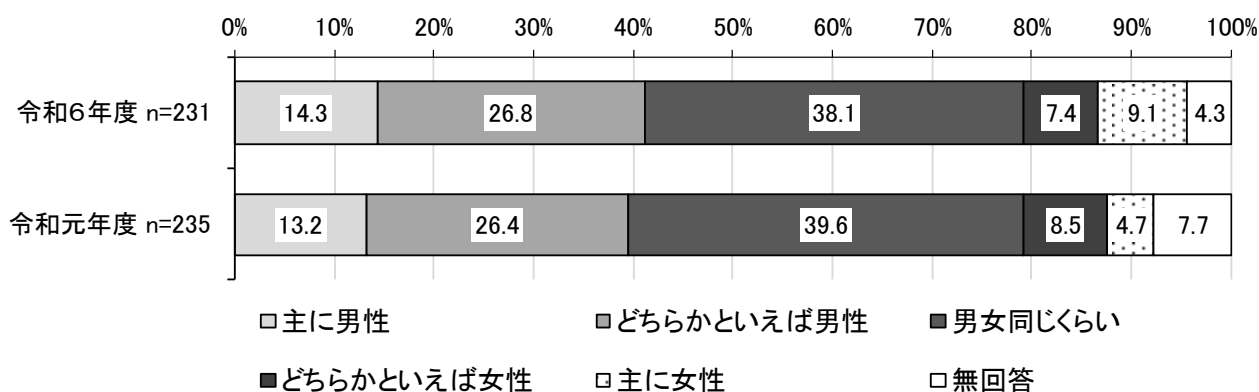
年代別にみると、30 歳代で『女性』と回答した方の割合は 35.0%と、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	男女同じく らい	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		20.3	33.8	25.1	8.2	9.5	3.0
性別	男性 n=100	27.0	37.0	23.0	8.0	3.0	2.0
	女性 n=130	15.4	30.8	26.9	8.5	14.6	3.8
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=7	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0
	30歳代 n=20	15.0	30.0	20.0	5.0	30.0	0.0
	40歳代 n=48	18.8	27.1	18.8	14.6	14.6	6.3
	50歳代 n=47	25.5	27.7	29.8	10.6	6.4	0.0
	60歳代 n=54	14.8	42.6	31.5	5.6	3.7	1.9
	70歳以上 n=52	25.0	42.3	15.4	3.8	7.7	5.8
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥発言するのは？

発言については、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 41.1%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 16.5%、「男女同じくらい」が 38.1%となっています。
前回調査と比較して『女性』が 3.3 ポイント増加しています。



性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が 55.0%、女性が 30.7%となっています。
年代別にみると、年代が上がるにつれ『男性』と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	男女同じく らい	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=231		14.3	26.8	38.1	7.4	9.1	4.3
性別	男性 n=100	21.0	34.0	33.0	6.0	3.0	3.0
	女性 n=130	9.2	21.5	41.5	8.5	13.8	5.4
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	20歳代 n=7	28.6	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0
	30歳代 n=20	15.0	20.0	30.0	10.0	25.0	0.0
	40歳代 n=48	16.7	20.8	29.2	12.5	16.7	4.2
	50歳代 n=47	14.9	34.0	36.2	8.5	6.4	0.0
	60歳代 n=54	11.1	31.5	46.3	5.6	1.9	3.7
	70歳以上 n=52	13.5	28.8	38.5	1.9	5.8	11.5
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 18 今後、地域や職場、家庭において、女性が活躍できる環境を作るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をお書きください。

地域や職場、家庭において、女性が活躍できる環境を作るため必要だと思うことについて、234 人から 270 件のご意見が寄せられました。「男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり」(108 件)や「活躍できる環境にの整備」(75 件)、「子育て支援の充実」(27 件)などが上位にあげられています。

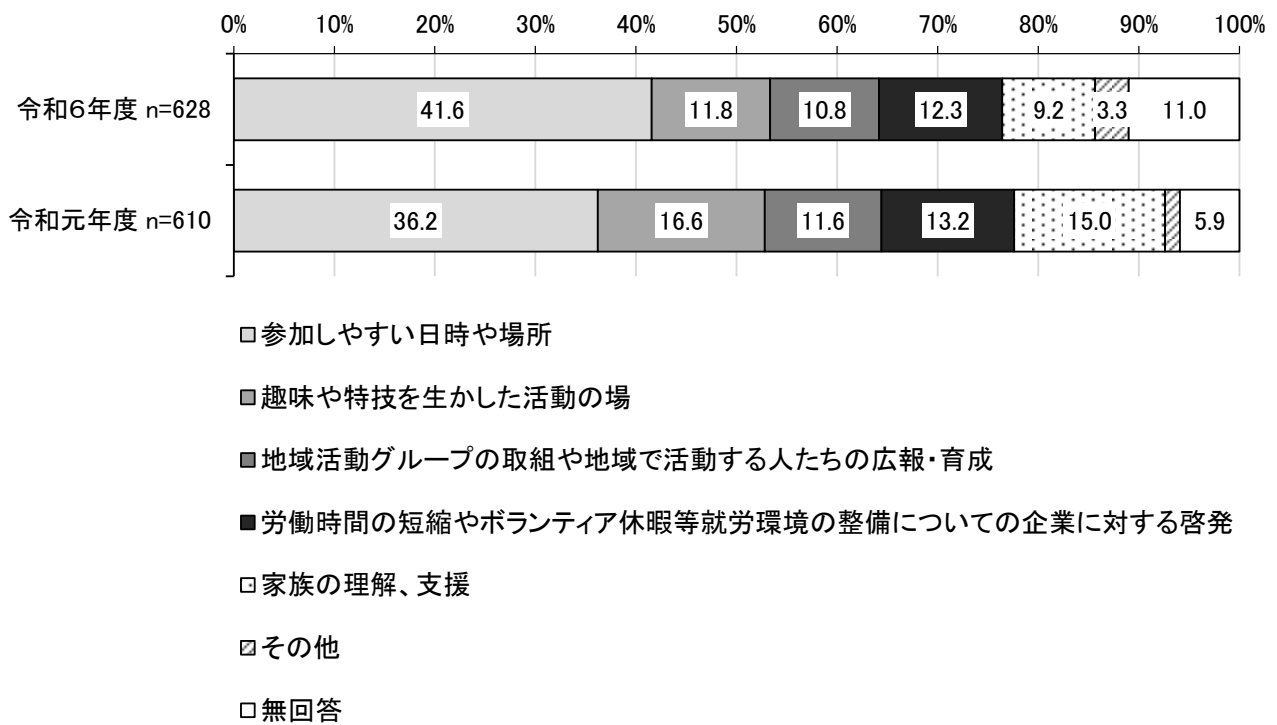
No.	内容	件数
1	男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり	108
2	活躍できる環境の整備	75
3	子育て支援の充実	27
4	ワークライフバランスの推進	16
5	地域活動への参画	12
6	法律や制度の見直し	10
7	賃金格差をなくす	6
8	サービスの活用	3
9	その他	13

※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

問 19 地域活動に男性も女性も共に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(SA)

地域活動に男性も女性も共に参加するために必要なことについては、「参加しやすい日時や場所」が41.6%で最も高く、次いで「労働時間の短縮やボランティア休暇等就労環境の整備についての企業に対する啓発」が12.3%、「趣味や特技を生かした活動の場」が11.8%となっています。

前回調査と比較して「参加しやすい日時や場所」が5.4ポイント増加しています。



※令和元年度調査では複数回答可の「3つまで」でしたが、選択肢が少ないこと、また特に必要だと思うものに絞るため、今回調査では単一回答「1つのみ」としています。また、構成比については、令和元年度調査で回答があった数値の合計が100.0となるよう按分して数値を算出しています。

性別にみると、男女ともに、「参加しやすい日時や場所」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代別にみると、20 歳代から 40 歳代で「労働時間の短縮やボランティア休暇等就労環境の整備についての企業に対する啓発」と回答した方の割合が約2割となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

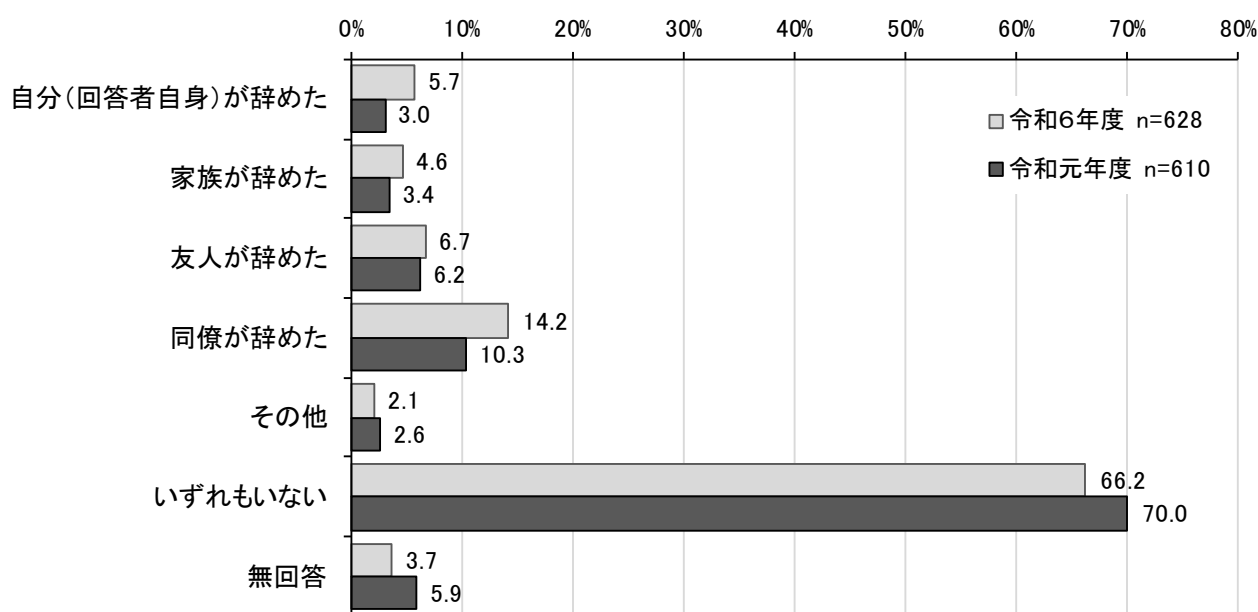
		参加しやすい日時や場所	趣味や特技を生かした活動の場	地域活動グループの取組や地域で活動する人たちの広報・育成	労働時間の短縮やボランティア休暇等就労環境の整備についての企業に対する啓発	家族の理解、支援	その他	無回答
全体 n=628		41.6	11.8	10.8	12.3	9.2	3.3	11.0
性別	男性 n=268	41.0	11.6	12.3	11.9	9.7	3.7	9.7
	女性 n=355	42.0	11.8	9.6	12.7	9.0	3.1	11.8
	無回答 n=5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	41.4	13.8	13.8	6.9	3.4	0.0	20.7
	20歳代 n=61	44.3	11.5	11.5	19.7	4.9	1.6	6.6
	30歳代 n=75	46.7	10.7	6.7	16.0	2.7	6.7	10.7
	40歳代 n=114	43.9	8.8	2.6	19.3	9.6	5.3	10.5
	50歳代 n=118	38.1	12.7	12.7	12.7	9.3	2.5	11.9
	60歳代 n=122	38.5	14.8	15.6	5.7	13.9	3.3	8.2
	70歳以上 n=108	41.7	10.2	13.9	6.5	12.0	1.9	13.9
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 老後・定年後についておたずねします

問 20 あなた、もしくはあなたの周りで両親等家族の介護を理由に仕事を辞めたことがある方はいますか。
(MA)

回答者自身や周りで両親等家族の介護を理由に仕事を辞めたことがある方がいるかについては、「いずれもない」が 66.2%で最も高く、次いで「同僚が辞めた」が 14.2%、「友人が辞めた」が 6.7%となっています。

前回調査と比較して「同僚が辞めた」が 3.9 ポイント増加しています。



性別にみると、男女ともに「いずれもない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代別にみると、50 歳代で「同僚が辞めた」と回答した方が 23.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

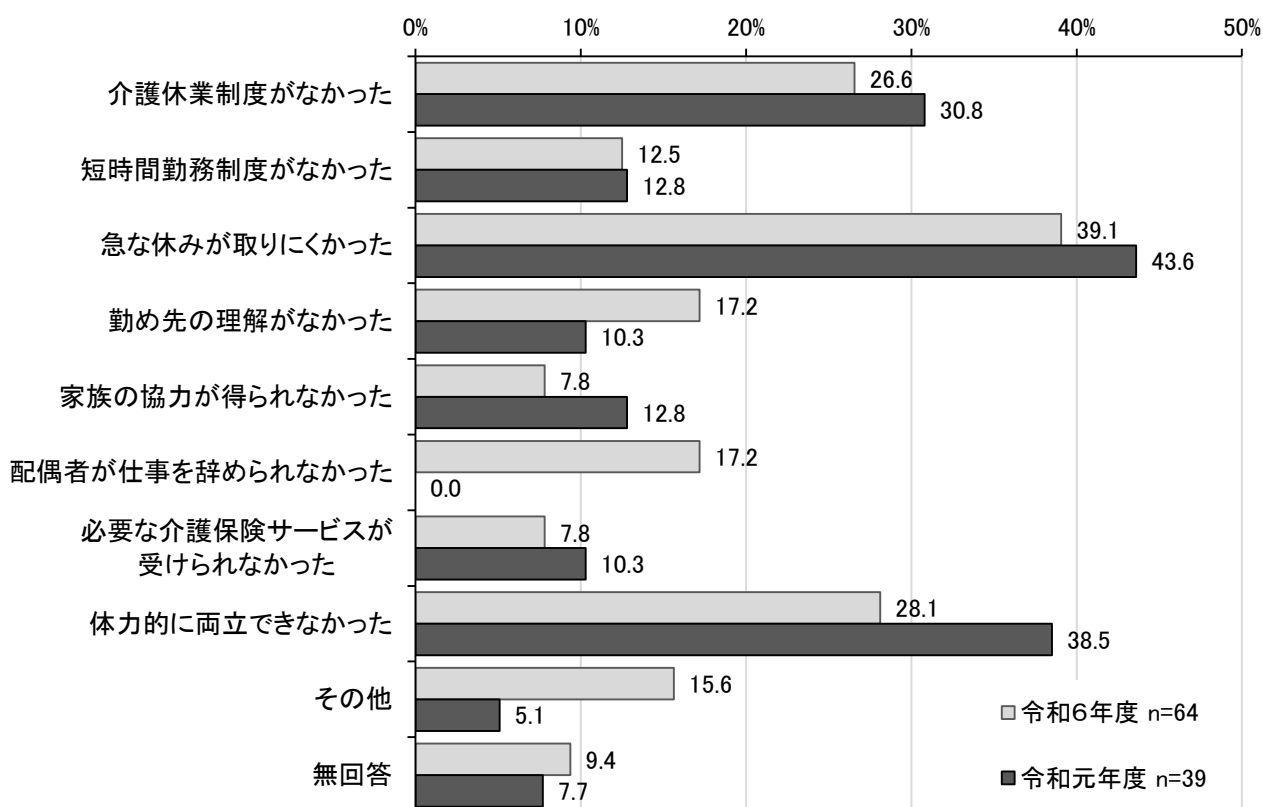
単位：％

		自分(回答者自身)が辞めた	家族が辞めた	友人が辞めた	同僚が辞めた	その他	いずれもない	無回答
全体 n=628		5.7	4.6	6.7	14.2	2.1	66.2	3.7
性別	男性 n=268	3.4	4.1	4.9	16.0	1.1	69.0	3.7
	女性 n=355	7.3	5.1	8.2	13.0	2.8	64.2	3.4
	無回答 n=5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	96.6	0.0
	20歳代 n=61	0.0	8.2	1.6	8.2	0.0	82.0	0.0
	30歳代 n=75	2.7	6.7	2.7	10.7	1.3	76.0	0.0
	40歳代 n=114	2.6	6.1	3.5	14.9	2.6	71.9	1.8
	50歳代 n=118	6.8	1.7	7.6	23.7	2.5	60.2	2.5
	60歳代 n=122	9.0	3.3	16.4	18.9	1.6	50.8	6.6
	70歳以上 n=108	11.1	5.6	4.6	7.4	3.7	60.2	9.3
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

**問 20-1 問 20 で「自分(回答者自身)が辞めた」「家族が辞めた」を選択した方
どのような理由から仕事を辞めましたか。(MA)**

仕事を辞めた理由については、「急な休みが取りにくかった」が 39.1%で最も高く、次いで「体力的に両立できなかった」が 28.1%、「介護休業制度がなかった」が 26.6%となっています。

前回調査と比較して「配偶者が仕事を辞められなかった」が 17.2 ポイント、「勤め先の理解がなかった」が 6.9 ポイント増加しています。



性別にみると、「急な休みがとりにくかった」と回答した方の割合は、男性は 30.0%である一方で、女性は 44.2%となっています、

年代別にみると、20 歳代で「配偶者が仕事を辞められなかった」と回答した方の割合が 40.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		介護休業 制度がな かった	短時間勤 務制度がな かった	急な休みが 取りにく かった	勤め先の理 解がなかつ た	家族の協 力が得られ なかった	配偶者が 仕事を辞め られなかつ た	必要な介護 保険サービ スが 受けられな かった	体力的に両 立できな かった
全体 n=64		26.6	12.5	39.1	17.2	7.8	17.2	7.8	28.1
性別	男性 n=20	30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	15.0	10.0	25.0
	女性 n=43	25.6	14.0	44.2	20.9	7.0	18.6	4.7	30.2
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳代 n=5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0
	30歳代 n=7	42.9	14.3	57.1	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6
	40歳代 n=10	20.0	20.0	40.0	30.0	10.0	20.0	20.0	50.0
	50歳代 n=10	20.0	20.0	60.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0
	60歳代 n=14	42.9	14.3	42.9	14.3	7.1	21.4	7.1	35.7
	70歳以上 n=18	11.1	0.0	22.2	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

		その他	無回答
全体 n=64		15.6	9.4
性別	男性 n=20	10.0	20.0
	女性 n=43	18.6	4.7
	無回答 n=1	0.0	0.0
	20歳未満 n=0	0.0	0.0
年代別	20歳代 n=5	0.0	0.0
	30歳代 n=7	0.0	0.0
	40歳代 n=10	30.0	0.0
	50歳代 n=10	20.0	0.0
	60歳代 n=14	21.4	0.0
	70歳以上 n=18	11.1	33.3
	無回答 n=0	0.0	0.0

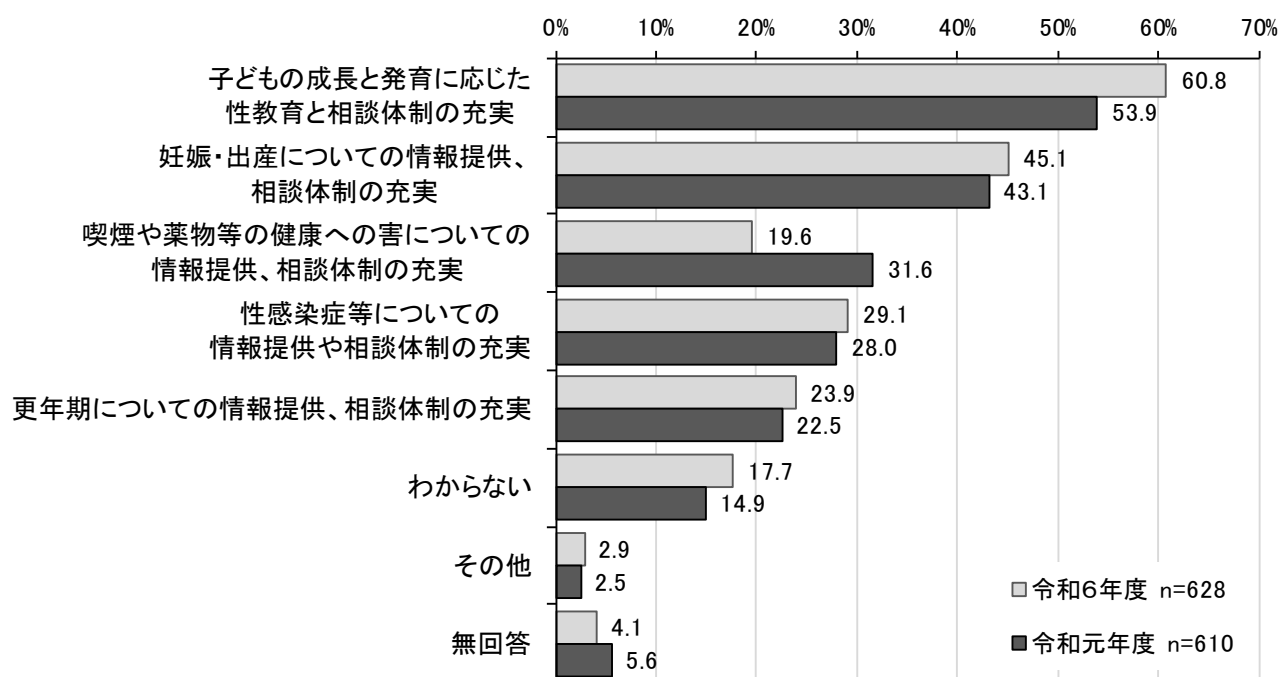
6. 健康についておたずねします

問 21 性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ)*に基づいて、女性が妊娠、避妊、中絶に関して自分で決めたり、自分の健康を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

*性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス／ライツ):生涯自分らしく健康に生きるために、自分のからだや性に関することを自分で決める権利のこと。

女性が妊娠、避妊、中絶に関して自分で決めたり、自分の健康を守るために必要なことについては、「子どもの成長と発育に応じた性教育と相談体制の充実」が 60.8%で最も高く、次いで「妊娠・出産についての情報提供、相談体制の充実」が 45.1%、「性感染症等についての情報提供や相談体制の充実」が 29.1%となっています。

前回調査と比較して「喫煙や薬物等の健康への害についての情報提供、相談体制の充実」が 12.0 ポイント減少しています。



性別にみると、「子供の成長と発育に応じた性教育と相談体制の充実」と回答した方の割合は、男性は51.5%である一方で、女性は67.6%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「更年期についての情報提供、相談体制の充実」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：%

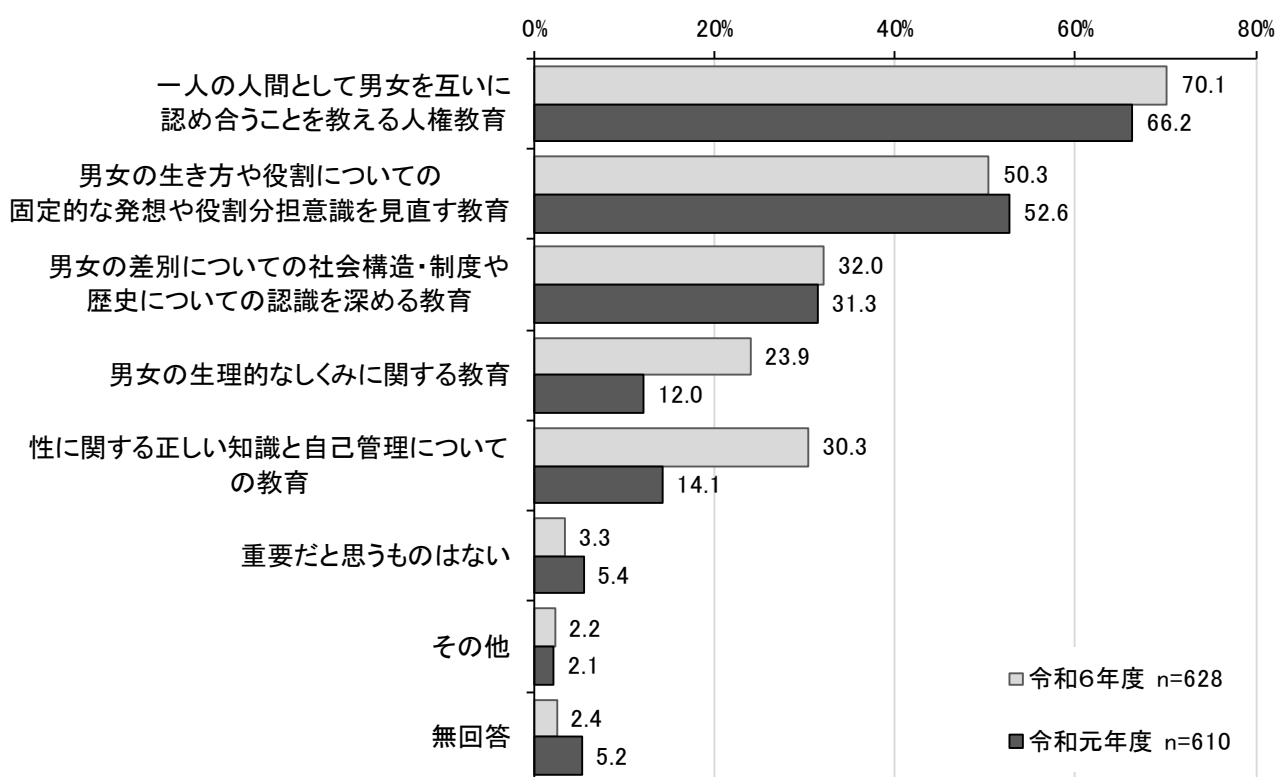
		子どもの成長と発育に応じた性教育と相談体制の充実	妊娠・出産についての情報提供、相談体制の充実	喫煙や薬物等の健康への害についての情報提供、相談体制の充実	性感染症等についての情報提供や相談体制の充実	更年期についての情報提供、相談体制の充実	わからない	その他	無回答
全体 n=628		60.8	45.1	19.6	29.1	23.9	17.7	2.9	4.1
性別	男性 n=268	51.5	40.3	19.4	25.7	22.4	26.1	2.2	5.2
	女性 n=355	67.6	49.3	19.7	31.8	24.8	11.5	3.4	3.1
	無回答 n=5	80.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	69.0	34.5	24.1	27.6	13.8	20.7	3.4	3.4
	20歳代 n=61	63.9	67.2	19.7	32.8	13.1	16.4	4.9	0.0
	30歳代 n=75	73.3	81.3	14.7	40.0	22.7	4.0	5.3	0.0
	40歳代 n=114	69.3	46.5	14.9	29.8	27.2	14.9	4.4	1.8
	50歳代 n=118	58.5	41.5	20.3	31.4	32.2	17.8	3.4	3.4
	60歳代 n=122	54.9	36.9	20.5	23.0	17.2	23.8	0.0	4.9
	70歳以上 n=108	48.1	22.2	24.1	24.1	28.7	23.1	0.9	12.0
	無回答 n=1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

7. 教育についておたずねします

問 22 男性も女性も共に輝く社会の形成のために行う教育の内容についてはどのようなことが重要だと思いますか。(MA)

男性も女性も共に輝く社会の形成のために行う教育の内容で重要だと思うことについては、「一人の人間として男女を互いに認め合うことを教える人権教育」が 70.1%で最も高く、次いで「男女の生き方や役割についての固定的な発想や役割分担意識を見直す教育」が 50.3%、「男女の差別についての社会構造・制度や歴史についての認識を深める教育」が 32.0%となっています。

前回調査と比較して「性に関する正しい知識と自己管理についての教育」が16.2 ポイント増加しています。



性別にみると、「一人の人間として男女を互いに認め合うことを教える人権教育」と回答した方の割合は、男性は 27.2%である一方で、女性は 32.7%となっています。

年代別にみると、20 歳未満を除き、年代が下がるにつれ「性に関する正しい知識と自己管理についての教育」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：%

		一人の人間として男女を互いに認め合うことを教える人権教育	男女の生き方や役割についての固定的な発想や役割分担意識を見直す教育	男女の差別についての社会構造・制度や歴史についての認識を深める教育	男女の生理的なしくみに関する教育	性に関する正しい知識と自己管理についての教育	重要だと思うものはない	その他	無回答
全体 n=628		70.1	50.3	32.0	23.9	30.3	3.3	2.2	2.4
性別	男性 n=268	68.3	47.8	35.1	24.3	27.2	5.2	2.2	2.2
	女性 n=355	71.5	52.7	29.9	23.9	32.7	2.0	2.3	2.3
	無回答 n=5	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	69.0	48.3	27.6	10.3	34.5	3.4	6.9	3.4
	20歳代 n=61	73.8	52.5	34.4	29.5	47.5	1.6	1.6	0.0
	30歳代 n=75	58.7	60.0	34.7	40.0	37.3	2.7	1.3	0.0
	40歳代 n=114	57.9	47.4	30.7	29.8	28.9	4.4	4.4	0.0
	50歳代 n=118	74.6	50.8	33.9	28.0	28.0	4.2	0.0	3.4
	60歳代 n=122	77.9	48.4	27.0	11.5	23.0	3.3	1.6	2.5
	70歳以上 n=108	75.0	48.1	35.2	16.7	26.9	2.8	2.8	6.5
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

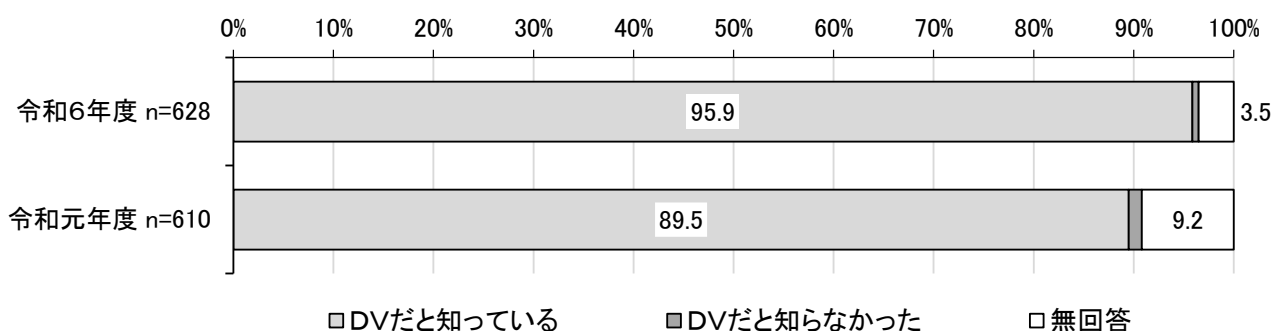
8. 男女の人権についておたずねします

問 23 あなたは次にあげる行為が、ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者や恋人等親密な関係にある(あった)パートナーからの暴力)にあたりと知っていますか。(SA)

①殴る、蹴る、物を投げつける

殴る、蹴る、物を投げつけることについては、「DVだと知っている」が95.9%、「DVだと知らなかった」が0.6%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が6.4ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では95.5%、女性では96.3%となっています。

年代別にみると、70歳以上を除き「DVだと知っている」と回答した方が9割を超えています。

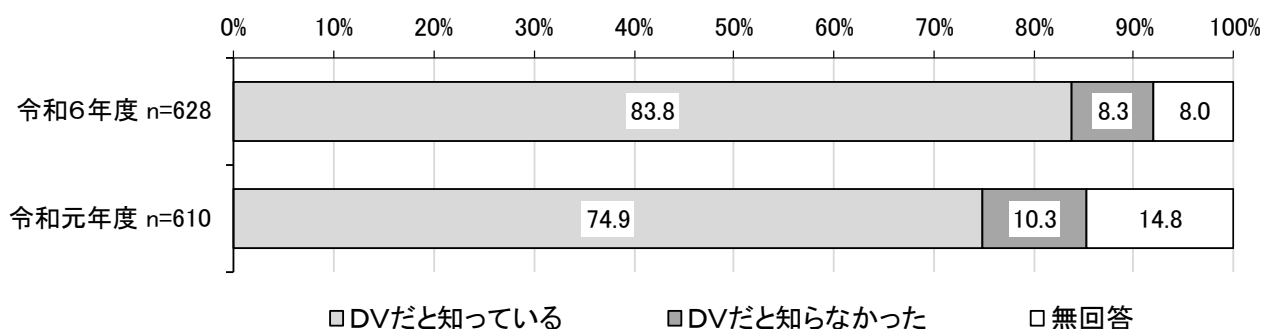
単位: %

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		95.9	0.6	3.5
性別	男性 n=268	95.5	0.4	4.1
	女性 n=355	96.3	0.8	2.8
	無回答 n=5	80.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	96.6	0.0	3.4
	20歳代 n=61	98.4	1.6	0.0
	30歳代 n=75	98.7	0.0	1.3
	40歳代 n=114	98.2	0.9	0.9
	50歳代 n=118	98.3	0.0	1.7
	60歳代 n=122	95.1	0.8	4.1
	70歳以上 n=108	88.0	0.9	11.1
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

②殴るそぶりや物を投げるそぶりをして脅す

殴るそぶりや物を投げるそぶりをして脅すことについては、「DVだと知っている」が 83.8%、「DVだと知らなかった」8.3%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 8.9 ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では 83.6%、女性では 84.2%となっています。

年代別にみると、20 歳未満、20 歳代、30 歳代で「DVだと知っている」と回答した方が9割を超えています。

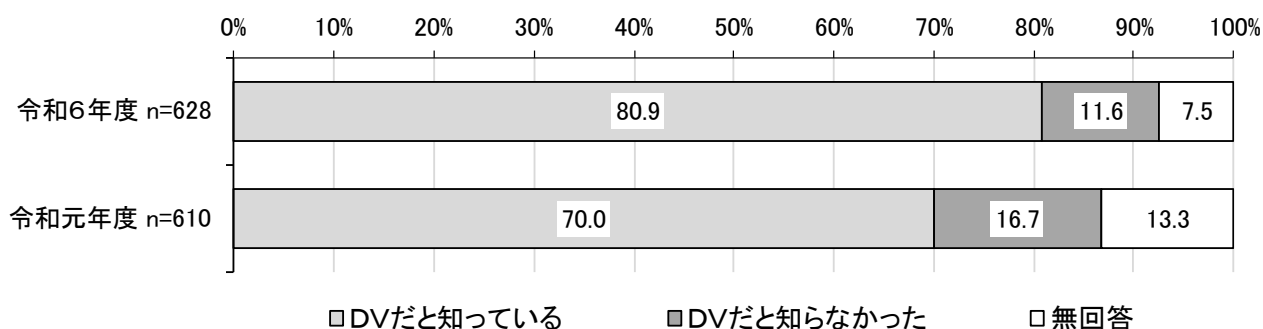
単位: %

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		83.8	8.3	8.0
性別	男性 n=268	83.6	8.2	8.2
	女性 n=355	84.2	8.5	7.3
	無回答 n=5	60.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	93.1	0.0	6.9
	20歳代 n=61	93.4	6.6	0.0
	30歳代 n=75	96.0	2.7	1.3
	40歳代 n=114	89.5	8.8	1.8
	50歳代 n=118	89.0	7.6	3.4
	60歳代 n=122	84.4	7.4	8.2
	70歳以上 n=108	54.6	16.7	28.7
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

③「誰に食わせてもらっているんだ」などと言う

「誰に食わせてもらっているんだ」などと言うことについては、「DVだと知っている」が 80.9%、「DVだと知らなかった」が 11.6%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 10.9 ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では 80.6%、女性では 81.4%となっています。

年代別にみると、20 歳代、30 歳代で「DVだと知っている」と回答した方が9割を超えています。

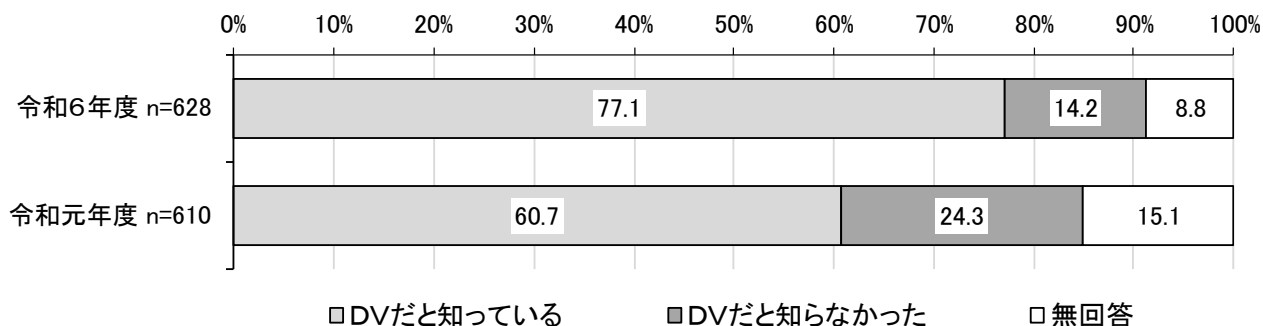
単位: %

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		80.9	11.6	7.5
性別	男性 n=268	80.6	11.2	8.2
	女性 n=355	81.4	12.1	6.5
	無回答 n=5	60.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	72.4	20.7	6.9
	20歳代 n=61	93.4	6.6	0.0
	30歳代 n=75	90.7	9.3	0.0
	40歳代 n=114	85.1	12.3	2.6
	50歳代 n=118	86.4	11.0	2.5
	60歳代 n=122	82.0	9.8	8.2
	70歳以上 n=108	57.4	15.7	26.9
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

④避妊に協力しない

避妊に協力しないことについては、「DVだと知っている」が 77.1%、「DVだと知らなかった」が 14.2%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 16.4 ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では 75.7%、女性では 78.6%となっています。

年代別にみると、70 歳以上で「DVだと知っている」と回答した方の割合が 48.1%となっており、他の年代と比較して低くなっています。

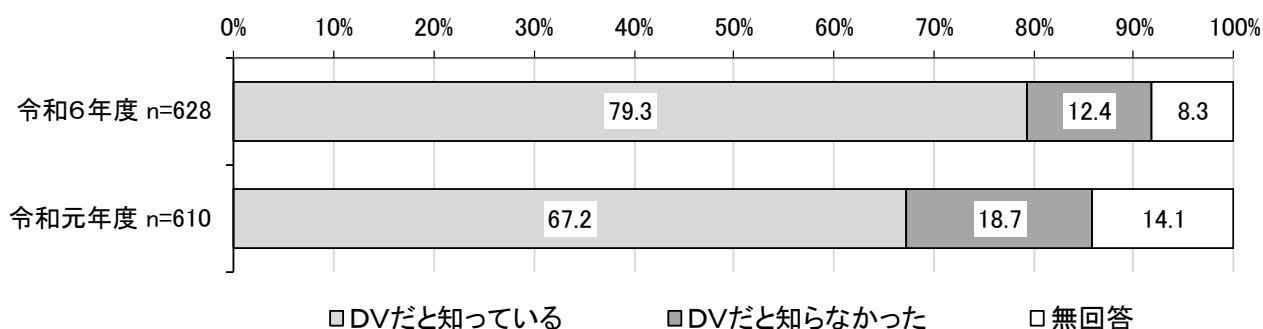
単位: %

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		77.1	14.2	8.8
性別	男性 n=268	75.7	14.6	9.7
	女性 n=355	78.6	13.8	7.6
	無回答 n=5	40.0	20.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	79.3	13.8	6.9
	20歳代 n=61	88.5	11.5	0.0
	30歳代 n=75	88.0	10.7	1.3
	40歳代 n=114	87.7	9.6	2.6
	50歳代 n=118	82.2	15.3	2.5
	60歳代 n=122	74.6	16.4	9.0
	70歳以上 n=108	48.1	19.4	32.4
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

⑤生活費を渡さない

生活費を渡さないことについては、「DVだと知っている」が 79.3%、「DVだと知らなかった」が 12.4%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 12.1 ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では 80.2%、女性では 78.9%となっています。

年代別にみると、20 歳未満、70 歳以上を除き「DVだと知っている」と回答した方の割合が 8 割を超えています。

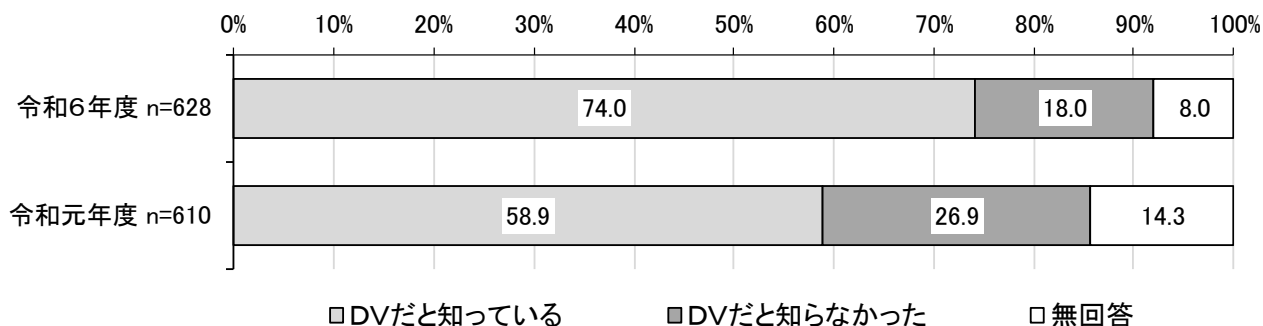
単位: %

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		79.3	12.4	8.3
性別	男性 n=268	80.2	10.4	9.3
	女性 n=355	78.9	14.1	7.0
	無回答 n=5	60.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	65.5	27.6	6.9
	20歳代 n=61	85.2	14.8	0.0
	30歳代 n=75	86.7	12.0	1.3
	40歳代 n=114	86.8	10.5	2.6
	50歳代 n=118	83.9	12.7	3.4
	60歳代 n=122	82.8	9.8	7.4
	70歳以上 n=108	57.4	12.0	30.6
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

⑥働きに行かせない

働きに行かせないことについては、「DVだと知っている」が 74.0%、「DVだと知らなかった」が 18.0%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 15.1 ポイント増加しています。



性別にみると、「DV だと知っている」と回答した方の割合は、男性では 71.6%、女性では 76.1%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「DV だと知らなかった」と回答した方の割合が 31.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

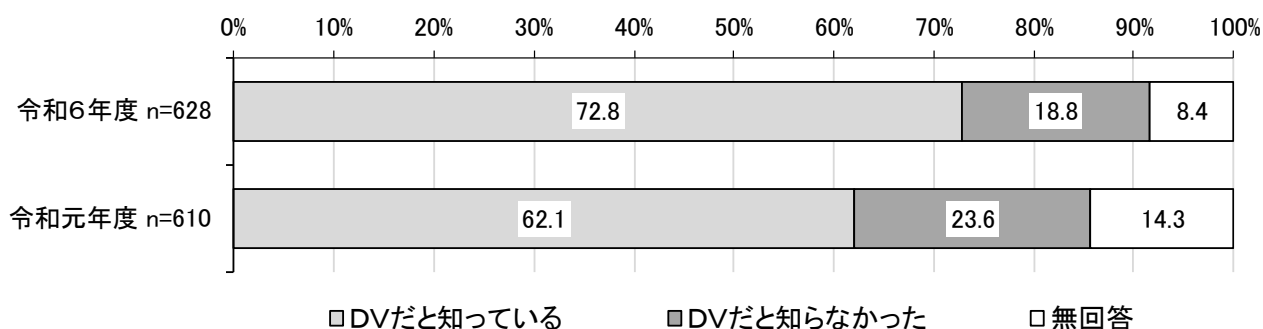
単位: %

		DVだと 知っている	DVだと 知らな かった	無回答
全体 n=628		74.0	18.0	8.0
性別	男性 n=268	71.6	19.8	8.6
	女性 n=355	76.1	16.6	7.3
	無回答 n=5	60.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	65.5	31.0	3.4
	20歳代 n=61	83.6	16.4	0.0
	30歳代 n=75	81.3	17.3	1.3
	40歳代 n=114	82.5	14.9	2.6
	50歳代 n=118	75.4	20.3	4.2
	60歳代 n=122	75.4	17.2	7.4
	70歳以上 n=108	53.7	17.6	28.7
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

⑦外出や電話・メール・SNS を細かくチェックする

外出や電話・メール・SNS を細かくチェックすることについては、「DVだと知っている」が 72.8%、「DVだと知らなかった」が 18.8%となっています。

前回調査と比較して「DVだと知っている」が 10.7 ポイント増加しています。



性別にみると、「DVだと知っている」と回答した方の割合は、男性では 73.5%、女性では 72.4%となっています。

年代別にみると、20歳未満で「DVだと知らなかった」と回答した方の割合が 37.9%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

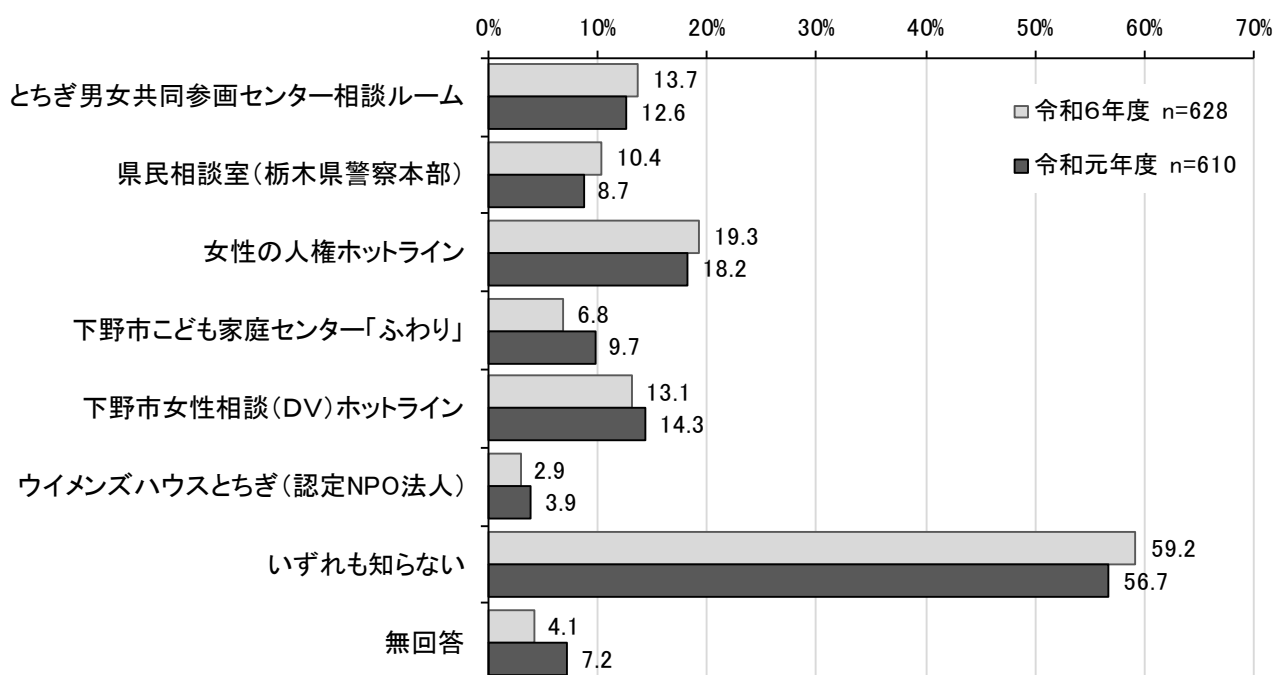
単位：%

		DVだと知っている	DVだと知らなかった	無回答
全体 n=628		72.8	18.8	8.4
性別	男性 n=268	73.5	16.8	9.7
	女性 n=355	72.4	20.6	7.0
	無回答 n=5	60.0	0.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	55.2	37.9	6.9
	20歳代 n=61	75.4	24.6	0.0
	30歳代 n=75	72.0	28.0	0.0
	40歳代 n=114	75.4	21.9	2.6
	50歳代 n=118	80.5	15.3	4.2
	60歳代 n=122	80.3	11.5	8.2
	70歳以上 n=108	56.5	13.0	30.6
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

問 24 以下は、ドメスティック・バイオレンスについて無料で相談できる窓口です。あなたの知っているものはありますか。(MA)

DVについて無料で相談できる窓口として知っているものについては、「いずれも知らない」が59.2%で最も高く、次いで「女性の人権ホットライン」が19.3%、「とちぎ男女共同参画センター相談ルーム」が13.7%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



性別にみると、「女性の人権ホットライン」と回答した方の割合は、男性は 10.4%である一方で、女性は 26.2%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「とちぎ男女共同参画センター相談ルーム」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

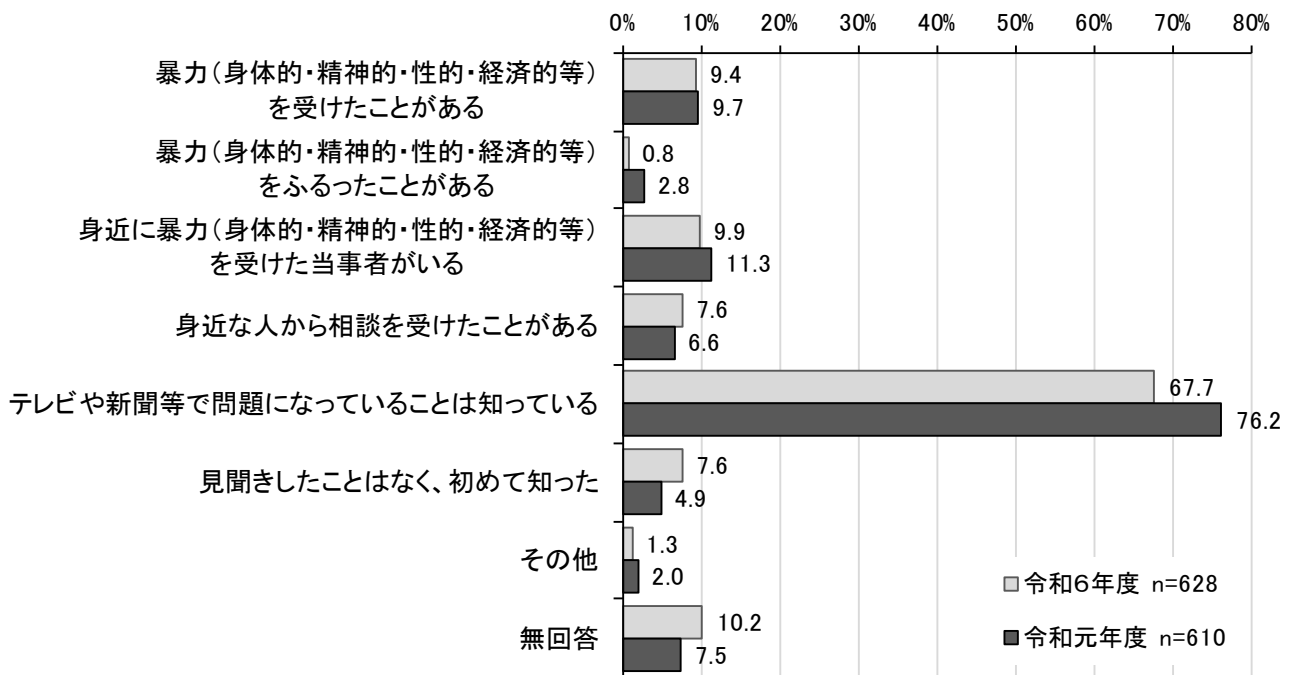
単位：%

		とちぎ男女 共同参画セ ンター相談 ルーム	県民相談 室(栃木県 警察本部)	女性の人 権ホットラ イン	下野市こど も家庭セン ター「ふわ り」	下野市女 性相談(D V)ホットラ イン	ウイメンズ ハウスとち ぎ(認定 NPO法人)	いずれも知 らない	無回答
全体 n=628		13.7	10.4	19.3	6.8	13.1	2.9	59.2	4.1
性別	男性 n=268	10.8	11.6	10.4	3.4	7.1	0.4	70.1	3.7
	女性 n=355	15.8	9.6	26.2	9.6	17.7	4.8	51.0	4.2
	無回答 n=5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	6.9	10.3	20.7	0.0	6.9	0.0	69.0	3.4
	20歳代 n=61	6.6	6.6	14.8	4.9	11.5	1.6	68.9	0.0
	30歳代 n=75	9.3	10.7	20.0	13.3	13.3	4.0	64.0	1.3
	40歳代 n=114	14.0	4.4	20.2	7.9	19.3	5.3	59.6	1.8
	50歳代 n=118	15.3	9.3	29.7	4.2	16.1	4.2	52.5	4.2
	60歳代 n=122	18.9	13.1	18.0	5.7	9.0	1.6	59.8	3.3
	70歳以上 n=108	14.8	16.7	10.2	8.3	10.2	0.9	53.7	12.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 25 あなたは、ドメスティック・バイオレンスを経験したり、身近で見聞きたりしたことがありますか。
(MA)

DVを経験したり、身近で見聞きたりしたことがあるかについては、「テレビや新聞等で問題になっていることは知っている」が 67.7%で最も高く、次いで「身近に暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けた当事者がいる」が 9.9%、「暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある」が 9.4%となっています。

前回調査と比較して「テレビや新聞等で問題になっていることは知っている」が 8.5 ポイント減少しています。



性別にみると、「暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある」と回答した方の割合は、男性は 4.5%である一方で、女性は 13.0%となっています。

年代別にみると、30 歳代で「身近な人から相談を受けたことがある」と回答した方の割合は 14.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

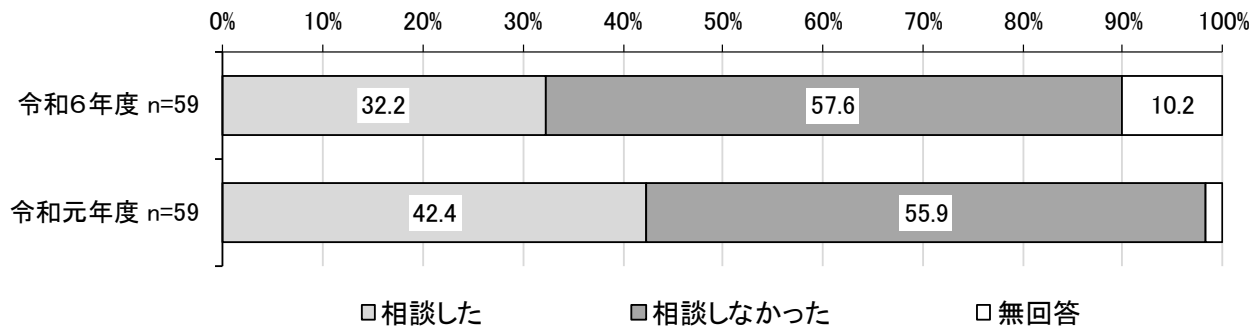
		暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある	暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)をふりつたことがある	身近に暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けた当事者がいる	身近な人から相談を受けたことがある	テレビや新聞等で問題になっていることは知っている	見聞きしたことはなく、初めて知った	その他	無回答
全体 n=628		9.4	0.8	9.9	7.6	67.7	7.6	1.3	10.2
性別	男性 n=268	4.5	1.5	8.2	5.2	69.4	10.8	1.1	9.0
	女性 n=355	13.0	0.3	11.3	9.6	66.2	5.4	1.4	11.0
	無回答 n=5	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	3.4	3.4	75.9	10.3	0.0	10.3
	20歳代 n=61	13.1	1.6	3.3	3.3	80.3	6.6	0.0	3.3
	30歳代 n=75	2.7	0.0	16.0	14.7	62.7	12.0	1.3	8.0
	40歳代 n=114	12.3	0.0	7.0	7.0	63.2	8.8	2.6	8.8
	50歳代 n=118	9.3	0.8	13.6	6.8	68.6	10.2	0.8	6.8
	60歳代 n=122	13.1	0.0	15.6	10.7	63.9	4.9	0.0	12.3
	70歳以上 n=108	7.4	2.8	3.7	4.6	69.4	3.7	2.8	18.5
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 25-1 問 25 で「暴力(身体的・精神的・性的・経済的等)を受けたことがある」を選択した方

あなたはドメスティック・バイオレンスを受けたとき、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。
(SA)

DVを受けた際に、誰かに打ち明けたり相談したりしたかについては、「相談した」が 32.2%、「相談しなかった」が 57.6%となっています。

前回調査と比較して「相談した」が 10.2 ポイント減少しています。



性別にみると、「相談した」と回答した方の割合は、男性は 0.0%である一方で、女性は 39.1%となっています。

年代別にみると、30 歳代で「相談した」と回答した方の割合が 50.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

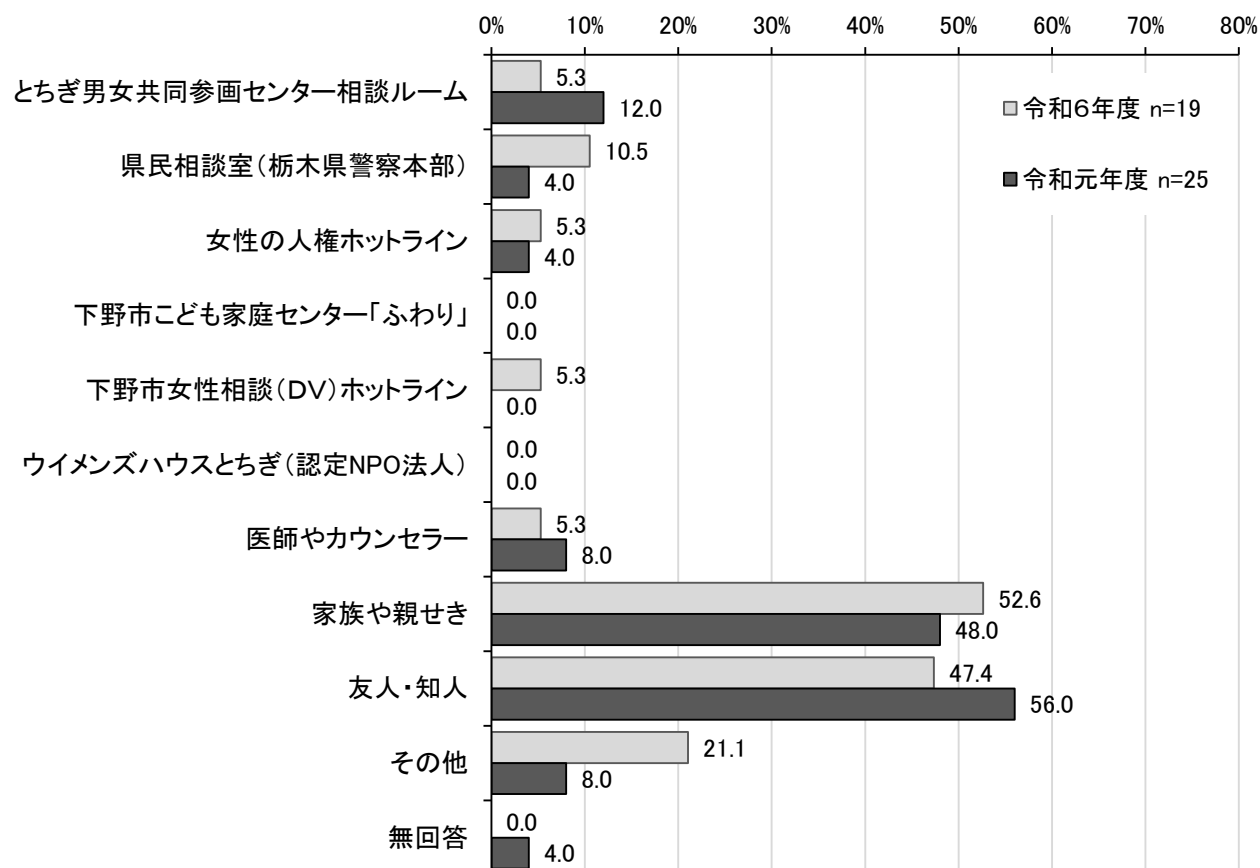
		相談した	相談しなかった	無回答
全体 n=59		32.2	57.6	10.2
性別	男性 n=12	0.0	83.3	16.7
	女性 n=46	39.1	52.2	8.7
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=8	37.5	62.5	0.0
	30歳代 n=2	50.0	50.0	0.0
	40歳代 n=14	28.6	71.4	0.0
	50歳代 n=11	36.4	54.5	9.1
	60歳代 n=16	37.5	50.0	12.5
	70歳以上 n=8	12.5	50.0	37.5
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0

問 25-2 問 25-1 で「相談した」を選択した方

あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて、どこ(だれ)に相談しましたか。(MA)

DV について相談したと回答した方の相談先については、「家族や親せき」が 52.6%で最も高く、次いで「友人・知人」が 47.4%、「県民相談室(栃木県警察本部)」が 10.5%となっています。

前回調査と比較して「友人・知人」が 8.6 ポイント減少しています。



* n値が少数のため性別と年代別の比較は省略。

単位：％

		とちぎ男女 共同参画セ ンター相談 ルーム	県民相談 室(栃木県 警察本部)	女性の人 権ホットラ イン	下野市こど も家庭セン ター「ふわ り」	下野市女 性相談(D V)ホットラ イン	ウイメンズ ハウスとち ぎ(認定 NPO法人)	医師やカウ ンセラー	家族や親 せき
全体 n=19		5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	52.6
性別	男性 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 n=18	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	55.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	30歳代 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	40歳代 n=4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	50歳代 n=4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	60歳代 n=6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7
	70歳以上 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

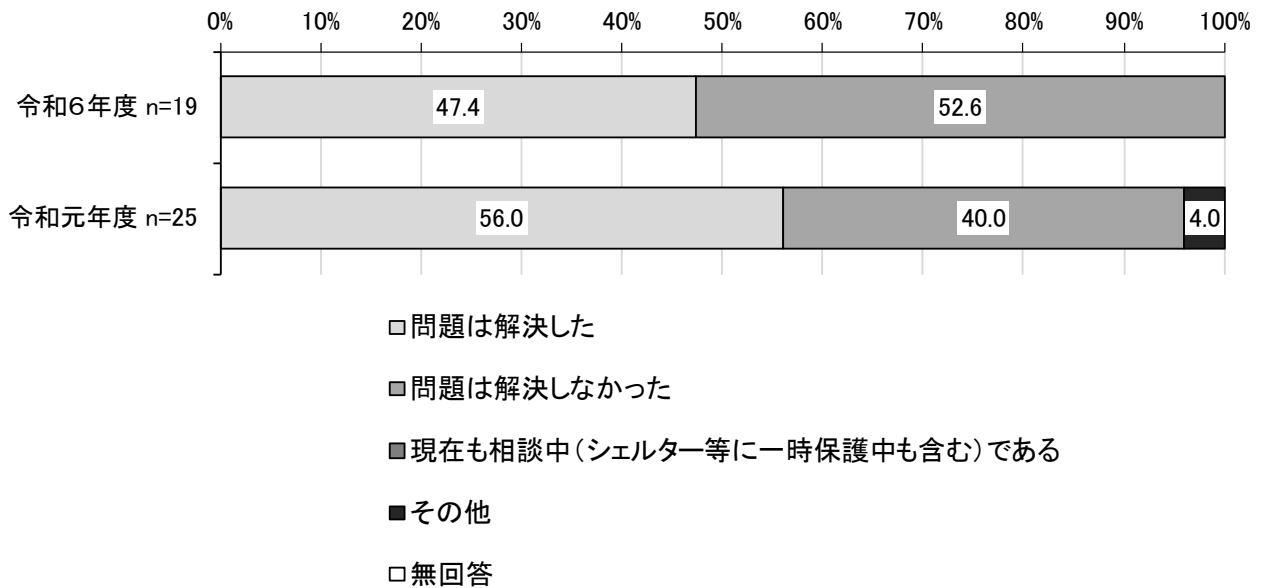
		友人・知人	その他	無回答
全体 n=19		47.4	21.1	78.9
性別	男性 n=0	0.0	0.0	0.0
	女性 n=18	44.4	22.2	77.8
	無回答 n=1	100.0	0.0	100.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=3	33.3	0.0	66.7
	30歳代 n=1	0.0	0.0	100.0
	40歳代 n=4	50.0	25.0	50.0
	50歳代 n=4	50.0	75.0	75.0
	60歳代 n=6	66.7	0.0	100.0
	70歳以上 n=1	0.0	0.0	100.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0

問 25-3 問 25-1 で「相談した」を選択した方

あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて、誰かに打ち明けたり相談したことにより、その問題は解決しましたか。(SA)

DV について相談したことで問題が解決したかについては、「問題は解決しなかった」が 52.6%で最も高く、次いで「問題は解決した」が 47.4%となっています。

前回調査と比較して「問題は解決しなかった」が 12.6 ポイント増加しています。



* n値が少数のため性別と年代別の比較は省略。

単位: %

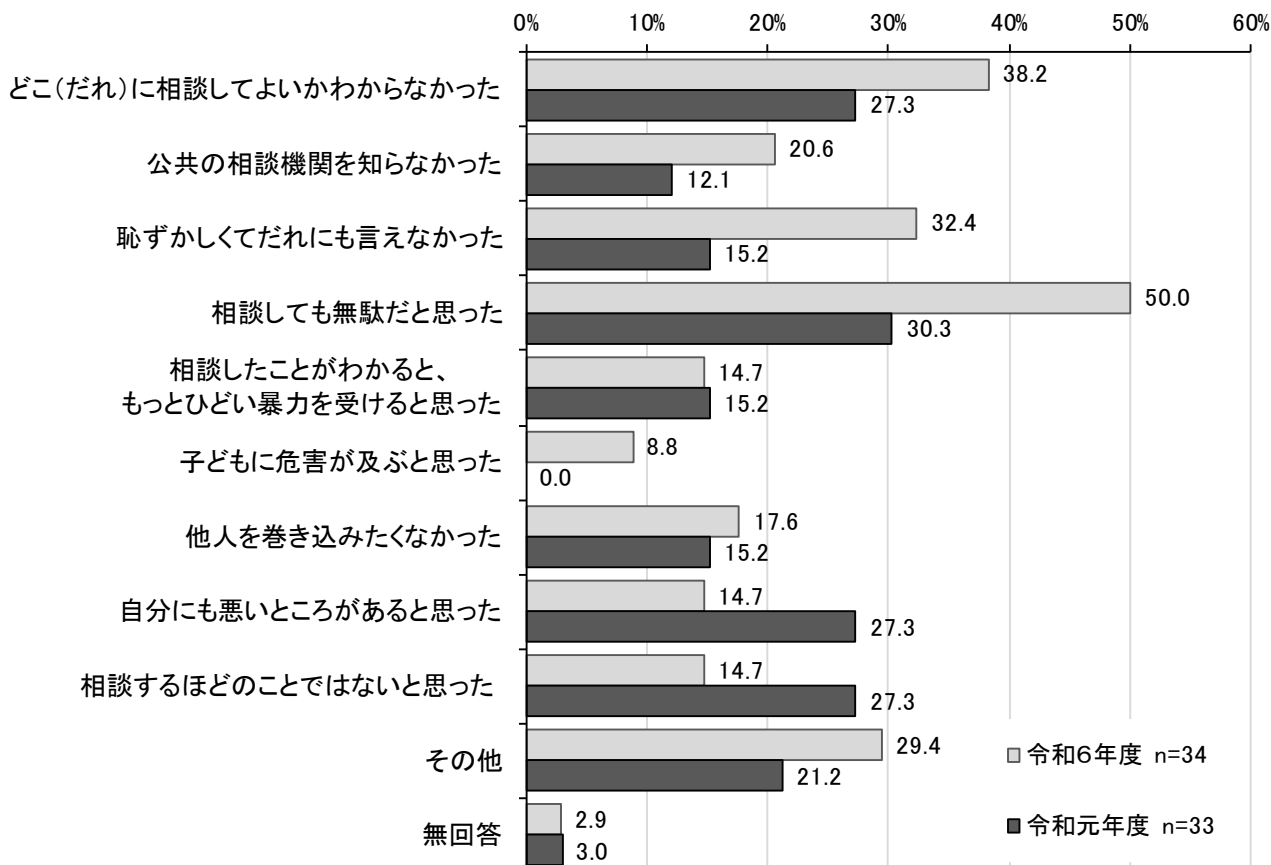
		問題は解決した	問題は解決しなかった	現在も相談中(シェルター等に一時保護中も含む)である	その他	無回答
全体 n=19		47.4	52.6	0.0	0.0	0.0
性別	男性 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 n=18	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 n=4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代 n=4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代 n=6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	70歳以上 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 25-4 問 25-1 で「相談しなかった」を選択した方

あなたはドメスティック・バイオレンスを受けたとき、誰かに打ち明けたり相談したりしなかったのは、なぜですか。(MA)

DVを受けたとき、誰かに打ち明けたり相談しなかった理由については、「相談しても無駄だと思った」が 50.0%で最も高く、次いで「どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった」が 38.2%、「恥ずかしくてだれにも言えなかった」が 32.4%となっています。

前回調査と比較して「相談しても無駄だと思った」が 19.7 ポイント増加しています。



* n値が少数のため、性別と年代別での比較は省略。

単位：％

		どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった	公共の相談機関を知らなかった	恥ずかしくてだれにも言えなかった	相談しても無駄だと思った	相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思った	子どもに危害が及ぶと思った	他人を巻き込みたくなかった	自分にも悪いところがあったと思った
全体 n=34		38.2	20.6	32.4	50.0	14.7	8.8	17.6	14.7
性別	男性 n=10	50.0	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	20.0	20.0
	女性 n=24	33.3	16.7	37.5	54.2	16.7	12.5	16.7	12.5
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=5	40.0	20.0	40.0	60.0	60.0	0.0	60.0	0.0
	30歳代 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	40歳代 n=10	40.0	10.0	20.0	60.0	10.0	0.0	20.0	10.0
	50歳代 n=6	16.7	16.7	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	60歳代 n=8	62.5	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5	12.5	37.5
	70歳以上 n=4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

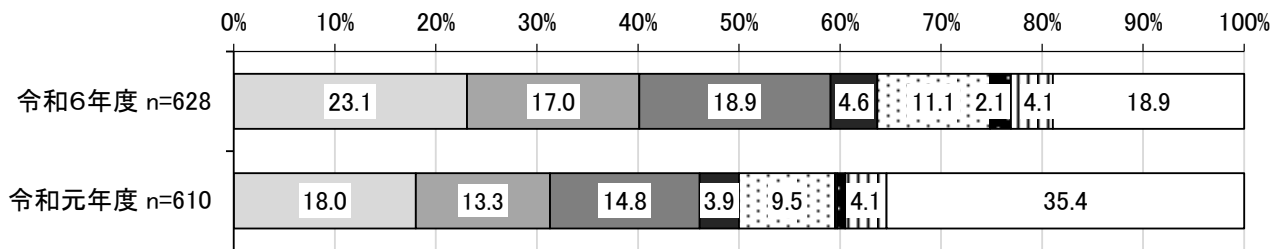
単位：％

		相談するほどのことではないと思った	その他	無回答
全体 n=34		14.7	29.4	2.9
性別	男性 n=10	30.0	40.0	0.0
	女性 n=24	8.3	25.0	4.2
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 n=5	0.0	20.0	0.0
	30歳代 n=1	100.0	0.0	0.0
	40歳代 n=10	10.0	20.0	10.0
	50歳代 n=6	0.0	50.0	0.0
	60歳代 n=8	37.5	12.5	0.0
	70歳以上 n=4	0.0	75.0	0.0
	無回答 n=0	0.0	0.0	0.0

問 26 ドメスティック・バイオレンスを防ぐため、どのような取組がもっとも重要だと思いますか。(SA)

DVを防ぐために重要だと思う取組については、「被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる」が23.1%で最も高く、次いで「被害者が家庭内のことを打ち明けられる相談体制を整備する」が18.9%、「家庭・学校における人権やDVについての教育を充実させる」が17.0%となっています。

前回調査と比較して「被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる」が5.1ポイント増加しています。



□被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる

▨家庭・学校における人権やDVについての教育を充実させる

▨被害者が家庭内のことを打ち明けられる相談体制を整備する

■加害者に対するカウンセリングやサポートを充実させる

□被害から逃れるための一時保護施設を設ける

▨特に対応する必要はない

■その他

▨わからない

□無回答

性別にみると、男女ともに「被害者が援助を求めやすくするため、情報提供体制を充実させる」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代別にみると、20歳代、70歳以上で「被害者が家庭内のことを打ち明けられる相談体制を整備する」と回答した方の割合は2割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

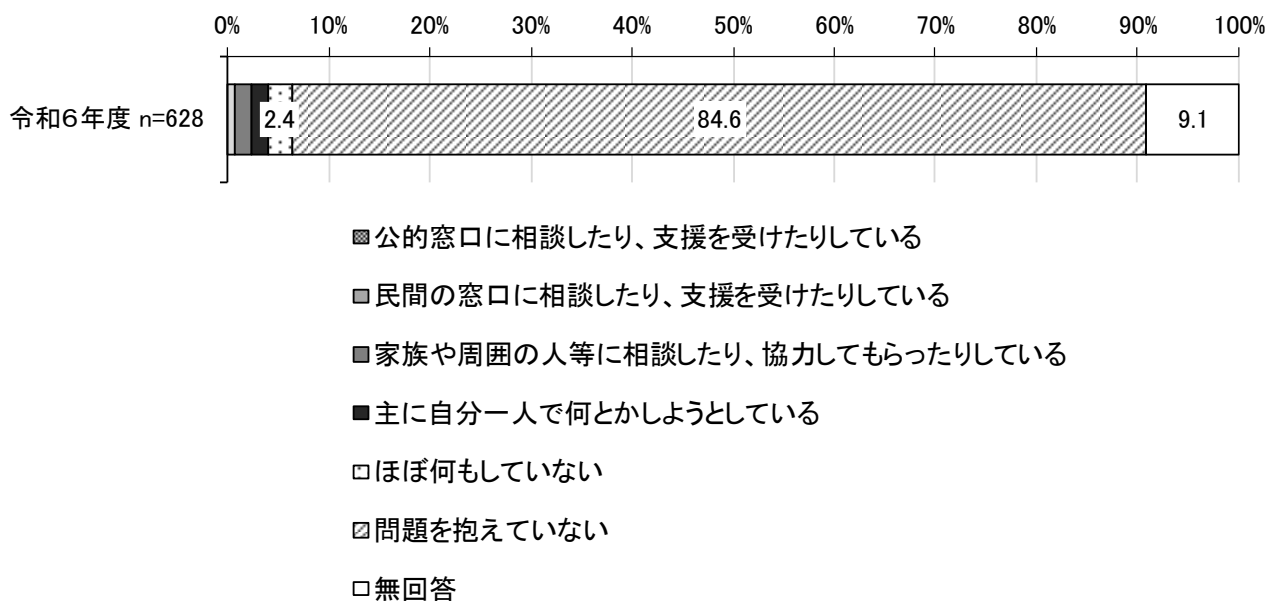
		被害者が 援助を求め やすくする ため、情報 提供体制を 充実させる	家庭・学校 における人 権やDVに ついての教 育を充実さ せる	被害者が 家庭内のこ とを打ち明 けられる相 談体制を整 備する	加害者に対 するカウン セリングや サポートを 充実させる	被害から逃 れるための 一時保護 施設を設け る	特に対応す る必要は ない	その他	わからない	無回答
全体 n=628		23.1	17.0	18.9	4.6	11.1	0.0	2.1	4.1	18.9
性別	男性 n=268	27.2	17.2	18.7	3.0	9.7	0.0	3.0	4.1	17.2
	女性 n=355	20.3	17.2	18.3	5.9	12.4	0.0	1.4	4.2	20.3
	無回答 n=5	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	31.0	13.8	10.3	0.0	13.8	0.0	0.0	3.4	27.6
	20歳代 n=61	19.7	16.4	23.0	9.8	18.0	0.0	1.6	1.6	9.8
	30歳代 n=75	30.7	17.3	17.3	4.0	13.3	0.0	2.7	2.7	12.0
	40歳代 n=114	23.7	18.4	16.7	6.1	7.0	0.0	3.5	2.6	21.9
	50歳代 n=118	25.4	16.9	17.8	3.4	10.2	0.0	2.5	5.9	17.8
	60歳代 n=122	22.1	18.9	18.9	4.1	9.8	0.0	1.6	5.7	18.9
	70歳以上 n=108	15.7	14.8	23.1	3.7	12.0	0.0	0.9	4.6	25.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9. 生活上の困難な問題についておたずねします

問 27 あなたが抱える困難への対応状況について該当する選択肢を選んでください。(SA)

①DV 被害

DV 被害については、「問題を抱えていない」が 84.6%で最も高く、次いで「ほぼ何もしていない」が 2.4%、「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が 1.8%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

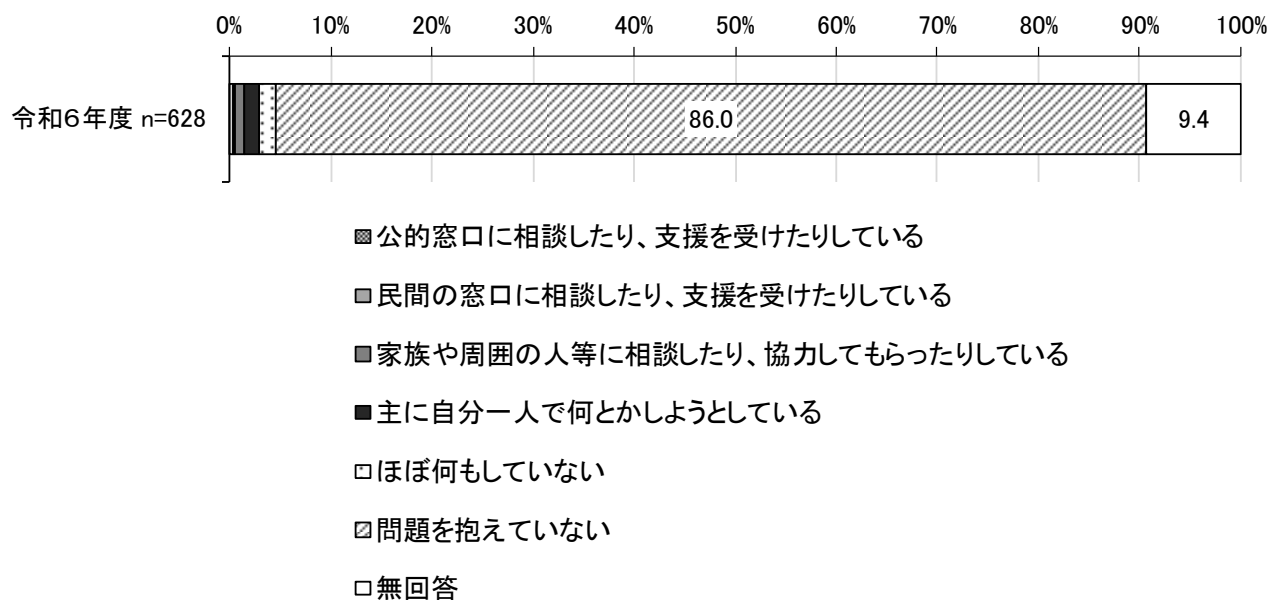
年代別にみても、すべての年代で「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位：％

		公的窓口 に相談し たり、支 援を受け たりして いる	民間の窓 口に相談 したり、 支援を受 けたりし ている	家族や周 囲の人等 に相談し たり、協 力してもら ったりし ている	主に自分 一人では 何とかし ようとし ている	ほぼ何も していな い	問題を抱 えていな い	無回答
全体 n=628		0.6	0.0	1.8	1.6	2.4	84.6	9.1
性別	男性 n=268	1.1	0.0	0.4	1.1	2.2	85.4	9.7
	女性 n=355	0.3	0.0	2.8	1.7	2.5	84.2	8.5
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6	3.4
	20歳代 n=61	1.6	0.0	0.0	1.6	3.3	93.4	0.0
	30歳代 n=75	1.3	0.0	2.7	0.0	1.3	93.3	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.0	0.9	0.9	3.5	92.1	2.6
	50歳代 n=118	0.8	0.0	1.7	2.5	3.4	85.6	5.9
	60歳代 n=122	0.8	0.0	3.3	1.6	2.5	81.1	10.7
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	1.9	2.8	0.9	64.8	29.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

②暴力被害

暴力被害については、「問題を抱えていない」が 86.0%で最も高く、次いで「ほぼ何もしていない」が 1.8%、「主に自分一人で何とかしようとしている」が 1.4%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

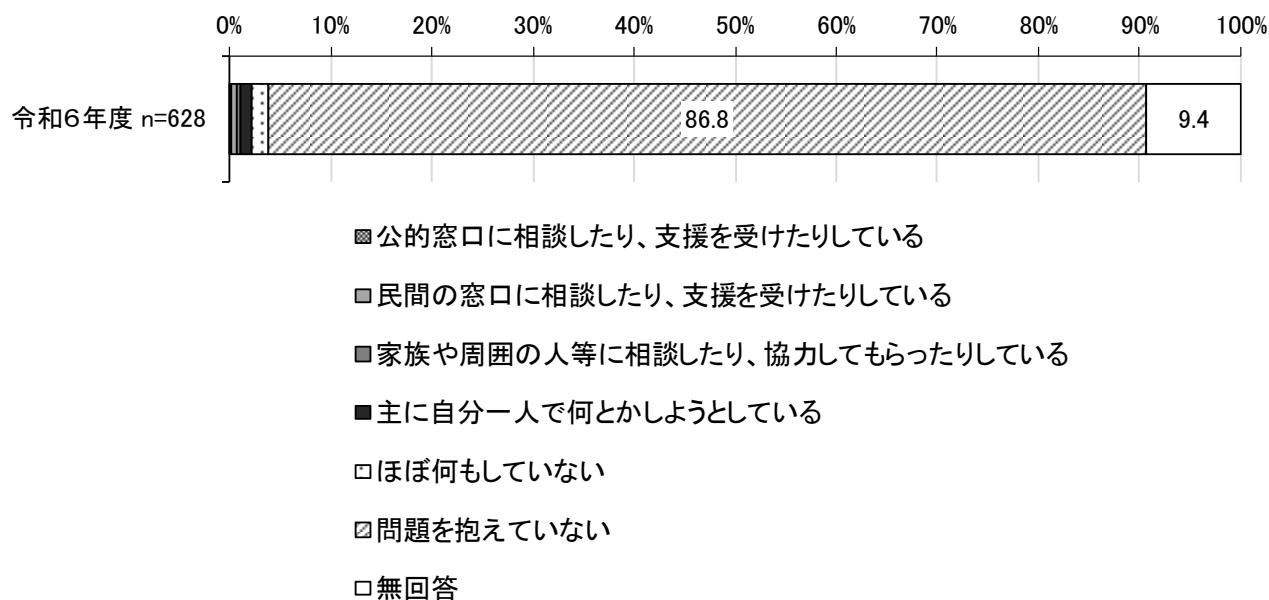
年代別にみても、すべての年代で「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位：％

		公的窓口 に相談し たり、支 援を受 けたり している	民間の 窓口 に相談 したり、 支援を 受け たりし ている	家族や 周囲の 人等に 相談し たり、 協力し てもら ったり している	主に自 分一人 で何と かして いる	ほぼ何 もし てい ない	問題を 抱えて いない	無回答
全体 n=628		0.3	0.2	1.0	1.4	1.8	86.0	9.4
性別	男性 n=268	0.7	0.4	0.7	0.7	2.6	84.7	10.1
	女性 n=355	0.0	0.0	1.1	1.7	1.1	87.3	8.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6	3.4
	20歳代 n=61	0.0	1.6	0.0	1.6	1.6	95.1	0.0
	30歳代 n=75	1.3	0.0	2.7	0.0	1.3	93.3	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	94.7	2.6
	50歳代 n=118	0.0	0.0	0.0	2.5	1.7	88.1	7.6
	60歳代 n=122	0.8	0.0	2.5	1.6	1.6	82.8	10.7
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	0.9	2.8	1.9	64.8	29.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

③性被害

性被害については、「問題を抱えていない」が 86.8%で最も高く、次いで「ほぼ何もしていない」が 1.6%、「主に自分一人で何とかしようとしている」が 1.1%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

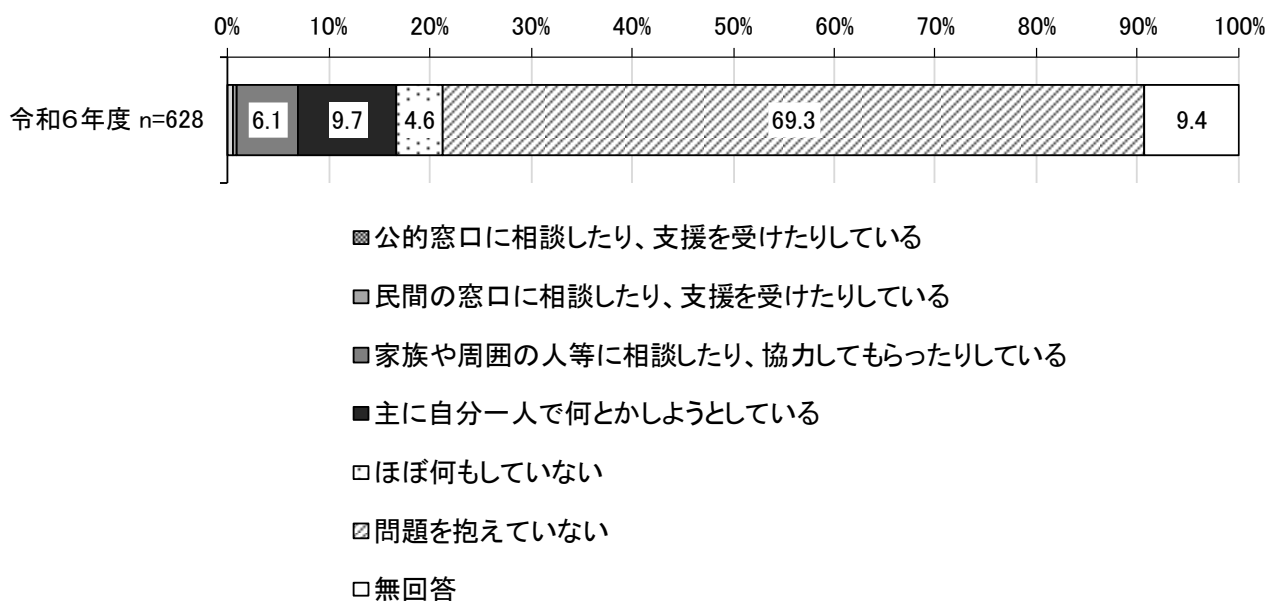
年代別にみても、すべての年代で「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位：％

		公的窓口 に相談し たり、支 援を受 けたり している	民間の 窓口に 相談し たり、 支援 を受け たりし ている	家族や 周囲の 人等に 相談し たり、 協力し てもら った りして いる	主に自 分一人 で何と かして いる	ほぼ何 もし てい ない	問題を 抱えて いない	無回答
全体 n=628		0.2	0.5	0.5	1.1	1.6	86.8	9.4
性別	男性 n=268	0.4	0.7	0.4	0.7	2.6	85.1	10.1
	女性 n=355	0.0	0.3	0.6	1.4	0.8	88.2	8.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6	3.4
	20歳代 n=61	0.0	1.6	0.0	3.3	1.6	93.4	0.0
	30歳代 n=75	0.0	1.3	2.7	0.0	1.3	93.3	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	95.6	2.6
	50歳代 n=118	0.0	0.0	0.0	1.7	0.8	89.8	7.6
	60歳代 n=122	0.8	0.8	0.0	0.0	1.6	86.1	10.7
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	0.9	2.8	2.8	63.9	29.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

④生活問題・就労問題

生活問題・就労問題については、「問題を抱えていない」が69.3%で最も高く、次いで「主に自分一人で何とかしようとしている」が9.7%、「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が6.1%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

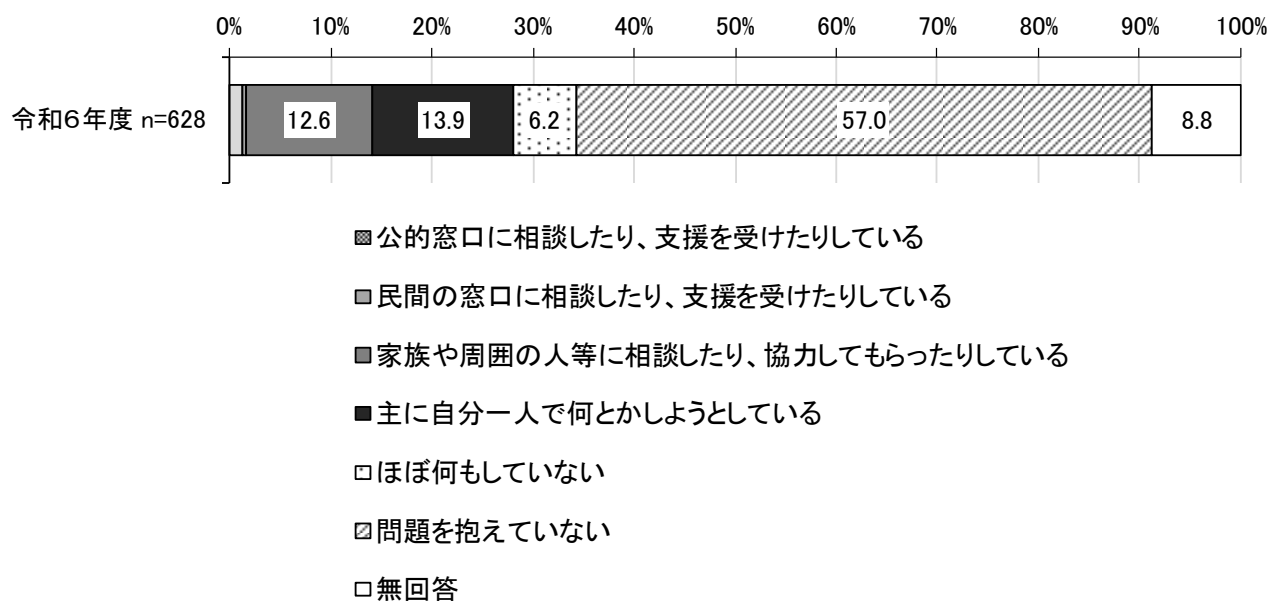
年代別にみると、30 歳代で「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」と回答した方の割合は 10.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		公的窓口に 相談したり、支援を 受けたりしている	民間の窓 口に相談し たり、支援 を受けたり している	家族や周 囲の人等に 相談した り、協力し てもらった りしている	主に自分一 人で何とか しようとし ている	ほぼ何もし ていない	問題を抱え ていない	無回答
全体 n=628		0.5	0.5	6.1	9.7	4.6	69.3	9.4
性別	男性 n=268	0.7	0.4	4.5	9.7	8.2	66.8	9.7
	女性 n=355	0.3	0.6	7.3	9.9	2.0	71.0	9.0
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	93.1	3.4
	20歳代 n=61	0.0	0.0	3.3	11.5	3.3	82.0	0.0
	30歳代 n=75	1.3	1.3	10.7	16.0	4.0	65.3	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.0	6.1	12.3	1.8	77.2	2.6
	50歳代 n=118	0.8	0.8	7.6	9.3	7.6	67.8	5.9
	60歳代 n=122	0.8	0.8	6.6	9.8	6.6	65.6	9.8
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	2.8	4.6	4.6	55.6	32.4
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑤健康問題

健康問題については、「問題を抱えていない」が 57.0%で最も高く、次いで「主に自分一人で何とかしようとしている」が 13.9%、「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が 12.6%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

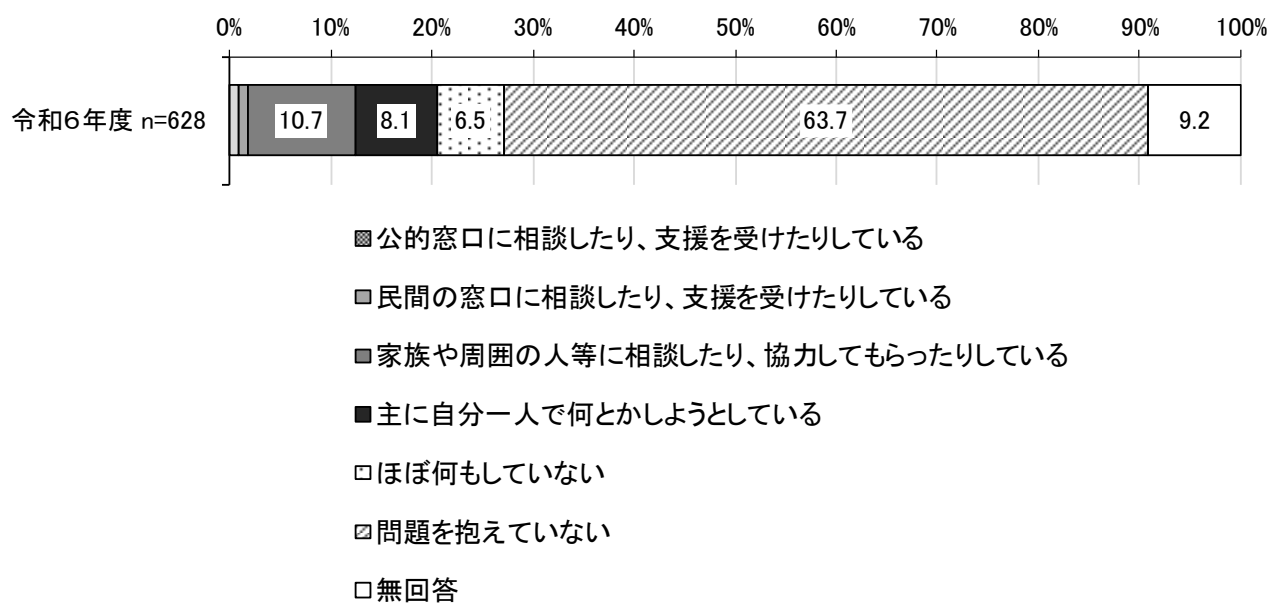
年代別にみると、年代が上がるにつれ「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

		公的窓口に 相談したり、支援を 受けたりしている	民間の窓 口に相談し たり、支援 を受けたり している	家族や周 囲の人等に 相談した り、協力し てもらった りしている	主に自分一 人で何とか しようとし ている	ほぼ何もし ていない	問題を抱え ていない	無回答
全体 n=628		1.3	0.3	12.6	13.9	6.2	57.0	8.8
性別	男性 n=268	0.7	0.4	10.4	15.3	9.0	55.2	9.0
	女性 n=355	1.4	0.3	14.4	13.0	4.2	58.3	8.5
	無回答 n=5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	93.1	3.4
	20歳代 n=61	0.0	0.0	8.2	8.2	4.9	78.7	0.0
	30歳代 n=75	2.7	0.0	12.0	17.3	6.7	60.0	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.9	12.3	18.4	5.3	60.5	2.6
	50歳代 n=118	1.7	0.0	14.4	14.4	9.3	52.5	7.6
	60歳代 n=122	2.5	0.8	13.9	14.8	8.2	51.6	8.2
	70歳以上 n=108	0.9	0.0	15.7	12.0	2.8	39.8	28.7
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑥家庭問題

家庭問題については、「問題を抱えていない」が 63.7%で最も高く、次いで「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が 10.7%、「主に自分一人で何とかしようとしている」が 8.1%となっています。



性別にみると、「ほぼ何もしていない」と回答した方の割合は、男性は 10.1%である一方で、女性は 3.9%となっています。

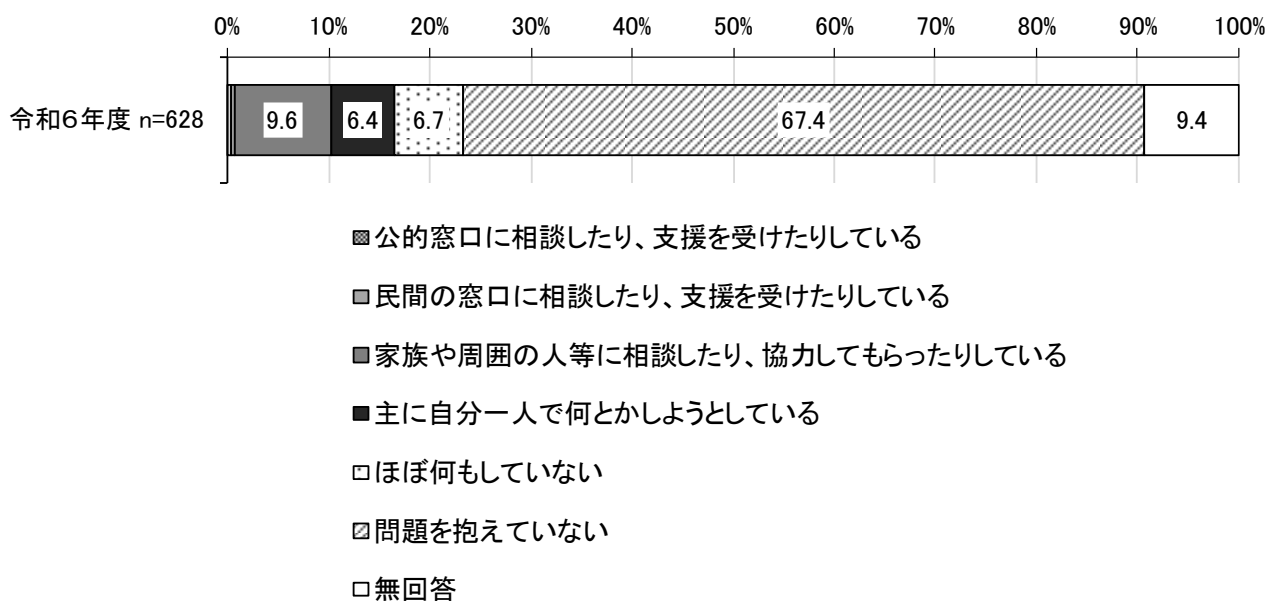
年代別にみると、70 歳以上で「問題を抱えていない」と回答した方の割合は 47.2%となっており、他の年代と比較して低くなっています。

単位：%

		公的窓口に 相談したり、支援を 受けたりしている	民間の窓 口に相談し たり、支援 を受けたり している	家族や周 囲の人等に 相談したり、協力し てもらったりしている	主に自分一 人で何とか しようとして いる	ほぼ何もし ていない	問題を抱え ていない	無回答
全体 n=628		1.0	0.8	10.7	8.1	6.5	63.7	9.2
性別	男性 n=268	1.5	1.1	8.6	8.2	10.1	60.8	9.7
	女性 n=355	0.6	0.6	12.4	8.2	3.9	65.6	8.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	93.1	3.4
	20歳代 n=61	0.0	0.0	4.9	4.9	4.9	85.2	0.0
	30歳代 n=75	1.3	2.7	12.0	12.0	5.3	65.3	1.3
	40歳代 n=114	0.0	1.8	15.8	8.8	9.6	62.3	1.8
	50歳代 n=118	1.7	0.0	11.9	6.8	5.1	66.1	8.5
	60歳代 n=122	2.5	0.0	11.5	9.0	9.0	58.2	9.8
	70歳以上 n=108	0.0	0.9	8.3	8.3	5.6	47.2	29.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑦職場・地域等との関係

職場・地域等との関係については、「問題を抱えていない」が67.4%で最も高く、次いで「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が9.6%、「ほぼ何もしていない」が6.7%となっています。



性別にみると、「ほぼ何もしていない」と回答した方の割合は、男性は 10.4%である一方で、女性は 3.7%となっています。

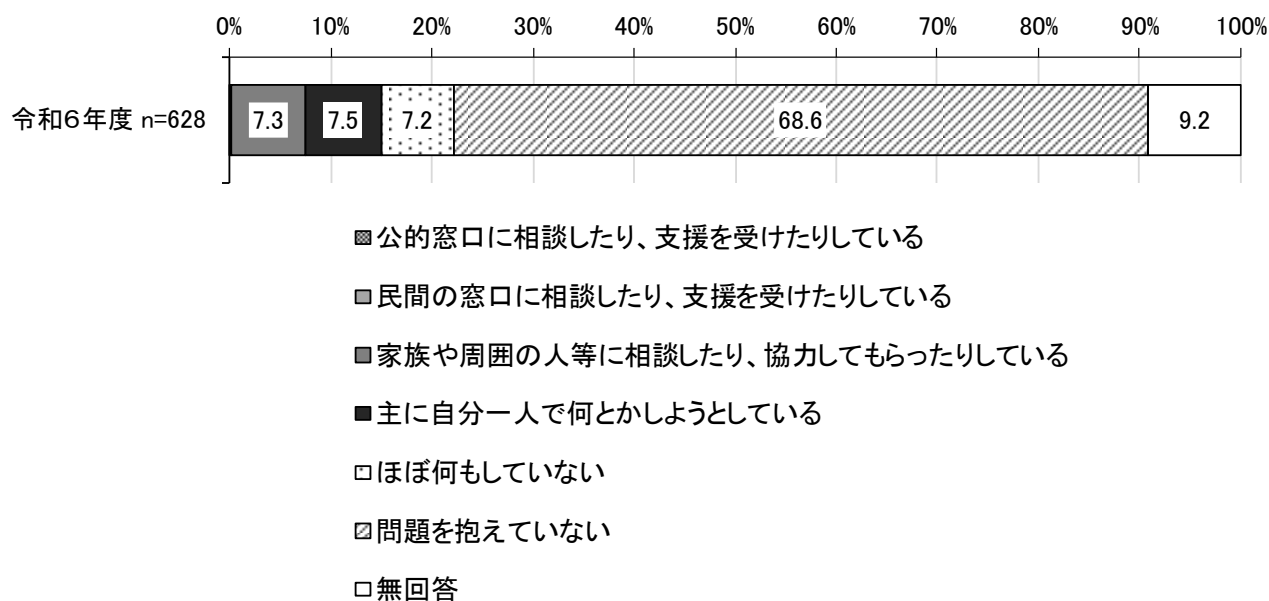
年代別にみると、30 歳代、40 歳代で「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」と回答した方の割合は1割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		公的窓口に 相談したり、支援を 受けたりしている	民間の窓 口に相談し たり、支援 を受けたり している	家族や周 囲の人等に 相談したり、協力し てもらったりしている	主に自分一 人で何とか しようとして いる	ほぼ何もし ていない	問題を抱え ていない	無回答
全体 n=628		0.3	0.3	9.6	6.4	6.7	67.4	9.4
性別	男性 n=268	0.4	0.0	7.5	6.7	10.4	64.9	10.1
	女性 n=355	0.3	0.6	11.3	6.2	3.7	69.3	8.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	89.7	3.4
	20歳代 n=61	1.6	0.0	9.8	0.0	6.6	82.0	0.0
	30歳代 n=75	1.3	0.0	18.7	8.0	6.7	64.0	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.9	14.0	9.6	4.4	68.4	2.6
	50歳代 n=118	0.0	0.0	7.6	5.1	14.4	65.3	7.6
	60歳代 n=122	0.0	0.8	5.7	9.8	5.7	68.0	9.8
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	6.5	3.7	3.7	55.6	30.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑧住まい・居場所に関する問題

住まい・居場所に関する問題については、「問題を抱えていない」が 68.6%で最も高く、次いで「主に自分一人で何とかしようとしている」が 7.5%、「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」が 7.3%となっています。



性別にみると、「ほぼ何もしていない」と回答した方の割合は、男性は 11.9%である一方で、女性は 3.7%となっています。

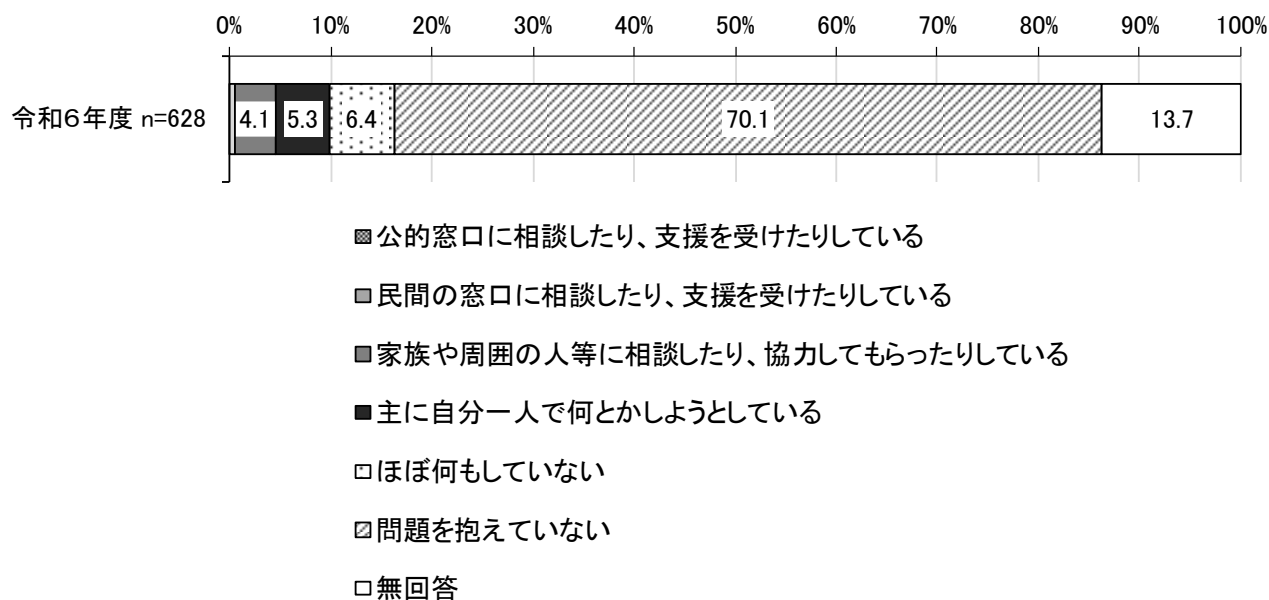
年代別にみると、30 歳代で「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」と回答した方の割合は 16.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

		公的窓口 に相談し たり、支 援を受け たりして いる	民間の窓 口に相談 したり、 支援を受 けたりし ている	家族や周 囲の人等 に相談し たり、協 力してもら ったりし ている	主に自分 一人で何 とかがし ようとし ている	ほぼ何も していな い	問題を抱 えていな い	無回答
全体 n=628		0.2	0.0	7.3	7.5	7.2	68.6	9.2
性別	男性 n=268	0.4	0.0	5.2	8.2	11.9	64.9	9.3
	女性 n=355	0.0	0.0	9.0	7.0	3.7	71.3	9.0
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	93.1	3.4
	20歳代 n=61	0.0	0.0	4.9	6.6	6.6	82.0	0.0
	30歳代 n=75	0.0	0.0	16.0	10.7	8.0	64.0	1.3
	40歳代 n=114	0.0	0.0	9.6	8.8	7.0	71.9	2.6
	50歳代 n=118	0.0	0.0	3.4	9.3	10.2	69.5	7.6
	60歳代 n=122	0.8	0.0	7.4	5.7	9.0	68.0	9.0
	70歳以上 n=108	0.0	0.0	6.5	6.5	2.8	53.7	30.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑨その他の問題

その他の問題については、「問題を抱えていない」が 70.1%で最も高く、次いで「ほぼ何もしていない」が 6.4%、「主に自分一人で何とかしようとしている」が 5.3%となっています。



性別にみると、男女ともに「問題を抱えていない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

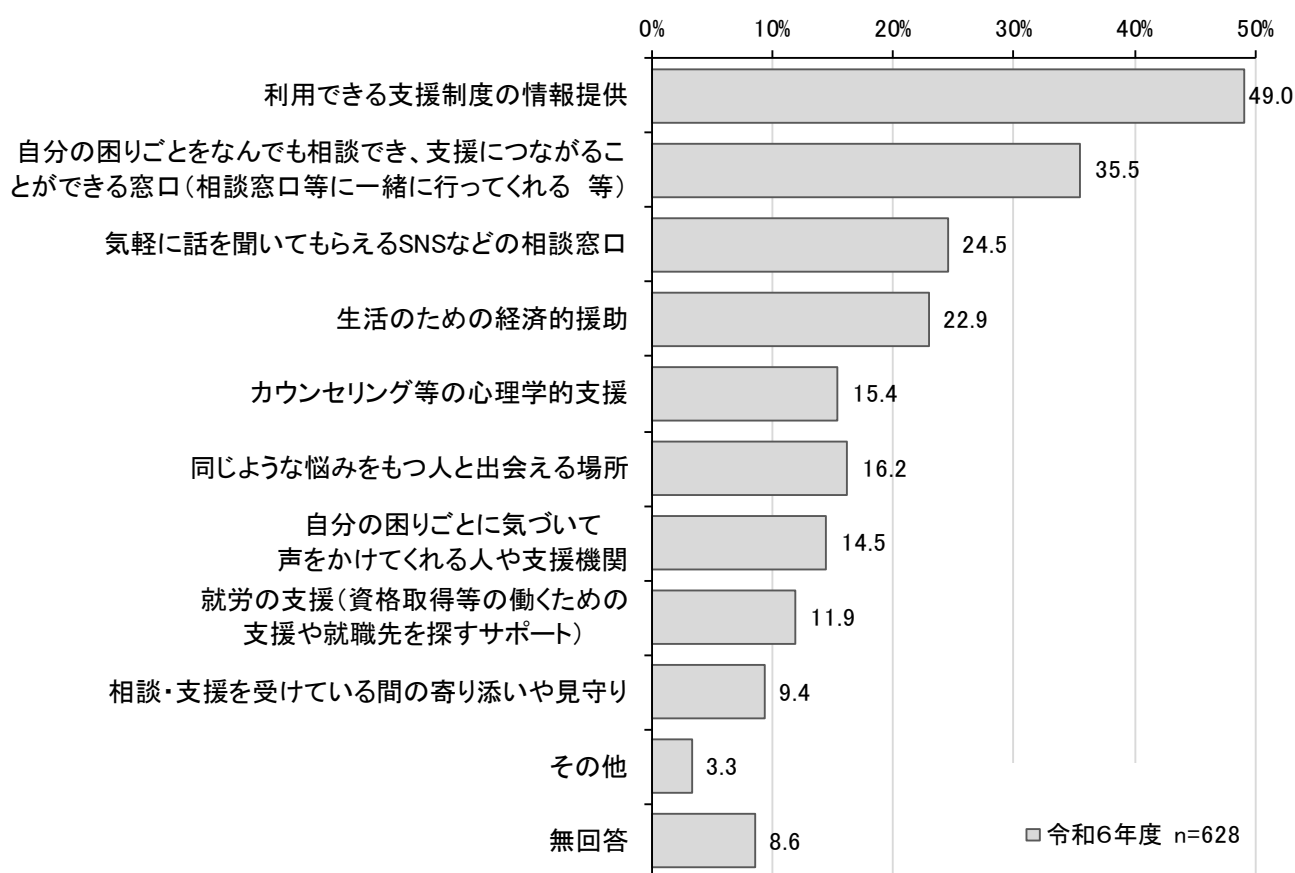
年代別にみると、30 歳代で「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらったりしている」と回答した方の割合は 13.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		公的窓口 に相談し たり、支 援を受 けたり している	民間の 窓口 に相談 したり、 支援を 受け たりし ている	家族や 周囲の 人等に 相談し たり、 協力し てもら ったり してい る	主に自 分一人 で何と かして いる	ほぼ何 もし てい ない	問題 を抱 えて い ない	無 回 答
全体 n=628		0.5	0.0	4.1	5.3	6.4	70.1	13.7
性別	男性 n=268	0.4	0.0	1.9	4.9	9.7	72.0	11.2
	女性 n=355	0.3	0.0	5.9	5.6	3.9	68.7	15.5
	無回答 n=5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	89.7	6.9
	20歳代 n=61	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	85.2	4.9
	30歳代 n=75	0.0	0.0	13.3	9.3	2.7	70.7	4.0
	40歳代 n=114	0.9	0.0	5.3	4.4	8.8	75.4	5.3
	50歳代 n=118	0.0	0.0	0.8	5.1	7.6	68.6	17.8
	60歳代 n=122	0.0	0.0	2.5	4.9	8.2	71.3	13.1
	70歳以上 n=108	1.9	0.0	4.6	5.6	5.6	50.0	32.4
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 28 回答者自身が抱える困難を解決するためにどのような環境や支援があるとよいと思いますか。該当する内容を選んでください。(MA)

回答者自身が抱える困難を解決するためにどのような環境や支援があるとよいと思うかについては、「利用できる支援制度の情報提供」が 49.0%で最も高く、次いで「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるることができる窓口(相談窓口等と一緒にしてくれる 等)」が 35.5%、「気軽に話を聞いてもらえる SNS などの相談窓口」が 24.5%となっています。



性別にみると、「利用できる支援制度の情報提供」と回答した方の割合は、男性は 54.9%である一方で、女性は 45.1%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「同じような悩みを持つ人と出会える場所」と回答した方の割合は 34.5%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

		利用できる支援制度の情報提供	自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながる事ができる窓口（相談窓口等と一緒にしてくれる等）	気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口	生活のための経済的援助	カウンセリング等の心理学的支援	同じような悩みをもつ人と出会える場所	自分の困りごとに気づいて声をかけてくれる人や支援機関	就労の支援（資格取得等の働くための支援や就職先を探すサポート）
全体 n=628		49.0	35.5	24.5	22.9	15.4	16.2	14.5	11.9
性別	男性 n=268	54.9	40.3	23.5	25.0	15.7	13.1	11.2	11.9
	女性 n=355	45.1	31.8	25.6	21.7	15.5	18.6	16.6	11.5
	無回答 n=5	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	48.3	27.6	20.7	34.5	13.8	34.5	20.7	17.2
	20歳代 n=61	42.6	26.2	36.1	24.6	21.3	24.6	26.2	18.0
	30歳代 n=75	46.7	36.0	28.0	34.7	18.7	12.0	14.7	18.7
	40歳代 n=114	45.6	25.4	29.8	29.8	20.2	21.9	14.9	9.6
	50歳代 n=118	53.4	39.0	27.1	25.4	14.4	12.7	15.3	15.3
	60歳代 n=122	53.3	42.6	19.7	12.3	12.3	11.5	11.5	9.0
	70歳以上 n=108	48.1	41.7	13.9	13.0	10.2	13.0	7.4	4.6
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

単位：%

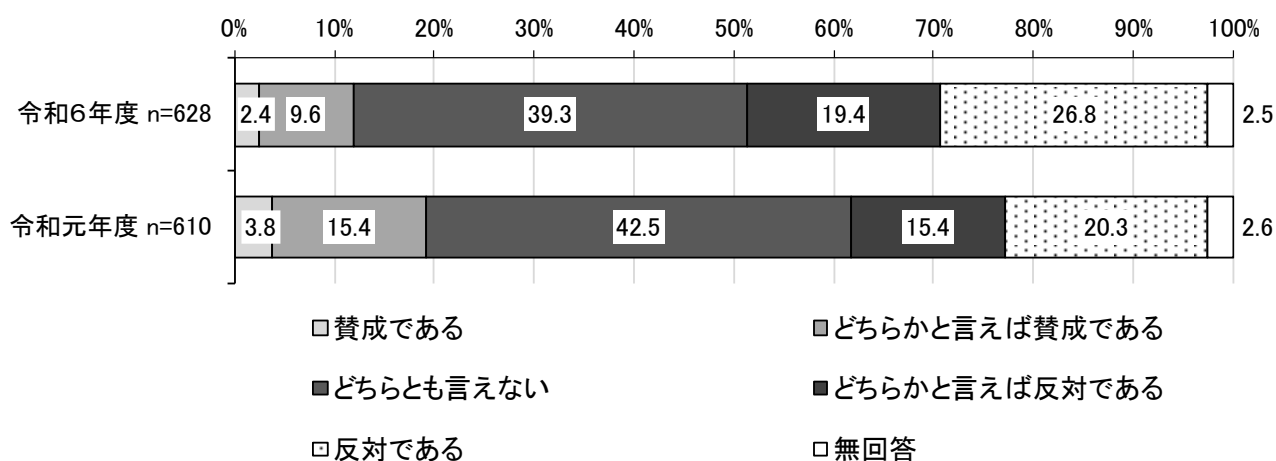
		相談・支援を受けている間の寄り添いや見守り	その他	無回答
全体 n=628		9.4	3.3	8.6
性別	男性 n=268	7.8	2.6	8.6
	女性 n=355	10.7	3.9	8.5
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	3.4	6.9
	20歳代 n=61	13.1	0.0	1.6
	30歳代 n=75	9.3	5.3	4.0
	40歳代 n=114	6.1	4.4	6.1
	50歳代 n=118	9.3	5.1	2.5
	60歳代 n=122	12.3	1.6	12.3
	70歳以上 n=108	6.5	2.8	21.3
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0

10. 男性も女性も共に輝く社会の形成についておたずねします

問 29 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どうお考えになりますか。(SA)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「どちらとも言えない」が39.3%で最も高く、次いで「反対である」が26.8%、「どちらかと言えば反対である」が19.4%となっています。

前回調査と比較して「反対である」が6.5ポイント増加しています。



性別にみると、「どちらかと言えば反対である」と回答した方の割合は、男性は 15.7%である一方で、女性は 22.0%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「反対である」と回答した方の割合は 51.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：%

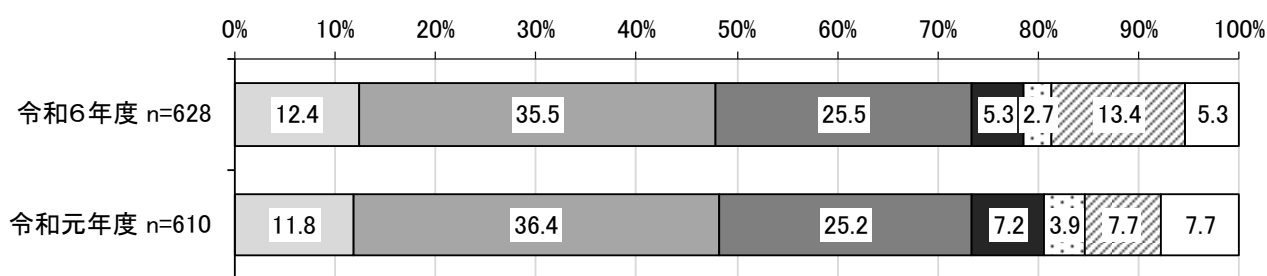
		賛成である	どちらかと言えば賛成である	どちらとも言えない	どちらかと言えば反対である	反対である	無回答
全体 n=628		2.4	9.6	39.3	19.4	26.8	2.5
性別	男性 n=268	4.1	12.7	39.2	15.7	24.6	3.7
	女性 n=355	1.1	7.3	39.7	22.0	28.2	1.7
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	3.4	20.7	20.7	51.7	3.4
	20歳代 n=61	3.3	1.6	37.7	24.6	31.1	1.6
	30歳代 n=75	0.0	10.7	34.7	17.3	36.0	1.3
	40歳代 n=114	2.6	10.5	50.9	14.0	21.1	0.9
	50歳代 n=118	0.8	7.6	44.1	18.6	26.3	2.5
	60歳代 n=122	1.6	8.2	40.2	20.5	27.0	2.5
	70歳以上 n=108	6.5	17.6	30.6	22.2	17.6	5.6
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 30 あなたは、次のような場で男女が平等になっていると思いますか。(SA)

①家庭生活

家庭生活については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 47.9%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 8.0%、「平等になっている」が 25.5%となっています。

前回調査と比較して、『女性の方が優遇されている』が 3.1 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 36.6%、女性が 56.6%となっています。

年代別にみると、20 歳未満、40 歳代、70 歳以上で「平等になっている」と回答した方の割合は3割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

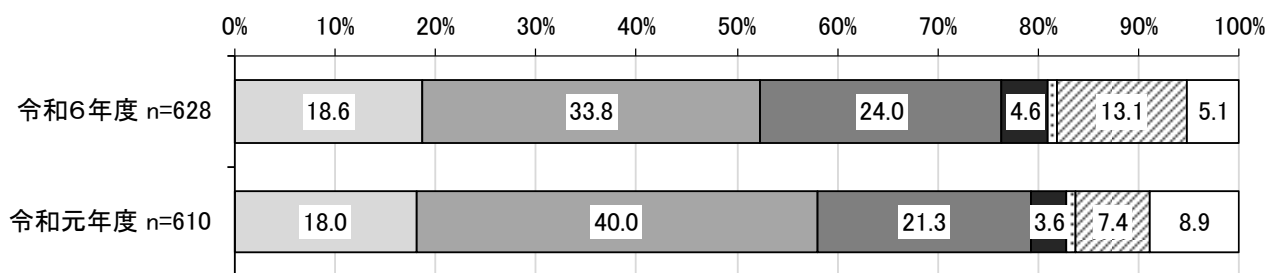
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		12.4	35.5	25.5	5.3	2.7	13.4	5.3
性別	男性 n=268	5.6	31.0	32.5	7.5	2.6	14.6	6.3
	女性 n=355	17.7	38.9	20.0	3.7	2.8	12.4	4.5
	無回答 n=5	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	17.2	31.0	6.9	3.4	24.1	3.4
	20歳代 n=61	13.1	37.7	16.4	3.3	3.3	24.6	1.6
	30歳代 n=75	9.3	42.7	25.3	8.0	2.7	9.3	2.7
	40歳代 n=114	9.6	38.6	30.7	5.3	2.6	12.3	0.9
	50歳代 n=118	12.7	33.9	21.2	7.6	4.2	16.1	4.2
	60歳代 n=122	14.8	35.2	23.8	4.9	1.6	11.5	8.2
	70歳以上 n=108	13.9	33.3	30.6	1.9	1.9	6.5	12.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

②職場

職場については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 52.4%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 5.4%、「平等になっている」が 24.0%となっています。

前回調査と比較して『男性の方が優遇されている』が 5.6 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 41.8%、女性が 60.5%となっています。

年代別にみると、40 歳代で『女性の方が優遇されている』と回答した方の割合は 11.4%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

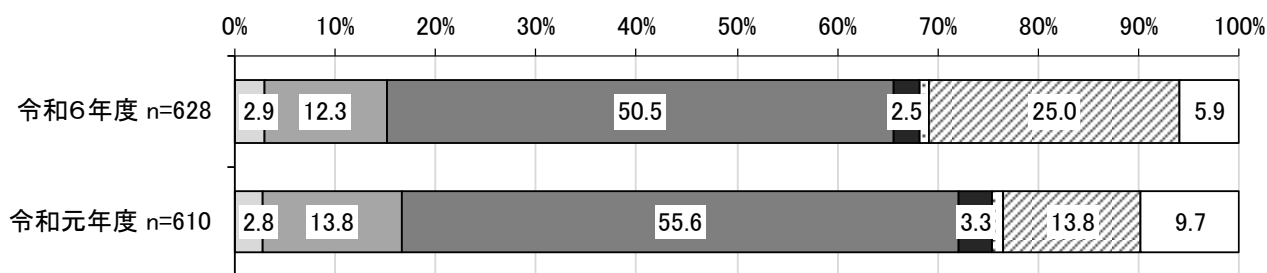
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		18.6	33.8	24.0	4.6	0.8	13.1	5.1
性別	男性 n=268	13.1	28.7	27.6	8.2	1.5	13.4	7.5
	女性 n=355	22.5	38.0	21.7	2.0	0.3	12.4	3.1
	無回答 n=5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	37.9	17.2	13.8	3.4	0.0	24.1	3.4
	20歳代 n=61	13.1	39.3	21.3	8.2	0.0	18.0	0.0
	30歳代 n=75	24.0	30.7	26.7	4.0	4.0	8.0	2.7
	40歳代 n=114	20.2	28.9	32.5	10.5	0.9	6.1	0.9
	50歳代 n=118	12.7	38.1	22.0	5.9	0.8	16.1	4.2
	60歳代 n=122	19.7	36.1	24.6	0.8	0.0	13.1	5.7
	70歳以上 n=108	15.7	35.2	19.4	0.0	0.0	14.8	14.8
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③学校教育の場

学校教育の場については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 15.2%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 3.5%、「平等になっている」が 50.5%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 5.1 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 10.8%、女性が 18.3%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

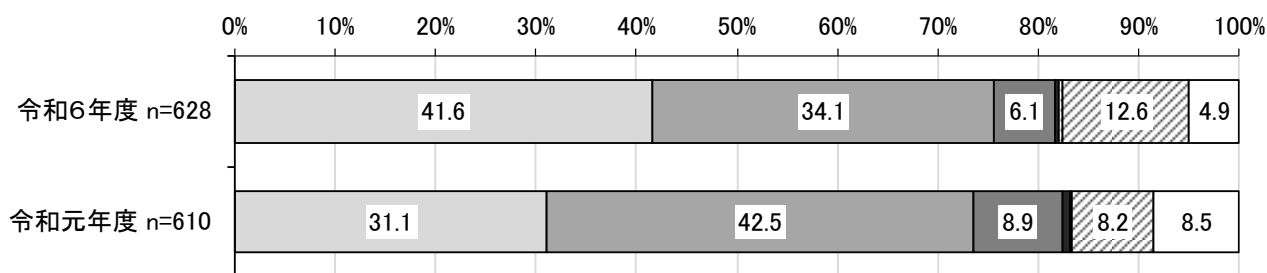
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		2.9	12.3	50.5	2.5	1.0	25.0	5.9
性別	男性 n=268	0.7	10.1	52.2	4.1	1.1	24.3	7.5
	女性 n=355	4.5	13.8	49.3	1.1	0.8	25.6	4.8
	無回答 n=5	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	10.3	55.2	6.9	3.4	17.2	3.4
	20歳代 n=61	0.0	14.8	59.0	8.2	0.0	16.4	1.6
	30歳代 n=75	2.7	8.0	61.3	2.7	1.3	21.3	2.7
	40歳代 n=114	0.9	9.6	57.9	0.9	0.9	28.9	0.9
	50歳代 n=118	5.9	11.9	44.1	0.8	0.8	32.2	4.2
	60歳代 n=122	3.3	15.6	45.9	2.5	0.0	23.8	9.0
	70歳以上 n=108	2.8	13.9	40.7	1.9	1.9	24.1	14.8
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④政治の場

政治の場については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 75.7%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 0.8%、「平等になっている」が 6.1%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 67.1%、女性が 81.6%となっています。

年代別にみると、すべての年代で『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合が7割を超えています。

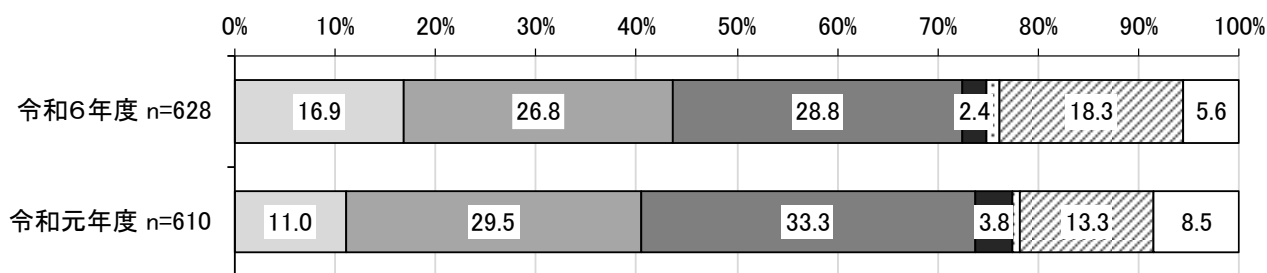
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		41.6	34.1	6.1	0.5	0.3	12.6	4.9
性別	男性 n=268	30.2	36.9	10.1	1.1	0.7	14.9	6.0
	女性 n=355	50.1	31.5	3.1	0.0	0.0	11.0	4.2
	無回答 n=5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	58.6	20.7	3.4	0.0	0.0	13.8	3.4
	20歳代 n=61	50.8	31.1	1.6	0.0	0.0	14.8	1.6
	30歳代 n=75	57.3	30.7	2.7	0.0	1.3	5.3	2.7
	40歳代 n=114	41.2	33.3	7.0	0.9	0.0	15.8	1.8
	50歳代 n=118	37.3	33.9	7.6	0.0	0.8	16.9	3.4
	60歳代 n=122	36.9	36.9	8.2	0.8	0.0	9.8	7.4
	70歳以上 n=108	31.5	38.9	6.5	0.9	0.0	11.1	11.1
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤法律や制度

法律や制度については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 43.7%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 3.7%、「平等になっている」が 28.8%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 4.5 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 33.9%、女性が 51.0%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「平等になっている」と回答した方の割合が 41.4%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

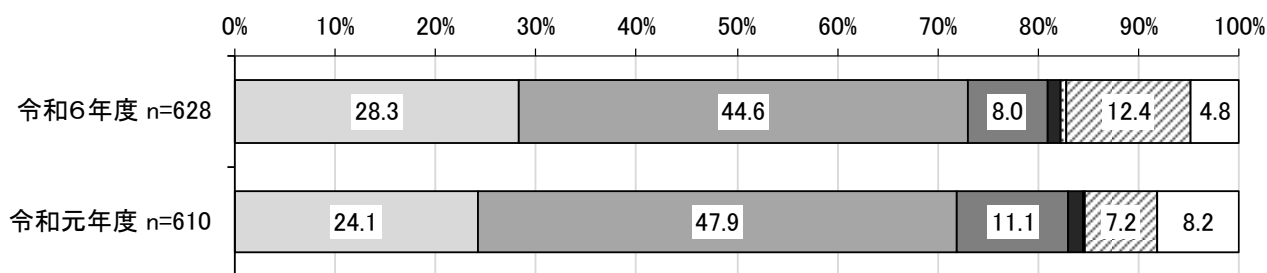
単位：%

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		16.9	26.8	28.8	2.4	1.3	18.3	5.6
性別	男性 n=268	10.4	23.5	36.6	3.4	2.2	17.5	6.3
	女性 n=355	21.7	29.3	23.4	1.7	0.6	18.6	4.8
	無回答 n=5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	10.3	27.6	41.4	6.9	0.0	10.3	3.4
	20歳代 n=61	19.7	26.2	27.9	3.3	1.6	19.7	1.6
	30歳代 n=75	17.3	33.3	20.0	1.3	2.7	22.7	2.7
	40歳代 n=114	20.2	21.9	32.5	2.6	2.6	17.5	2.6
	50歳代 n=118	17.8	31.4	22.9	2.5	1.7	19.5	4.2
	60歳代 n=122	18.0	28.7	31.1	3.3	0.0	12.3	6.6
	70歳以上 n=108	11.1	20.4	32.4	0.0	0.0	22.2	13.9
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑥社会通念・慣習・しきたり等

社会通念・慣習・しきたり等については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 72.9%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 1.9%、「平等になっている」が 8.0%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 3.1 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 67.9%、女性が 76.6%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「平等になっている」と回答した方の割合は 20.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

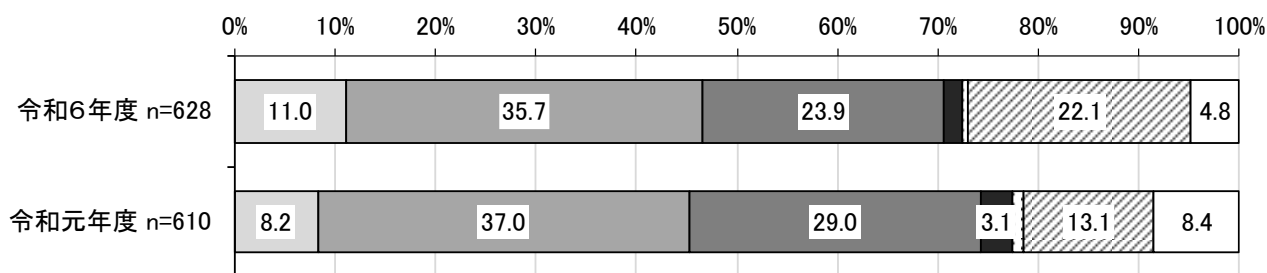
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		28.3	44.6	8.0	1.4	0.5	12.4	4.8
性別	男性 n=268	23.9	44.0	11.9	2.2	0.7	11.6	5.6
	女性 n=355	31.8	44.8	5.1	0.8	0.0	13.2	4.2
	無回答 n=5	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	31.0	27.6	20.7	3.4	0.0	13.8	3.4
	20歳代 n=61	27.9	44.3	4.9	4.9	0.0	16.4	1.6
	30歳代 n=75	36.0	40.0	9.3	1.3	1.3	9.3	2.7
	40歳代 n=114	36.8	42.1	6.1	0.9	0.0	12.3	1.8
	50歳代 n=118	27.1	47.5	4.2	0.8	0.8	15.3	4.2
	60歳代 n=122	25.4	51.6	7.4	0.8	0.0	8.2	6.6
	70歳以上 n=108	18.5	43.5	12.0	0.9	0.9	13.9	10.2
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦自治会活動等の地域活動の場

自治会活動等の地域活動の場については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 46.7%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 2.5%、「平等になっている」が 23.9%となっています。

前回調査と比較して「平等になっている」が 5.1 ポイント減少しています。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 44.0%、女性が 49.0%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

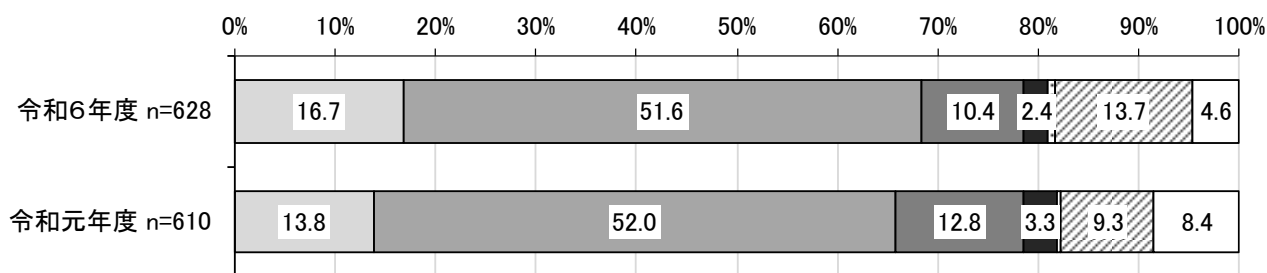
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		11.0	35.7	23.9	1.9	0.6	22.1	4.8
性別	男性 n=268	8.2	35.8	25.4	2.2	1.1	21.3	6.0
	女性 n=355	13.2	35.8	22.8	1.7	0.3	22.3	3.9
	無回答 n=5	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0
年代別	20歳未満 n=29	17.2	13.8	34.5	3.4	0.0	27.6	3.4
	20歳代 n=61	8.2	29.5	23.0	8.2	0.0	29.5	1.6
	30歳代 n=75	13.3	30.7	21.3	2.7	1.3	28.0	2.7
	40歳代 n=114	14.9	31.6	25.4	0.9	0.0	26.3	0.9
	50歳代 n=118	10.2	40.7	20.3	0.8	1.7	22.0	4.2
	60歳代 n=122	7.4	44.3	23.8	1.6	0.0	16.4	6.6
	70歳以上 n=108	10.2	38.0	25.9	0.0	0.9	13.9	11.1
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑧社会全体

社会全体については、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合算した『男性の方が優遇されている』が 68.3%、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」を合算した『女性の方が優遇されている』が 3.0%、「平等になっている」が 10.4%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



- ☐ 男性の方が優遇されている
- ☐ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ☐ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ☐ 女性の方が優遇されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合は、男性が 59.3%、女性が 75.5%となっています。

年代別にみると、すべての年代で『男性の方が優遇されている』と回答した方の割合が6割を超えています。

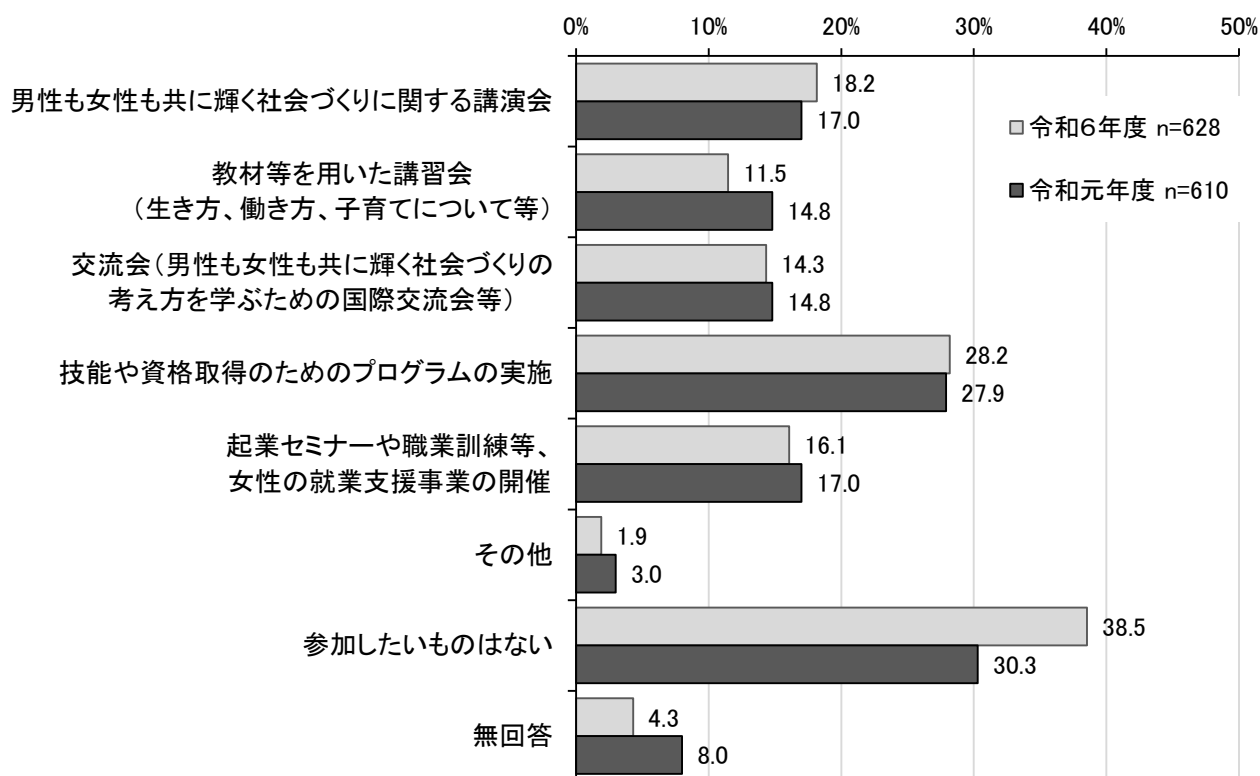
単位：％

		男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体 n=628		16.7	51.6	10.4	2.4	0.6	13.7	4.6
性別	男性 n=268	11.9	47.4	14.9	4.1	1.5	14.6	5.6
	女性 n=355	20.6	54.9	7.0	1.1	0.0	12.7	3.7
	無回答 n=5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	24.1	37.9	13.8	3.4	0.0	17.2	3.4
	20歳代 n=61	23.0	47.5	8.2	3.3	1.6	14.8	1.6
	30歳代 n=75	20.0	53.3	6.7	2.7	1.3	13.3	2.7
	40歳代 n=114	17.5	44.7	14.9	3.5	0.9	17.5	0.9
	50歳代 n=118	13.6	55.9	9.3	2.5	0.8	13.6	4.2
	60歳代 n=122	16.4	59.8	7.4	0.8	0.0	10.7	4.9
	70歳以上 n=108	12.0	50.0	13.0	1.9	0.0	11.1	12.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 31 市が実施する男性も女性も共に輝く社会づくりに関する事業で、あなたが参加してみたいと思うものはどれですか。(MA)

市が実施する男性も女性も共に輝く社会づくりに関する事業で、参加してみたいと思うものについては、「参加したいものはない」が 38.5%で最も高く、次いで「技能や資格取得のためのプログラムの実施」が 28.2%、「男性も女性も共に輝く社会づくりに関する講演会」が 18.2%となっています。

前回調査と比較して「参加したいものはない」が 8.2 ポイント増加しています。



性別にみると、「起業セミナーや職業訓練等、女性の就業支援事業の開催」と回答した方の割合は、男性は11.6%である一方で、女性は19.7%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「男性も女性も共に輝く社会づくりに関する講演会」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位：%

		男性も女性も共に輝く社会づくりに関する講演会	教材等を用いた講習会（生き方、働き方、子育てについて等）	交流会（男性も女性も共に輝く社会づくりの考え方を学ぶための国際交流会等）	技能や資格取得のためのプログラムの実施	起業セミナーや職業訓練等、女性の就業支援事業の開催	その他	参加したいものはない	無回答
全体 n=628		18.2	11.5	14.3	28.2	16.1	1.9	38.5	4.3
性別	男性 n=268	19.0	7.8	17.2	26.9	11.6	0.7	40.7	6.0
	女性 n=355	17.5	13.8	12.4	29.0	19.7	2.8	37.2	2.8
	無回答 n=5	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	6.9	6.9	10.3	37.9	13.8	3.4	44.8	3.4
	20歳代 n=61	14.8	11.5	16.4	26.2	16.4	1.6	37.7	0.0
	30歳代 n=75	13.3	17.3	17.3	30.7	21.3	1.3	36.0	0.0
	40歳代 n=114	11.4	11.4	14.9	34.2	18.4	1.8	41.2	0.9
	50歳代 n=118	14.4	11.9	9.3	35.6	19.5	2.5	41.5	3.4
	60歳代 n=122	24.6	9.0	15.6	27.9	16.4	1.6	35.2	4.9
	70歳以上 n=108	30.6	10.2	15.7	11.1	6.5	1.9	37.0	13.9
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

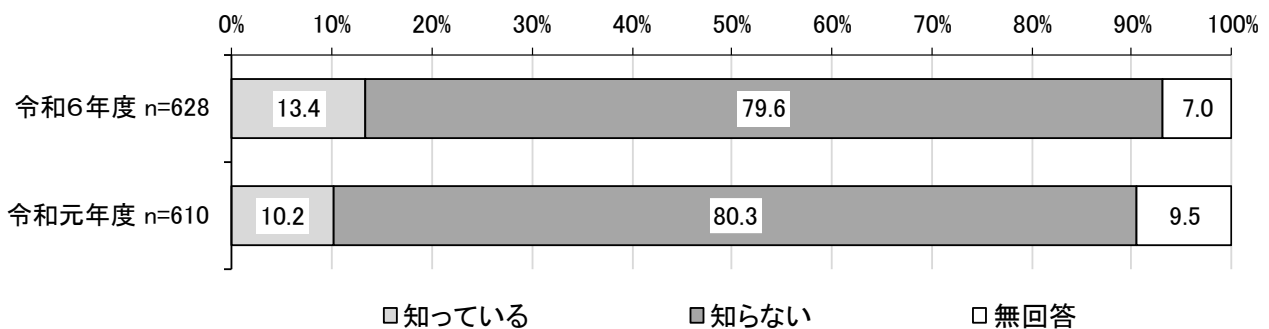
問 32 市では平成28年に「だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例」を制定し、男性も女性も共に輝く社会の実現を目指す事業の一環として、講演会の開催や情報紙の発行等を実施しています。以下の事業の「認知度」と「利用等の状況」についてお答えください。(SA)

①男女共同参画講演会（年2回開催）

・認知度

男女共同参画講演会(年2回開催)の認知度については、「知っている」が 13.4%、「知らない」が 79.6%となっています。

前回調査と比較して「知っている」が 3.2 ポイント増加しています。



性別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、男性では 8.2%、女性では 17.5%となっています。年代別にみると、50 歳代以上で「知っている」と回答した方の割合は約2割となっており、他の年代と比較して高くなっています。

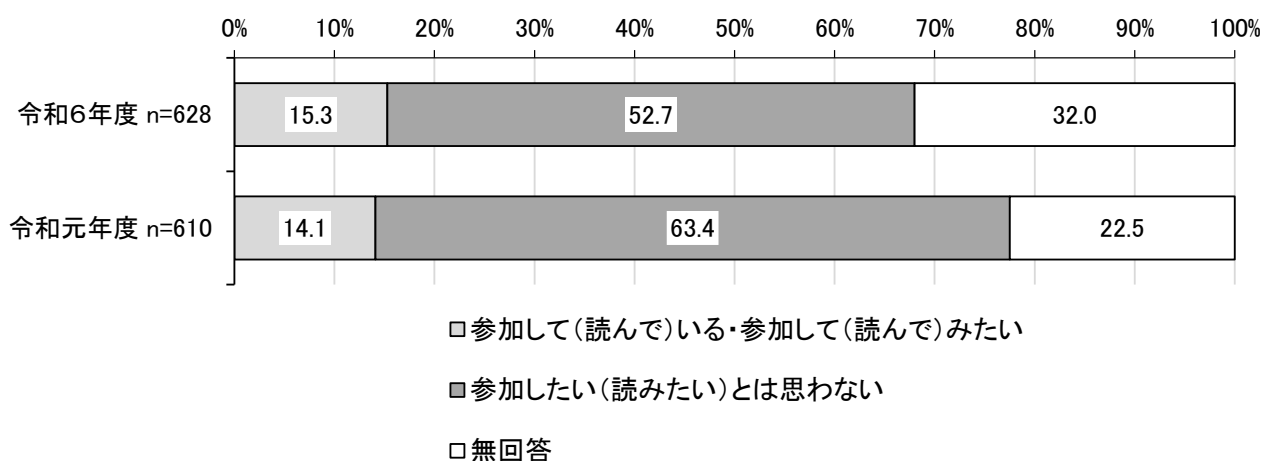
単位: %

		知っている	知らない	無回答
全体 n=628		13.4	79.6	7.0
性別	男性 n=268	8.2	84.3	7.5
	女性 n=355	17.5	76.1	6.5
	無回答 n=5	0.0	80.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	6.9	89.7	3.4
	20歳代 n=61	3.3	91.8	4.9
	30歳代 n=75	4.0	94.7	1.3
	40歳代 n=114	8.8	89.5	1.8
	50歳代 n=118	19.5	72.9	7.6
	60歳代 n=122	17.2	75.4	7.4
	70歳以上 n=108	21.3	61.1	17.6
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

・利用状況

男女共同参画講演会(年2回開催)の利用等の状況については、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が15.3%、「参加したい(読みたい)とは思わない」が52.7%となっています。

前回調査と比較して「参加したい(読みたい)とは思わない」が10.7ポイント減少しています。



性別にみると、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は、男性では13.1%、女性では17.2%となっています。

年代別にみると、40歳代で「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は9.6%となっており、他の年代と比較して低くなっています。

単位: %

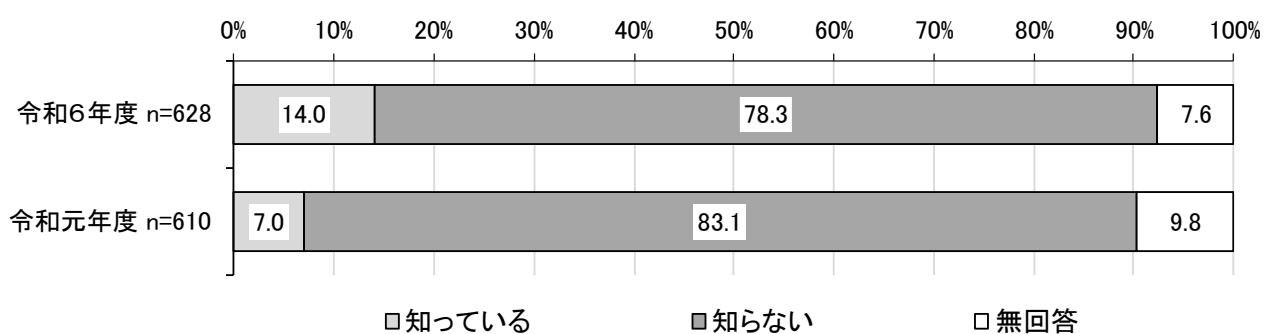
		参加して (読んで)い る・参加し て(読んで) みたい	参加したい (読みたい) とは思わな い	無回答
全体 n=628		15.3	52.7	32.0
性別	男性 n=268	13.1	51.5	35.4
	女性 n=355	17.2	53.5	29.3
	無回答 n=5	0.0	60.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	10.3	65.5	24.1
	20歳代 n=61	14.8	67.2	18.0
	30歳代 n=75	13.3	69.3	17.3
	40歳代 n=114	9.6	65.8	24.6
	50歳代 n=118	17.8	55.1	27.1
	60歳代 n=122	20.5	43.4	36.1
	70歳以上 n=108	15.7	23.1	61.1
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

②男女共同参画情報紙シェアリング（年2回発行）

・認知度

男女共同参画情報紙シェアリング(年2回発行)の認知度については、「知っている」が 14.0%、「知らない」が 78.3%となっています。

前回調査と比較して「知っている」が 7.0 ポイント増加しています。



性別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、男性では 7.8%、女性では 18.6%となっています。

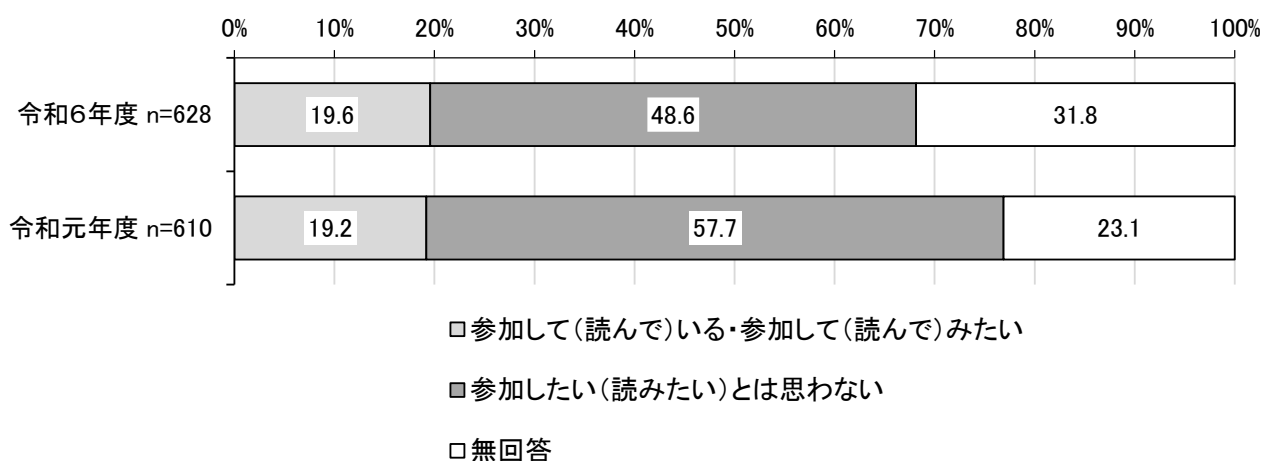
年代別にみると、50 歳代で「知っている」と回答した方の割合は 23.7%と、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

		知っている	知らない	無回答
全体 n=628		14.0	78.3	7.6
性別	男性 n=268	7.8	84.0	8.2
	女性 n=355	18.6	74.4	7.0
	無回答 n=5	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	93.1	3.4
	20歳代 n=61	3.3	91.8	4.9
	30歳代 n=75	5.3	94.7	0.0
	40歳代 n=114	12.3	86.0	1.8
	50歳代 n=118	23.7	66.9	9.3
	60歳代 n=122	16.4	74.6	9.0
	70歳以上 n=108	16.7	64.8	18.5
	無回答 n=1	100.0	0.0	0.0

・利用状況

男女共同参画情報紙シェアリング(年2回発行)の利用等の状況については、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が19.6%、「参加したい(読みたい)とは思わない」が48.6%となっています。
前回調査と比較して「参加したい(読みたい)とは思わない」が9.1ポイント減少しています。



性別にみると、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は、男性では13.8%、女性では24.2%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「参加して(読んで)みたいとは思わない」と回答した方の割合が低くなる傾向にあります。

単位: %

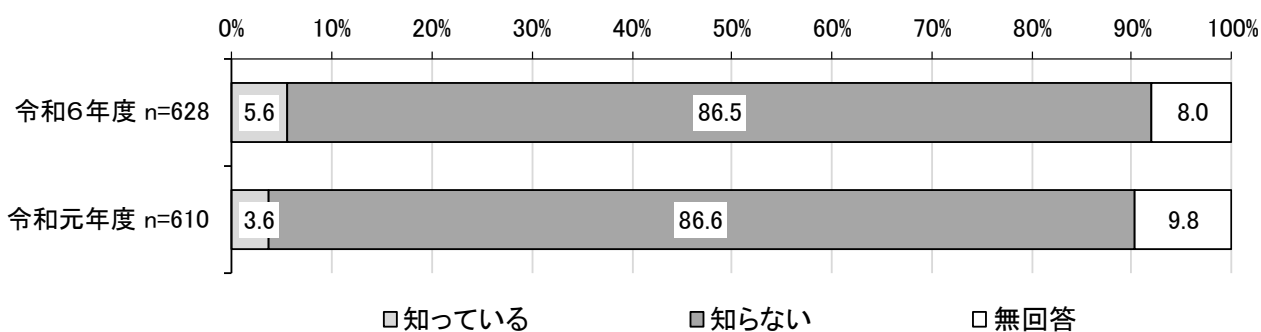
		参加して (読んで)い る・参加し て(読んで) みたい	参加したい (読みたい) とは思わな い	無回答
全体 n=628		19.6	48.6	31.8
性別	男性 n=268	13.8	50.4	35.8
	女性 n=355	24.2	47.0	28.7
	無回答 n=5	0.0	60.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	62.1	24.1
	20歳代 n=61	21.3	60.7	18.0
	30歳代 n=75	17.3	65.3	17.3
	40歳代 n=114	15.8	59.6	24.6
	50歳代 n=118	25.4	47.5	27.1
	60歳代 n=122	23.8	41.0	35.2
	70歳以上 n=108	14.8	24.1	61.1
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

③男女共同参画週間パネル展（年1回開催）

・認知度

男女共同参画週間パネル展(年1回開催)の認知度については、「知っている」が 5.6%、「知らない」が 86.5%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。



性別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、男性では 4.1%、女性では 6.5%となっています。

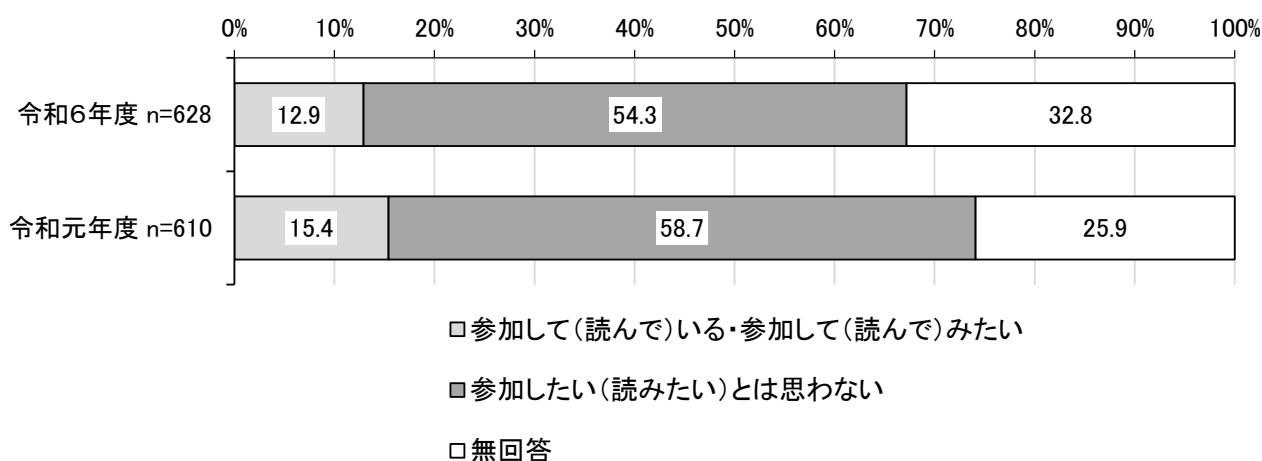
年代別にみると、70 歳以上を除く全ての年代で「知らない」と回答した方の割合が8割を超えています。

単位: %

		知っている	知らない	無回答
全体 n=628		5.6	86.5	8.0
性別	男性 n=268	4.1	87.3	8.6
	女性 n=355	6.5	86.2	7.3
	無回答 n=5	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	93.1	3.4
	20歳代 n=61	1.6	95.1	3.3
	30歳代 n=75	4.0	96.0	0.0
	40歳代 n=114	5.3	92.1	2.6
	50歳代 n=118	9.3	82.2	8.5
	60歳代 n=122	4.9	85.2	9.8
	70歳以上 n=108	6.5	73.1	20.4
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

・利用状況

男女共同参画週間パネル展(年1回開催)の利用等の状況については、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が12.9%、「参加したい(読みたい)とは思わない」が54.3%となっています。
 前回調査と比較して「参加したい(読みたい)とは思わない」が4.4ポイント減少しています。



性別にみると、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は、男性では10.8%、女性では14.6%となっています。

年代別にみると、60歳代で「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は19.7%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

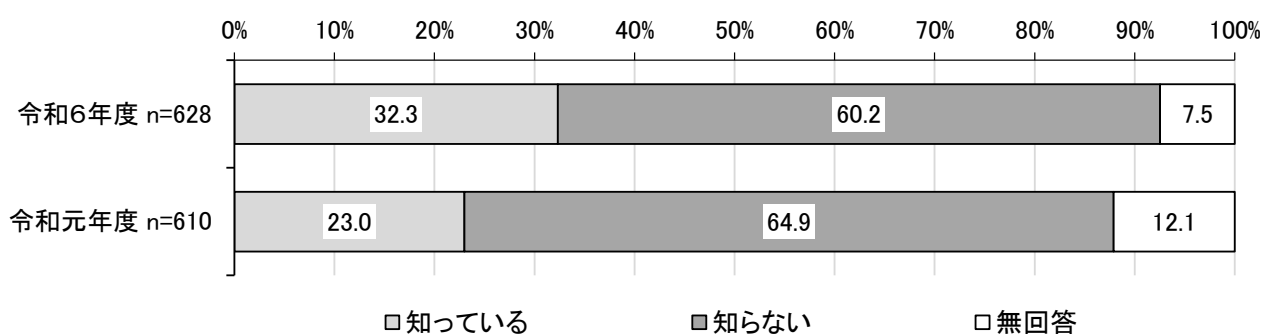
		参加して (読んで)い る・参加し て(読んで) みたい	参加したい (読みたい) とは思わな い	無回答
全体 n=628		12.9	54.3	32.8
性別	男性 n=268	10.8	53.4	35.8
	女性 n=355	14.6	54.9	30.4
	無回答 n=5	0.0	60.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	72.4	24.1
	20歳代 n=61	11.5	70.5	18.0
	30歳代 n=75	14.7	66.7	18.7
	40歳代 n=114	11.4	63.2	25.4
	50歳代 n=118	11.9	60.2	28.0
	60歳代 n=122	19.7	43.4	36.9
	70歳以上 n=108	10.2	27.8	62.0
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

④広報しもつけへの掲載（男女共同参画に関するコーナー）

・認知度

広報しもつけへの掲載（男女共同参画に関するコーナー）の認知度については、「知っている」が32.3%、「知らない」が60.2%となっています。

前回調査と比較して「知っている」が9.3ポイント増加しています。



性別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、男性では31.0%、女性では33.5%となっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「知っている」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

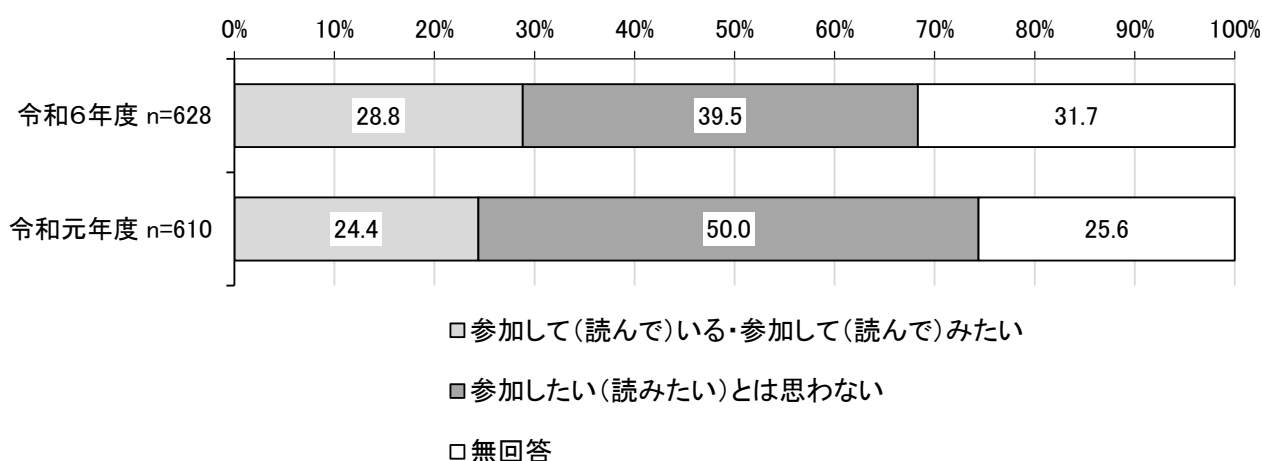
単位：%

		知っている	知らない	無回答
全体 n=628		32.3	60.2	7.5
性別	男性 n=268	31.0	61.2	7.8
	女性 n=355	33.5	59.7	6.8
	無回答 n=5	20.0	40.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	82.8	3.4
	20歳代 n=61	16.4	80.3	3.3
	30歳代 n=75	21.3	78.7	0.0
	40歳代 n=114	27.2	71.1	1.8
	50歳代 n=118	39.8	51.7	8.5
	60歳代 n=122	37.7	51.6	10.7
	70歳以上 n=108	45.4	38.0	16.7
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0

・利用状況

広報しもつけへの掲載(男女共同参画に関するコーナー)の利用等の状況については、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が 28.8%、「参加したい(読みたい)とは思わない」が 39.5%となっています。

前回調査と比較して「参加したい(読みたい)とは思わない」が 10.5 ポイント減少しています。



性別にみると、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は、男性は 24.6%、女性は 32.4%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「参加して(読んで)みたいと思わない」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

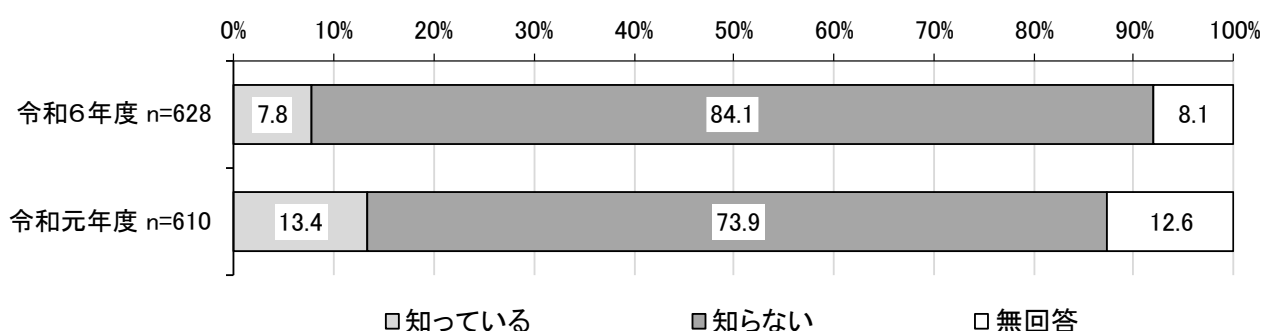
		参加して (読んで)い る・参加し て(読んで) みたい	参加したい (読みたい) とは思わな い	無回答
全体 n=628		28.8	39.5	31.7
性別	男性 n=268	24.6	40.7	34.7
	女性 n=355	32.4	38.3	29.3
	無回答 n=5	0.0	60.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	62.1	24.1
	20歳代 n=61	37.7	45.9	16.4
	30歳代 n=75	33.3	49.3	17.3
	40歳代 n=114	25.4	50.0	24.6
	50歳代 n=118	29.7	41.5	28.8
	60歳代 n=122	33.6	31.1	35.2
	70歳以上 n=108	22.2	18.5	59.3
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

⑤しもつけ女性活躍応援ガイドブック

・認知度

しもつけ女性活躍応援ガイドブックの認知度については、「知っている」が 7.8%、「知らない」が 84.1%となっています。

前回調査と比較して「知らない」が 10.2 ポイント増加しています。



性別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、男性では 4.5%、女性では 10.4%となっています。

年代別にみると、20 歳代から 40 歳代で「知らない」と回答した方の割合が9割を超えています。

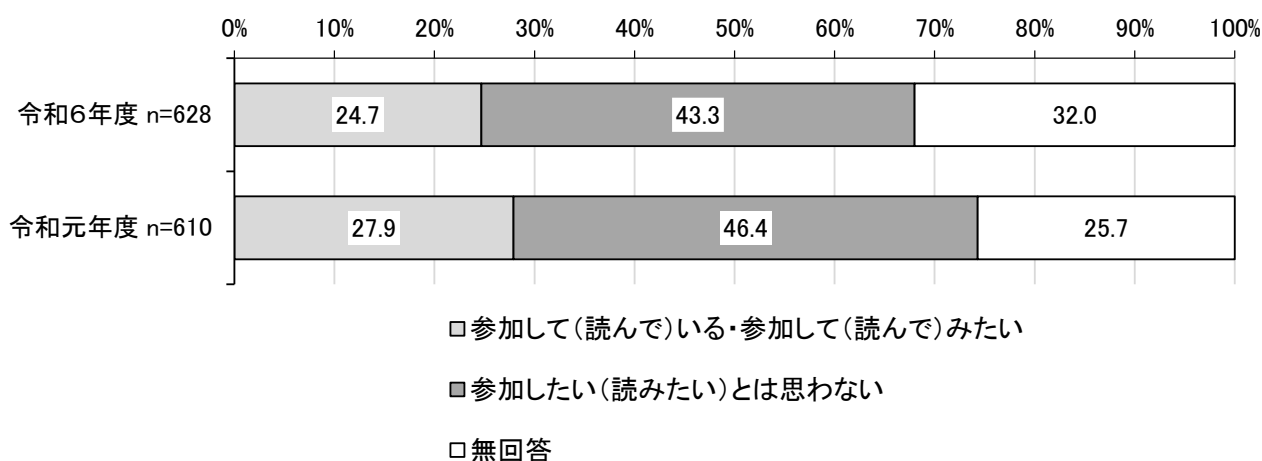
単位: %

		知っている	知らない	無回答
全体 n=628		7.8	84.1	8.1
性別	男性 n=268	4.5	87.3	8.2
	女性 n=355	10.4	82.0	7.6
	無回答 n=5	0.0	60.0	40.0
年代別	20歳未満 n=29	6.9	89.7	3.4
	20歳代 n=61	3.3	93.4	3.3
	30歳代 n=75	6.7	93.3	0.0
	40歳代 n=114	5.3	93.0	1.8
	50歳代 n=118	10.2	81.4	8.5
	60歳代 n=122	9.0	79.5	11.5
	70歳以上 n=108	10.2	69.4	20.4
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

・利用状況

しもつけ女性活躍応援ガイドブックの利用等の状況については、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が24.7%、「参加したい(読みたい)とは思わない」が43.3%となっています。

前回調査と比較して「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」が3.2ポイント減少しています。



性別にみると、「参加して(読んで)いる・参加して(読んで)みたい」と回答した方の割合は、男性では16.0%、女性では31.3%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「参加して(読んで)みたいと思わない」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

単位: %

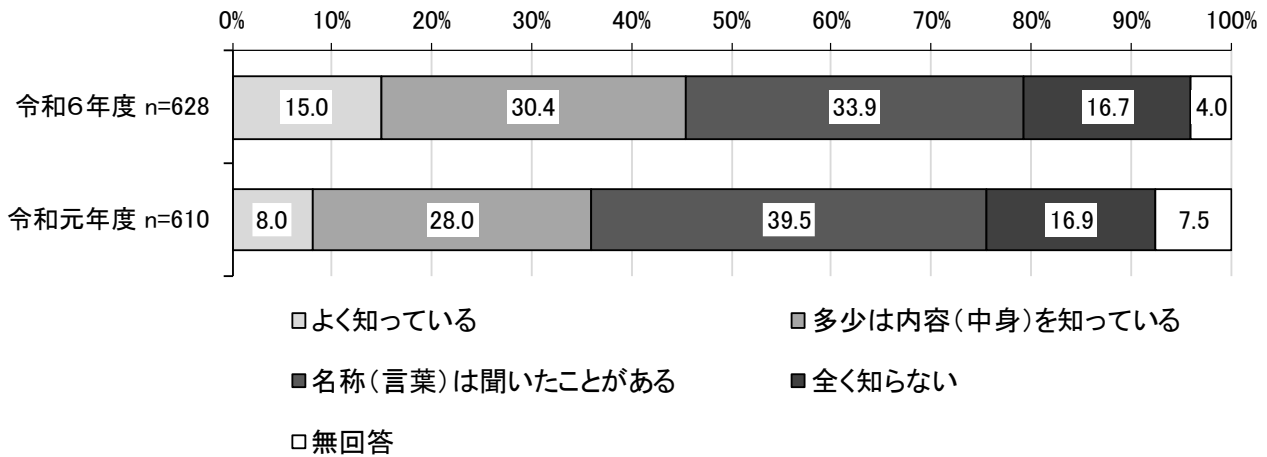
		参加して (読んで)い る・参加し て(読んで) みたい	参加したい (読みたい) とは思わな い	無回答
全体 n=628		24.7	43.3	32.0
性別	男性 n=268	16.0	48.1	35.8
	女性 n=355	31.3	39.4	29.3
	無回答 n=5	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	62.1	24.1
	20歳代 n=61	32.8	49.2	18.0
	30歳代 n=75	25.3	57.3	17.3
	40歳代 n=114	24.6	50.0	25.4
	50歳代 n=118	24.6	46.6	28.8
	60歳代 n=122	29.5	35.2	35.2
	70歳以上 n=108	17.6	23.1	59.3
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0

問 33 あなたは、次の「事柄」や「言葉」を知っていますか。(SA)

①男女共同参画社会

男女共同参画社会については、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 33.9%で最も高く、次いで「多少は内容(中身)を知っている」が 30.4%、「全く知らない」が 16.7%となっています。

前回調査と比較して「よく知っている」が 7.0 ポイント増加しています。



性別にみると、「多少は内容(中身)を知っている」と回答した方の割合は、男性は 26.9%である一方で、女性は 33.2%となっています。

年代別にみると、20 歳代、40 歳代で「名称(言葉)は聞いたことがある」と回答した方の割合は4割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

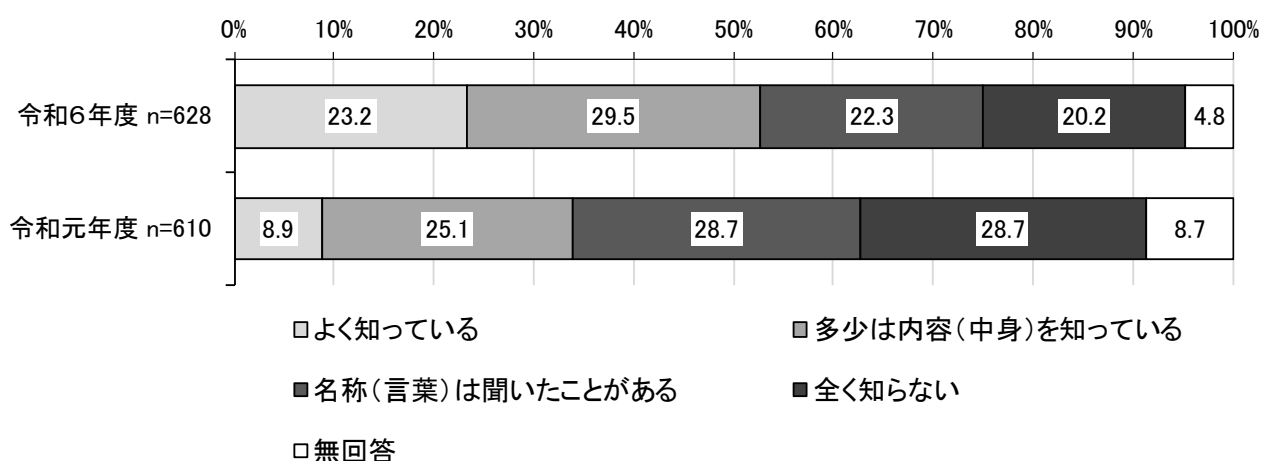
単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		15.0	30.4	33.9	16.7	4.0
性別	男性 n=268	13.1	26.9	35.8	19.4	4.9
	女性 n=355	16.3	33.2	32.4	14.9	3.1
	無回答 n=5	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	27.6	31.0	24.1	13.8	3.4
	20歳代 n=61	16.4	27.9	45.9	9.8	0.0
	30歳代 n=75	14.7	42.7	29.3	13.3	0.0
	40歳代 n=114	14.9	20.2	41.2	22.8	0.9
	50歳代 n=118	10.2	39.0	29.7	16.9	4.2
	60歳代 n=122	12.3	37.7	30.3	13.9	5.7
	70歳以上 n=108	19.4	16.7	33.3	20.4	10.2
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

②ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）については、「多少は内容（中身）を知っている」が29.5%で最も高く、次いで「よく知っている」が23.2%、「名称（言葉）は聞いたことがある」が22.3%となっています。

前回調査と比較して「よく知っている」が14.3ポイント増加しています。



性別にみると、「名称（言葉）は聞いたことがある」と回答した方の割合は、男性は27.2%である一方で、女性は18.6%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「よく知っている」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

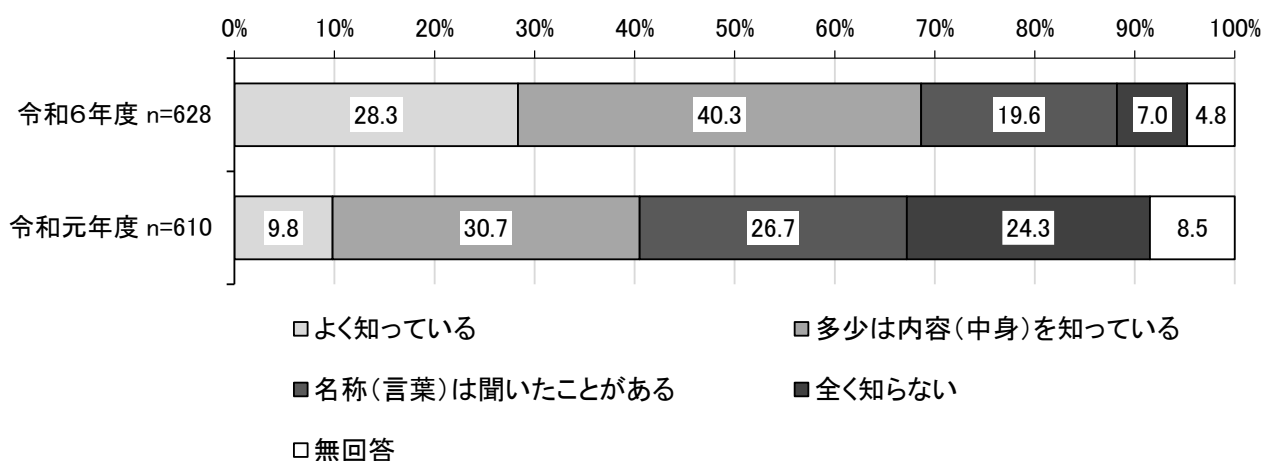
単位：%

		よく知っ ている	多少は内 容（中身）を 知っている	名称（言 葉）は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		23.2	29.5	22.3	20.2	4.8
性別	男性 n=268	20.9	29.1	27.2	17.9	4.9
	女性 n=355	25.4	29.6	18.6	22.0	4.5
	無回答 n=5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	37.9	34.5	10.3	13.8	3.4
	20歳代 n=61	44.3	23.0	19.7	13.1	0.0
	30歳代 n=75	29.3	32.0	32.0	5.3	1.3
	40歳代 n=114	28.1	33.3	21.1	16.7	0.9
	50歳代 n=118	18.6	30.5	22.0	22.9	5.9
	60歳代 n=122	17.2	36.1	22.1	18.9	5.7
	70歳以上 n=108	10.2	17.6	21.3	38.9	12.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

③ジェンダー（社会的性別）

ジェンダー(社会的性別)については、「多少は内容(中身)を知っている」が 40.3%で最も高く、次いで「よく知っている」が 28.3%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 19.6%となっています。

前回調査と比較して「よく知っている」が 18.5 ポイント増加しています。



性別にみると、「よく知っている」と回答した方の割合は、男性は 22.4%である一方で、女性は 33.2%となっています。

年代別にみると、70 歳以上で「全く知らない」と回答した方の割合は 21.3%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

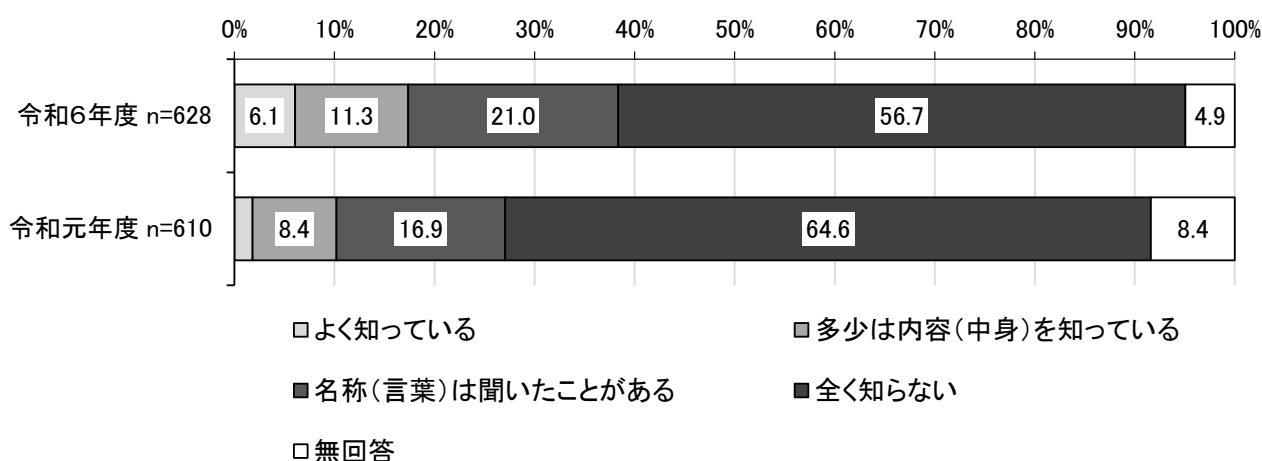
単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		28.3	40.3	19.6	7.0	4.8
性別	男性 n=268	22.4	40.7	23.5	7.5	6.0
	女性 n=355	33.2	39.4	16.9	6.8	3.7
	無回答 n=5	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	37.9	41.4	6.9	6.9	6.9
	20歳代 n=61	41.0	37.7	16.4	4.9	0.0
	30歳代 n=75	34.7	49.3	13.3	2.7	0.0
	40歳代 n=114	30.7	39.5	22.8	3.5	3.5
	50歳代 n=118	25.4	50.8	16.9	0.8	5.9
	60歳代 n=122	27.9	40.2	18.9	7.4	5.7
	70歳以上 n=108	15.7	24.1	29.6	21.3	9.3
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

④リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）については、「全く知らない」が56.7%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が21.0%、「多少は内容(中身)を知っている」が11.3%となっています。

前回調査と比較して「全く知らない」が7.9ポイント減少しています。



性別にみると、男女ともに「全く知らない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

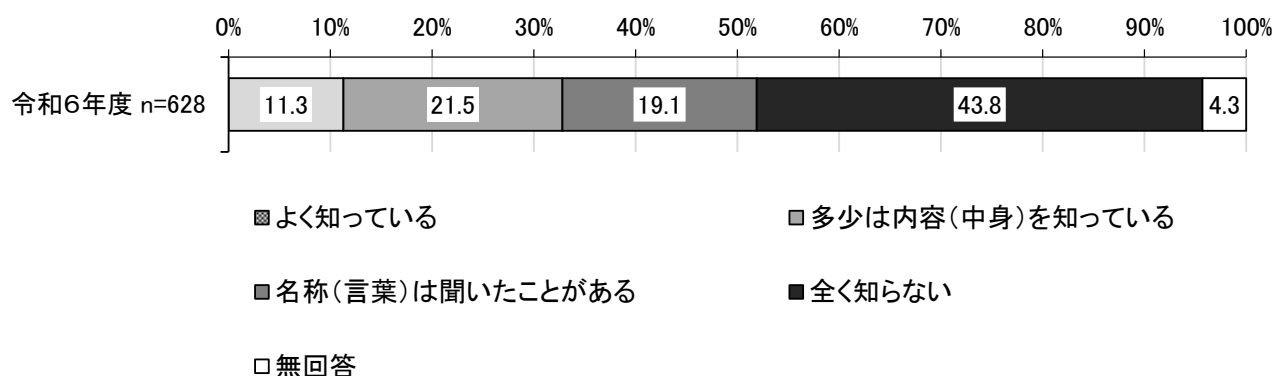
年代別にみると、40歳代、70歳以上で「全く知らない」と回答した方の割合は6割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

		よく知っている	多少は内容(中身)を知っている	名称(言葉)は聞いたことがある	全く知らない	無回答
全体 n=628		6.1	11.3	21.0	56.7	4.9
性別	男性 n=268	4.9	9.7	19.0	60.8	5.6
	女性 n=355	7.0	12.7	22.5	53.5	4.2
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	3.4	13.8	31.0	44.8	6.9
	20歳代 n=61	14.8	19.7	19.7	45.9	0.0
	30歳代 n=75	10.7	16.0	16.0	57.3	0.0
	40歳代 n=114	6.1	14.0	14.9	64.0	0.9
	50歳代 n=118	5.1	6.8	28.8	55.1	4.2
	60歳代 n=122	3.3	12.3	24.6	52.5	7.4
	70歳以上 n=108	2.8	3.7	16.7	63.9	13.0
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑤デートDV

デートDVについては、「全く知らない」が43.8%で最も高く、次いで「多少は内容(中身)を知っている」が21.5%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が19.1%となっています。



性別にみると、「多少は内容(中身)を知っている」と回答した方の割合は、男性は16.8%である一方で、女性は24.8%となっています。

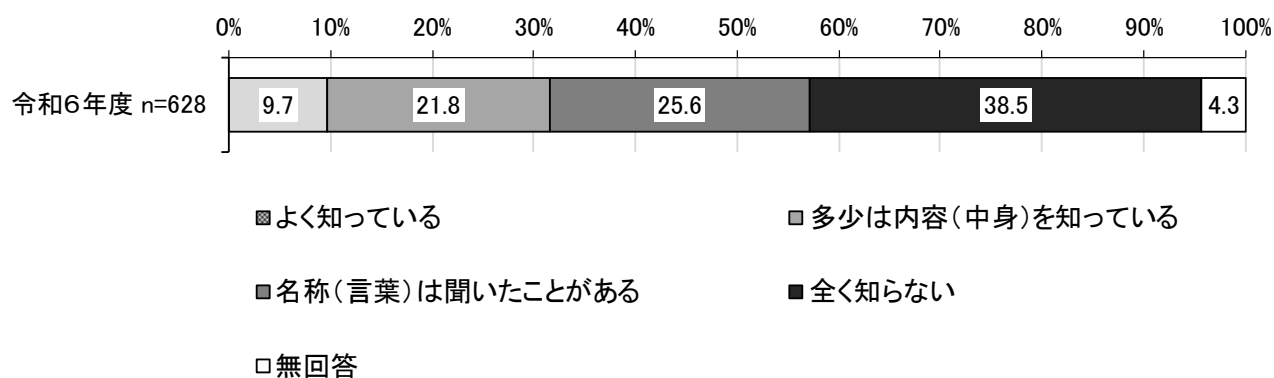
年代別にみると、20歳代で「多少は内容(中身)を知っている」と回答した方の割合は11.5%となっており、他の年代と比較して低くなっています。

単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		11.3	21.5	19.1	43.8	4.3
性別	男性 n=268	9.3	16.8	20.1	48.9	4.9
	女性 n=355	13.0	24.8	18.3	40.3	3.7
	無回答 n=5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	24.1	13.8	44.8	3.4
	20歳代 n=61	14.8	11.5	19.7	54.1	0.0
	30歳代 n=75	12.0	25.3	22.7	40.0	0.0
	40歳代 n=114	12.3	23.7	19.3	43.9	0.9
	50歳代 n=118	13.6	28.0	21.2	32.2	5.1
	60歳代 n=122	11.5	23.0	17.2	42.6	5.7
	70歳以上 n=108	4.6	13.0	16.7	54.6	11.1
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

⑥JK ビジネス

JK ビジネスについては、「全く知らない」が 38.5%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が 25.6%、「多少は内容(中身)を知っている」が 21.8%となっています。



性別にみると、「名称(言葉)は聞いたことがある」と回答した方の割合は、男性は 28.7%である一方で、女性は 23.1%となっています。

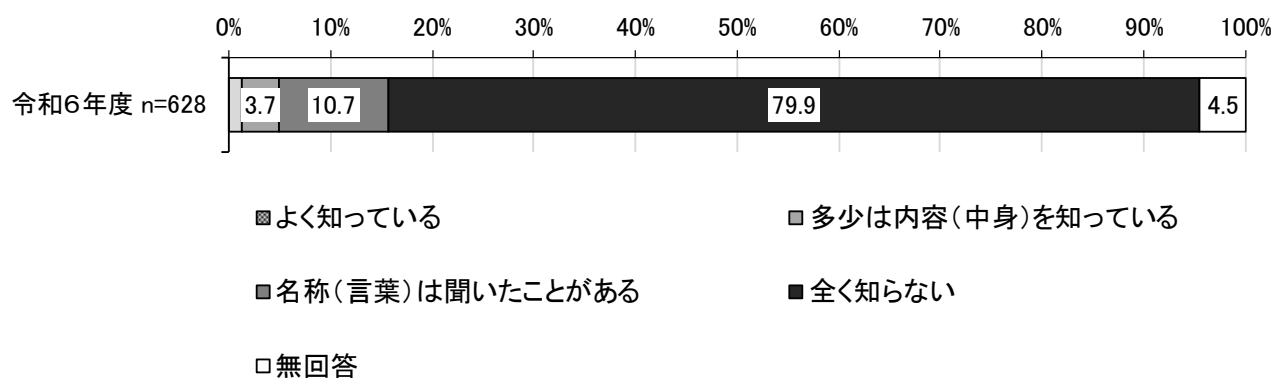
年代別にみると、70 歳以上で「全く知らない」と回答した方の割合は 62.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		9.7	21.8	25.6	38.5	4.3
性別	男性 n=268	8.2	20.1	28.7	37.7	5.2
	女性 n=355	11.0	23.1	23.1	39.4	3.4
	無回答 n=5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	10.3	13.8	27.6	44.8	3.4
	20歳代 n=61	13.1	13.1	24.6	49.2	0.0
	30歳代 n=75	12.0	26.7	25.3	36.0	0.0
	40歳代 n=114	9.6	21.9	34.2	32.5	1.8
	50歳代 n=118	11.9	33.9	27.1	22.0	5.1
	60歳代 n=122	9.8	24.6	25.4	34.4	5.7
	70歳以上 n=108	3.7	8.3	15.7	62.0	10.2
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

⑦SOGI（ソジまたはソギ）

SOGI(ソジまたはソギ)については、「全く知らない」が 79.9%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が 10.7%、「多少は内容(中身)を知っている」が 3.7%となっています。



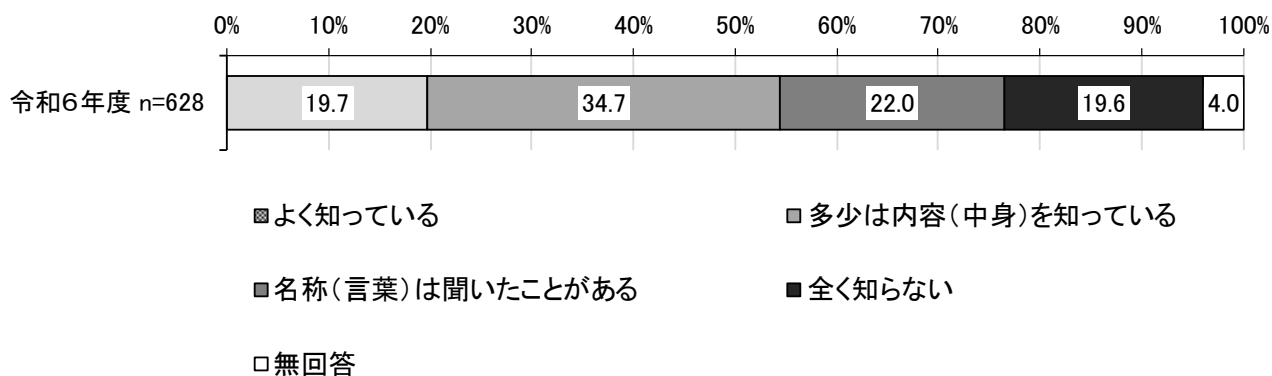
性別にみると、男女ともに「全く知らない」と回答した方の割合が最も高くなっています。
年代別にみても、「全く知らない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		1.3	3.7	10.7	79.9	4.5
性別	男性 n=268	1.9	3.0	10.1	79.5	5.6
	女性 n=355	0.8	4.2	11.0	80.6	3.4
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	0.0	3.4	17.2	75.9	3.4
	20歳代 n=61	1.6	3.3	11.5	83.6	0.0
	30歳代 n=75	4.0	2.7	12.0	80.0	1.3
	40歳代 n=114	0.0	5.3	9.6	83.3	1.8
	50歳代 n=118	1.7	4.2	12.7	76.3	5.1
	60歳代 n=122	1.6	4.1	11.5	77.0	5.7
	70歳以上 n=108	0.0	1.9	5.6	82.4	10.2
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑧LGBT、LGBTQ 等

LGBT、LGBTQ 等については、「多少は内容(中身)を知っている」が 34.7%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が 22.0%、「よく知っている」が 19.7%となっています。



性別にみると、「名称(言葉)は聞いたことがある」と回答した方の割合は、男性は 26.5%である一方で、女性は 18.3%となっています。

年代別にみると、年代が下がるにつれ「よく知っている」と回答した方の割合が高くなる傾向にあります。

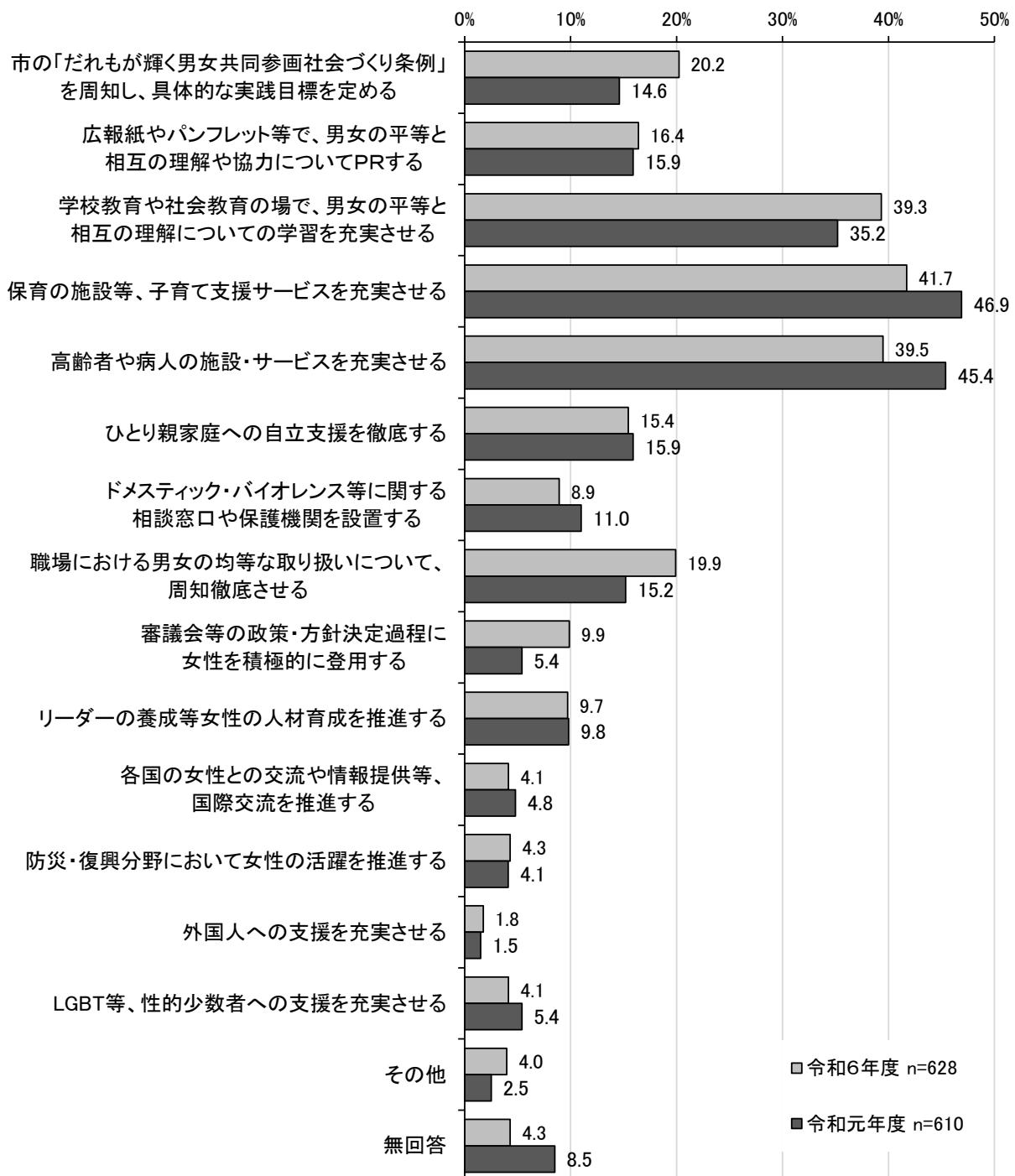
単位: %

		よく知っ ている	多少は内 容(中身)を 知っている	名称(言 葉)は聞い たことがあ る	全く知ら ない	無回答
全体 n=628		19.7	34.7	22.0	19.6	4.0
性別	男性 n=268	16.8	34.7	26.5	17.5	4.5
	女性 n=355	22.3	34.9	18.3	21.1	3.4
	無回答 n=5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	41.4	31.0	6.9	17.2	3.4
	20歳代 n=61	29.5	39.3	16.4	14.8	0.0
	30歳代 n=75	30.7	49.3	12.0	8.0	0.0
	40歳代 n=114	21.1	42.1	24.6	10.5	1.8
	50歳代 n=118	15.3	39.0	23.7	16.9	5.1
	60歳代 n=122	18.0	30.3	23.0	23.8	4.9
	70歳以上 n=108	6.5	14.8	30.6	38.9	9.3
	無回答 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 34 男性も女性も共に輝く社会をつくるため、今後、市(行政)はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

男性も女性も共に輝く社会をつくるため、今後、市(行政)が力を入れていくべきことについては、「保育の施設等、子育て支援サービスを充実させる」が 41.7%で最も高く、次いで「高齢者や病人の施設・サービスを充実させる」が 39.5%、「学校教育や社会教育の場で、男女の平等と相互の理解についての学習を充実させる」が 39.3%となっています。

前回調査と比較して「高齢者や病人の施設・サービスを充実させる」が 5.9 ポイント減少しています。



性別にみると、「高齢者や病人の施設・サービスを充実させる」と回答した方の割合は、男性は36.9%である一方で、女性は41.7%となっています。

年代別にみると、30歳代で「保育の施設等、子育て支援サービスを充実させる」と回答した方の割合は68.0%となっており、他の年代と比較して高くなっています。

単位：％

		市の「だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例」を周知し、具体的な実践目標を定める	広報紙やパンフレット等で、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	学校教育や社会教育の場で、男女の平等と相互の理解についての学習を充実させる	保育の施設等、子育て支援サービスを充実させる	高齢者や病人の施設・サービスを充実させる	ひとり親家庭への自立支援を徹底する	ドメスティック・バイオレンス等に関する相談窓口や保護機関を設置する	職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底させる
性別	全体 n=628	20.2	16.4	39.3	41.7	39.5	15.4	8.9	19.9
	男性 n=268	19.4	16.8	38.8	40.7	36.9	18.7	9.0	18.7
	女性 n=355	21.1	15.8	40.0	42.8	41.7	13.0	8.7	20.8
	無回答 n=5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	0.0	37.9	44.8	6.9	27.6	10.3	37.9
	20歳代 n=61	18.0	13.1	47.5	50.8	24.6	16.4	16.4	27.9
	30歳代 n=75	14.7	8.0	44.0	68.0	24.0	13.3	9.3	26.7
	40歳代 n=114	11.4	7.9	43.0	46.5	39.5	11.4	7.0	20.2
	50歳代 n=118	17.8	16.9	29.7	33.1	50.8	15.3	12.7	14.4
	60歳代 n=122	28.7	25.4	40.2	43.4	45.1	17.2	7.4	16.4
	70歳以上 n=108	29.6	26.9	37.0	20.4	49.1	15.7	3.7	15.7
	無回答 n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

		審議会等の政策・方針決定過程に女性を積極的に登用する	リーダーの養成等女性の人材育成を推進する	各国の女性との交流や情報提供等、国際交流を推進する	防災・復興分野において女性の活躍を推進する	外国人への支援を充実させる	LGBT等、性的少数者への支援を充実させる	その他	無回答
性別	全体 n=628	9.9	9.7	4.1	4.3	1.8	4.1	4.0	4.3
	男性 n=268	9.0	10.8	2.6	6.0	2.2	3.7	3.7	5.6
	女性 n=355	10.7	9.0	5.1	3.1	1.4	4.5	4.2	3.1
	無回答 n=5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年代別	20歳未満 n=29	13.8	17.2	0.0	0.0	6.9	10.3	3.4	3.4
	20歳代 n=61	11.5	9.8	6.6	4.9	0.0	6.6	3.3	1.6
	30歳代 n=75	8.0	8.0	6.7	4.0	1.3	10.7	5.3	0.0
	40歳代 n=114	10.5	8.8	7.0	1.8	4.4	4.4	8.8	3.5
	50歳代 n=118	13.6	11.9	4.2	6.8	2.5	2.5	2.5	6.8
	60歳代 n=122	4.1	11.5	0.8	3.3	0.0	0.8	1.6	2.5
	70歳以上 n=108	11.1	5.6	2.8	6.5	0.0	1.9	2.8	9.3
	無回答 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

11. 自由記述

問 35 男女共同参画に関して、現在取り組んでいることがありましたら、ご自由にお書きください。

男女共同参画に関して、現在取り組んでいることについて、35 人から 35 件のご意見が寄せられました。「男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり」(18 件)や「行政について」(4 件)、「家事の分担」「地域活動について」(ともに 3 件)などが上位にあげられています。

No.	内容	件数
1	男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり	18
2	行政について	4
3	家事の分担	3
4	地域活動について	3
5	イベント等の参加	2
6	子育てについて	2
7	その他	3

※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

問 36 男性も女性も共に輝く社会づくりに向けてのご意見や、男女共同参画について感じていることがありましたら、ご自由にお書きください。

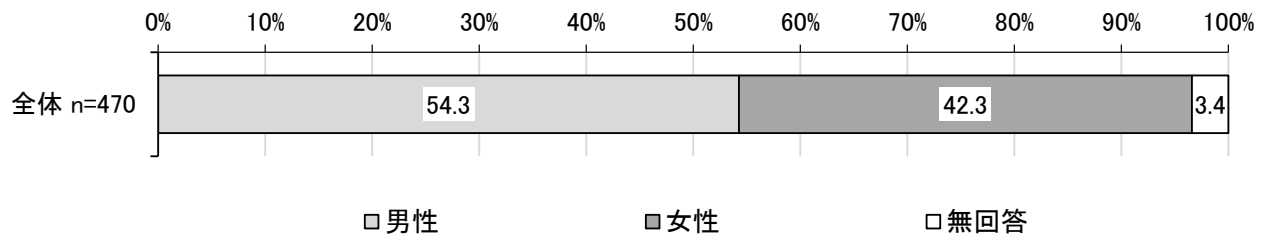
男性も女性も共に輝く社会づくりに向けてのご意見や、男女共同参画について感じていることについて、121 人から 139 件のご意見が寄せられました。「男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり」(34 件)や「男女が共に担う地域社会づくりへの支援」(18 件)、「男女の活躍を支える子育て支援サービスの充実」(16 件)などが上位にあげられています。

No.	内容	件数
1	男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり	34
2	男女が共に担う地域社会づくりへの支援	18
3	男女の活躍を支える子育て支援サービスの充実	16
4	男女が共に働き続けられる職場づくりへの支援	13
5	行政について	8
6	困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	7
7	意思決定の場への女性の参画拡大	6
8	性別や年代に応じた心身の健康づくりへの支援	2
9	国際的な視点からの男女共同参画の推進	2
10	その他	33

※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

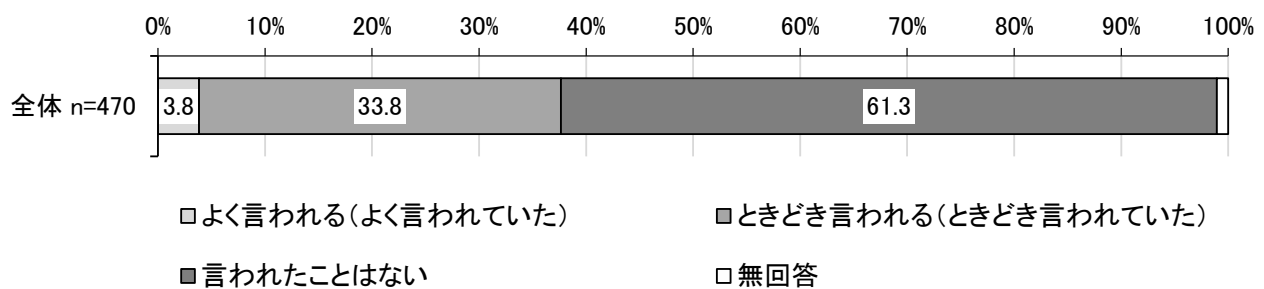
3 調査結果 ②中学生

問1 あなたの自認する性別をお答えください。(当てはまる選択肢がない場合、より近い選択肢を選ぶか、次の質問に進んでください。)(SA)



問2 あなたは「女の子だから～しなさい(しちゃダメ)」や「男の子だから～しなさい(しちゃダメ)」のように言われたことがありますか。(SA)

「女の子・男の子だから～しなさい(しちゃダメ)」と言われたことがあるかについては、「言われたことはない」が 61.3%で最も高く、次いで「ときどき言われる(ときどき言われていた)」が 33.8%、「よく言われる(よく言われていた)」が 3.8%となっています。



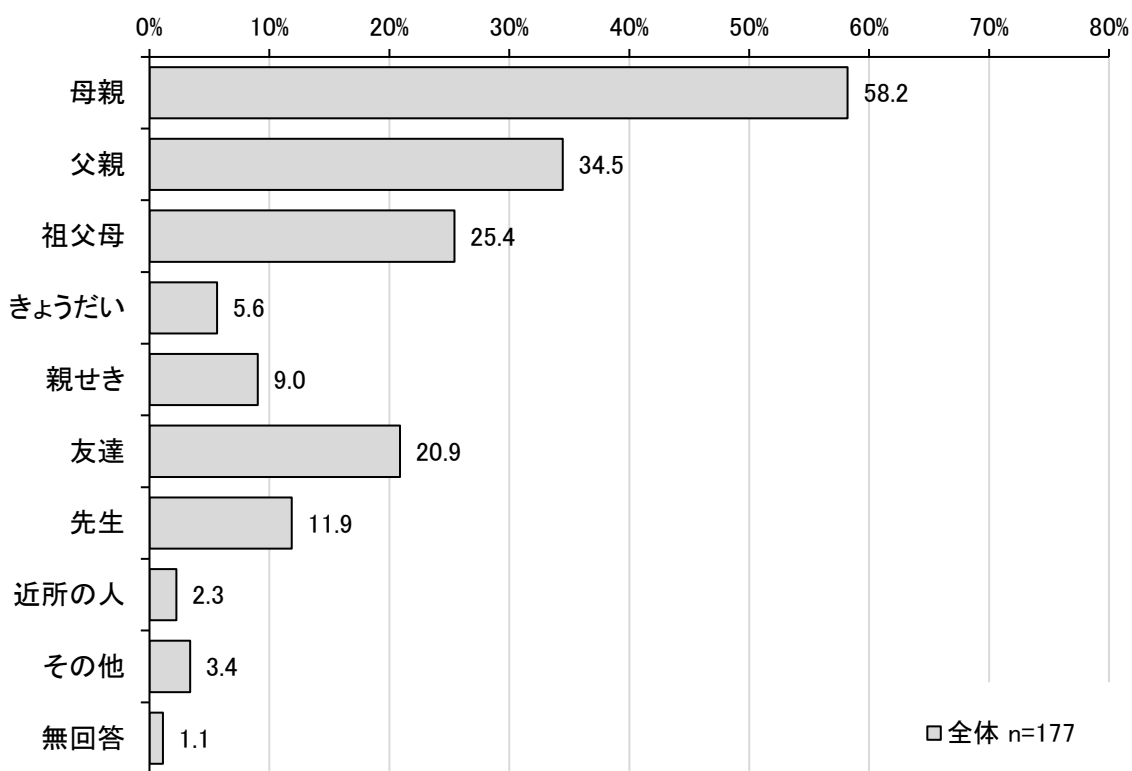
性別にみると、「ときどき言われる(ときどき言われていた)」と回答した方の割合は、男性は 25.5%である一方で、女性は 44.7%となっています。

単位: %

		よく言われる (よく言われていた)	ときどき言 われる(ときどき言 われていた)	言われた ことはない	無回答
全体 n=470		3.8	33.8	61.3	1.1
性別	男性 n=255	2.7	25.5	71.0	0.8
	女性 n=199	5.0	44.7	49.7	0.5
	無回答 n=16	6.3	31.3	50.0	12.5

**問3 問2で「よく言われる」「ときどき言われる」を選択した方
それは、だれに言われましたか。(MA)**

だれに言われるかについては、「母親」が 58.2%で最も高く、次いで「父親」が 34.5%、「祖父母」が 25.4%となっています。



性別にみると、「父親」と回答した方の割合は、男性は 45.8%である一方で、女性は 25.3%となっています。

単位：%

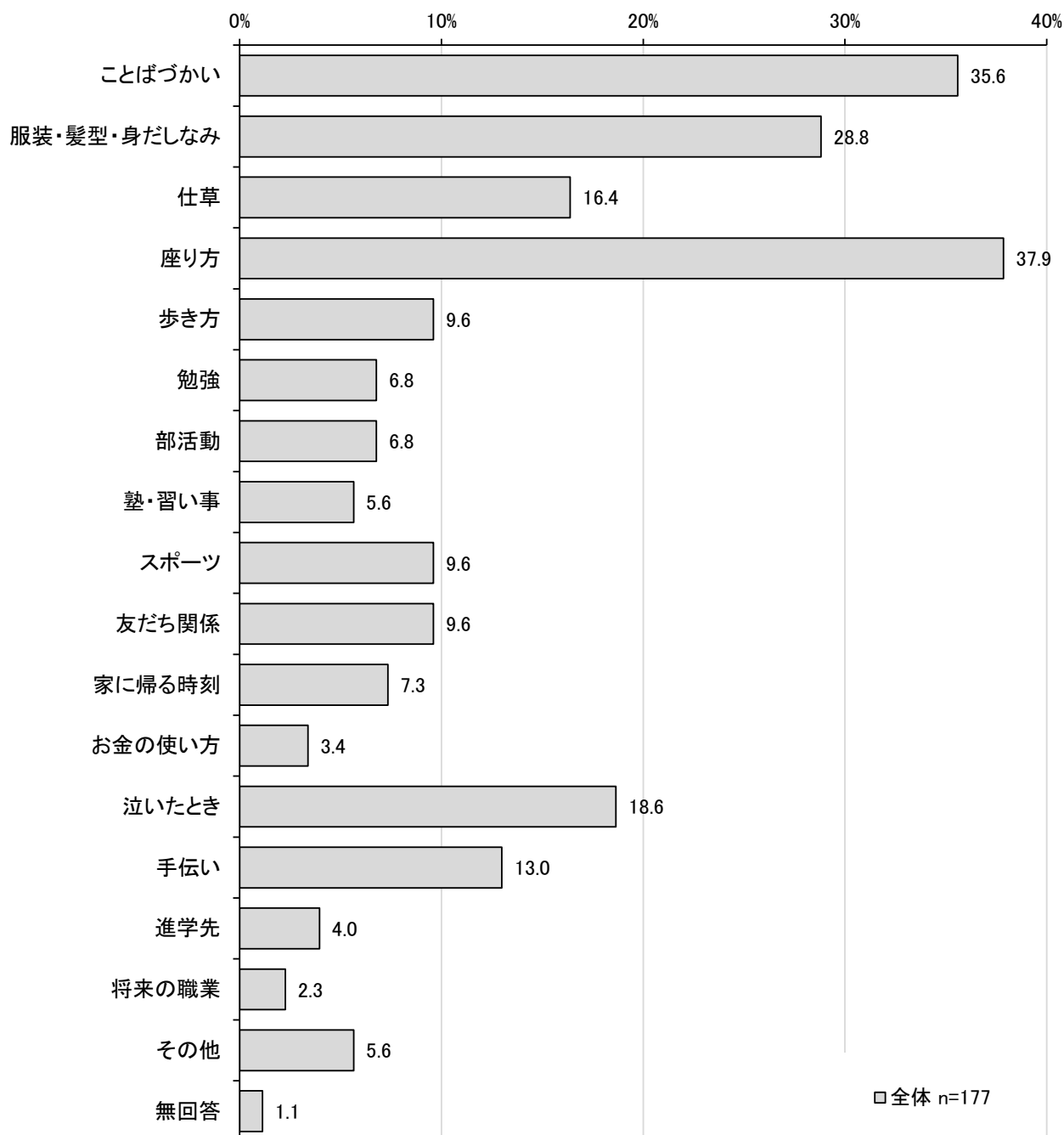
		母親	父親	祖父母	きょうだい	親せき	友達	先生	近所の人
全体 n=177		58.2	34.5	25.4	5.6	9.0	20.9	11.9	2.3
性別	男性 n=72	61.1	45.8	18.1	8.3	6.9	23.6	9.7	0.0
	女性 n=99	56.6	25.3	30.3	3.0	10.1	19.2	11.1	2.0
	無回答 n=6	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3

単位：%

		その他	無回答
全体 n=177		3.4	1.1
性別	男性 n=72	4.2	2.8
	女性 n=99	3.0	0.0
	無回答 n=6	0.0	0.0

問4 問2で「よく言われる」「ときどき言われる」を選択した方
それは、どんなことでしたか。(MA)

どんなことで言われるかについては、「座り方」が 37.9%で最も高く、次いで「ことばづかい」が 35.6%、「服装・髪型・身だしなみ」が 28.8%となっています。



性別にみると、「座り方」と回答した方の割合は、男性は 5.6%である一方で、女性は 61.6%となっています。

単位: %

		ことばづかい	服装・髪型・身だしなみ	仕草	座り方	歩き方	勉強	部活動	塾・習い事	スポーツ
全体 n=177		35.6	28.8	16.4	37.9	9.6	6.8	6.8	5.6	9.6
性別	男性 n=72	12.5	18.1	8.3	5.6	4.2	12.5	11.1	8.3	19.4
	女性 n=99	51.5	37.4	22.2	61.6	13.1	2.0	3.0	3.0	2.0
	無回答 n=6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7

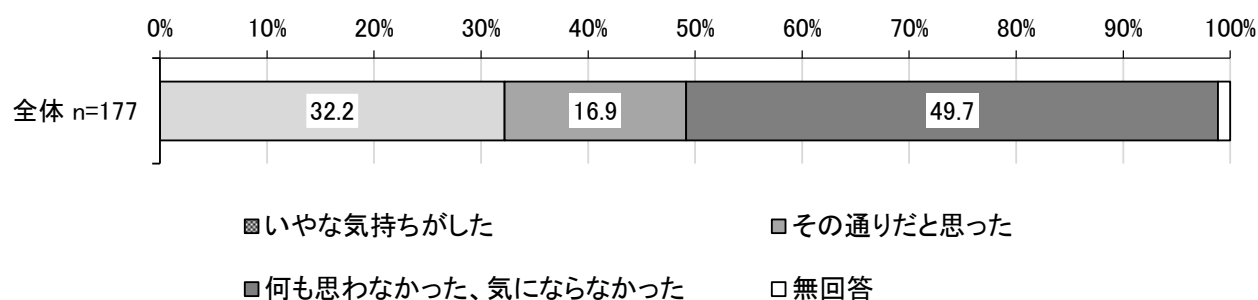
単位: %

		友だち関係	家に帰る時刻	お金の使い方	泣いたとき	手伝い	進学先	将来の職業	その他	無回答
全体 n=177		9.6	7.3	3.4	18.6	13.0	4.0	2.3	5.6	1.1
性別	男性 n=72	9.7	0.0	4.2	40.3	15.3	6.9	2.8	4.2	1.4
	女性 n=99	9.1	12.1	2.0	3.0	10.1	2.0	1.0	7.1	1.0
	無回答 n=6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0

問5 問2で「よく言われる」「ときどき言われる」を選択した方

あなたはその時、どんな気持ちでしたか。一番多く感じる気持ちを選んでください。(SA)

その時の気持ちについては、「何も思わなかった、気にならなかった」が 49.7%で最も高く、次いで「いやな気持ちでした」が 32.2%、「その通りだと思った」が 16.9%となっています。



性別にみると、「その通りだと思った」と回答した方の割合は、男性は 23.6%である一方で、女性は 13.1%となっています。

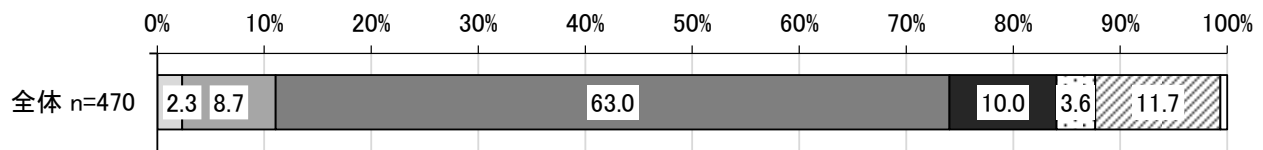
単位: %

		いやな気持ち でした	その通りだ と思った	何も思わな かった、気 にならな かった	無回答
全体 n=177		32.2	16.9	49.7	1.1
性別	男性 n=72	29.2	23.6	45.8	1.4
	女性 n=99	34.3	13.1	51.5	1.0
	無回答 n=6	33.3	0.0	66.7	0.0

問6 あなたは次のような場において男女は平等になっていると思いますか。(SA)

(1) 家庭生活の場で

家庭生活の場については、「男性の方が優先されている」「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合算した『男性の方が優先されている』が11.0%、「女性の方が優先されている」「どちらかと言えば女性の方が優先されている」を合算した『女性の方が優先されている』が13.6%、「平等になっている」が63.0%となっています。



- ☐ 男性のほう優先されている
- ☐ どちらかと言えば男性のほう優先されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性のほう優先されている
- ☐ 女性のほう優先されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

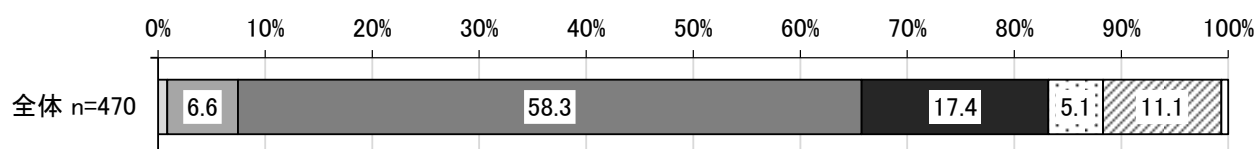
性別にみると、『女性の方が優先されている』と回答した方の割合は、男性が11.3%、女性が16.1%となっています。

単位: %

		男性のほう が優先 されている	どちらかと 言えば男性 のほう が優先 されている	平等に なっている	どちらかと 言えば女性 のほう が優先 されている	女性のほう が優先 されている	わからない	無回答
全体 n=470		2.3	8.7	63.0	10.0	3.6	11.7	0.6
性別	男性 n=255	2.7	7.8	69.0	8.2	3.1	8.6	0.4
	女性 n=199	2.0	10.6	55.8	12.6	3.5	14.6	1.0
	無回答 n=16	0.0	0.0	56.3	6.3	12.5	25.0	0.0

(2) 学校生活の場で

学校生活の場については、「男性の方が優先されている」「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合算した『男性の方が優先されている』が 7.5%、「女性の方が優先されている」「どちらかと言えば女性の方が優先されている」を合算した『女性の方が優先されている』が 22.5%、「平等になっている」が 58.3%となっています。



- ☐ 男性のほうが優先されている
- ☐ どちらかと言えば男性のほうが優先されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性のほうが優先されている
- ☐ 女性のほうが優先されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

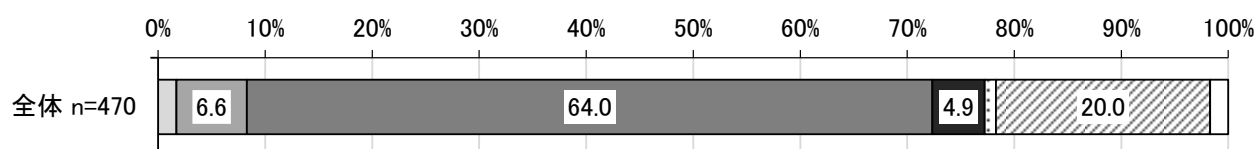
性別にみると、『女性の方が優先されている』と回答した方の割合は、男性が 26.6%、女性が 17.1%となっています。

単位: %

		男性のほう が優先 されている	どちらかと 言えば男性 のほう が優先 されている	平等に なっている	どちらかと 言えば女性 のほう が優先 されている	女性のほう が優先 されている	わからない	無回答
全体 n=470		0.9	6.6	58.3	17.4	5.1	11.1	0.6
性別	男性 n=255	0.4	5.1	58.4	18.8	7.8	8.6	0.8
	女性 n=199	1.5	8.0	59.8	16.1	1.0	13.1	0.5
	無回答 n=16	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0

(3) 地域活動の場で

地域活動の場については、「男性の方が優先されている」「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合算した『男性の方が優先されている』が 8.3%、「女性の方が優先されている」「どちらかと言えば女性の方が優先されている」を合算した『女性の方が優先されている』が 6.0%、「平等になっている」が 64.0%となっています。



- ☐ 男性のほう優先されている
- ☐ どちらかと言えば男性のほう優先されている
- ☒ 平等になっている
- ☒ どちらかと言えば女性のほう優先されている
- ☐ 女性のほう優先されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

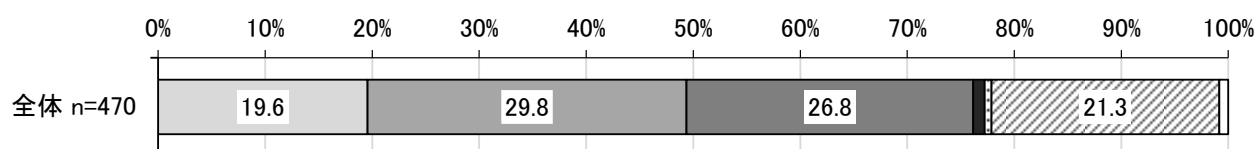
性別にみると、『女性の方が優先されている』と回答した方の割合は、男性が 6.7%、女性が 4.5%となっています。

単位：%

		男性のほう が優先 されている	どちらかと 言えば男性 のほう が優先 されている	平等に なっている	どちらかと 言えば女性 のほう が優先 されている	女性のほう が優先 されている	わからない	無回答
全体 n=470		1.7	6.6	64.0	4.9	1.1	20.0	1.7
性別	男性 n=255	0.8	7.1	66.7	5.1	1.6	17.3	1.6
	女性 n=199	3.0	6.0	62.3	4.0	0.5	22.6	1.5
	無回答 n=16	0.0	6.3	43.8	12.5	0.0	31.3	6.3

(4) 政治の場で

政治の場については、「男性の方が優先されている」「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合算した『男性の方が優先されている』が 49.4%、「女性の方が優先されている」「どちらかと言えば女性の方が優先されている」を合算した『女性の方が優先されている』が 1.7%、「平等になっている」が 26.8%となっています。



- ☐ 男性のほう優先されている
- ☐ どちらかと言えば男性のほう優先されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性のほう優先されている
- ☐ 女性のほう優先されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

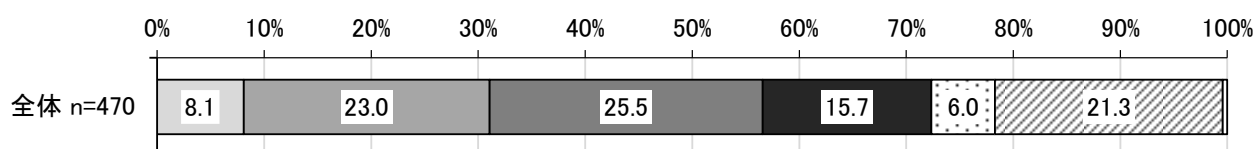
性別にみると、『男性の方が優先されている』と回答した方の割合は、男性が 49.0%、女性が 51.3%となっています。

単位: %

		男性のほう が優先 されている	どちらかと 言えば男性 のほう が優先 されている	平等に なっている	どちらかと 言えば女性 のほう が優先 されている	女性のほう が優先 されている	わからない	無回答
全体 n=470		19.6	29.8	26.8	1.1	0.6	21.3	0.9
性別	男性 n=255	20.8	28.2	29.8	0.8	0.8	18.4	1.2
	女性 n=199	18.6	32.7	22.6	1.5	0.5	23.6	0.5
	無回答 n=16	12.5	18.8	31.3	0.0	0.0	37.5	0.0

（５）社会全体の中で

社会全体については、「男性の方が優先されている」「どちらかと言えば男性の方が優先されている」を合算した『男性の方が優先されている』が 31.1%、「女性の方が優先されている」「どちらかと言えば女性の方が優先されている」を合算した『女性の方が優先されている』が 21.7%、「平等になっている」が 25.5%となっています。



- ☐ 男性のほうが優先されている
- ☐ どちらかと言えば男性のほうが優先されている
- ☐ 平等になっている
- ☐ どちらかと言えば女性のほうが優先されている
- ☐ 女性のほうが優先されている
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

性別にみると、『女性の方が優先されている』と回答した方の割合は、男性が 24.3%、女性が 18.6%となっています。

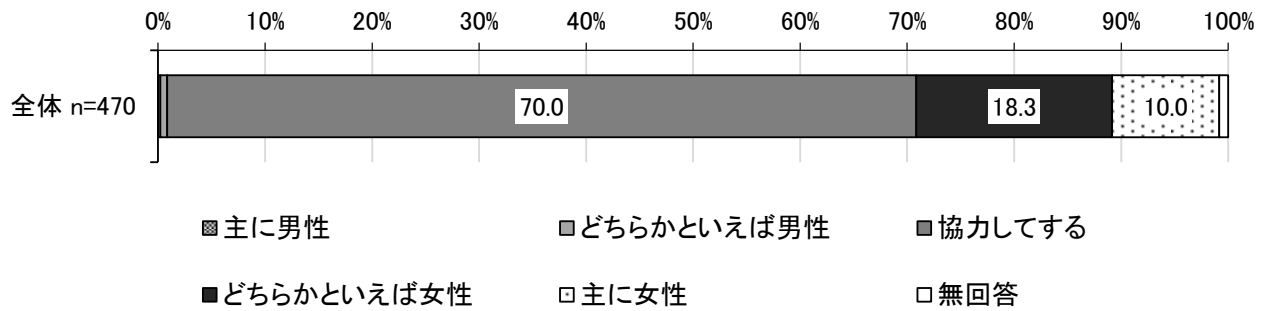
単位：%

		男性のほう が優先 されている	どちらかと 言えば男性 のほうが 優先 されている	平等に なっている	どちらかと 言えば女性 のほうが 優先 されている	女性のほう が優先 されている	わからない	無回答
全体 n=470		8.1	23.0	25.5	15.7	6.0	21.3	0.4
性別	男性 n=255	7.1	25.1	27.1	16.1	8.2	16.1	0.4
	女性 n=199	9.5	21.1	23.6	16.1	2.5	26.6	0.5
	無回答 n=16	6.3	12.5	25.0	6.3	12.5	37.5	0.0

問7 あなたは、次のようなことをだれがするのがよいと思いますか。(SA)

(1) 料理・洗濯・掃除などの家事

料理・洗濯・掃除などの家事をだれがするのがよいと思うかについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 0.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 28.3%、「協力してする」が 70.0%となっています。



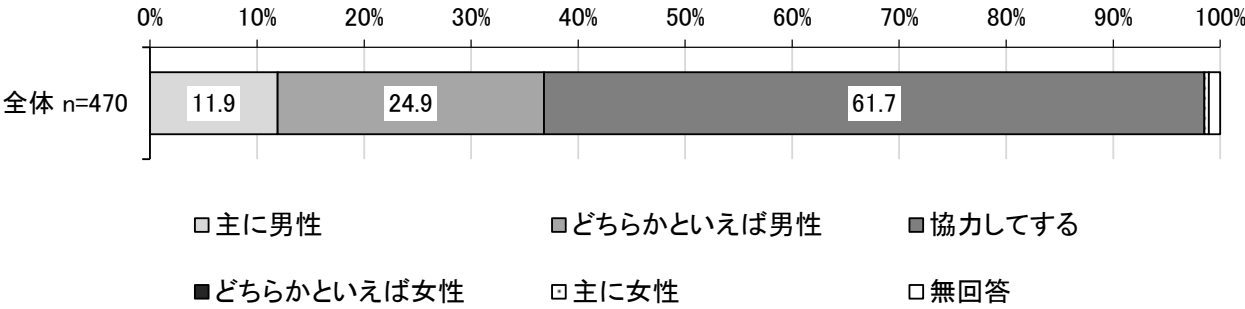
性別にみると、『女性』と回答した方の割合は、男性が 32.9%、女性が 22.1%となっています。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	協力して する	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=470		0.2	0.6	70.0	18.3	10.0	0.9
性別	男性 n=255	0.4	0.4	65.5	19.6	13.3	0.8
	女性 n=199	0.0	0.0	76.9	16.6	5.5	1.0
	無回答 n=16	0.0	12.5	56.3	18.8	12.5	0.0

(2) 生活費を稼ぐこと

生活費を稼ぐことをだれがするのがよいと思うかについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 36.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 0.4%、「協力してする」が 61.7%となっています。



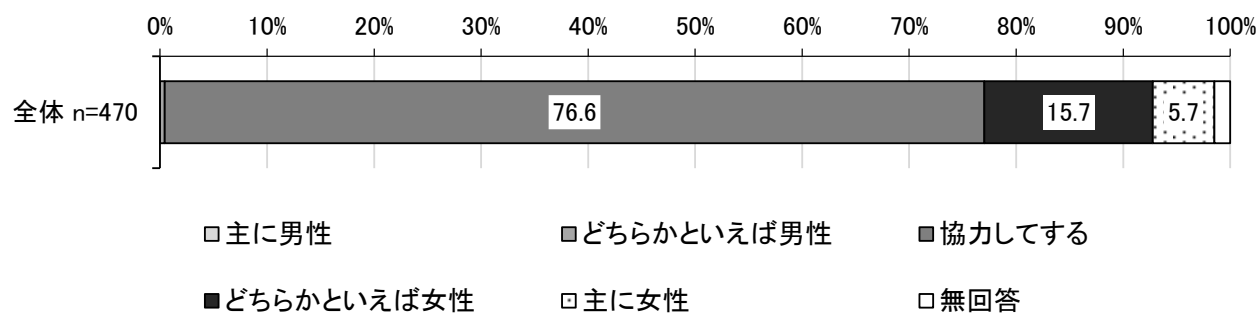
性別にみると、『男性』と回答した方の割合は、男性が 42.7%、女性が 29.1%となっています。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	協力して する	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=470		11.9	24.9	61.7	0.0	0.4	1.1
性別	男性 n=255	17.6	25.1	56.1	0.0	0.4	0.8
	女性 n=199	4.0	25.1	68.8	0.0	0.5	1.5
	無回答 n=16	18.8	18.8	62.5	0.0	0.0	0.0

(3) 子どもの世話や子育て

子どもの世話や子育てをだれがするのがよいと思うかについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 0.4%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 21.4%、「協力してする」が 76.6%となっています。



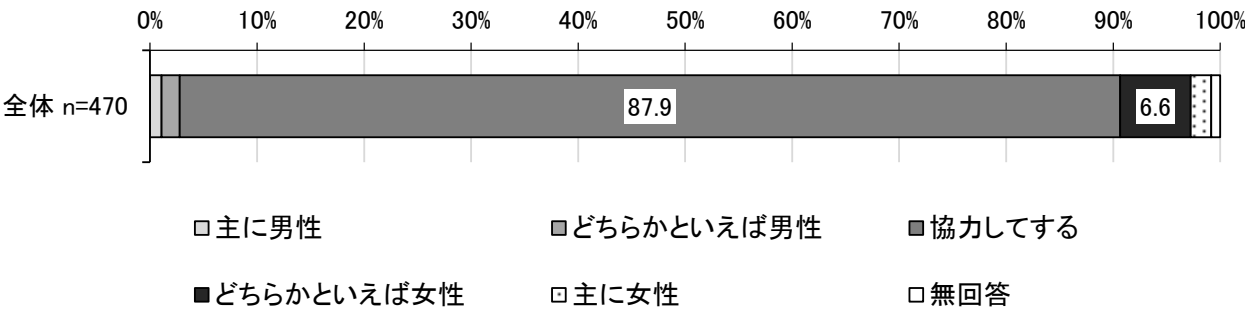
性別にみると、『女性』と回答した方の割合は、男性が 23.6%、女性が 18.6%となっています。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	協力して する	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=470		0.0	0.4	76.6	15.7	5.7	1.5
性別	男性 n=255	0.0	0.4	74.9	16.9	6.7	1.2
	女性 n=199	0.0	0.5	79.4	15.1	3.5	1.5
	無回答 n=16	0.0	0.0	68.8	6.3	18.8	6.3

（４）祖父母や家族の介護

祖父母や家族の介護をだれがするのがよいと思うかについては、「主に男性」「どちらかといえば男性」を合算した『男性』が 2.8%、「主に女性」「どちらかといえば女性」を合算した『女性』が 8.5%、「協力してする」が 87.9%となっています。



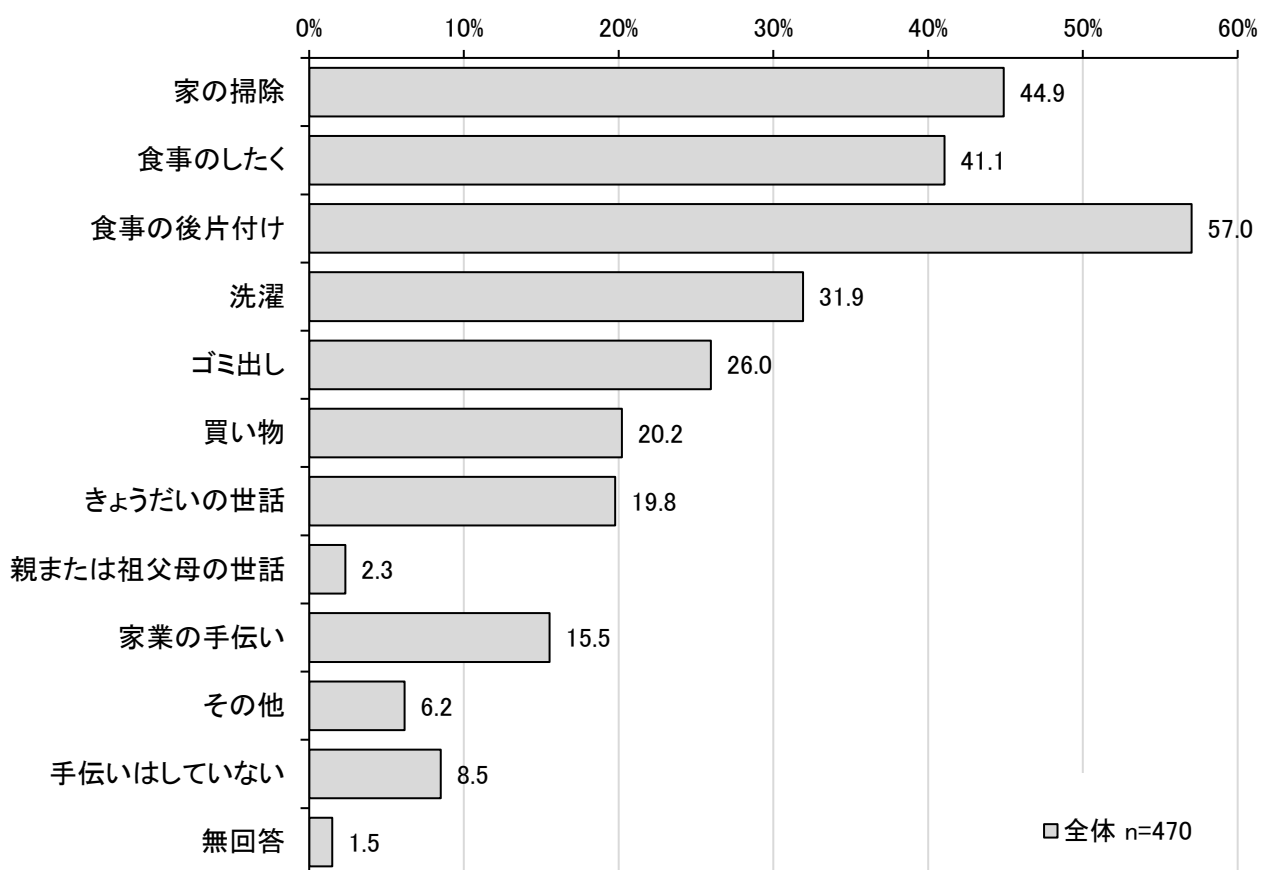
性別にみると、『女性』と回答した方の割合は、男性が 10.2%、女性が 5.5%となっています。

単位: %

		主に男性	どちらかとい えば男性	協力して する	どちらかとい えば女性	主に女性	無回答
全体 n=470		1.1	1.7	87.9	6.6	1.9	0.9
性別	男性 n=255	2.0	2.0	85.1	8.2	2.0	0.8
	女性 n=199	0.0	1.0	92.5	3.5	2.0	1.0
	無回答 n=16	0.0	6.3	75.0	18.8	0.0	0.0

問8 あなたは家庭でどのような手伝いをしていますか。(MA)

家庭でどのような手伝いをしているかについては、「食事の後片付け」が 57.0%で最も高く、次いで「家の掃除」が 44.9%、「食事のしたく」が 41.1%となっています。



性別にみると、「ゴミ出し」と回答した方の割合は、男性は 32.9%である一方で、女性は 17.1%となっています。

単位: %

		家の掃除	食事のしたく	食事の後片付け	洗濯	ゴミ出し	買い物	きょうだいの世話	親または祖父母の世話
全体 n=470		44.9	41.1	57.0	31.9	26.0	20.2	19.8	2.3
性別	男性 n=255	45.5	34.5	54.9	29.4	32.9	18.8	19.6	2.7
	女性 n=199	44.7	48.7	58.3	35.7	17.1	22.1	20.1	2.0
	無回答 n=16	37.5	50.0	75.0	25.0	25.0	18.8	18.8	0.0

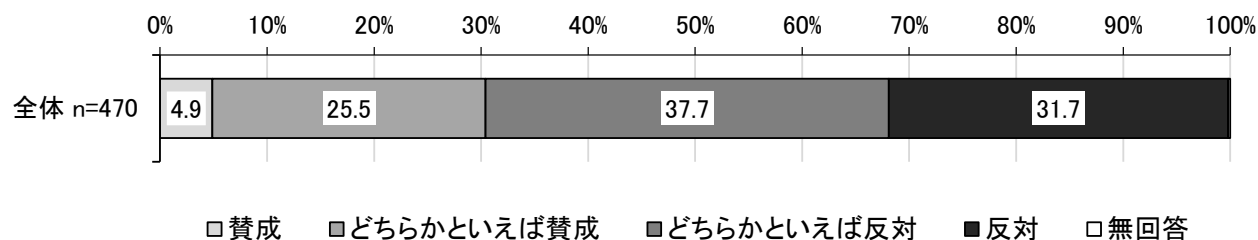
単位: %

		家業の手伝い	その他	手伝いはしていない	無回答
全体 n=470		15.5	6.2	8.5	1.5
性別	男性 n=255	16.5	4.7	9.4	2.0
	女性 n=199	14.1	8.0	8.0	0.0
	無回答 n=16	18.8	6.3	0.0	12.5

問9 あなたは、次の(1)から(5)までの項目について、どのように思いますか。(SA)

(1)「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方

「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 30.4%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 69.4%となっています。



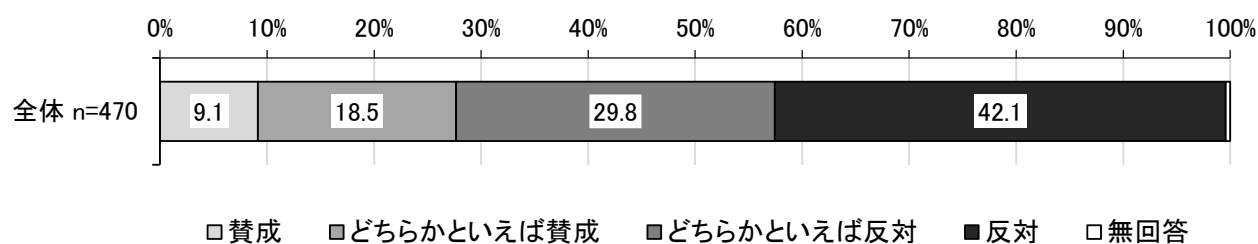
性別にみると、『反対』と回答した方の割合は、男性が 61.1%、女性が 79.9%となっています。

単位: %

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全体 n=470		4.9	25.5	37.7	31.7	0.2
性別	男性 n=255	6.7	32.2	33.3	27.8	0.0
	女性 n=199	2.5	17.1	43.2	36.7	0.5
	無回答 n=16	6.3	25.0	37.5	31.3	0.0

(2)「男は男らしく、女は女らしく」という考え方

「男は男らしく、女は女らしく」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 27.6%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 71.9%となっています。



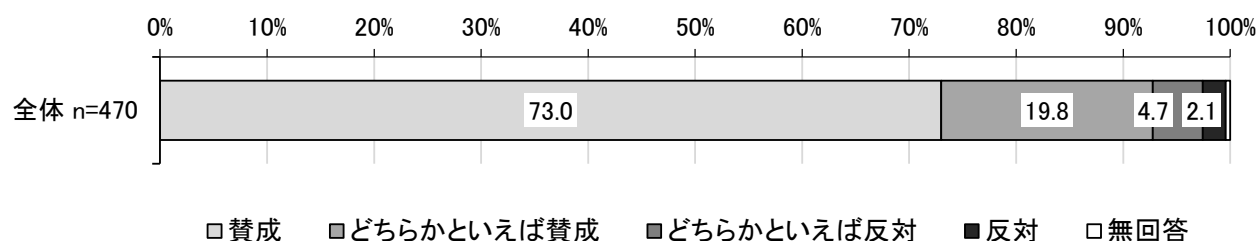
性別にみると、『反対』と回答した方の割合は、男性が 62.0%、女性が 85.0%となっています。

単位: %

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全体 n=470		9.1	18.5	29.8	42.1	0.4
性別	男性 n=255	14.1	23.1	30.2	31.8	0.8
	女性 n=199	3.0	12.1	30.2	54.8	0.0
	無回答 n=16	6.3	25.0	18.8	50.0	0.0

(3)「結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方

「結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 92.8%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 6.8%となっています。



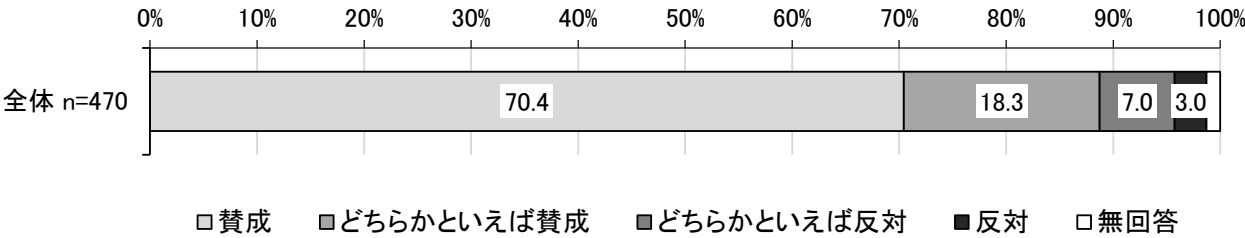
性別にみると、『賛成』と回答した方の割合は、男性が 89.8%、女性が 96.0%となっています。

単位：%

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全体 n=470		73.0	19.8	4.7	2.1	0.4
性別	男性 n=255	89.8	9.8	6.7	3.1	0.4
	女性 n=199	96.0	4.0	2.5	1.0	0.5
	無回答 n=16	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0

(4)「結婚しても、子どもがいない夫婦であってもよい」という考え方

「結婚しても、子どもがいない夫婦であってもよい」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 88.7%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 10.0% となっています。



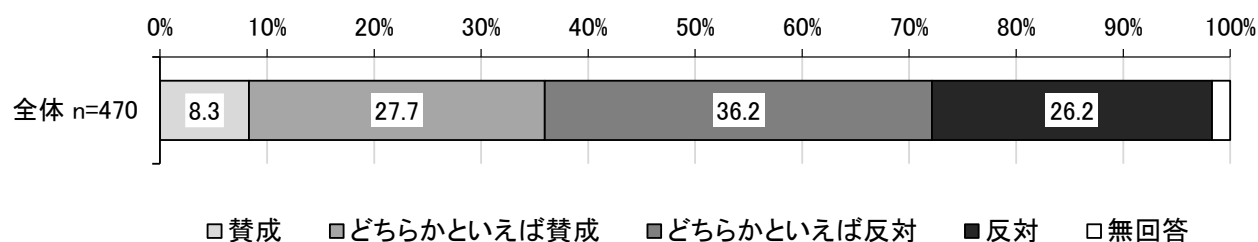
性別にみると、『賛成』と回答した方の割合は、男性が 84.0%、女性が 94.5%となっています。

単位：%

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全体 n=470		70.4	18.3	7.0	3.0	1.3
性別	男性 n=255	84.0	12.0	3.0	1.0	0.0
	女性 n=199	94.5	4.5	0.0	0.0	0.0
	無回答 n=16	81.3	12.5	0.0	0.0	6.3

(5) 仕事を「男性向きの仕事、女性向きの仕事」など、性別で分けるという考え方

「仕事を「男性向きの仕事、女性向きの仕事」など、性別で分ける」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 36.0%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 62.4%となっています。



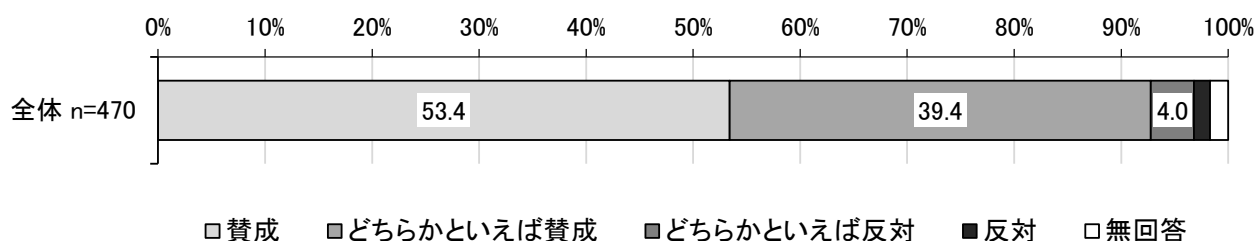
性別にみると、『反対』と回答した方の割合は、男性が 58.0%、女性が 68.9%となっています。

単位: %

		賛成	どちらかとい えは賛成	どちらかとい えは反対	反対	無回答
全体 n=470		8.3	27.7	36.2	26.2	1.7
性別	男性 n=255	11.8	29.4	35.3	22.7	0.8
	女性 n=199	3.5	25.1	37.2	31.7	2.5
	無回答 n=16	12.5	31.3	37.5	12.5	6.3

(6)「女性だけでなく男性も育児休業を取得したほうがよい」という考え方

「女性だけでなく男性も育児休業を取得したほうがよい」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合算した『賛成』が 92.8%、「反対」「どちらかといえば反対」を合算した『反対』が 5.5%となっています。



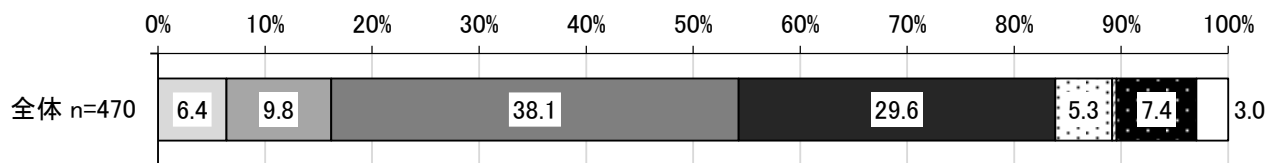
性別にみると、『賛成』と回答した方の割合は、男性が 92.1%、女性が 93.5%となっています。

単位: %

		賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全体 n=470		53.4	39.4	4.0	1.5	1.7
性別	男性 n=255	52.9	39.2	5.9	1.2	0.8
	女性 n=199	53.8	39.7	1.5	2.0	3.0
	無回答 n=16	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0

問 10 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。(SA)

女性の働き方で望ましいと思いのものについては、「子どもができたなら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が 38.1%で最も高く、次いで「子どもができたならパート等に切り替える方がよい」が 29.6%、「子どもができるまでは仕事を持つ方がよい」が 9.8%となっています。



- ☐ 結婚するまでは仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができるまでは仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができたなら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
- ☐ 子どもができたならパート等に切り替える方がよい
- ☐ 子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい
- ☐ 女性には仕事を持たない方がよい
- ☐ その他
- ☐ 無回答

性別にみると、「子どもができたならパート等に切り替える方がよい」と回答した方の割合は、男性は 26.3%である一方で、女性は 33.2%となっています。

単位: %

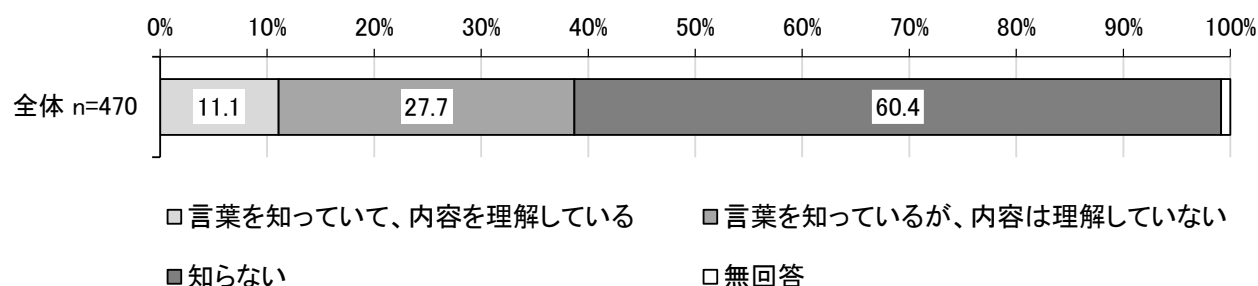
		結婚するまでは仕事を持つ方がよい	子どもができるまでは仕事を持つ方がよい	子どもができたなら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい	子どもができたならパート等に切り替える方がよい	子どもができてフルタイムで仕事を続ける方がよい	女性には仕事を持たない方がよい	その他	無回答
全体 n=470		6.4	9.8	38.1	29.6	5.3	0.4	7.4	3.0
性別	男性 n=255	8.2	11.4	37.3	26.3	5.1	0.4	8.2	3.1
	女性 n=199	4.5	7.5	39.7	33.2	5.5	0.5	6.5	2.5
	無回答 n=16	0.0	12.5	31.3	37.5	6.3	0.0	6.3	6.3

問 11 あなたは、次の(1)から(5)までの言葉について知っていますか。(SA)

(1) 男女共同参画社会

※性別に関係なく一人一人が大切にされ、個性や能力を活かして、いきいきとした生き方ができるように、みんなが責任を持って協力し合う社会のこと。

男女共同参画社会については、「知らない」が60.4%で最も高く、次いで「言葉を知っているが、内容は理解していない」が27.7%、「言葉を知っていて、内容を理解している」が11.1%となっています。



性別にみると、男女ともに「知らない」と回答した方の割合が最も高くなっています。

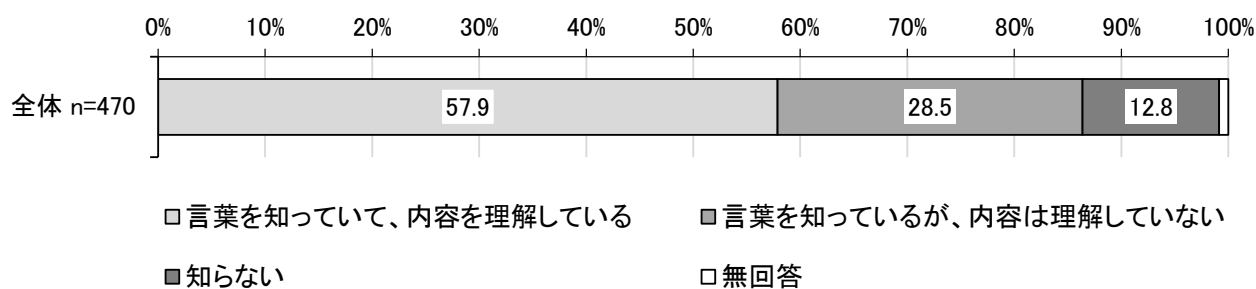
単位: %

		言葉を知っていて、内容を理解している	言葉を知っているが、内容は理解していない	知らない	無回答
全体 n=470		11.1	27.7	60.4	0.9
性別	男性 n=255	11.8	29.0	58.4	0.8
	女性 n=199	10.1	26.1	62.8	1.0
	無回答 n=16	12.5	25.0	62.5	0.0

(2) ジェンダー（社会的性別）

※しきたりや慣習など、社会や文化のなかで作られた性別に対する考え方のこと。

ジェンダーについては、「言葉を知っていて、内容を理解している」が 57.9%で最も高く、次いで「言葉を知っているが、内容は理解していない」が 28.5%、「知らない」が 12.8%となっています。



性別にみると、「知らない」と回答した方の割合は、男性は 15.7%である一方で、女性は 8.0%となっています。

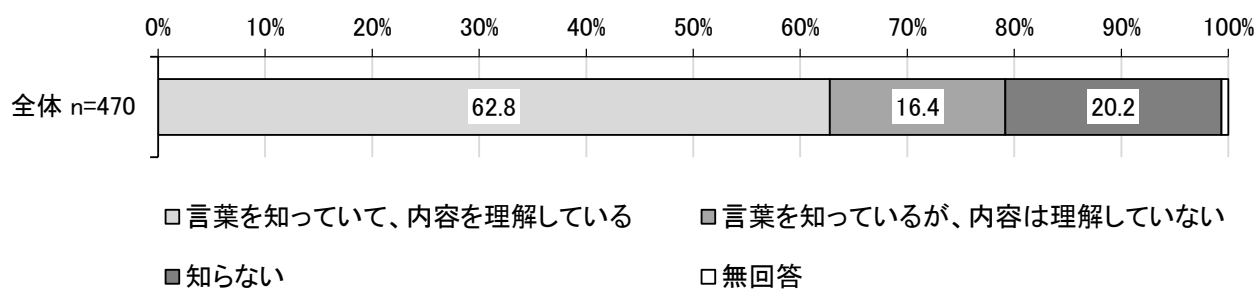
単位: %

		言葉を知って いて、内 容を理解 している	言葉を知っ ているが、 内容は理 解していな い	知らない	無回答
全体 n=470		57.9	28.5	12.8	0.9
性別	男性 n=255	53.3	30.2	15.7	0.8
	女性 n=199	62.3	28.6	8.0	1.0
	無回答 n=16	75.0	0.0	25.0	0.0

(3) DV（ドメスティック・バイオレンス）

※夫婦や恋人など親密な関係にある（あった）パートナーから振るわれる暴力。身体的、精神的、経済的などさまざまな形態がある。

DV(ドメスティック・バイオレンス)については、「言葉を知っていて、内容を理解している」が 62.8%で最も高く、次いで「知らない」が 20.2%、「言葉を知っているが、内容は理解していない」が 16.4%となっています。



性別にみると、「言葉を知っていて、内容を理解している」と回答した方の割合は、男性は 55.7%である一方で、女性は 71.9%となっています。

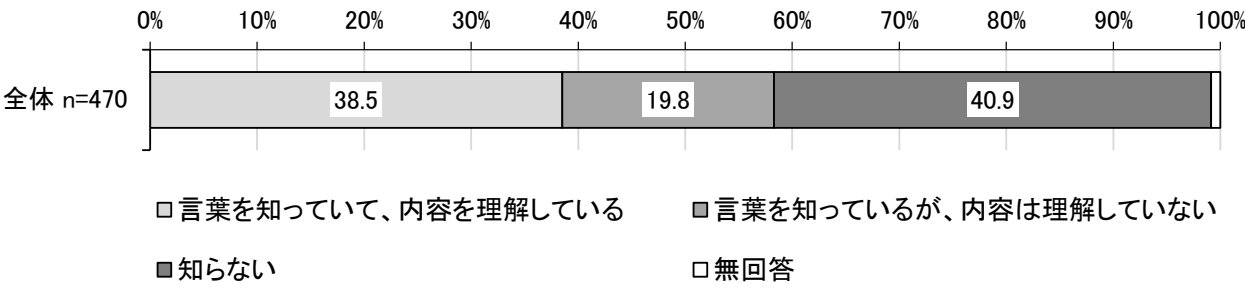
単位: %

		言葉を知って いて、内 容を理解 している	言葉を知っ ているが、 内容は理 解していな い	知らない	無回答
全体 n=470		62.8	16.4	20.2	0.6
性別	男性 n=255	55.7	21.2	22.0	1.2
	女性 n=199	71.9	11.1	17.1	0.0
	無回答 n=16	62.5	6.3	31.3	0.0

（４）デートDV（恋人間での暴力）

※交際中の恋人同士で起こる暴力や支配的行動のこと。

デートDVについては、「知らない」が 40.9%で最も高く、次いで「言葉を知っていて、内容を理解している」が 38.5%、「言葉を知っているが、内容は理解していない」が 19.8%となっています。



性別にみると、「言葉を知っていて、内容を理解している」と回答した方の割合は、男性は 35.7%である一方で、女性は 43.2%となっています。

単位: %

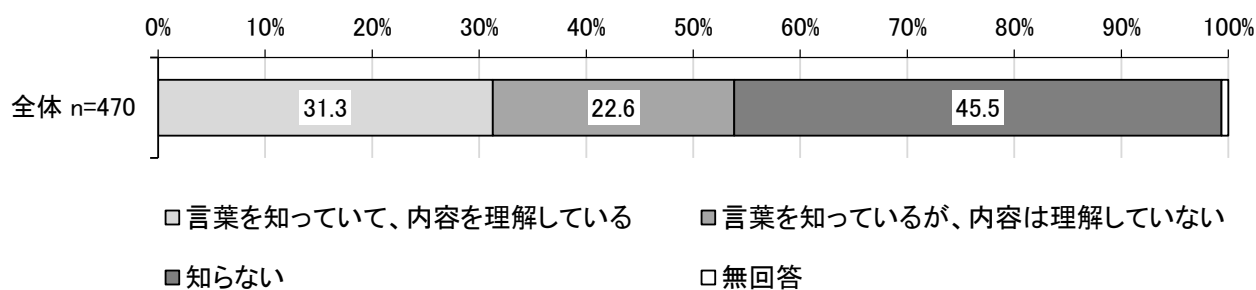
		言葉を知って いて、内 容を理解 している	言葉を知っ ているが、 内容は理 解していな い	知らない	無回答
全体 n=470		38.5	19.8	40.9	0.9
性別	男性 n=255	35.7	21.2	42.4	0.8
	女性 n=199	43.2	17.6	38.2	1.0
	無回答 n=16	25.0	25.0	50.0	0.0

(5) LGBT、LGBTQなど

※以下の英単語の頭文字をとった言葉。多様な性的指向(どのような性別の人を好きになるか)や性自認(自分の性をどのように認識しているか)を指す。

レスビアン Lesbian	: 女性を好きになる女性
ゲイ Gay	: 男性を好きになる男性
バイセクシュアル Bisexual	: 男女どちらも好きになる人
トランス ジェンダー Trans-gender	: 出生時に割り当てられた性別と異なる性別を生きる人/生きたい人
クィア クエスチョニング Queer/Questioning	: 自分の性別や、好きになる相手の性別を決めていない人

LGBT、LGBTQについては、「知らない」が 45.5%で最も高く、次いで「言葉を知っていて、内容を理解している」が 31.3%、「言葉を知っているが、内容は理解していない」が 22.6%となっています。



性別にみると、「言葉を知っていて、内容を理解している」と回答した方の割合は、男性は 22.4%である一方で、女性は 41.2%となっています。

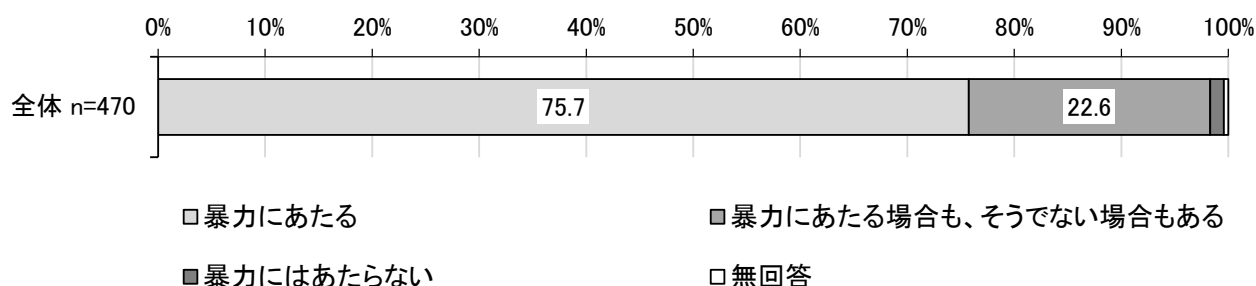
単位: %

		言葉を知って いて、内 容を理解 している	言葉を知っ ているが、 内容は理 解していな い	知らない	無回答
全体 n=470		31.3	22.6	45.5	0.6
性別	男性 n=255	22.4	25.1	51.8	0.8
	女性 n=199	41.2	20.6	37.7	0.5
	無回答 n=16	50.0	6.3	43.8	0.0

問 12 あなたは、交際相手(付き合っている相手)の次のような行動や態度について、暴力だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(SA)

(1) たたいたり、けったりする(たたくふりや、けるふりも含む)

たたいたり、けったりする(たたくふりや、けるふりも含む)行動や態度については、「暴力にあたる」が75.7%で最も高く、次いで「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が22.6%、「暴力にはあたらない」が1.3%となっています。



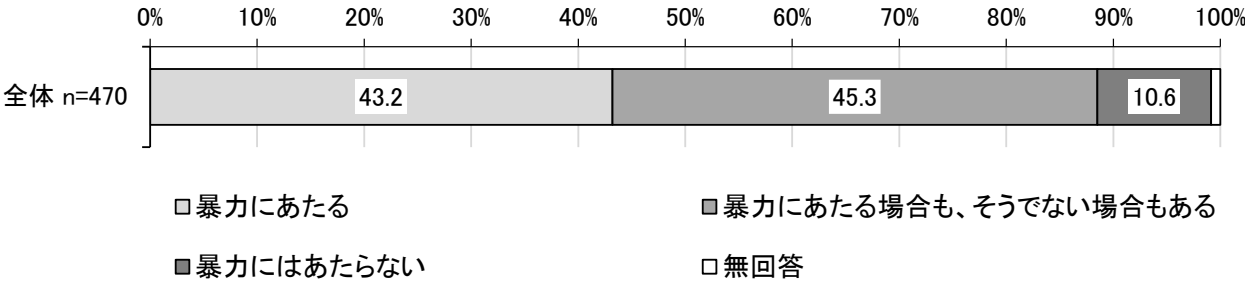
性別にみると、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」と回答した方の割合は、男性は20.4%である一方で、女性は26.6%となっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		75.7	22.6	1.3	0.4
性別	男性 n=255	76.9	20.4	2.0	0.8
	女性 n=199	72.9	26.6	0.5	0.0
	無回答 n=16	93.8	6.3	0.0	0.0

（２）大声でどなる

大声でどなる行動や態度については、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が 45.3%で最も高く、次いで「暴力にあたる」が 43.2%、「暴力にはあたらない」が 10.6%となっています。



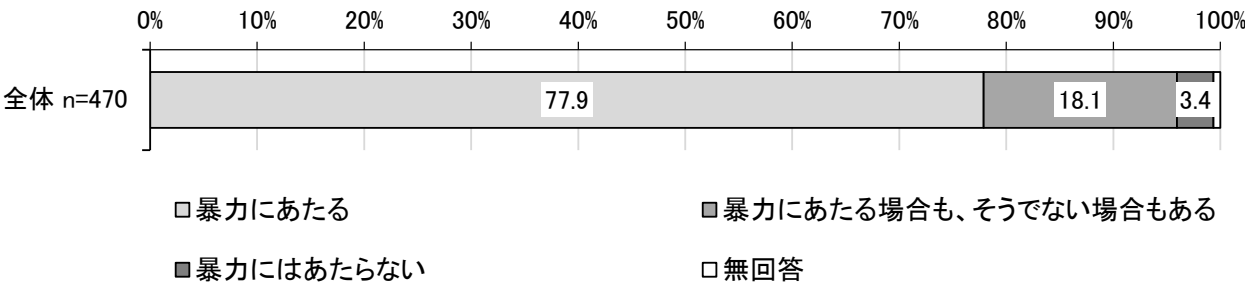
性別にみると、「暴力にはあたらない」と回答した方の割合は、男性は 14.1%である一方で、女性は 6.0%となっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		43.2	45.3	10.6	0.9
性別	男性 n=255	40.4	44.3	14.1	1.2
	女性 n=199	46.7	46.7	6.0	0.5
	無回答 n=16	43.8	43.8	12.5	0.0

(3) 嫌がっているのに体にさわる

嫌がっているのに体にさわる行動や態度については、「暴力にあたる」が 77.9%で最も高く、次いで「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が 18.1%、「暴力にはあたらない」が 3.4%となっています。



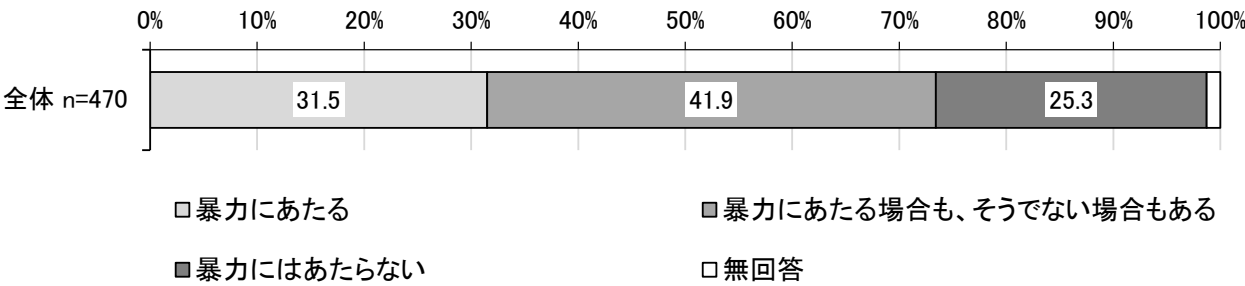
性別にみると、男女ともに「暴力にあたる」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		77.9	18.1	3.4	0.6
性別	男性 n=255	76.1	18.0	5.1	0.8
	女性 n=199	79.4	18.6	1.5	0.5
	無回答 n=16	87.5	12.5	0.0	0.0

(4) デートの費用をいつも払わせる

デートの費用をいつも払わせる行動や態度については、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が 41.9%で最も高く、次いで「暴力にあたる」が 31.5%、「暴力にはあたらない」が 25.3%となっています。



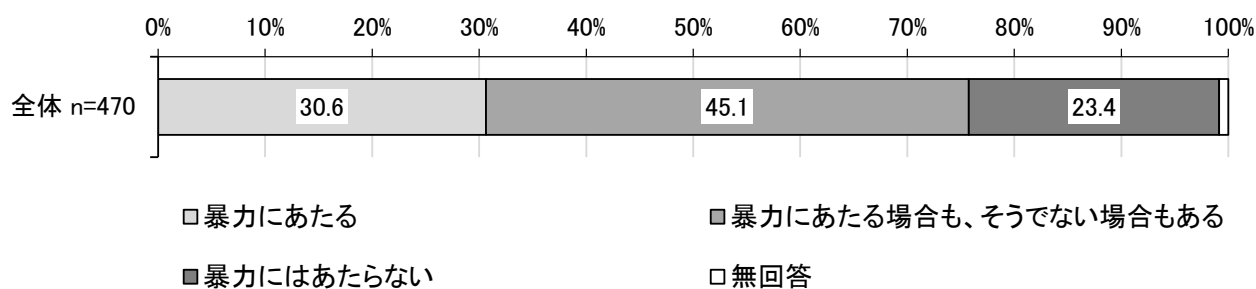
性別にみると、「暴力にはあたらない」と回答した方の割合は、男性は 29.4%である一方で、女性は 20.6%となっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		31.5	41.9	25.3	1.3
性別	男性 n=255	29.4	39.6	29.4	1.6
	女性 n=199	34.2	44.2	20.6	1.0
	無回答 n=16	31.3	50.0	18.8	0.0

(5) 友人との付き合いを嫌がったり、制限したりする

友人との付き合いを嫌がったり、制限したりする行動や態度については、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が45.1%で最も高く、次いで「暴力にあたる」が30.6%、「暴力にはあたらない」が23.4%となっています。



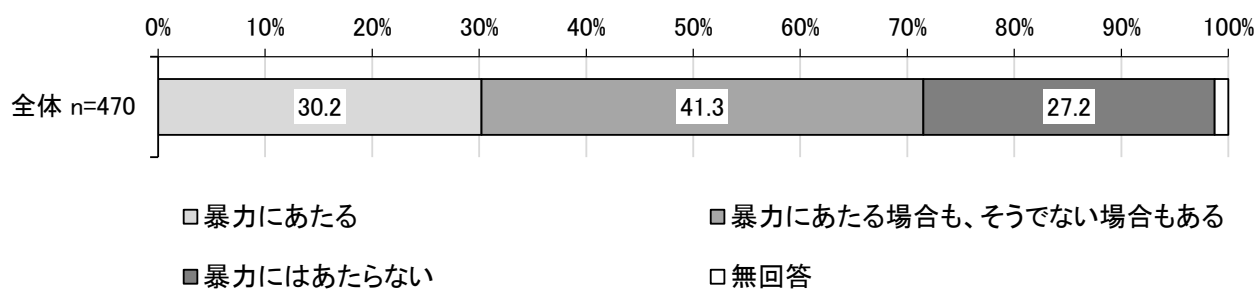
性別にみると、男女ともに「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」と回答した方の割合が最も高くなっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		30.6	45.1	23.4	0.9
性別	男性 n=255	31.8	42.0	25.1	1.2
	女性 n=199	29.1	48.2	22.1	0.5
	無回答 n=16	31.3	56.3	12.5	0.0

（６）LINE などのメッセージの返信が遅いと言って怒ったり不機嫌になったりする

LINE などのメッセージの返信が遅いと言って怒ったり不機嫌になったりする行動や態度については、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」が 41.3%で最も高く、次いで「暴力にあたる」が 30.2%、「暴力にはあたらない」が 27.2%となっています。



性別にみると、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もある」と回答した方の割合は、男性は 37.3%である一方で、女性は 45.7%となっています。

単位: %

		暴力にあたる	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もある	暴力には あたらない	無回答
全体 n=470		30.2	41.3	27.2	1.3
性別	男性 n=255	30.6	37.3	30.6	1.6
	女性 n=199	30.2	45.7	23.1	1.0
	無回答 n=16	25.0	50.0	25.0	0.0

問 13 男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて自由に書いてください。

男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて、351 人から 439 件のご意見が寄せられました。「差別、区別、偏見を排除する」(112 件)や「互いを理解、尊重する」(100 件)、「互いに個々の能力を尊重し、自らの意思で自由に行動する」(59 件)などが上位にあげられています。

No.	内容	件数
1	差別、区別、偏見を排除する	112
2	互いを理解、尊重する	100
3	互いに個々の能力を尊重し、自らの意思で自由に行動する	59
4	個人間だけでなく、社会全体で協力し合う考えを浸透させる	56
5	性差に関わらず互いが対等で平等という考えを持つ	54
6	仕事、家事、育児等あらゆる場面で性差なく互いに協力し合う	27
7	女性の政治参加を増進する	6
8	その他	25

※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

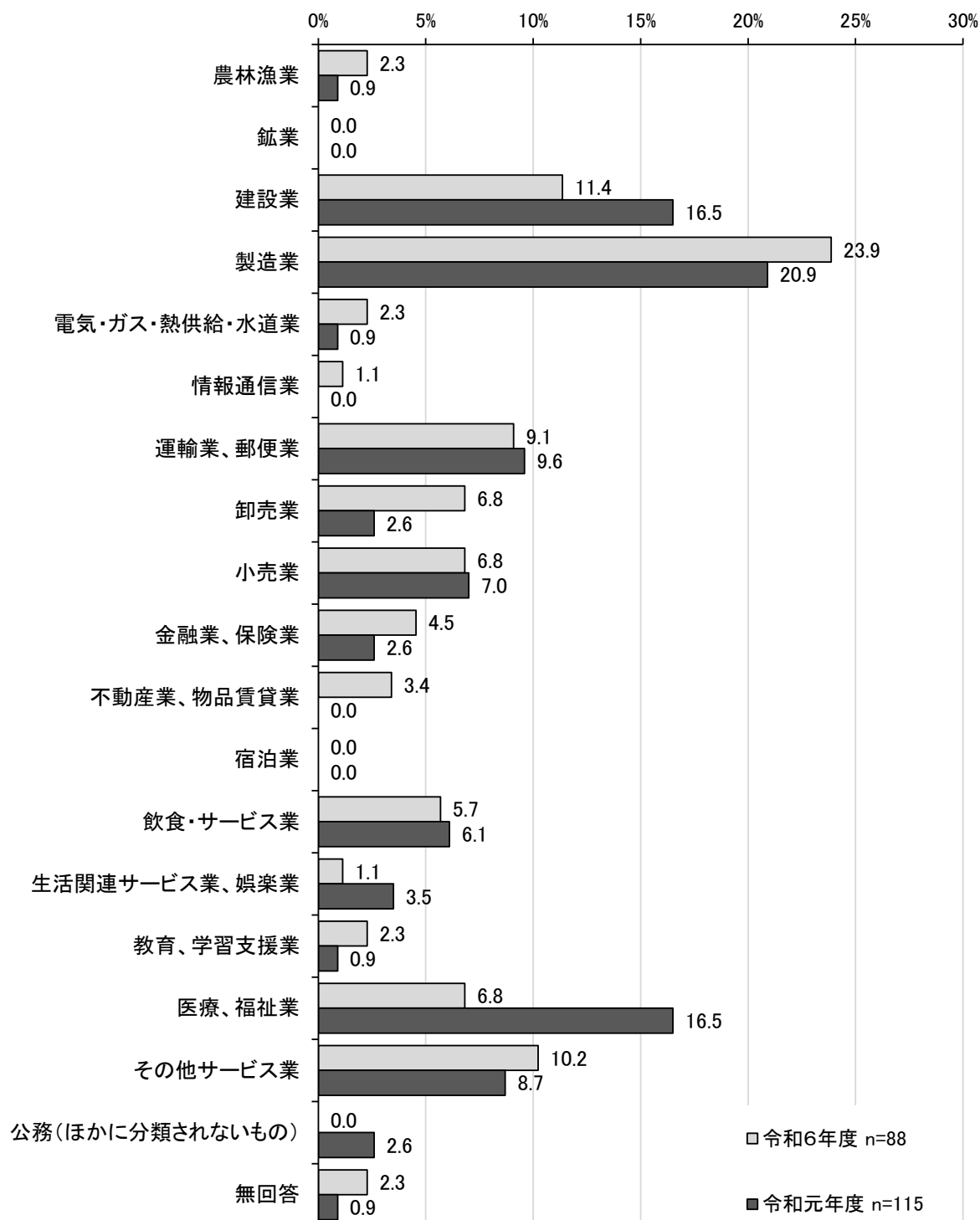
4 調査結果 ③事業所

1.事業所の状況についてうかがいます。

問1 貴事業所の業種の産業分類をお答えください。(SA)

事業所の産業分類については、「製造業」が 23.9%で最も高く、次いで「建設業」が 11.4%、「その他サービス業」が 10.2%となっています。

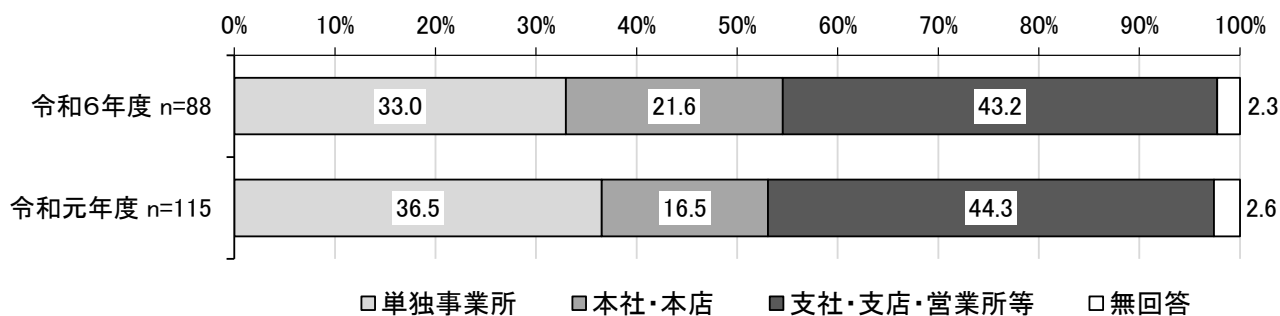
前回調査と比較して「医療、福祉業」が 9.7 ポイント減少しています。



問2 貴事業所の区分をお答えください。(SA)

事業所の区分については、「支社・支店・営業所等」が 43.2%で最も高く、次いで「単独事業所」が 33.0%、「本社・本店」が 21.6%となっています。

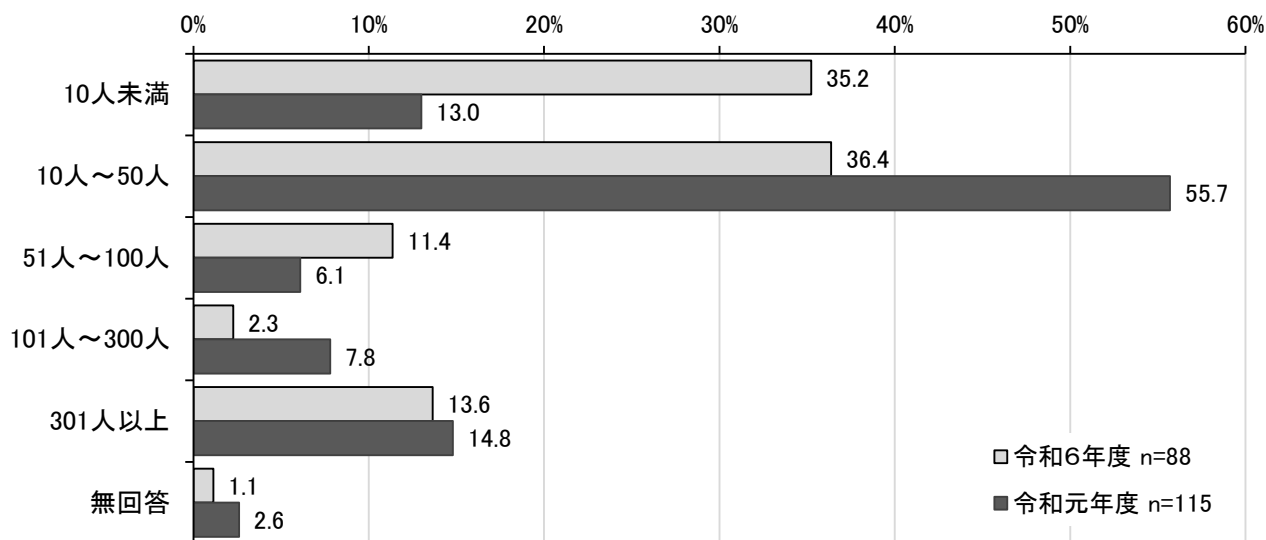
前回調査と比較して「本社・本店」が 5.1 ポイント増加しています。



問3 令和6年10月1日時点における貴事業所の全体の従業員数をお答えください(本社・支店・営業所等の合計)。(SA)

事業所の全体の従業員数については、「10 人～50 人」が 36.4%で最も高く、次いで「10 人未満」が 35.2%、「301 人以上」が 13.6%となっています。

前回調査と比較して「10 人未満」が 22.2 ポイント増加しています。

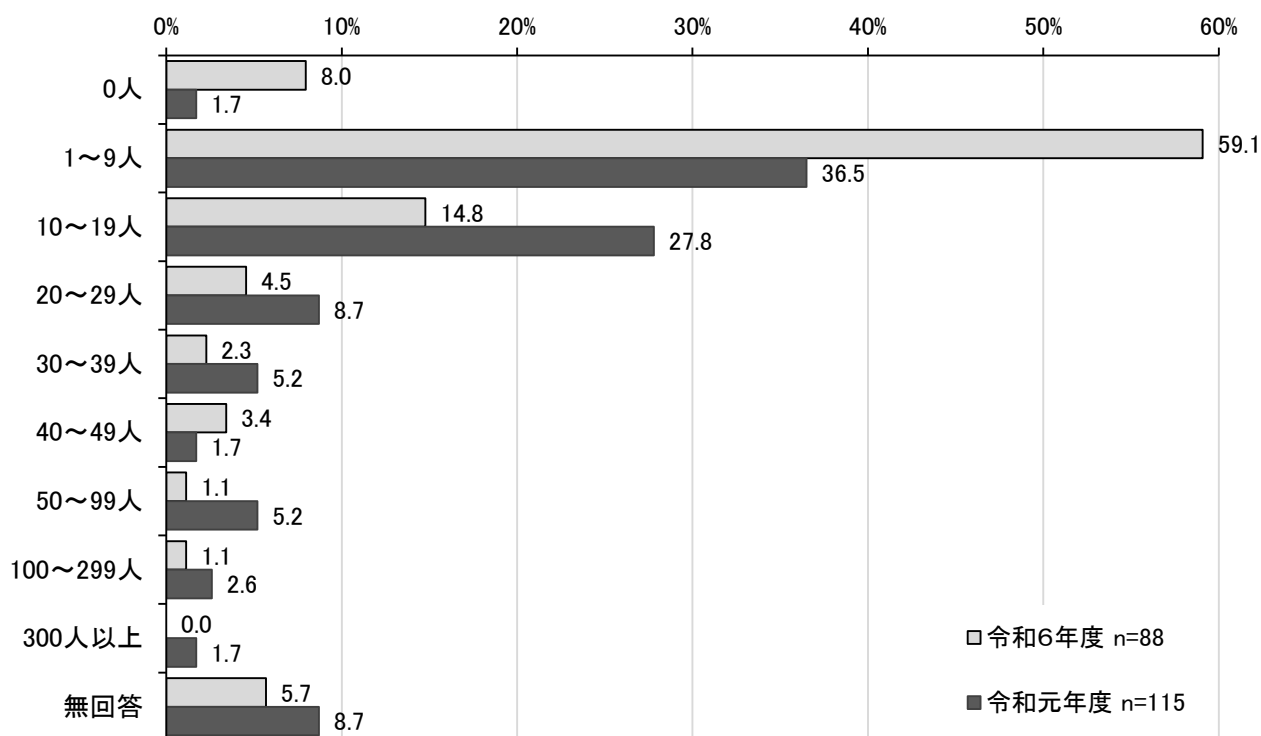


問4 令和6年10月1日時点における雇用形態ごとの従業員数をお答えください(下野市内にある事業所に所属する人数)。該当者がいない場合は0とご記入ください。(数字を記入)

正規従業員・男性

正規従業員・男性については、「1～9 人」が 59.1%で最も高く、次いで「10～19 人」が 14.8%、「0 人」が 8.0%となっています。

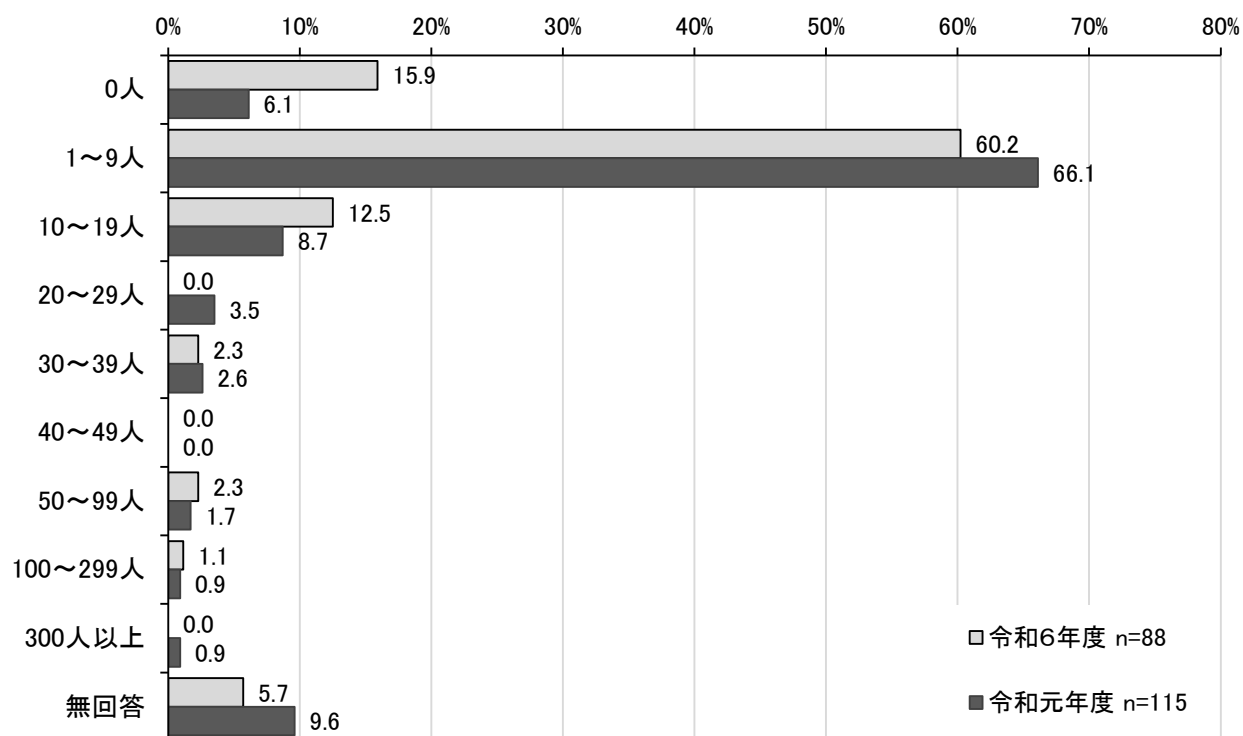
前回調査と比較して「1～9 人」が 22.6 ポイント増加しています。



正規従業員・女性

正規従業員・女性については、「1～9 人」が 60.2%で最も高く、次いで「0 人」が 15.9%、「10～19 人」が 12.5%となっています。

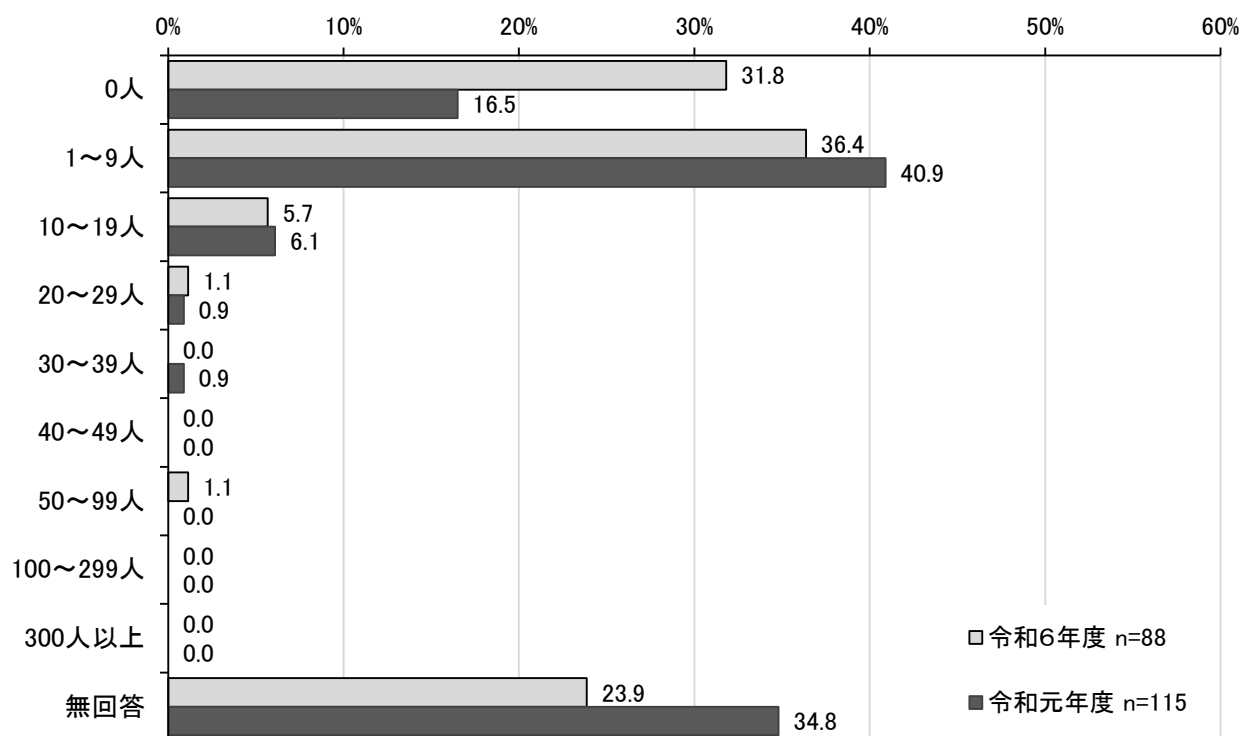
前回調査と比較して「0 人」が 9.8 ポイント増加しています。



非正規従業員・男性

非正規従業員・男性については、「1～9 人」が 36.4%で最も高く、次いで「0 人」が 31.8%、「10～19 人」が 5.7%となっています。

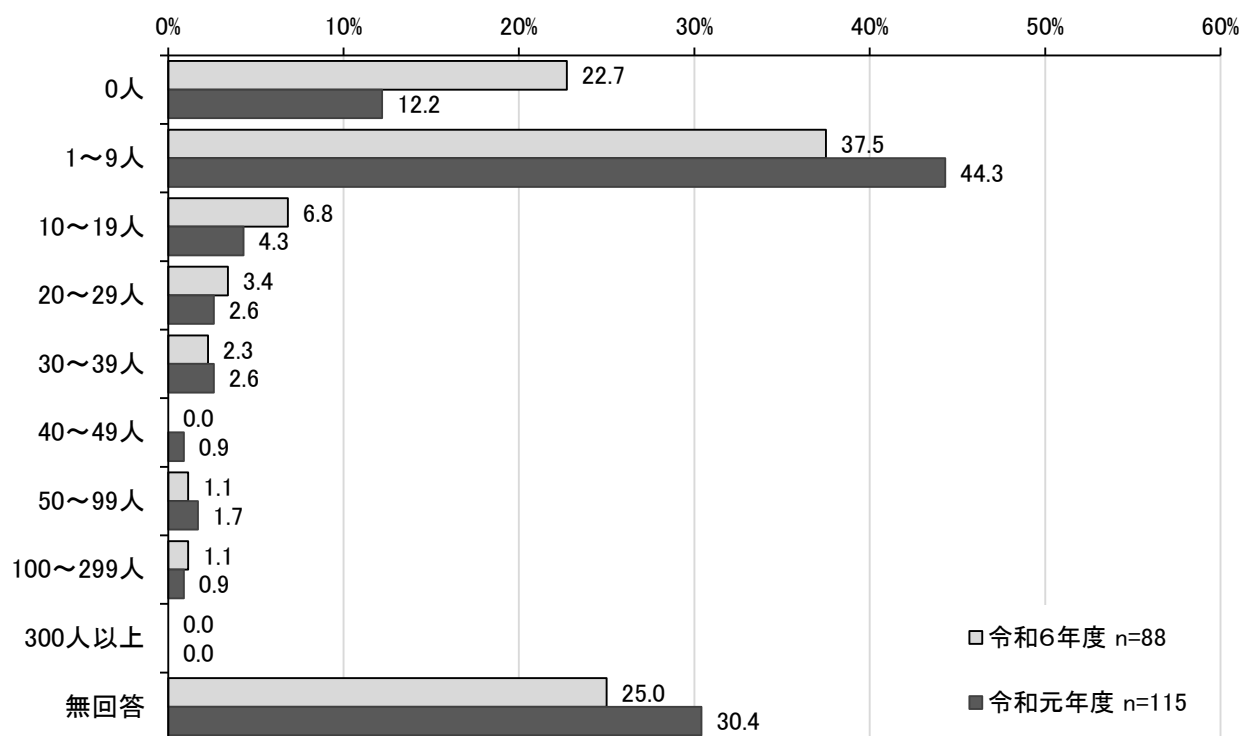
前回調査と比較して「0 人」が 15.3 ポイント増加しています。



非正規従業員・女性

非正規従業員・女性については、「1～9 人」が 37.5%で最も高く、次いで「0 人」が 22.7%、「10～19 人」が 6.8%となっています。

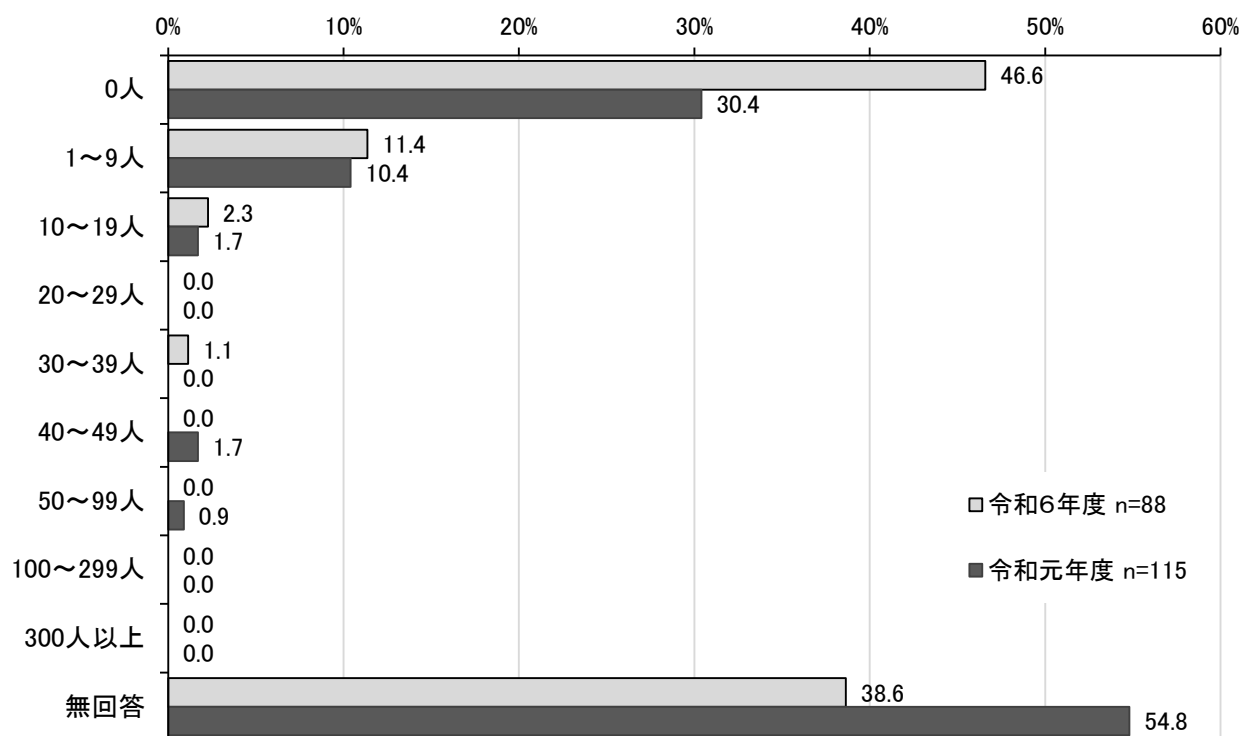
前回調査と比較して「0 人」が 10.5 ポイント増加しています。



派遣従業員・男性

派遣従業員・男性については、「0人」が46.6%で最も高く、次いで「1～9人」が11.4%、「10～19人」が2.3%となっています。

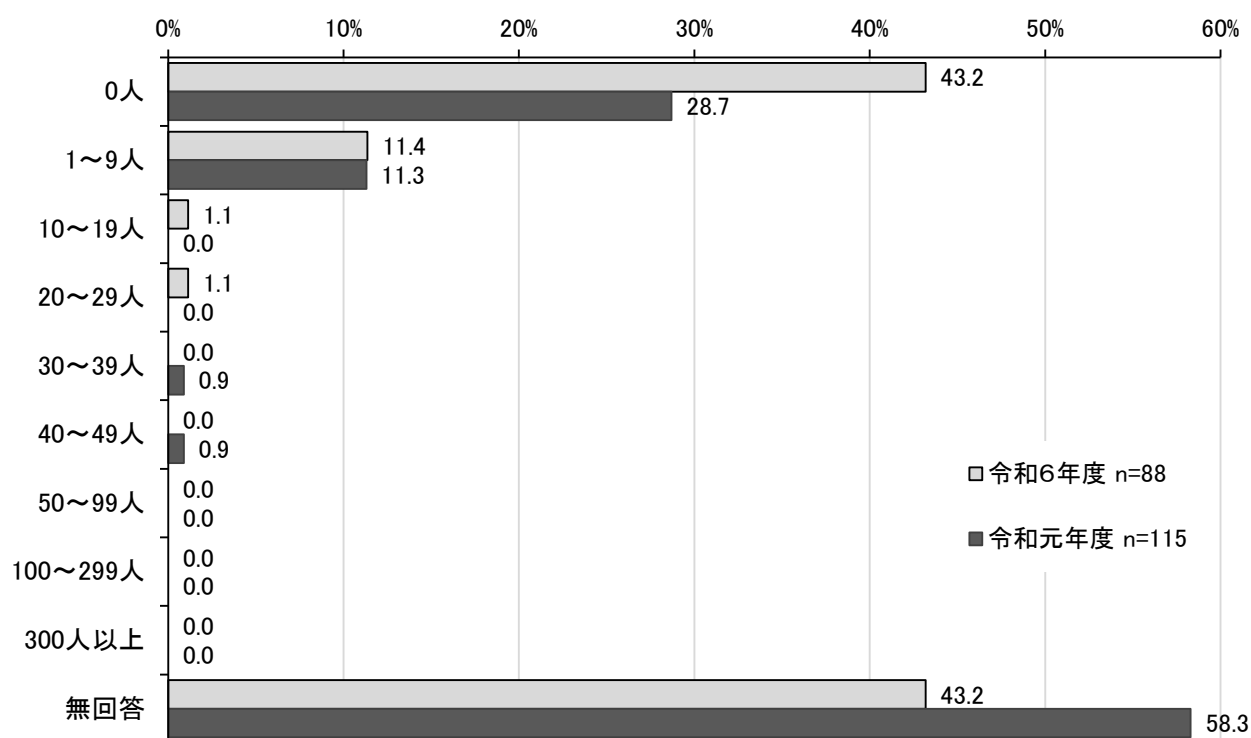
前回調査と比較して「0人」が16.2ポイント増加しています。



派遣従業員・女性

派遣従業員・女性については、「0人」が43.2%で最も高く、次いで「1～9人」が11.4%、「10～19人」「20～29人」がともに1.1%となっています。

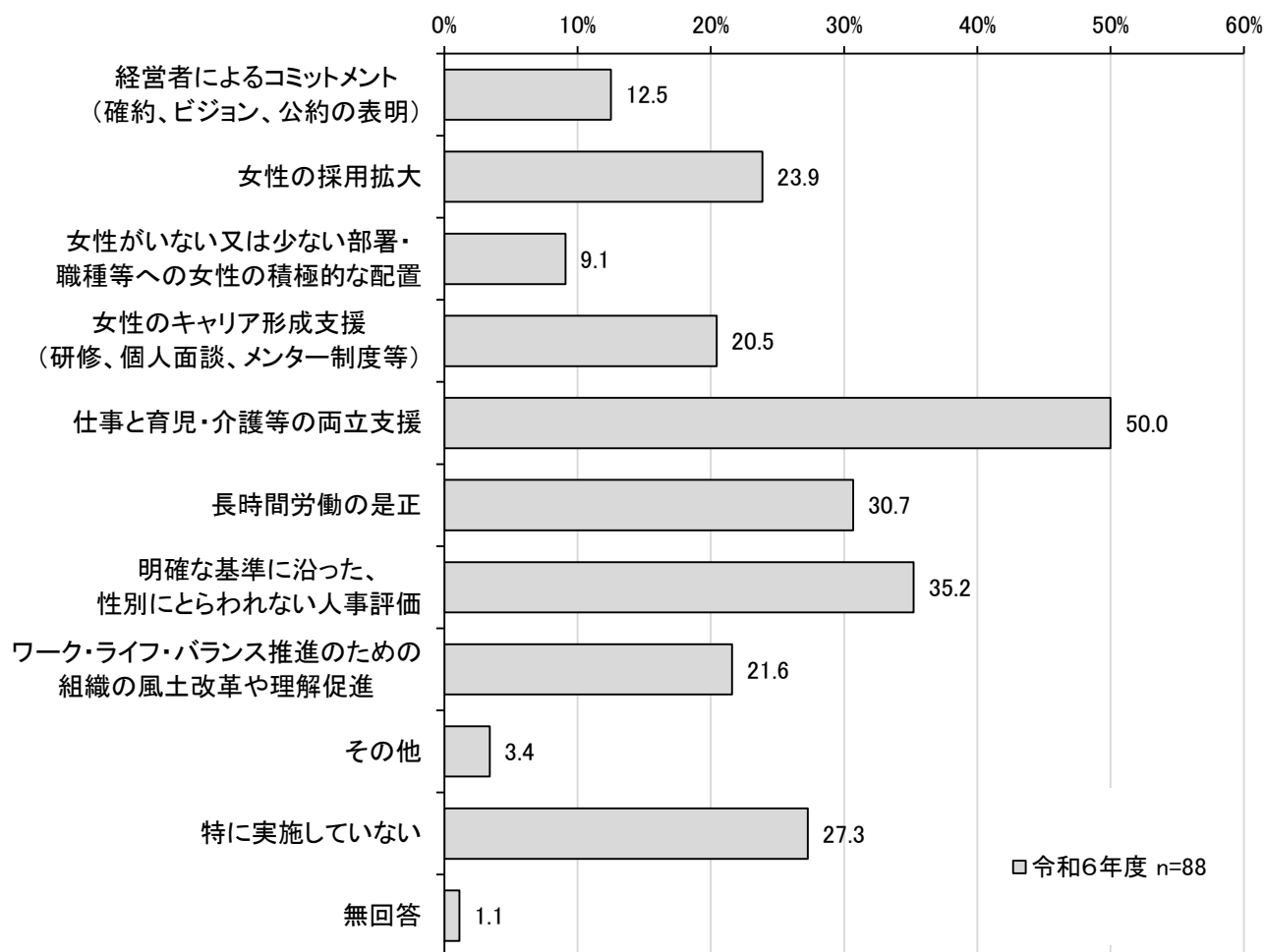
前回調査と比較して「0人」が14.5ポイント増加しています。



2.女性の登用についてうかがいます。

問5 女性の雇用(採用・継続就業)に向けた取り組みを実施していますか。(MA)

女性の雇用(採用・継続就業)に向けた取り組みについては、「仕事と育児・介護等の両立支援」が50.0%で最も高く、次いで「明確な基準に沿った、性別にとられない人事評価」が35.2%、「長時間労働の是正」が30.7%となっています。

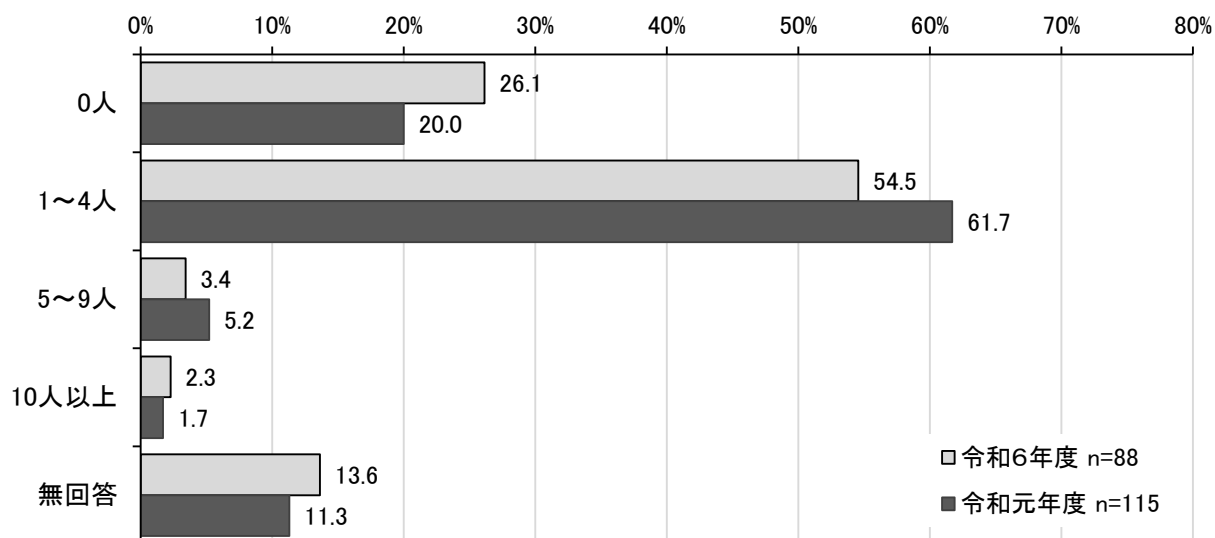


問6 令和6年10月1日時点において、貴事業所では、係長相当職以上の管理職は何人ですか。また、うち女性管理職は何人ですか。該当者がいない場合は0とご記入ください。(数字を記入)

① 役員・事業主

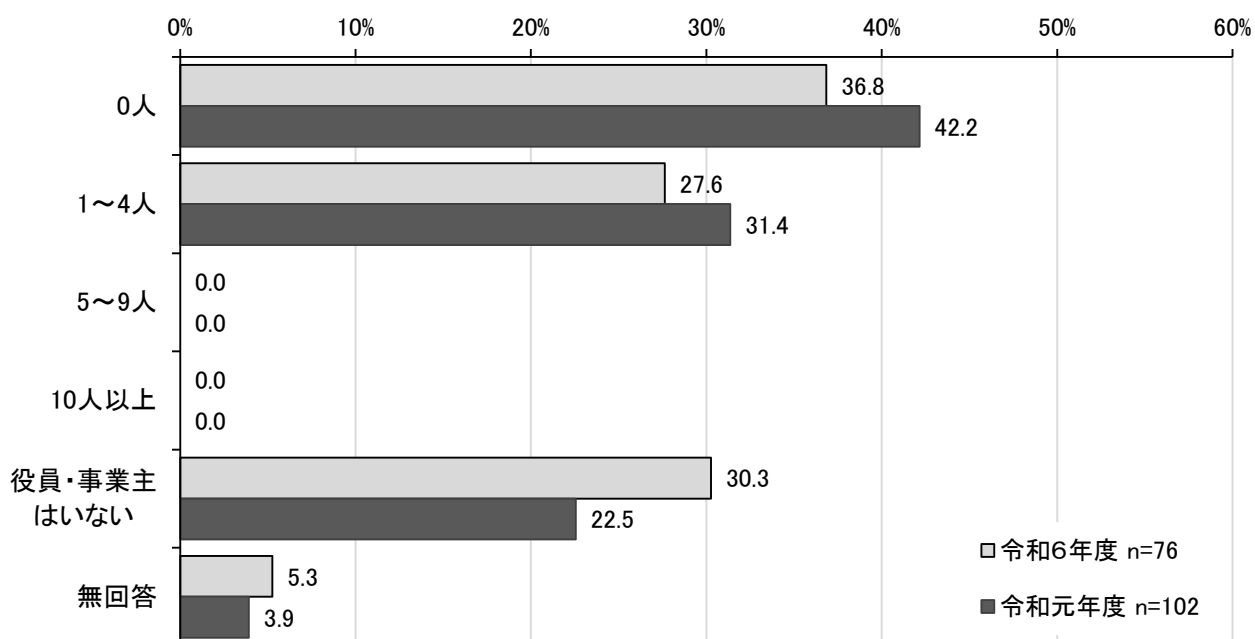
役員・事業主の人数については、「1～4 人」が 54.5%で最も高く、次いで「0 人」が 26.1%、「5～9 人」が 3.4%となっています。

前回調査と比較して「1～4 人」が 7.2 ポイント減少しています。



うち女性の人数

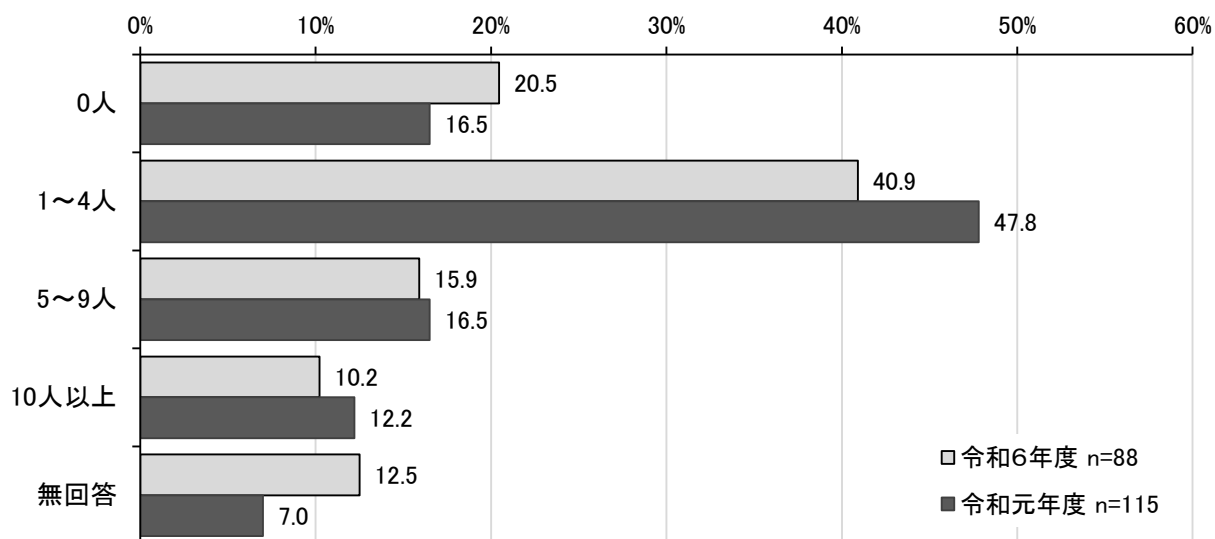
女性の人数については、「0 人」が 36.8%で最も高く、次いで「1～4 人」が 27.6%となっています。前回調査と比較して「0 人」が 5.4 ポイント減少しています。



② 部長・課長・係長相当職

部長・課長・係長相当職の人数については、「1～4 人」が 40.9%で最も高く、次いで「0 人」が 20.5%、「5～9 人」が 15.9%となっています。

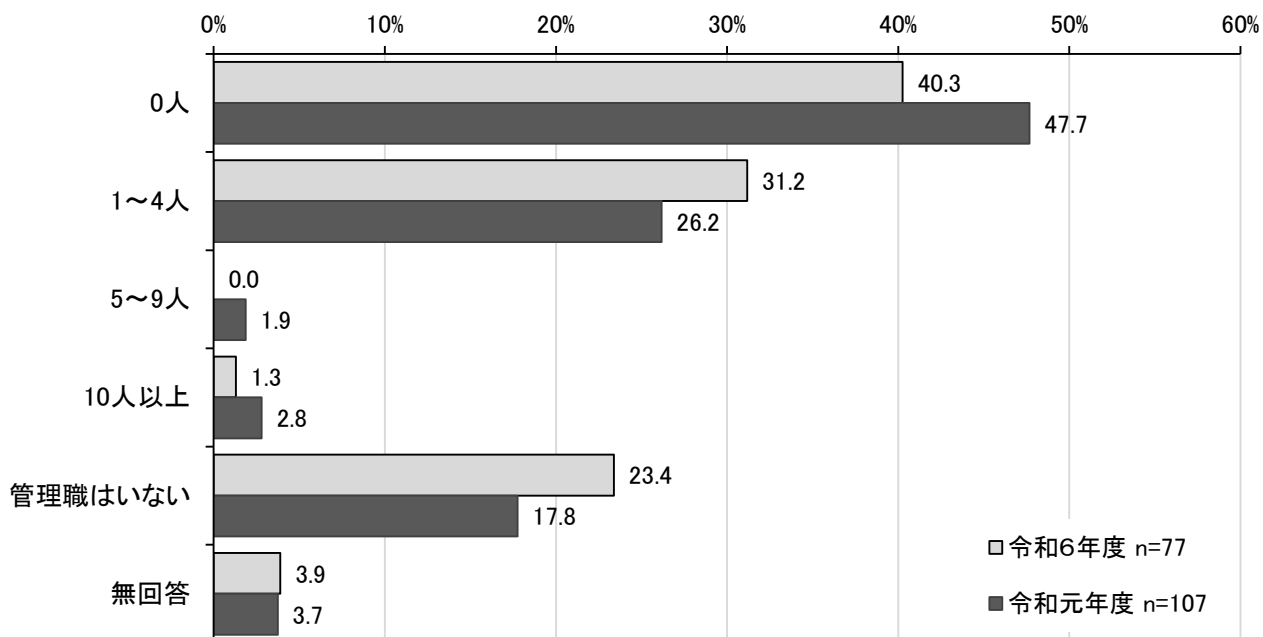
前回調査と比較して「1～4 人」が 6.9 ポイント減少しています。



うち女性の人数

女性の人数については、「0 人」が 40.3%で最も高く、次いで「1～4 人」が 31.2%、「10 人以上」が 1.3%となっています。

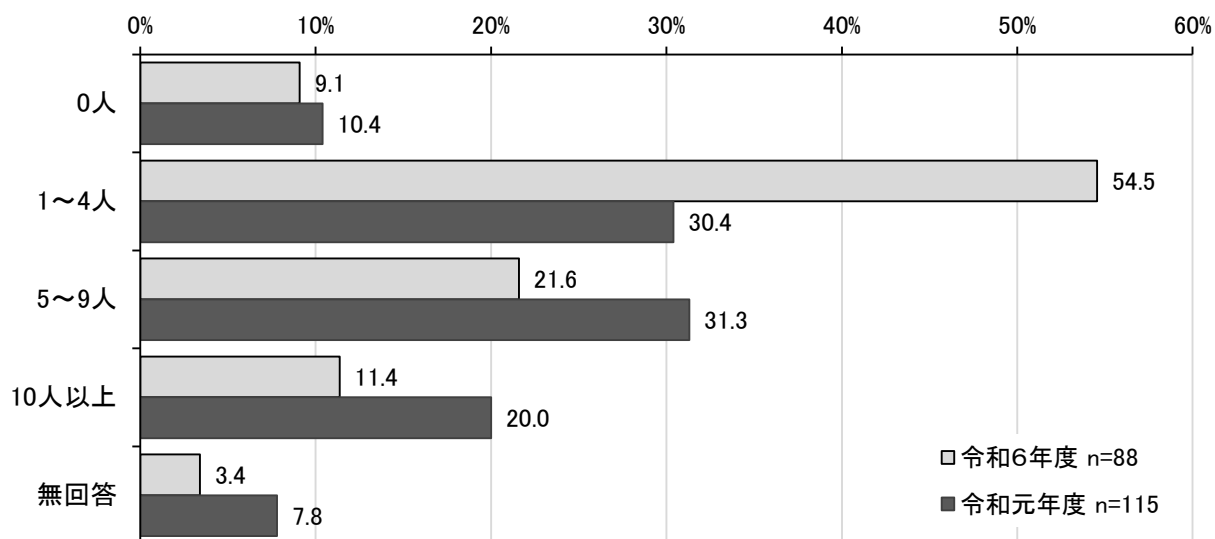
前回調査と比較して「0 人」が 7.4 ポイント減少しています。



③ 管理職全体（①+②）

管理職全体の人数については、「1～4 人」が 54.5%で最も高く、次いで「5～9 人」が 21.6%、「10 人以上」が 11.4%となっています。

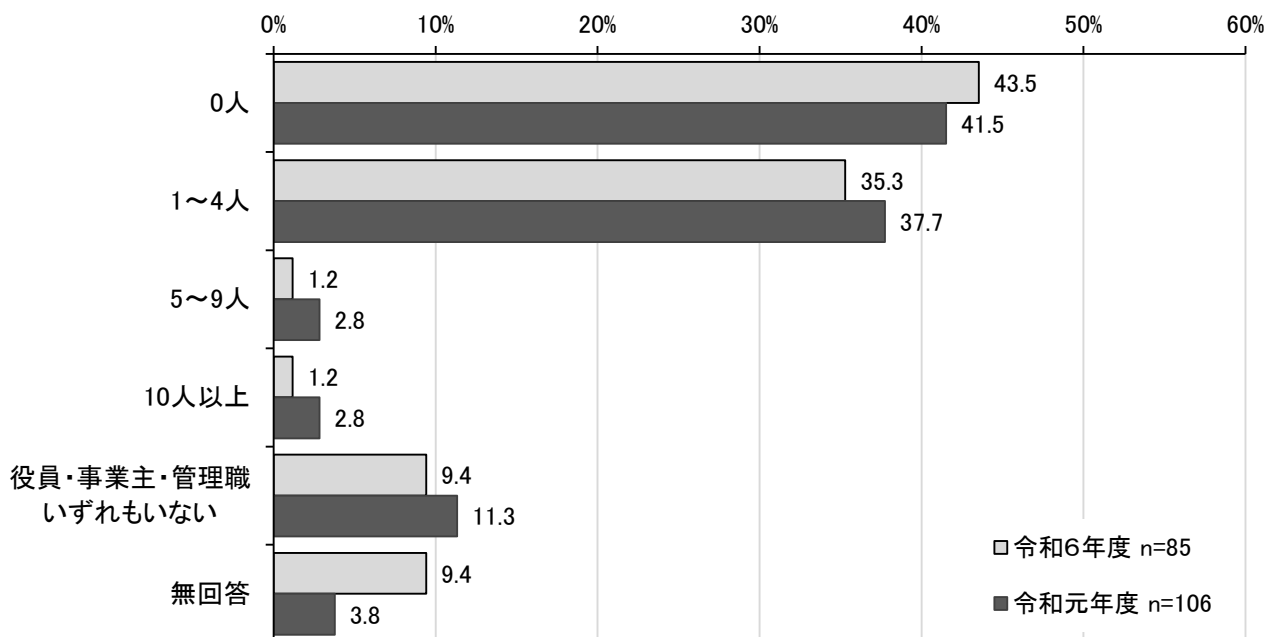
前回調査と比較して「1～4 人」が 24.1 ポイント増加しています。



うち女性の人数

女性の人数については、「0 人」が 43.5%で最も高く、次いで「1～4 人」が 35.3%、「5～9 人」「10 人以上」がともに 1.2%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。

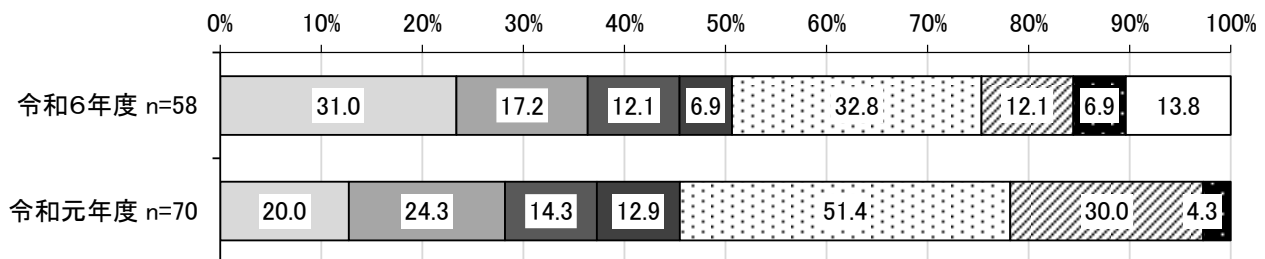


問6-1 問6で「③管理職全体」の女性比率が30%以下の事業所のみお答えください。

女性管理職が少ない・または全くいない理由は何ですか。(MA)

女性管理職が少ない・または全くいない理由については、「女性従業員が少ない、またはいないから」が32.8%で最も高く、次いで「必要な経験・判断力を有する女性がいらないから」が31.0%、「女性自身が管理職になることを希望しないから」が17.2%となっています。

前回調査と比較して「女性従業員が少ない、またはいないから」が18.6ポイント減少しています。



☐ 必要な経験・判断力を有する女性がいらないから

☐ 女性自身が管理職になることを希望しないから

☒ 将来管理職につく可能性のある女性はいるが、
役職につくための勤続年数を満たしていないから

☒ 勤続年数が短く、管理職になる前に退職してしまうから

☐ 女性従業員が少ない、またはいないから

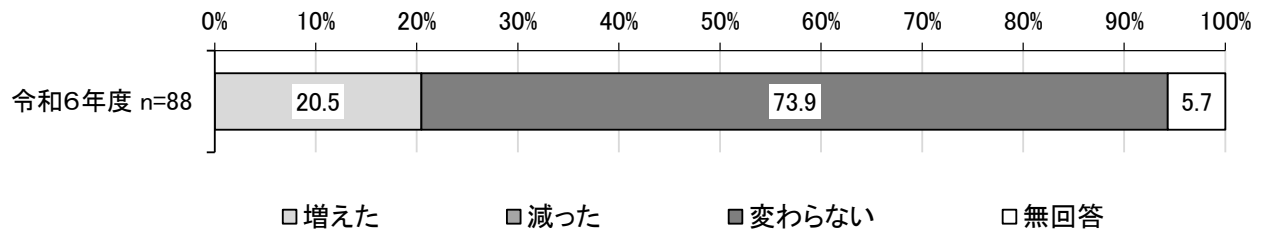
☐ 事業所内に管理職に該当するポストが少ないから

☒ その他

☐ 無回答

問7 貴社では、5年前と比べて、女性の管理職は増えましたか。(SA)

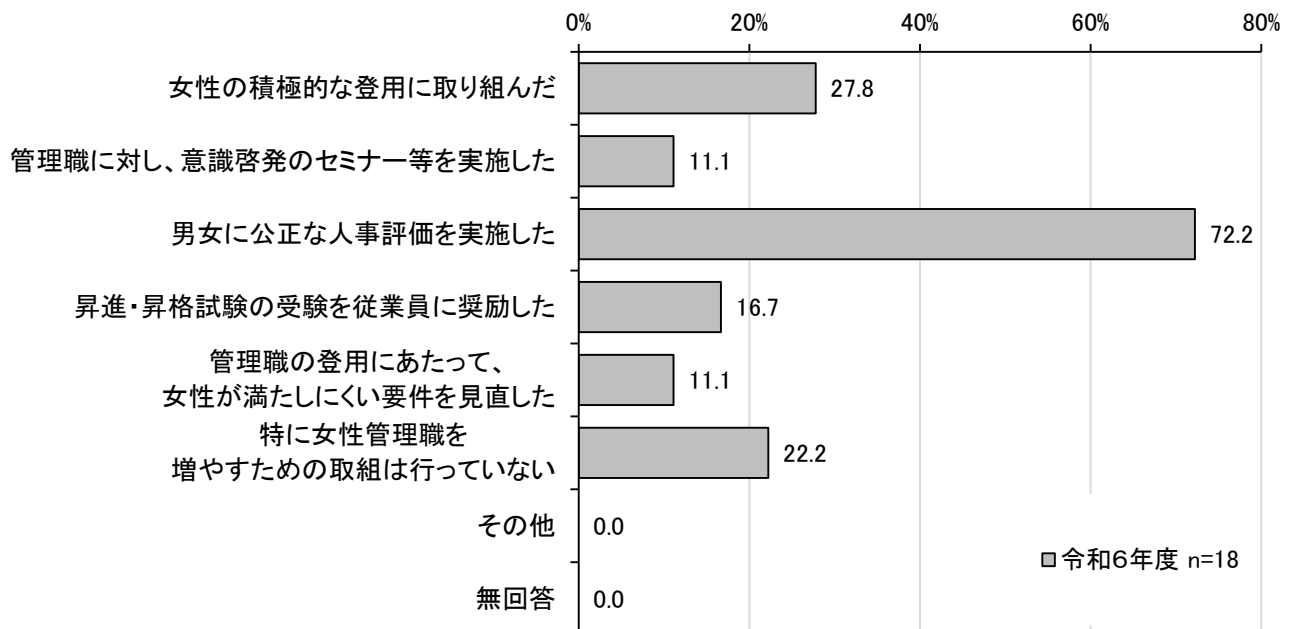
5年前と比べて、女性の管理職が増えたかについては、「変わらない」が 73.9%で最も高く、次いで「増えた」が 20.5%、「減った」が 0.0%となっています。



問 7-1 問7で「増えた」と回答した事業所にうかがいます。

理由は何であると思いますか。(MA)

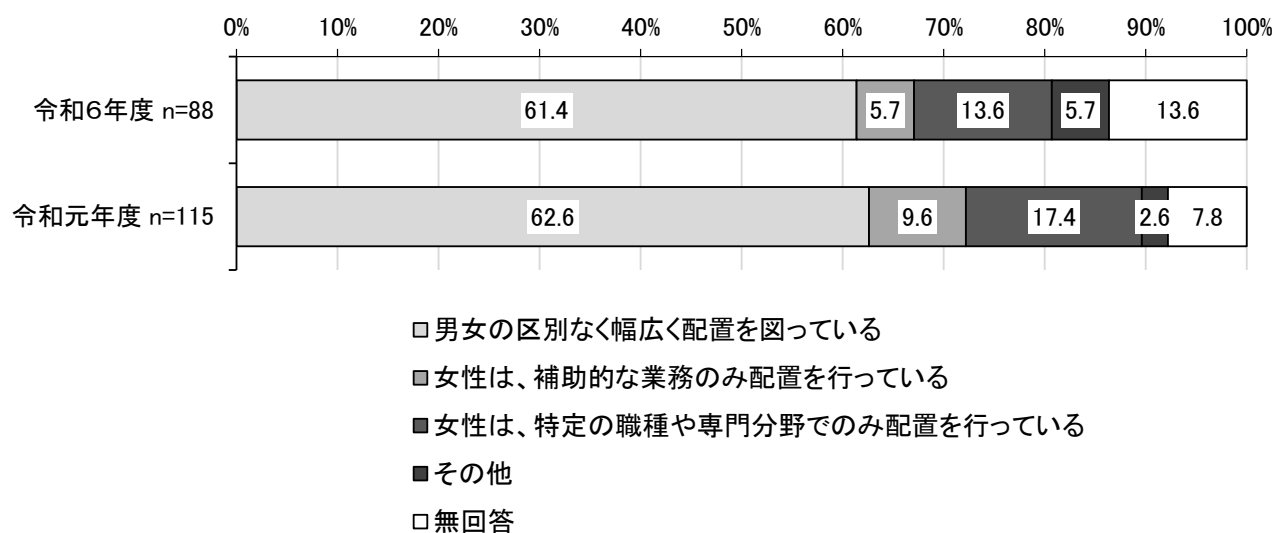
5年前と比べて、女性の管理職が増えた理由については、「男女に公正な人事評価を実施した」が 72.2%で最も高く、次いで「女性の積極的な登用に取り組んだ」が 27.8%、「特に女性管理職を増やすための取組は行っていない」が 22.2%となっています。



問 8 女性従業員の配置について、どのように実施されていますか。(SA)

女性従業員の配置については、「男女の区別なく幅広く配置を図っている」が 61.4%で最も高く、次いで「女性は、特定の職種や専門分野でのみ配置を行っている」が 13.6%、「女性は、補助的な業務のみ配置を行っている」「その他」がともに 5.7%となっています。

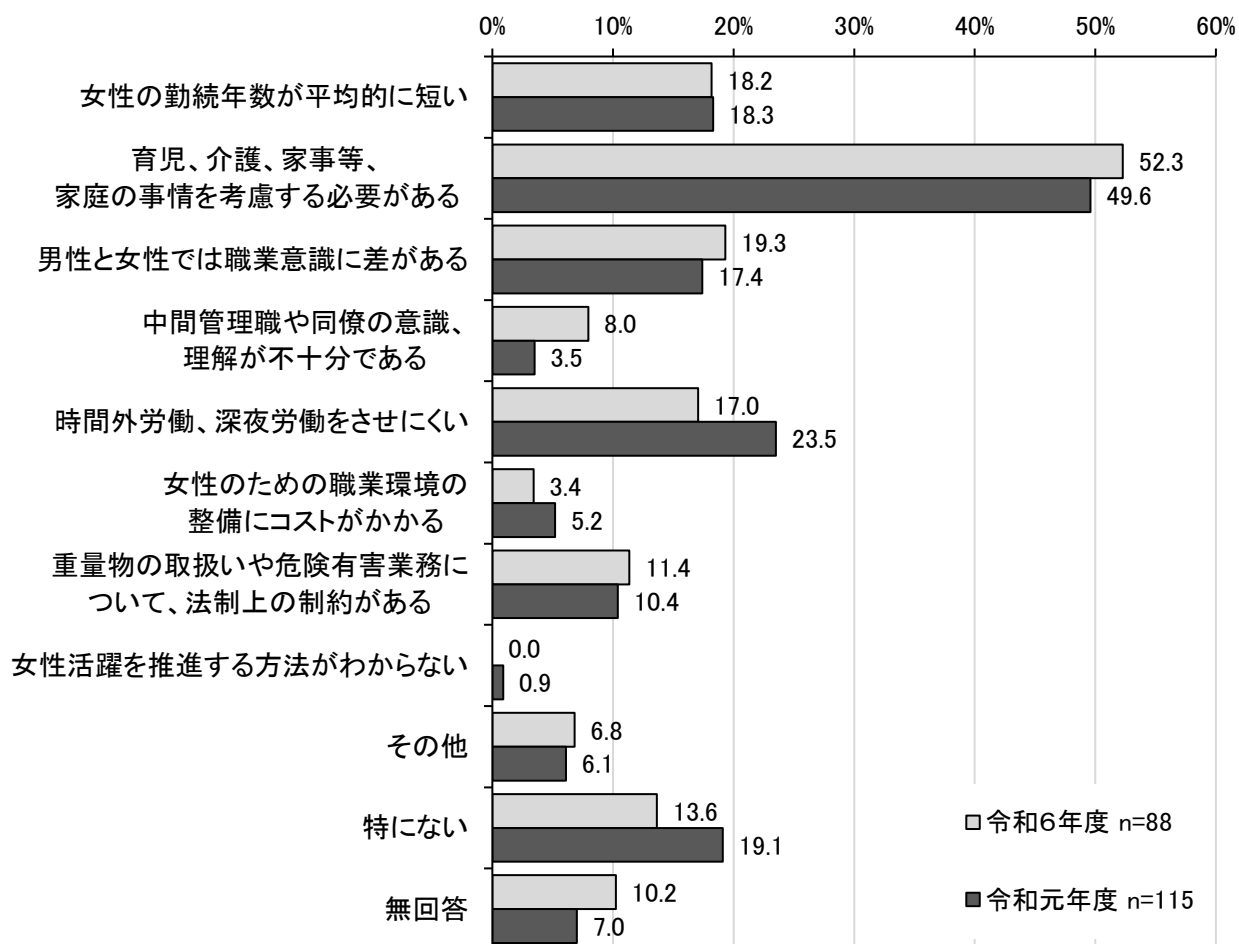
前回調査と比較して「女性は、補助的な業務のみ配置を行っている」が 3.9 ポイント減少しています。



問 9 女性の雇用(採用・継続就業)にあたっての課題や問題点を教えてください。(MA)

女性の雇用(採用・継続就業)にあたっての課題や問題点については、「育児、介護、家事等、家庭の事情を考慮する必要がある」が 52.3%で最も高く、次いで「男性と女性では職業意識に差がある」が 19.3%、「女性の勤続年数が平均的に短い」が 18.2%となっています。

前回調査と比較して「時間外労働、深夜労働をさせにくい」が 6.5 ポイント減少しています。



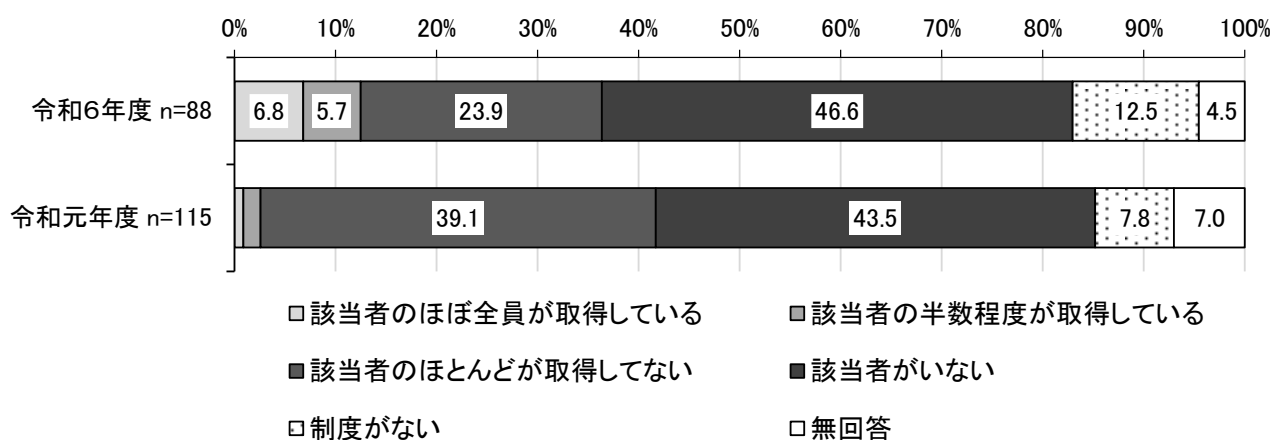
3.ワーク・ライフ・バランスについてうかがいます。

問 10 貴事業所では、次の休暇・休業制度について、どの程度取得されていますか。(SA)

①育児休業・男性

男性の育児休業については、「該当者がいない」が 46.6%で最も高く、次いで「該当者のほとんどが取得していない」が 23.9%、「制度がない」が 12.5%となっています。

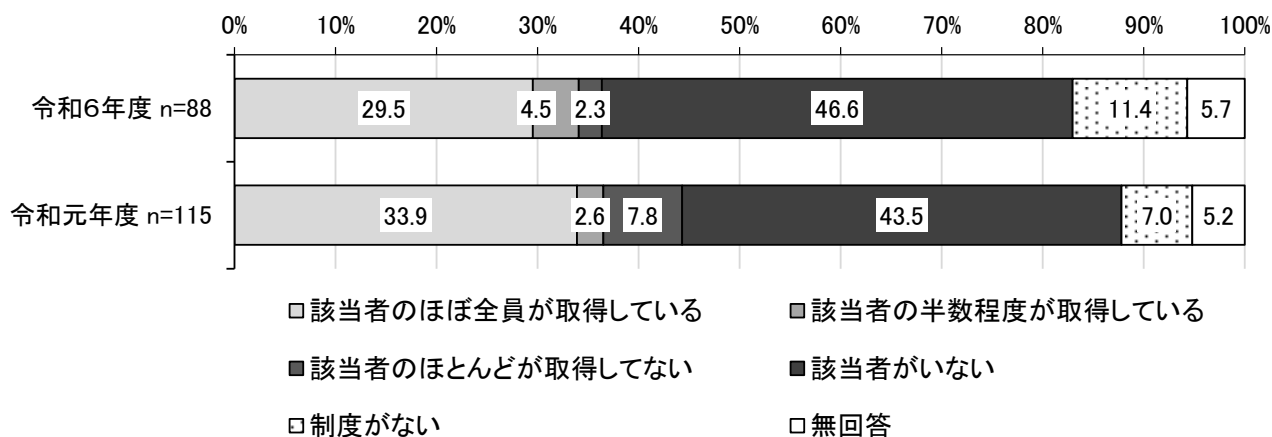
前回調査と比較して「該当者のほぼ全員が取得している」が 5.9 ポイント、「該当者の半数程度が取得している」が 4.0 ポイント増加しており、「該当者のほとんどが取得していない」が 15.2 ポイント減少しています。



①育児休業・女性

女性の育児休業については、「該当者がいない」が 46.6%で最も高く、次いで「該当者のほぼ全員が取得している」が 29.5%、「制度がない」が 11.4%となっています。

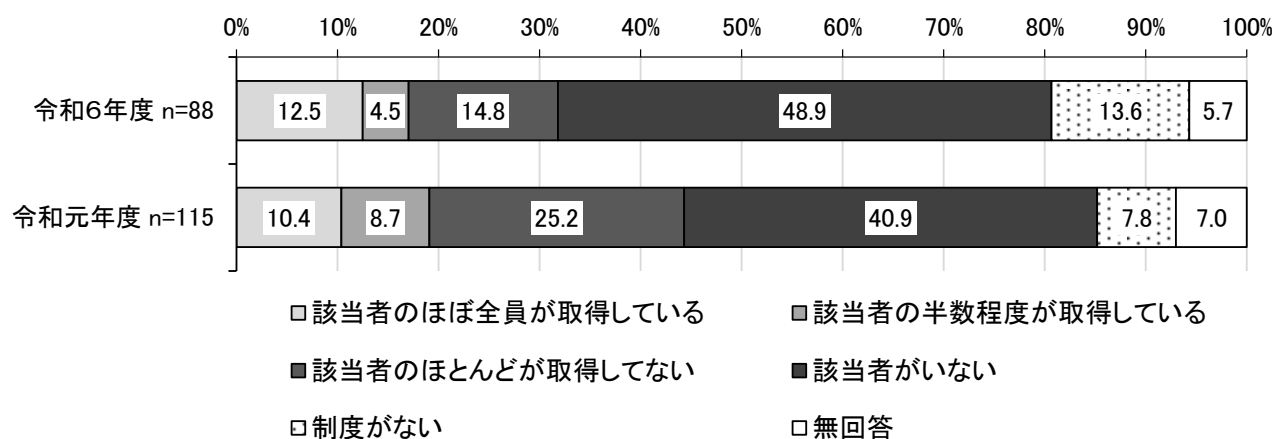
前回調査と比較して「該当者のほとんどが取得していない」が 5.5 ポイント減少しています。



②育児休暇(配偶者出産休暇等、数日間の休暇)・男性

男性の育児休暇(配偶者出産休暇等、数日間の休暇)については、「該当者がいない」が 48.9%で最も高く、次いで「該当者のほとんどが取得していない」が 14.8%、「制度がない」が 13.6%となっています。

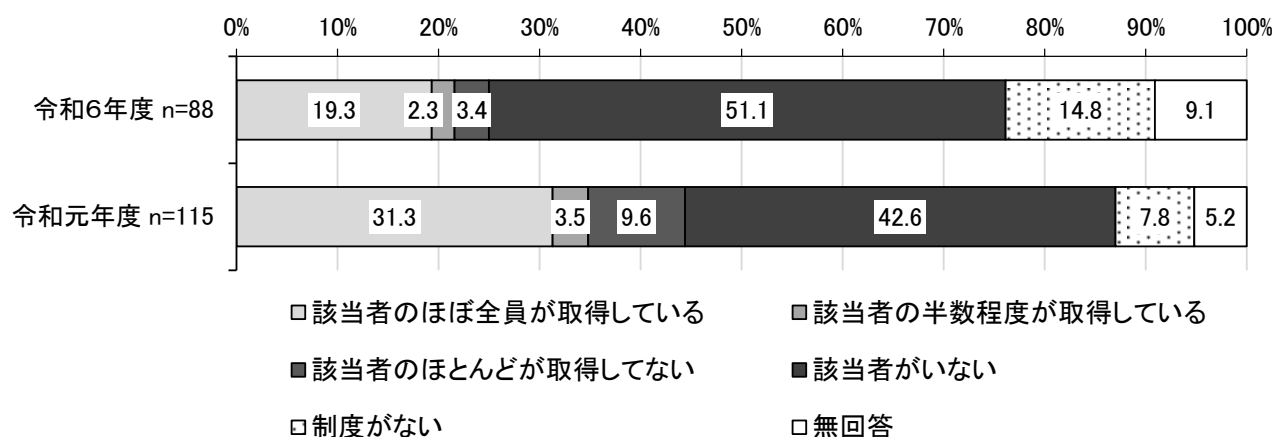
前回調査と比較して「該当者のほとんどが取得していない」が 10.4 ポイント減少しています。



②育児休暇・女性

女性の育児休暇については、「該当者がいない」が 51.1%で最も高く、次いで「該当者のほぼ全員が取得している」が 19.3%、「制度がない」が 14.8%となっています。

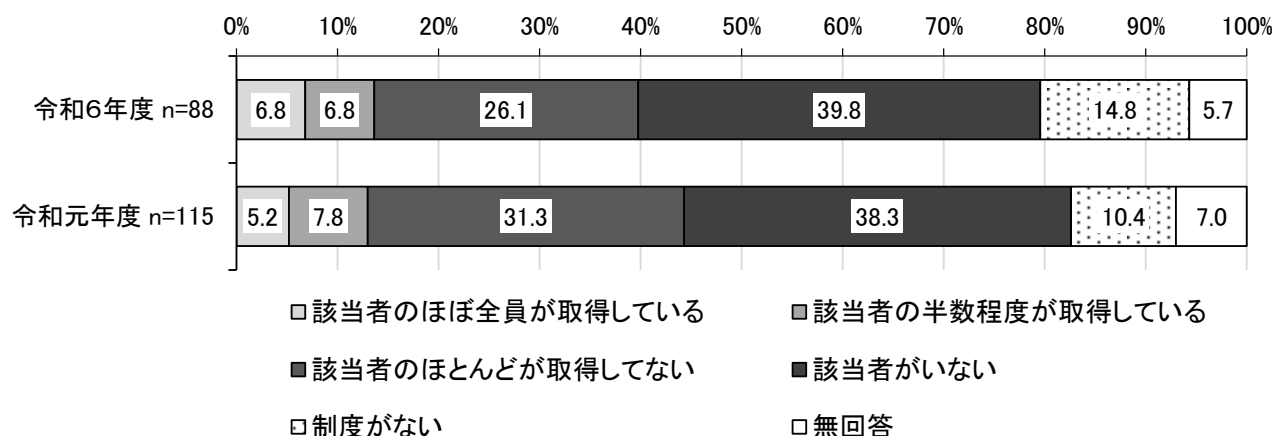
前回調査と比較して「該当者のほぼ全員が取得している」が 12.0 ポイント減少しています。



③子の看護休暇・男性

男性の子の看護休暇については、「該当者がいない」が 39.8%で最も高く、次いで「該当者のほとんどが取得していない」が 26.1%、「制度がない」が 14.8%となっています。

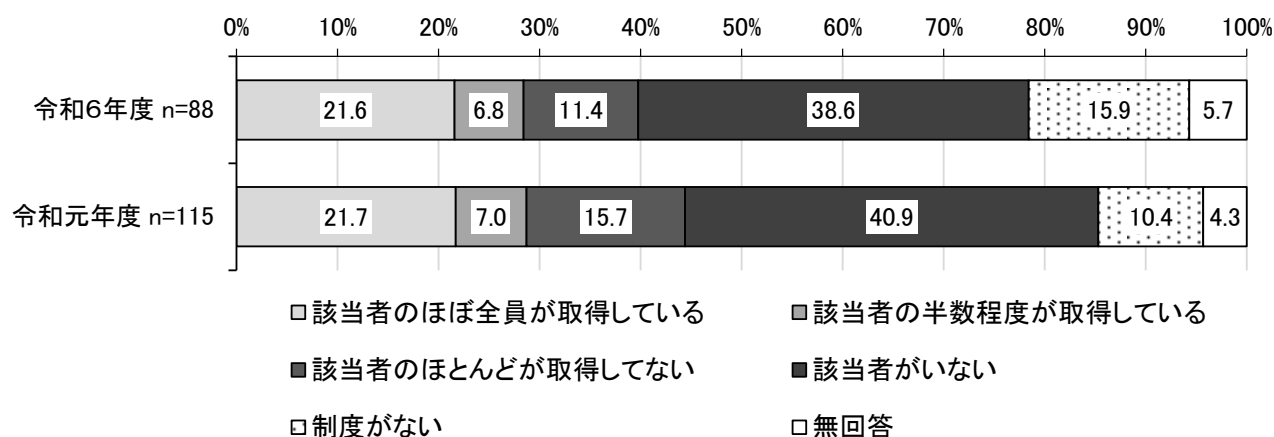
前回調査と比較して「該当者のほとんどが取得していない」が 5.2 ポイント減少しています。



③子の看護休暇・女性

女性の子の看護休暇については、「該当者がいない」が 38.6%で最も高く、次いで「該当者のほぼ全員が取得している」が 21.6%、「制度がない」が 15.9%となっています。

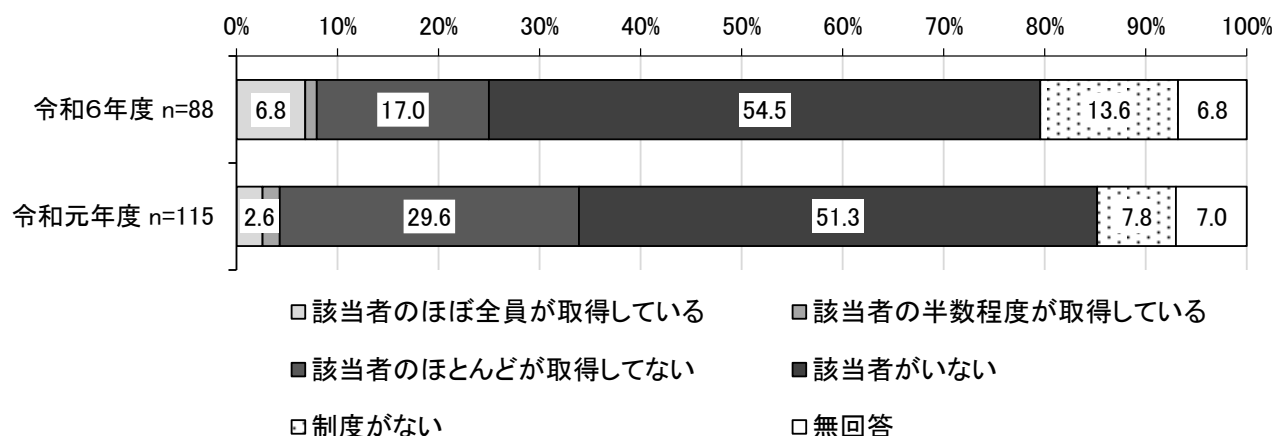
前回調査と比較して「制度がない」が 5.5 ポイント増加しています。



④介護休業・男性

男性の介護休業については、「該当者がいない」が 54.5%で最も高く、次いで「該当者のほとんどが取得していない」が 17.0%、「制度がない」が 13.6%となっています。

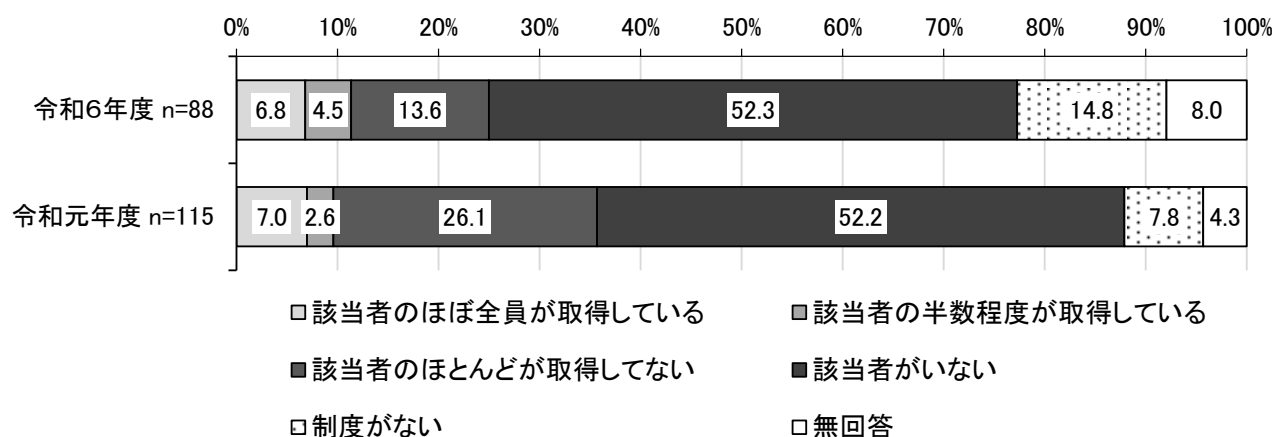
前回調査と比較して「該当者のほとんどが取得していない」が 12.6 ポイント減少しています。



④介護休業・女性

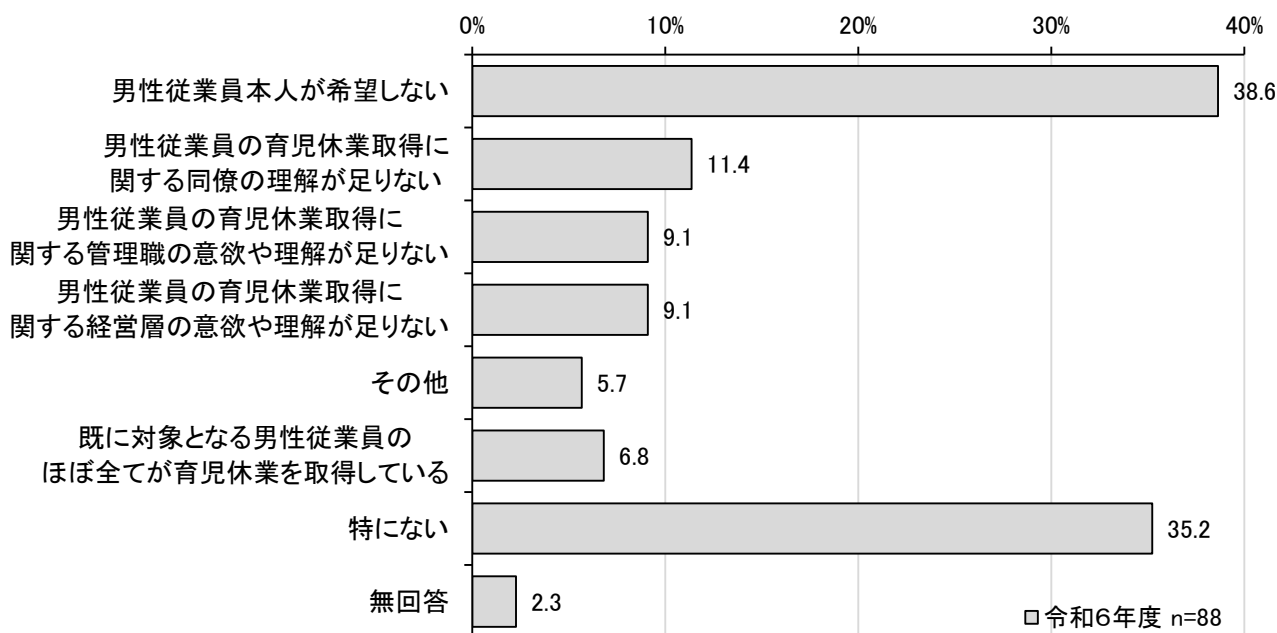
女性の介護休業については、「該当者がいない」が 52.3%で最も高く、次いで「制度がない」が 14.8%、「該当者のほとんどが取得していない」が 13.6%となっています。

前回調査と比較して「該当者のほとんどが取得していない」が 12.5 ポイント減少しています。



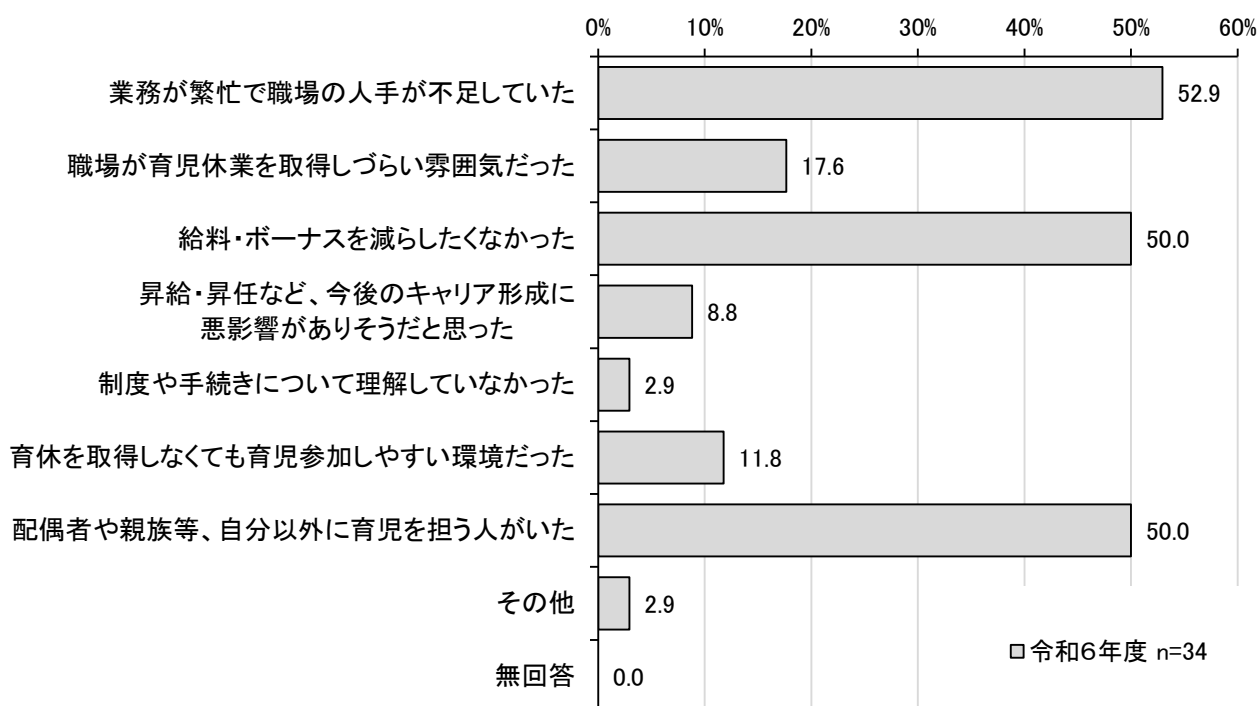
問 11 男性従業員の育児休業取得を進める上で、どのような課題がありますか。現在、対象となる男性従業員が在籍していない場合は、今後対象となる男性従業員が在籍することを想定してお答えください。(MA)

男性従業員の育児休業取得を進める上での課題については、「男性従業員本人が希望しない」が38.6%で最も高く、次いで「特にない」が35.2%、「男性従業員の育児休業取得に関する同僚の理解が足りない」が11.4%、「男性従業員の育児休業取得に関する管理職の意欲や理解が足りない」が9.1%、「男性従業員の育児休業取得に関する経営層の意欲や理解が足りない」が9.1%となっています。



問 11-1 問 11 で「男性従業員本人が希望しない」と回答した事業所にうかがいます。
その理由は何であると思いますか。(MA)

男性従業員本人が希望しない理由については、「業務が繁忙で職場の人手が不足していた」が52.9%で最も高く、次いで「給料・ボーナスを減らしたくなかった」「配偶者や親族等、自分以外に育児を担う人がいた」がともに50.0%となっています。

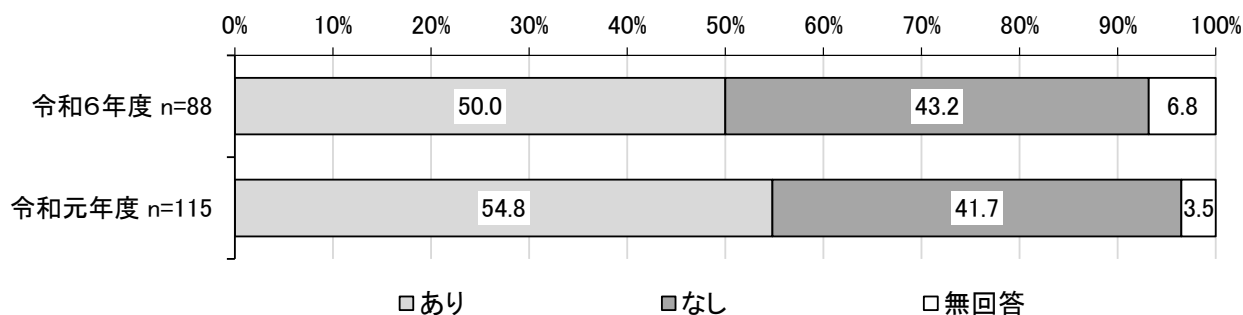


問 12 貴事業所における、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組みについてお答えください。
(SA)

①短時間勤務制度の導入

・規定の有無

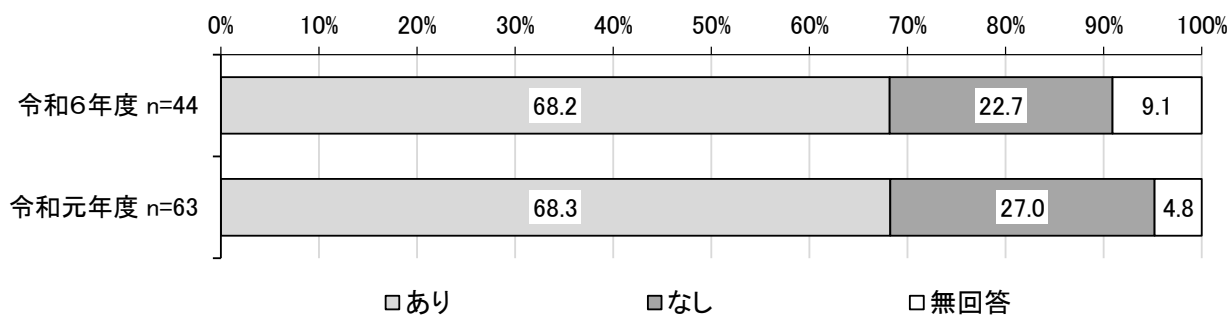
短時間勤務制度の規定の有無については、「あり」が 50.0%、「なし」が 43.2%となっています。
前回調査と比較して「あり」が 4.8 ポイント減少しています。



①短時間勤務制度

・実績の有無

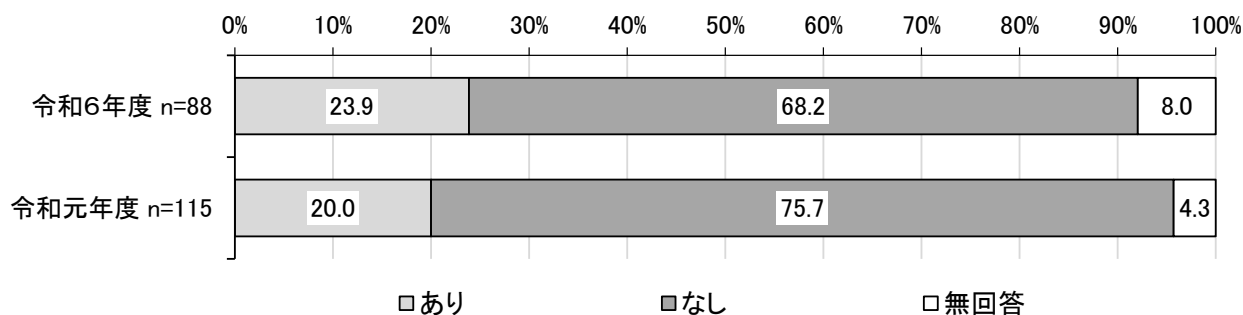
短時間勤務制度の利用実績の有無については、「あり」が 68.2%、「なし」が 22.7%となっています。
前回調査と比較して「なし」が 4.3 ポイント減少しています。



②フレックスタイム制度の導入

・規定の有無

フレックスタイム制度の規定の有無については、「あり」が 23.9%、「なし」が 68.2%となっています。
前回調査と比較して「なし」が 7.5 ポイント減少しています。

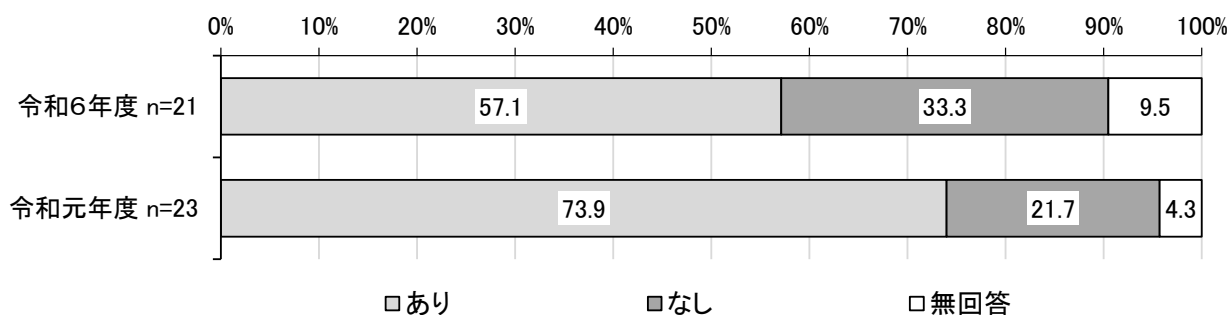


②フレックスタイム制度

・実績の有無

フレックスタイム制度の利用実績の有無については、「あり」が 57.1%、「なし」が 33.3%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 16.8 ポイント減少しています。

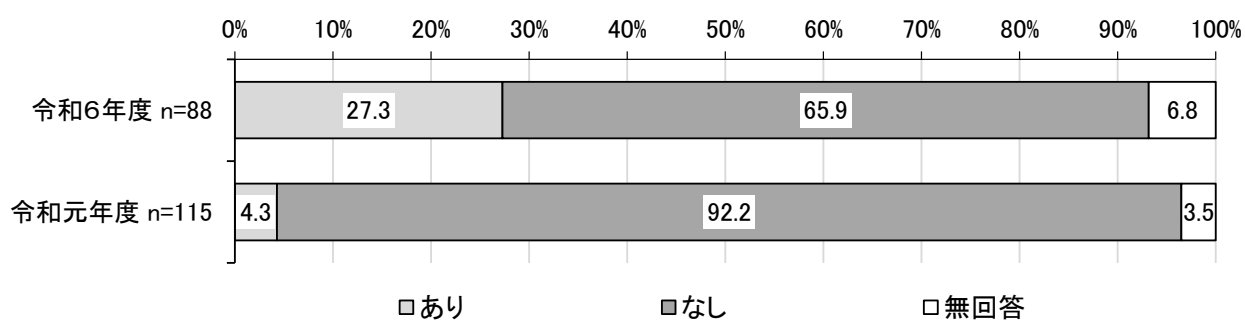


③テレワーク制度の導入（在宅勤務制度やサテライトオフィスの設置等）

・規定の有無

テレワーク制度（在宅勤務制度やサテライトオフィスの設置等）の規定の有無については、「あり」が27.3%、「なし」が65.9%となっています。

前回調査と比較して「あり」が23.0ポイント増加しています。

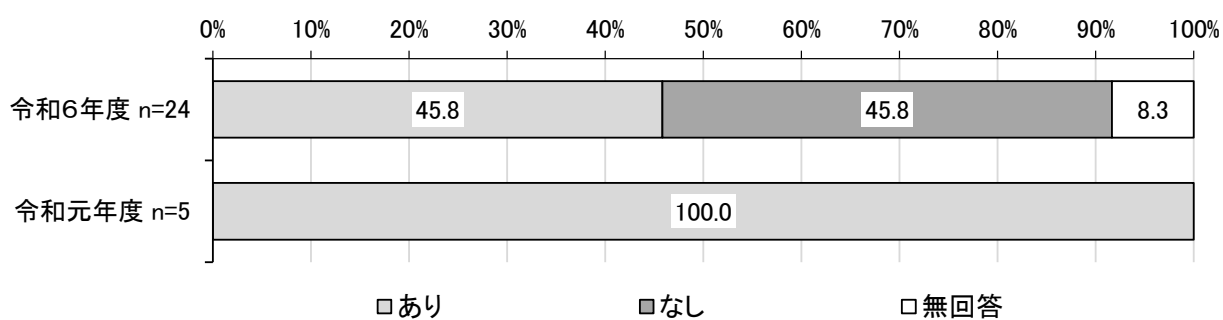


③テレワーク制度（在宅勤務制度やサテライトオフィスの設置等）

・実績の有無

テレワーク制度（在宅勤務制度やサテライトオフィスの設置等）の利用実績の有無については、「あり」「なし」とともに45.8%となっています。

前回調査と比較して「あり」が54.2ポイント減少しています。

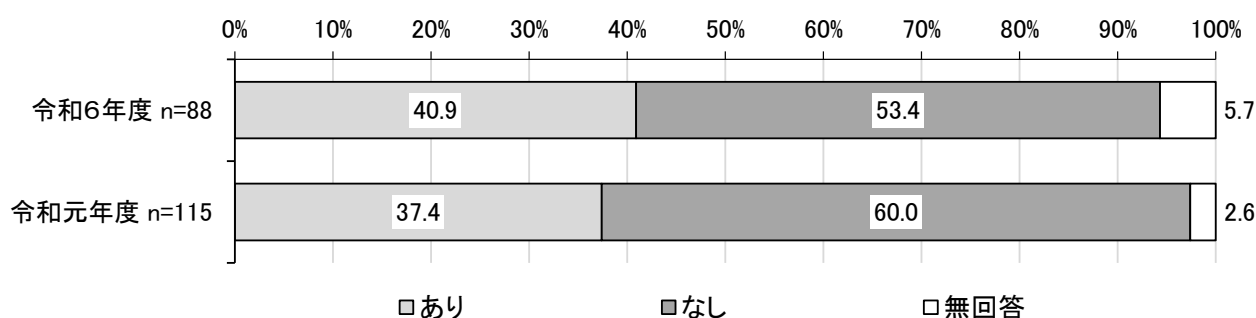


④始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ

・規定の有無

始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げの規定の有無については、「あり」が 40.9%、「なし」が 53.4% となっています。

前回調査と比較して「なし」が 6.6 ポイント減少しています。

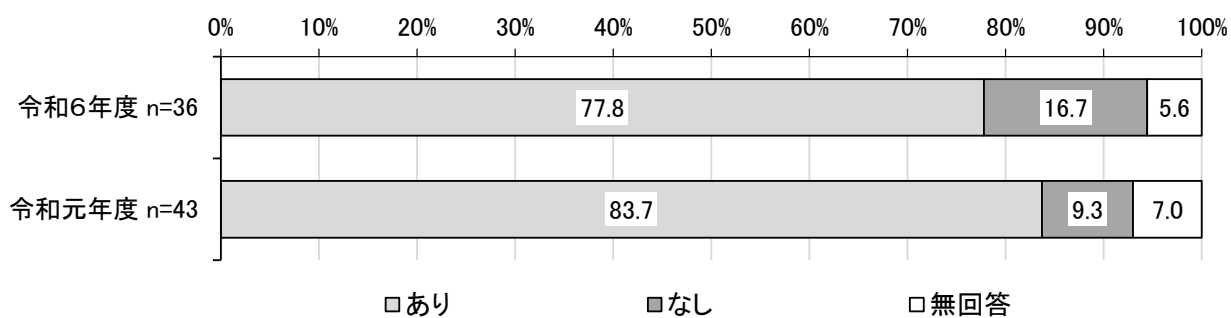


④始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ

・実績の有無

始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げの利用実績の有無については、「あり」が 77.8%、「なし」が 16.7%となっています。

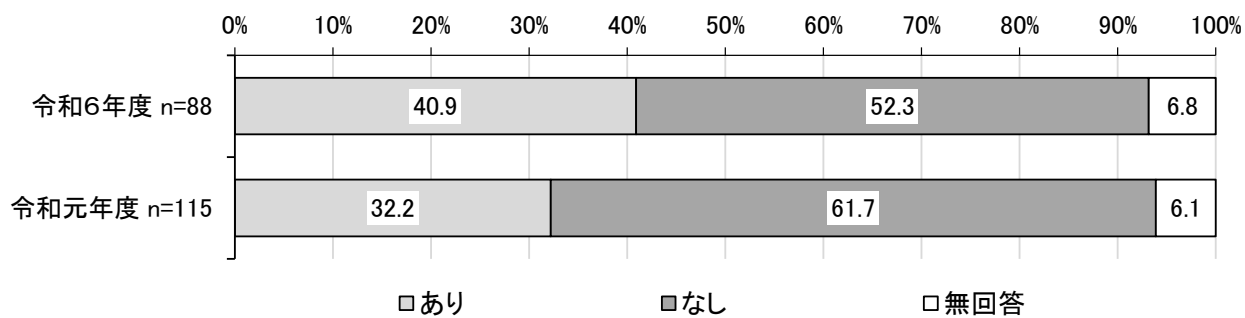
前回調査と比較して「なし」が 7.4 ポイント増加しています。



⑤所定外労働の免除

・規定の有無

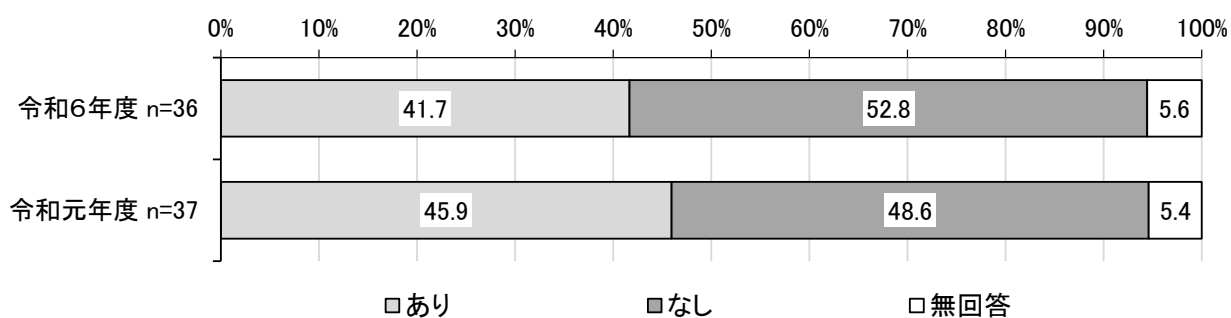
所定外労働の免除の規定の有無については、「あり」40.9%、「なし」が52.3%となっています。
前回調査と比較して「なし」が9.4ポイント減少しています。



⑤所定外労働の免除

・実績の有無

所定外労働の免除の利用実績の有無については、「あり」が41.7%、「なし」が52.8%となっています。
前回調査と比較して「あり」が4.2ポイント減少、「なし」が4.2ポイント増加しています。

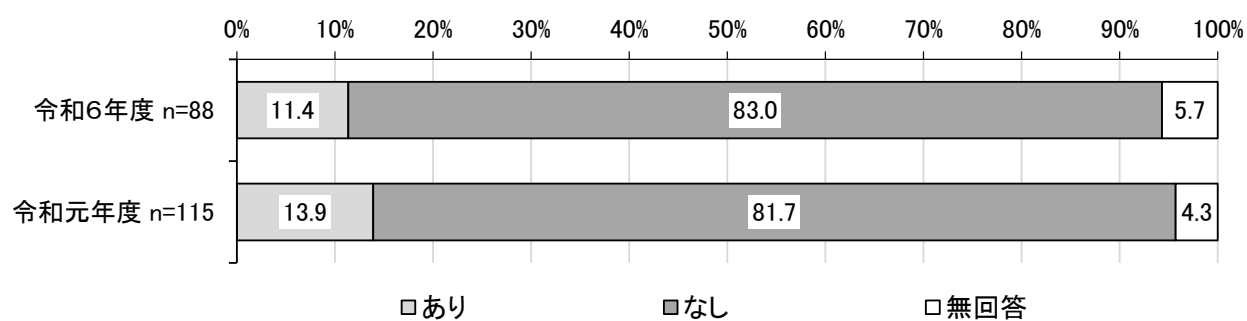


⑥育児に関する経費の援助措置の実施、または社内保育施設の設置

・規定の有無

育児に関する経費の援助措置の実施、または社内保育施設の設置の規定の有無については、「あり」が11.4%、「なし」が83.0%となっています。

前回調査と比較して、大きな変動はありません。

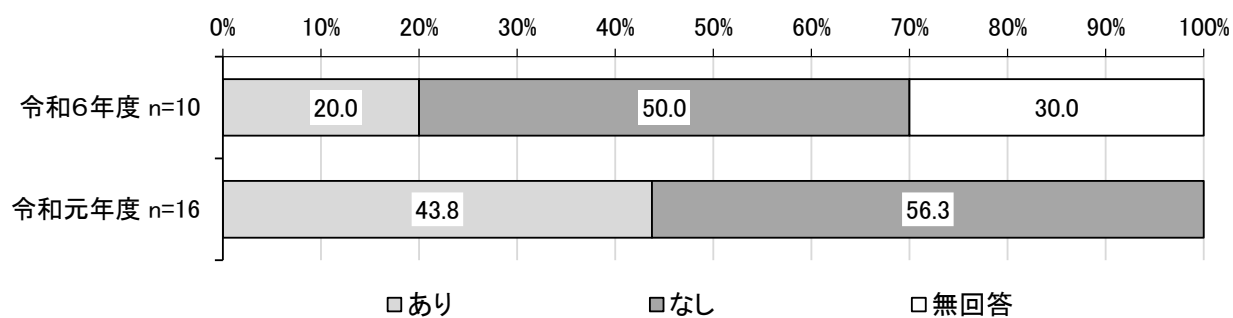


⑥育児に関する経費の援助措置の実施、または社内保育施設の設置

・実績の有無

育児に関する経費の援助措置の実施、または社内保育施設の利用実績の有無については、「あり」が20.0%、「なし」が50.0%となっています。

前回調査と比較して「あり」が23.8ポイント減少しています。

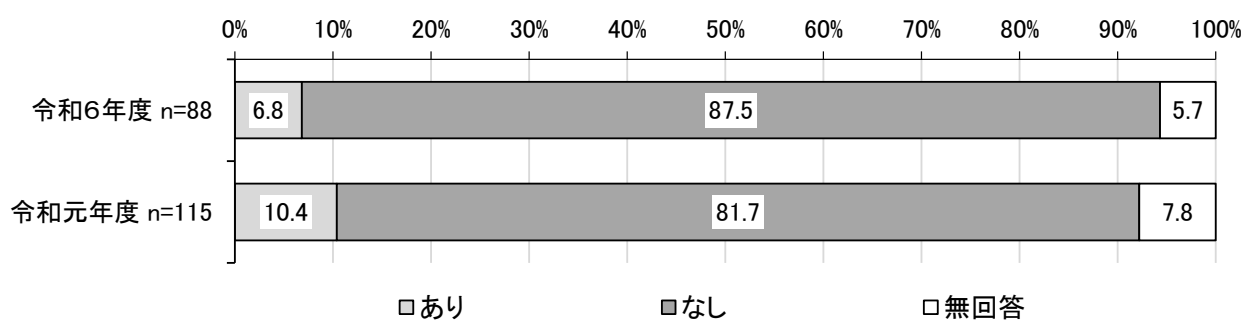


⑦介護に関する経費の援助措置の実施

・規定の有無

介護に関する経費の援助措置の規定の有無については、「あり」が 6.8%、「なし」が 87.5%となっています。

前回調査と比較して「なし」が 5.8 ポイント増加しています。

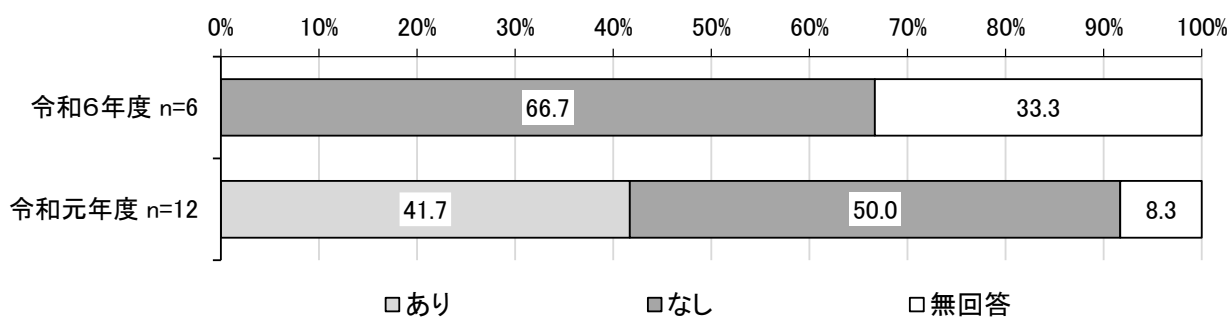


⑦介護に関する経費の援助措置

・実績の有無

介護に関する経費の援助措置の利用実績の有無については、「あり」が 0.0%、「なし」が 66.7%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 41.7 ポイント減少しています。

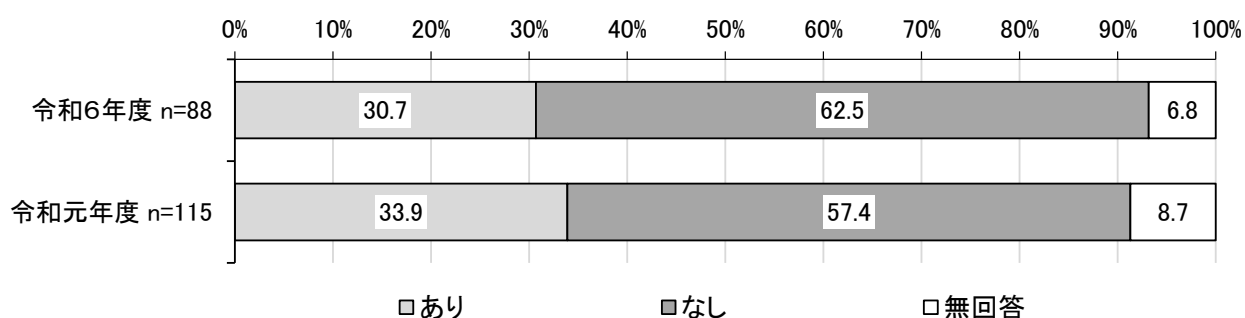


⑧育児・介護休業からの復帰に向けた支援

・規定の有無

育児・介護休業からの復帰に向けた支援の規定の有無については、「あり」が 30.7%、「なし」が 62.5%となっています。

前回調査と比較して「なし」が 5.1 ポイント増加しています。

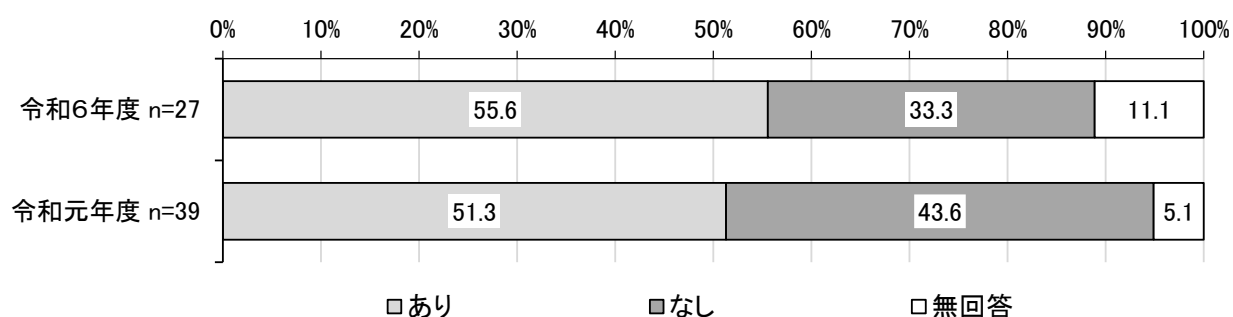


⑧育児・介護休業からの復帰に向けた支援

・実績の有無

育児・介護休業からの復帰に向けた支援の利用実績の有無については、「あり」が 55.6%、「なし」が 33.3%となっています。

前回調査と比較して「なし」が 10.3 ポイント減少しています。

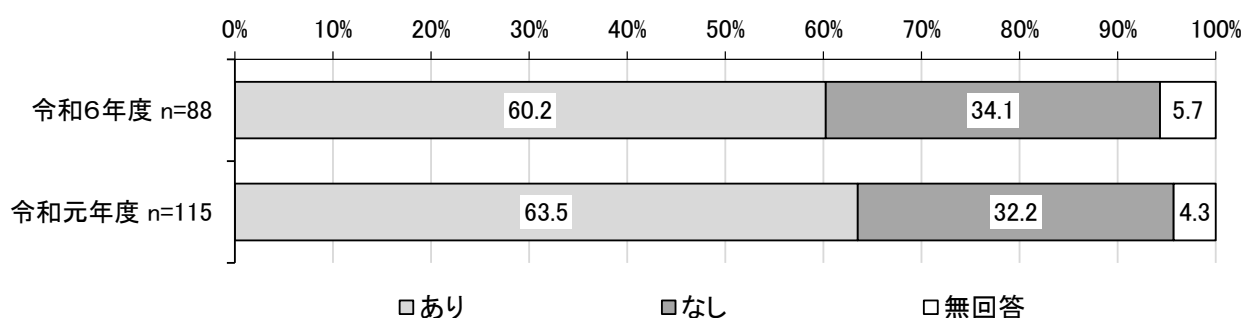


⑨非正規から正規従業員への登用

・規定の有無

非正規から正規従業員への登用の規定の有無については、「あり」が 60.2%、「なし」が 34.1%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 3.3 ポイント減少しています。

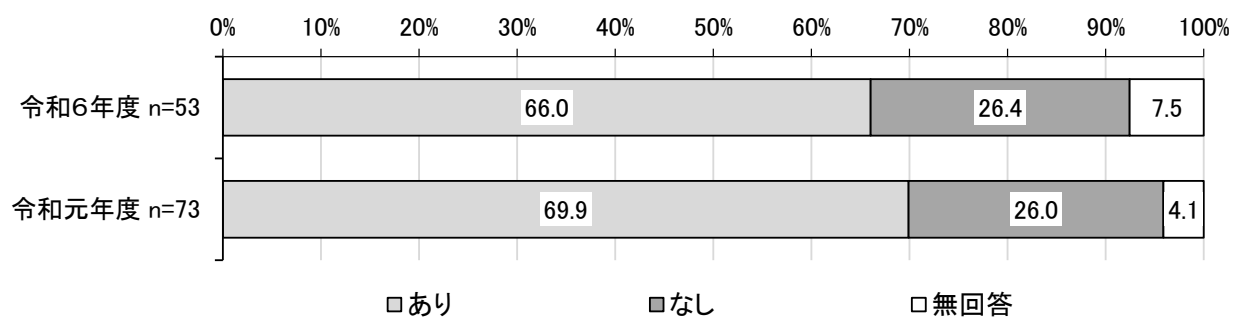


⑨非正規から正規従業員への登用

・実績の有無

非正規から正規従業員への登用の実績の有無については、「あり」が 66.0%、「なし」が 26.4%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 3.9 ポイント減少しています。

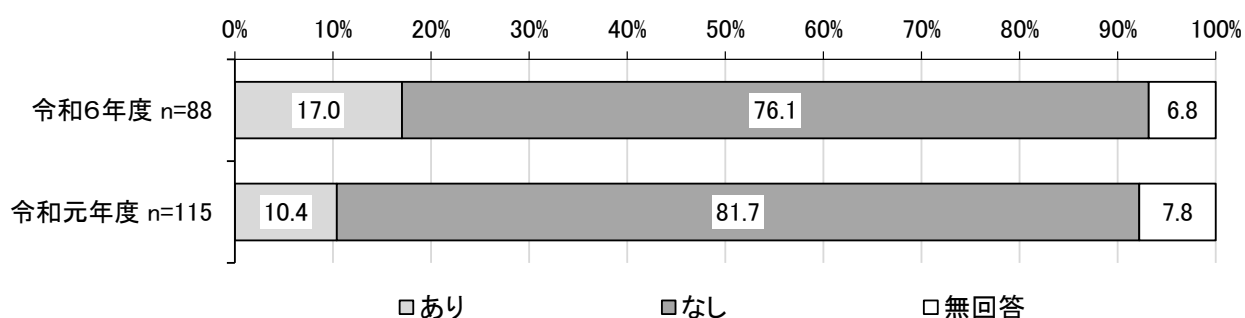


⑩法定を上回る育児休業制度の導入

・規定の有無

法定を上回る育児休業制度の規定の有無については、「あり」が 17.0%、「なし」が 76.1%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 6.6 ポイント増加しています。

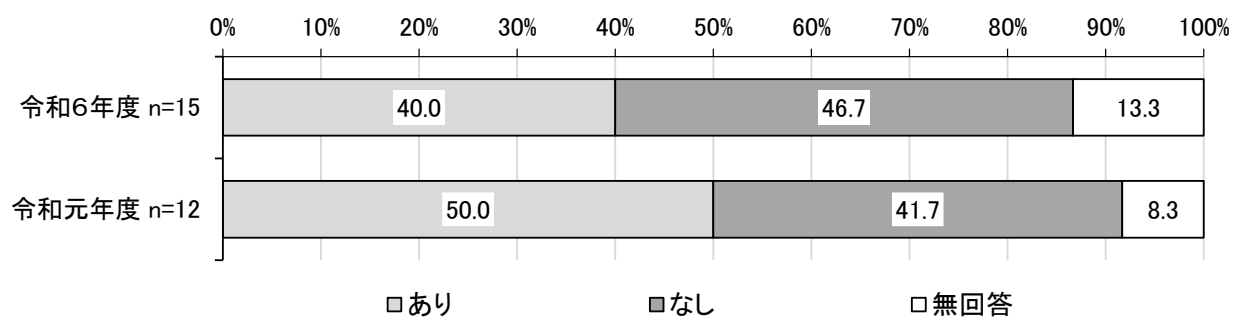


⑩法定を上回る育児休業制度

・実績の有無

法定を上回る育児休業制度の利用実績の有無については、「あり」が 40.0%、「なし」が 46.7%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 10.0 ポイント減少しています。

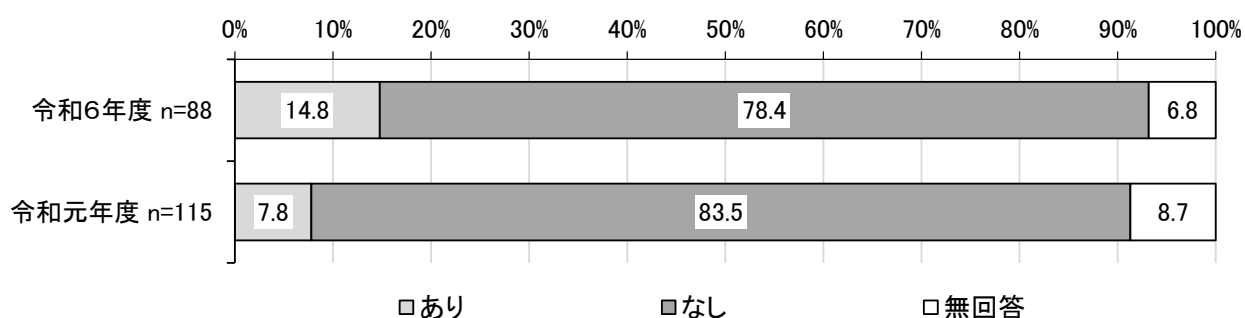


⑪法定を上回る介護休業制度の導入

・規定の有無

法定を上回る介護休業制度の規定の有無については、「あり」が 14.8%、「なし」が 78.4%となっています。

前回調査と比較して「あり」が 7.0 ポイント増加しています。

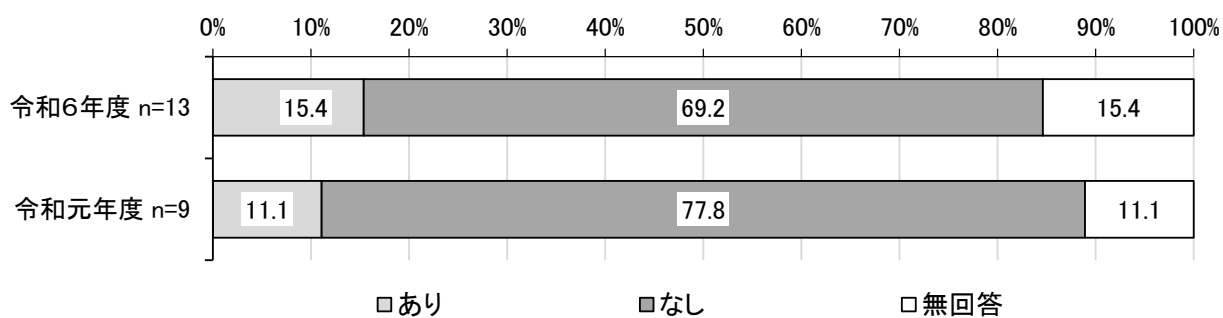


⑪法定を上回る介護休業制度

・実績の有無

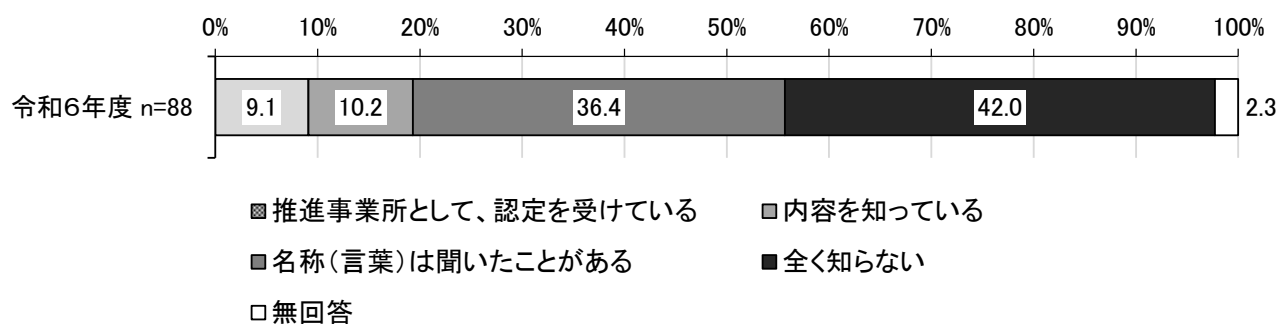
法定を上回る介護休業制度の利用実績の有無については、「あり」が 15.4%、「なし」が 69.2%となっています。

前回調査と比較して「なし」が 8.6 ポイント減少しています。



問 13 下野市では、令和2年に「下野市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度」を策定し、職場の環境整備や男女共同参画の推進に取り組む市内事業所等を認定しています。このような市の取り組みについて、ご存じですか。(SA)

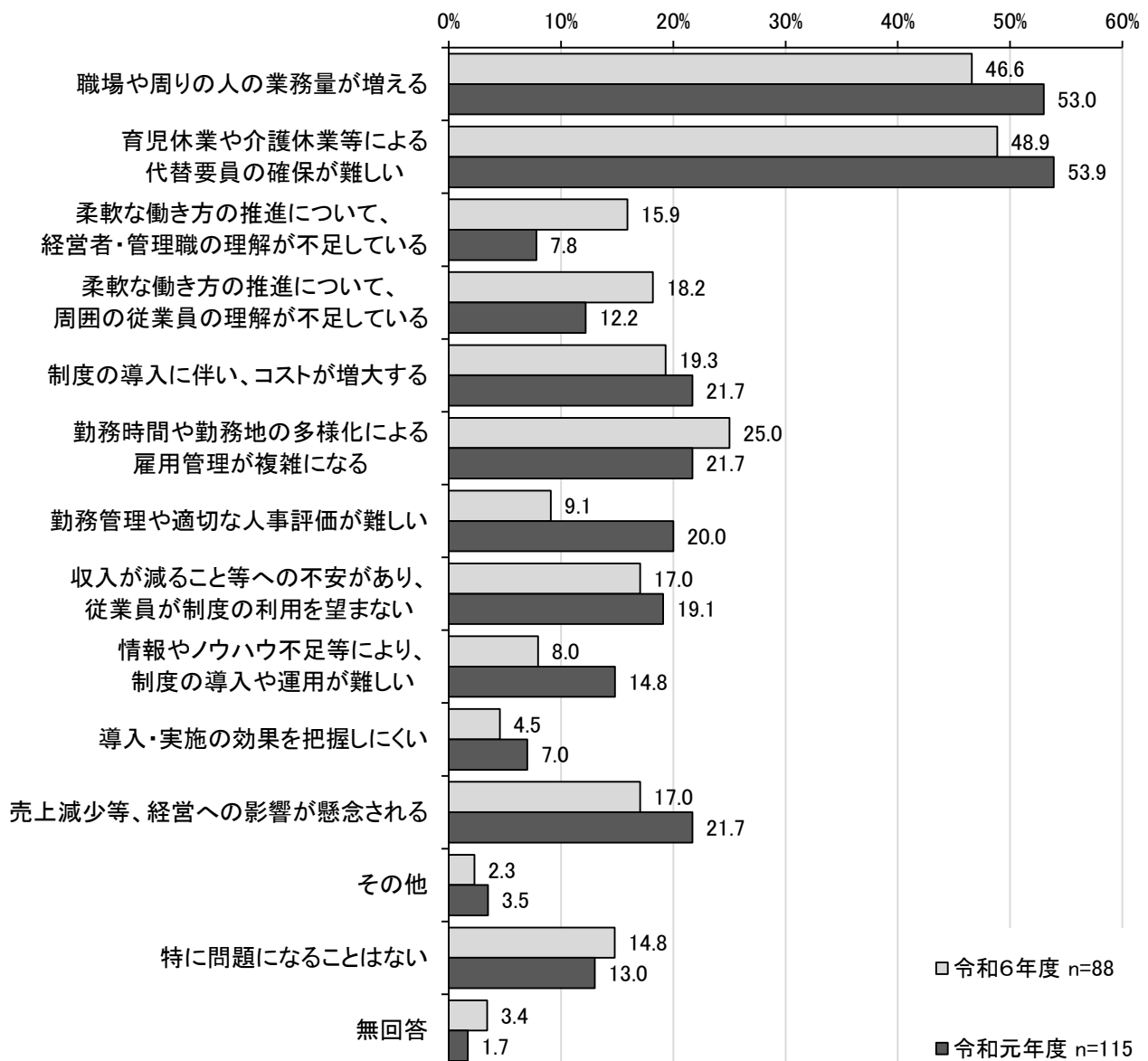
「下野市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度」の認知度については、「全く知らない」が42.0%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が36.4%、「内容を知っている」が10.2%となっています。



問 14 貴事業所において、個人の希望に応じた柔軟な働き方ができる制度を整備する上で、難しいと感じていることは何ですか。(MA)

個人の希望に応じた柔軟な働き方ができる制度を整備する上で、難しいと感じていることについては、「育児休業や介護休業等による代替要員の確保が難しい」が 48.9%で最も高く、次いで「職場や周りの人の業務量が増える」が 46.6%、「勤務時間や勤務地の多様化による雇用管理が複雑になる」が 25.0%となっています。

前回調査と比較して「勤務管理や適切な人事評価が難しい」が 10.9 ポイント減少しています。

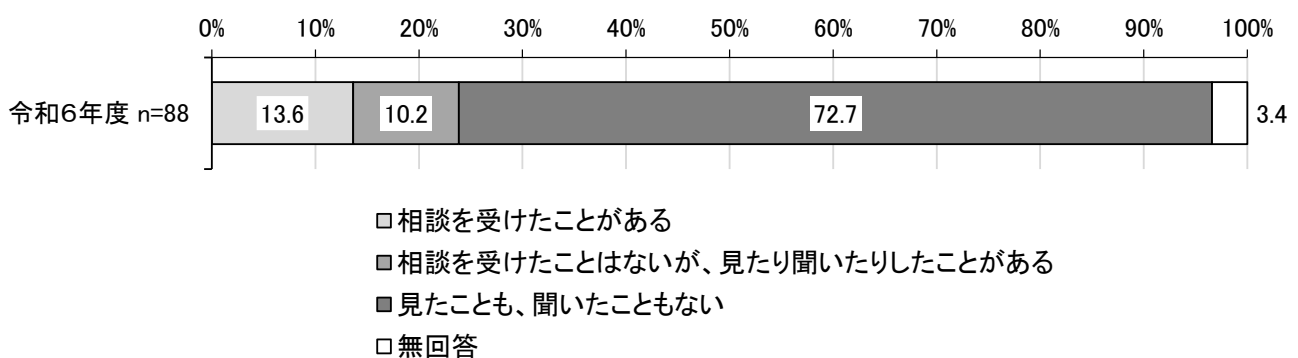


4.各種ハラスメントについてうかがいます。

問 15 貴事業所では下記の、何らかのハラスメントについて、実際に見たり聞いたりしたことがありますか。
(SA)

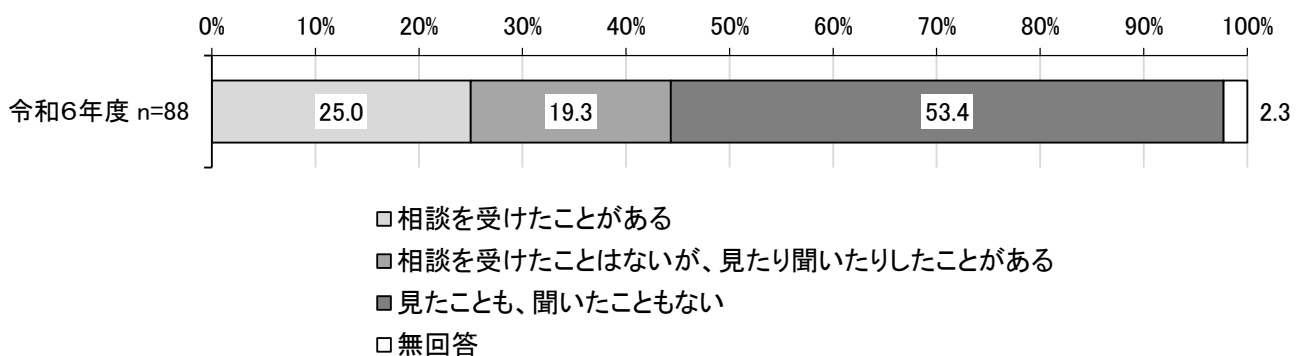
①セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントについては、「見たことも、聞いたこともない」が 72.7%で最も高く、次いで「相談を受けたことがある」が 13.6%、「相談を受けたことはないが、見たり聞いたりしたことがある」が 10.2%となっています。



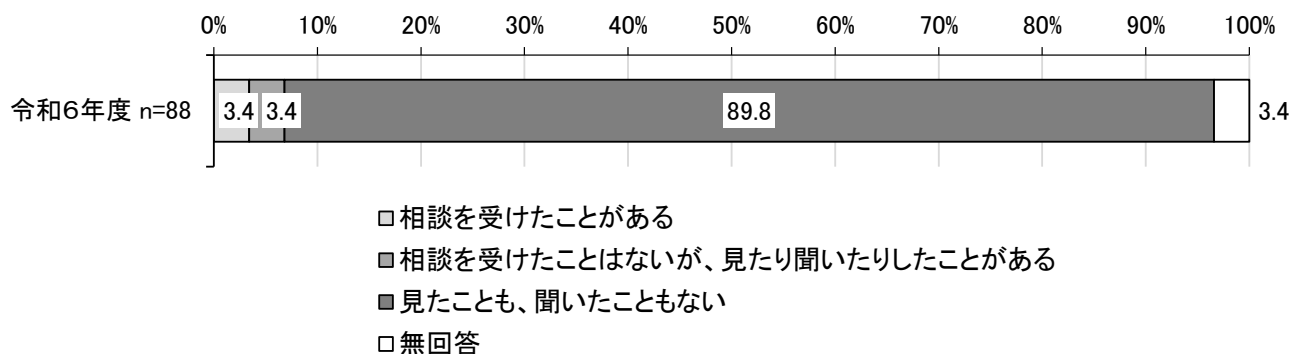
②パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントについては、「見たことも、聞いたこともない」が 53.4%で最も高く、次いで「相談を受けたことがある」が 25.0%、「相談を受けたことはないが、見たり聞いたりしたことがある」が 19.3%となっています。



③マタニティ・ハラスメント

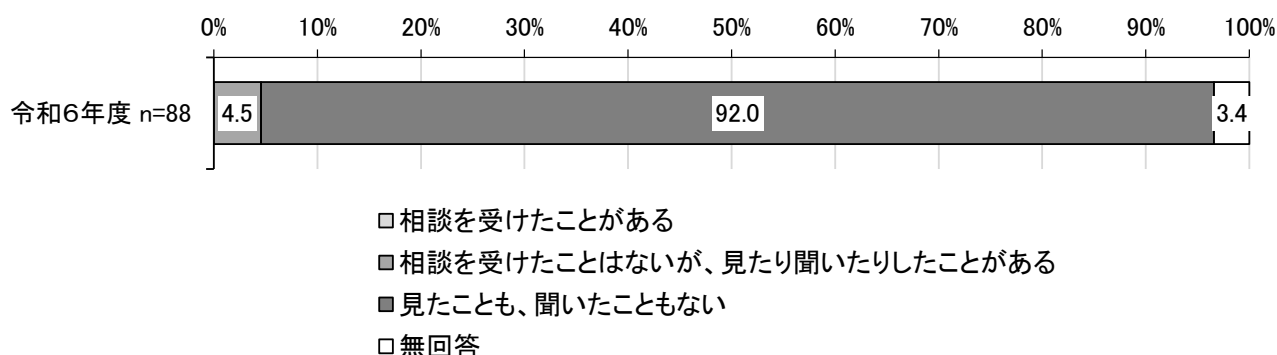
マタニティ・ハラスメントについては、「見たことも、聞いたこともない」が 89.8%で最も高く、次いで「相談を受けたことがある」「相談を受けたことはないが、見たり聞いたりしたことがある」がともに 3.4%となっています。



④パタニティ・ハラスメント

※男性従業員に対して、育児のために休暇や時短勤務を希望すること等をきっかけとして行われる嫌がらせ行為のこと。

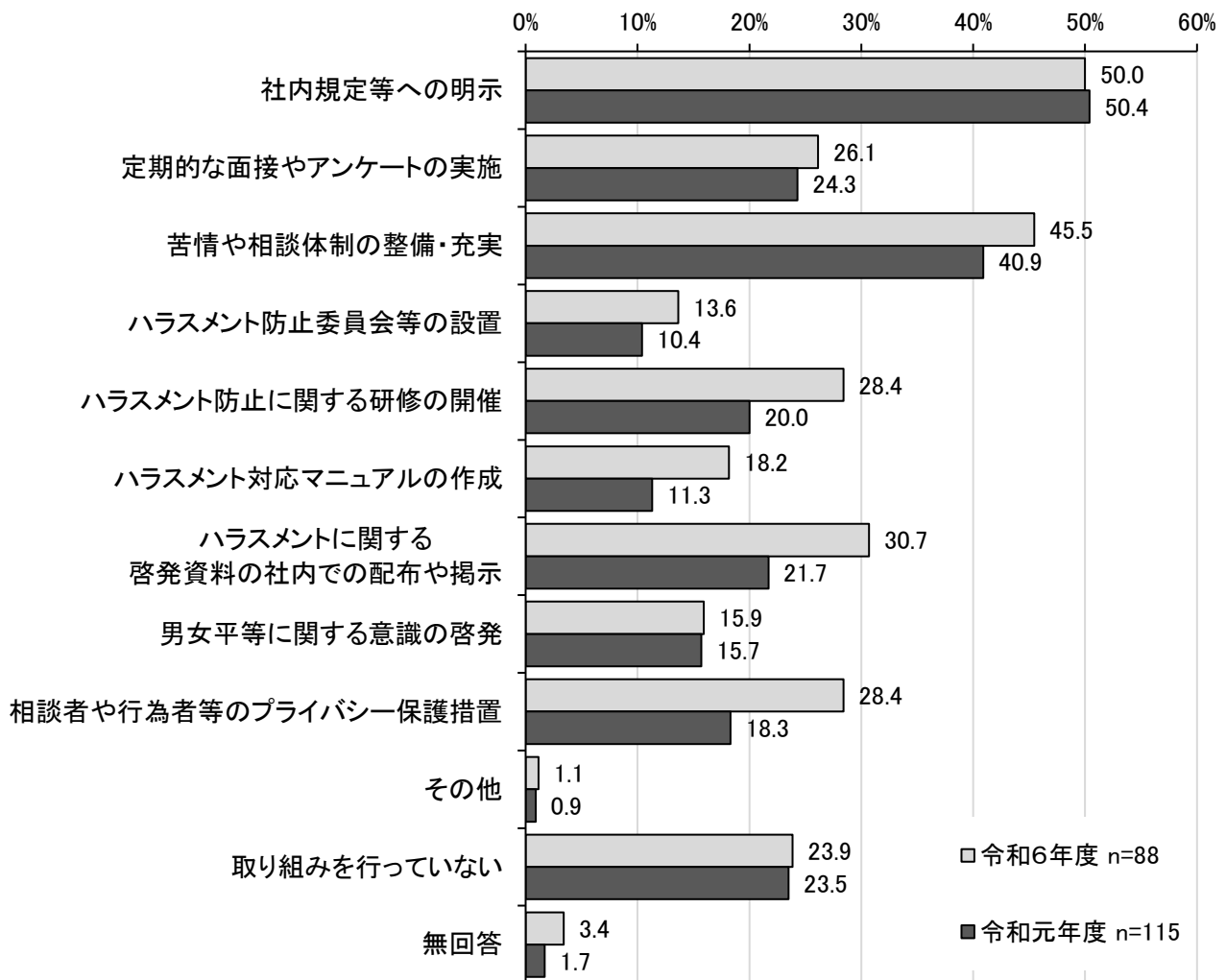
パタニティ・ハラスメントについては、「見たことも、聞いたこともない」が 92.0%で最も高く、次いで「相談を受けたことはないが、見たり聞いたりしたことがある」が 4.5%、「相談を受けたことがある」が 0.0%となっています。



問 16 貴事業所では、次のようなハラスメント防止に向けた取り組みを実施していますか。(MA)

ハラスメント防止に向けた取り組みについては、「社内規定等への明示」が 50.0%で最も高く、次いで「苦情や相談体制の整備・充実」が 45.5%、「ハラスメントに関する啓発資料の社内での配布や掲示」が 30.7%となっています。

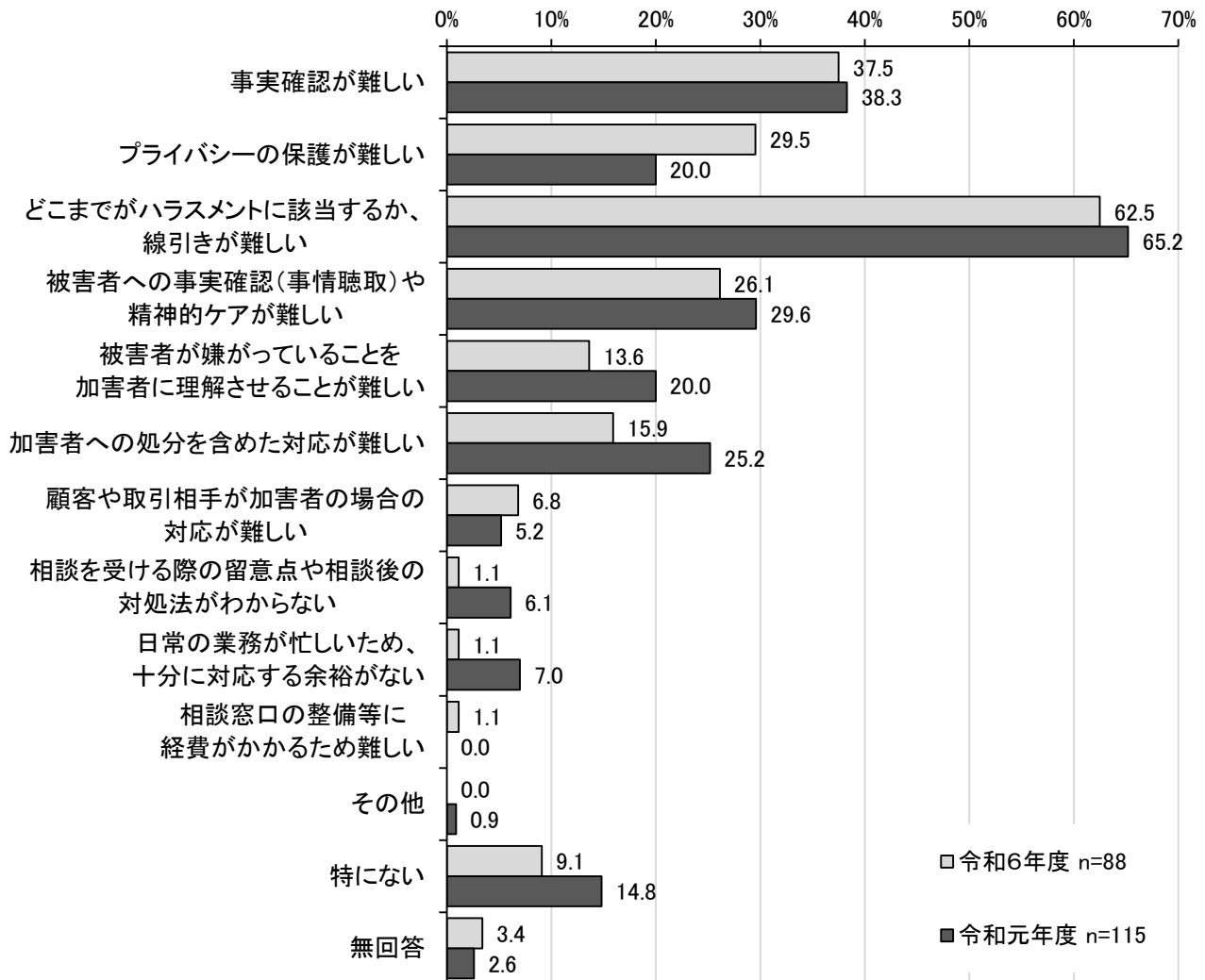
前回調査と比較して「相談者や行為者等のプライバシー保護措置」が 10.1 ポイント増加しています。



問 17 ハラスメントが起きた場合に対応が困難だと感じることは何ですか。(MA)

ハラスメントが起きた場合に対応が困難だと感じることは、「どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい」が 62.5%で最も高く、次いで「事実確認が難しい」が 37.5%、「プライバシーの保護が難しい」が 29.5%となっています。

前回調査と比較して「プライバシーの保護が難しい」が 9.5 ポイント増加しています。



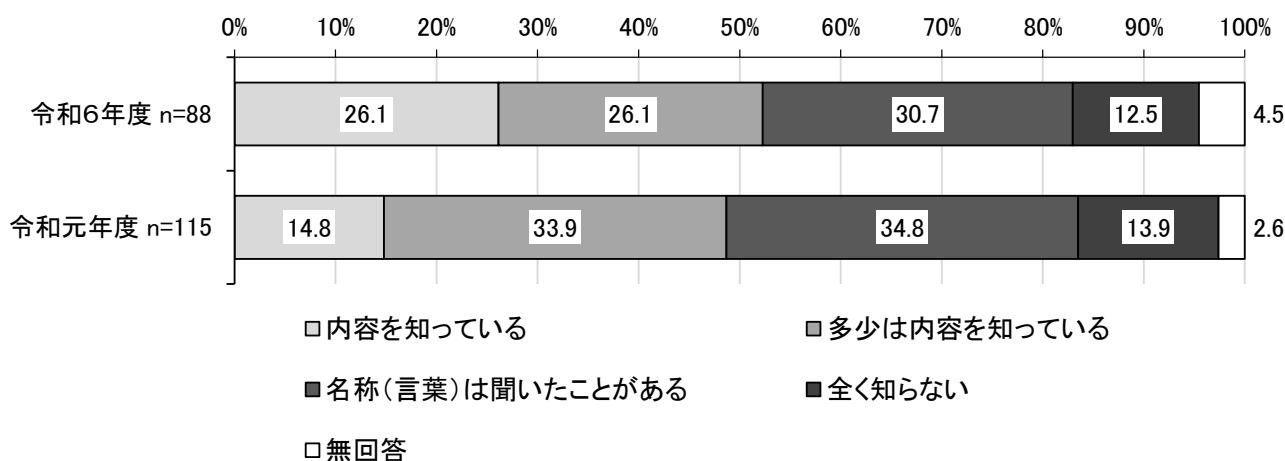
5.男女共同参画に関する取り組みについてうかがいます。

問 18 男女共同参画推進に関わる用語について、ご存じですか。(SA)

①男女共同参画社会

男女共同参画社会については、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 30.7%で最も高く、次いで「内容を知っている」、「多少は内容を知っている」がともに 26.1%となっています。

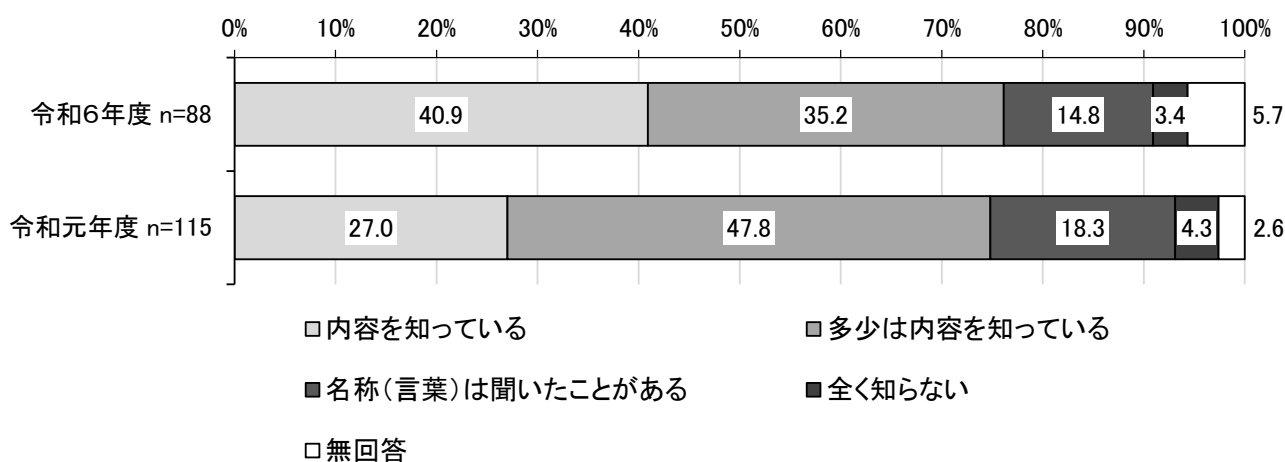
前回調査と比較して「内容を知っている」が 11.3 ポイント増加しています。



②男女雇用機会均等法

男女雇用機会均等法については、「内容を知っている」が 40.9%で最も高く、次いで「多少は内容を知っている」が 35.2%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 14.8%となっています。

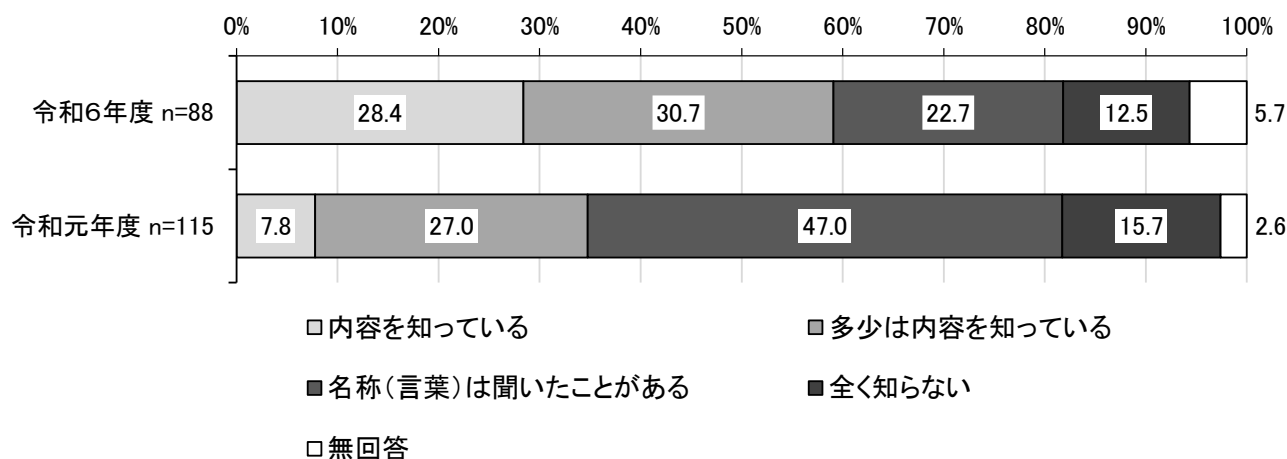
前回調査と比較して「内容を知っている」が 13.9 ポイント増加しています。



③女性活躍推進法

女性活躍推進法については、「多少は内容を知っている」が 30.7%で最も高く、次いで「内容を知っている」が 28.4%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 22.7%となっています。

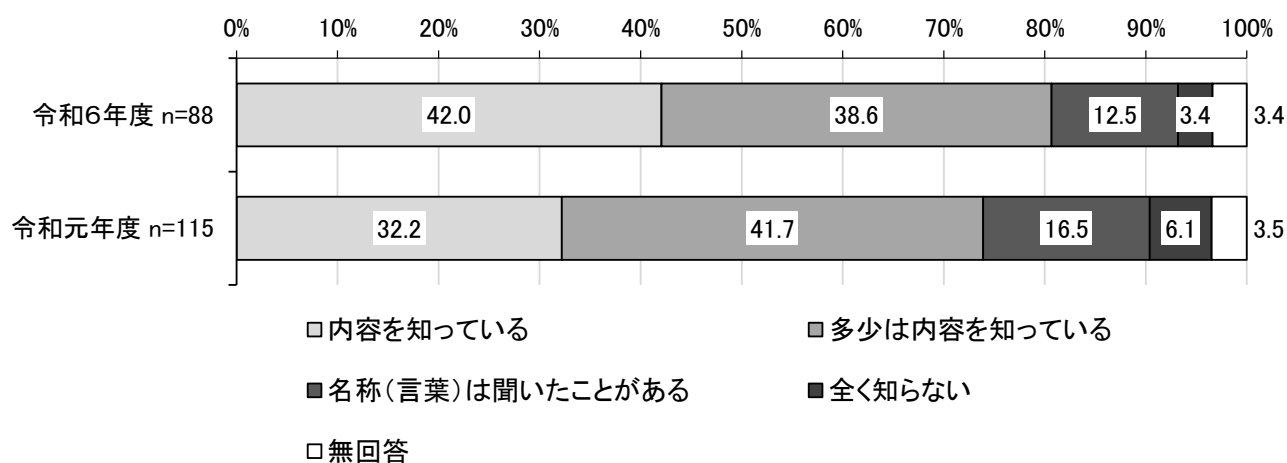
前回調査と比較して「名称(言葉)は聞いたことがある」が 24.3 ポイント減少しています。



④育児・介護休業法

育児・介護休業法については、「内容を知っている」が 42.0%で最も高く、次いで「多少は内容を知っている」が 38.6%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 12.5%となっています。

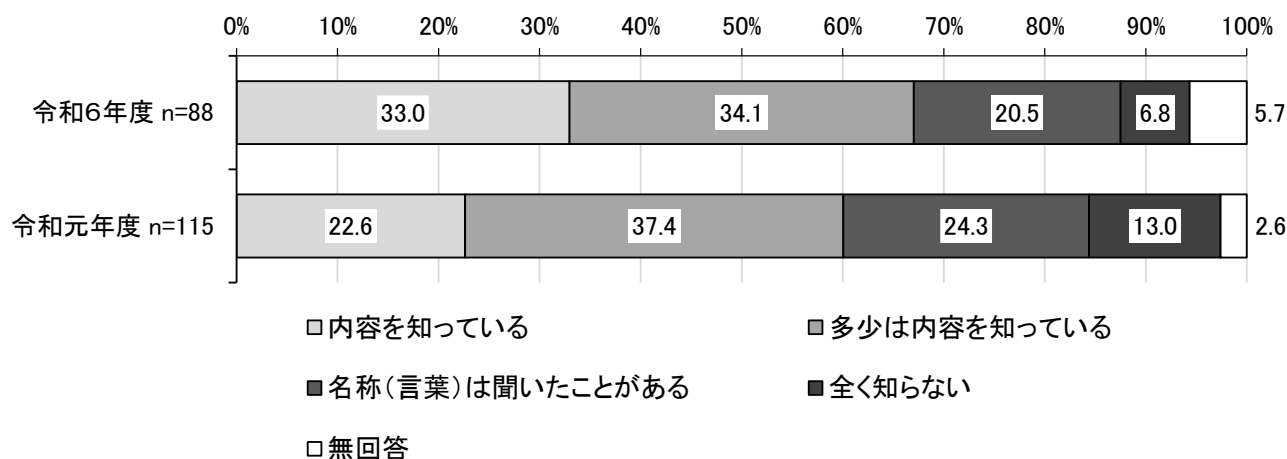
前回調査と比較して「内容を知っている」が 9.8 ポイント増加しています。



⑥ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスについては、「多少は内容を知っている」が 34.1%で最も高く、次いで「内容を知っている」が 33.0%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 20.5%となっています。

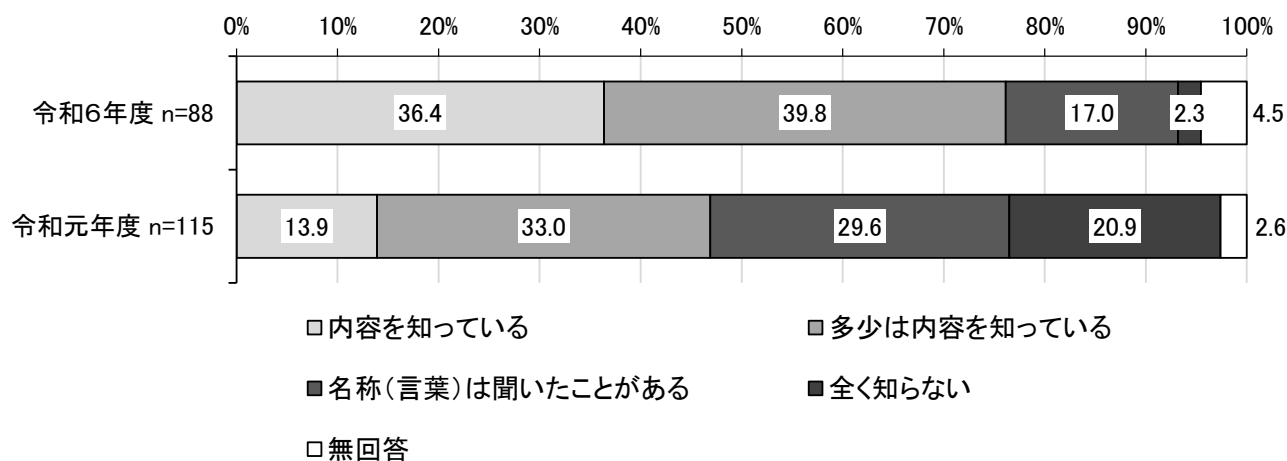
前回調査と比較して「内容を知っている」が 10.4 ポイント増加しています。



⑥ジェンダー

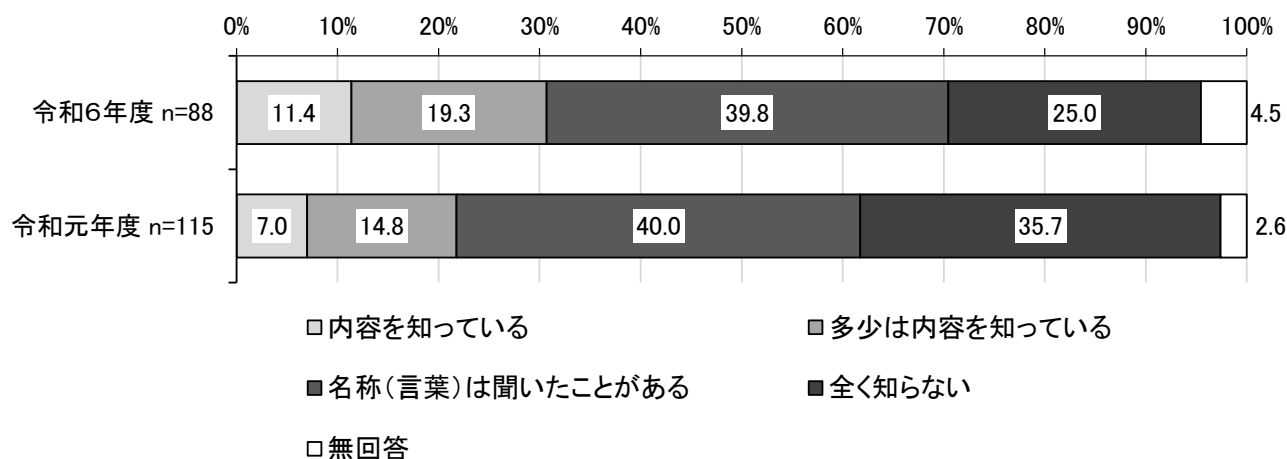
ジェンダーについては、「多少は内容を知っている」が 39.8%で最も高く、次いで「内容を知っている」が 36.4%、「名称(言葉)は聞いたことがある」が 17.0%となっています。

前回調査と比較して「内容を知っている」が 22.5 ポイント増加しています。



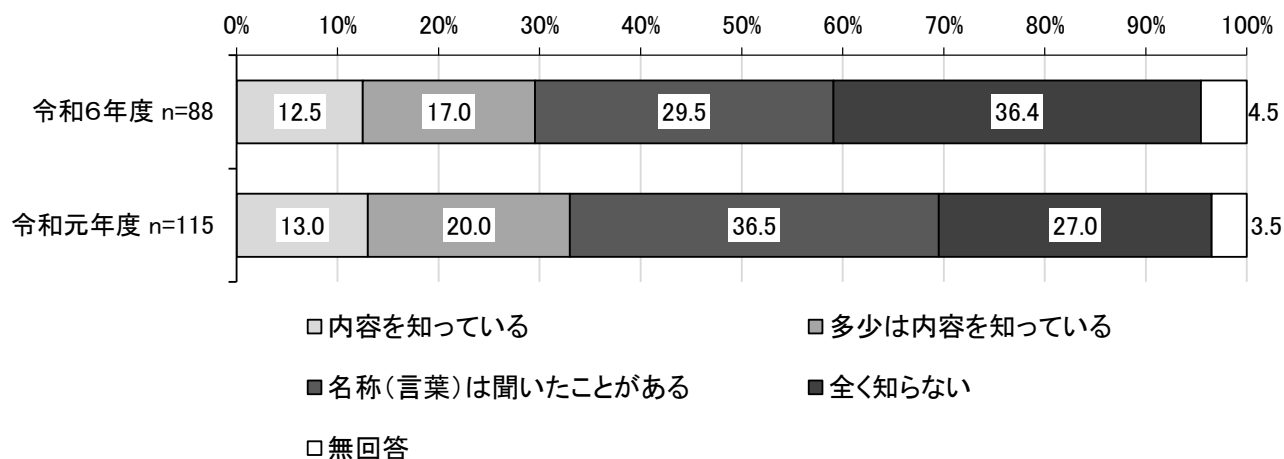
⑦ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

ポジティブ・アクション（積極的改善措置）については、「名称（言葉）は聞いたことがある」が 39.8% で最も高く、次いで「全く知らない」が 25.0%、「多少は内容を知っている」が 19.3%となっています。前回調査と比較して「全く知らない」が 10.7 ポイント減少しています。



⑧ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）

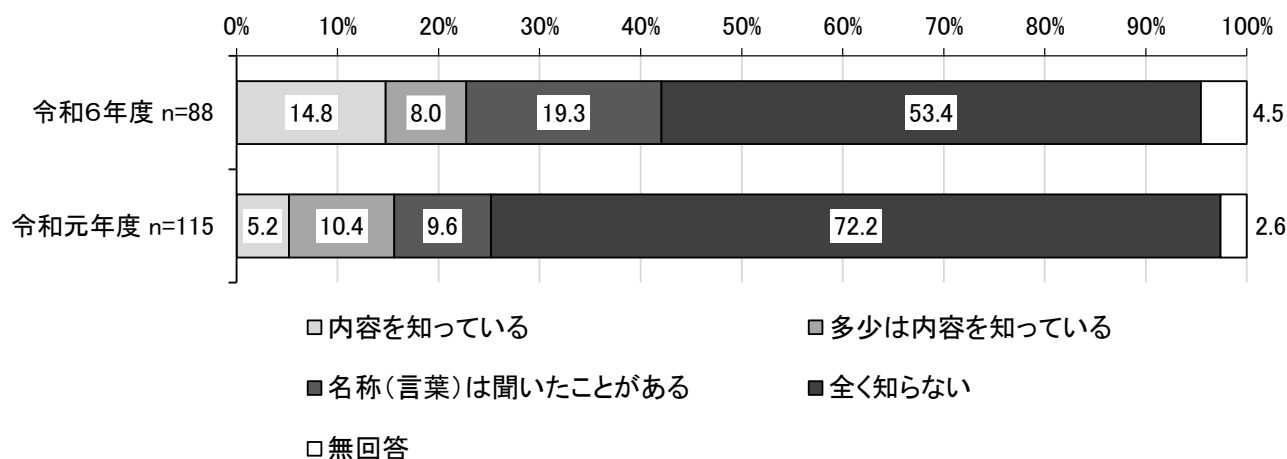
ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）については、「全く知らない」が 36.4% で最も高く、次いで「名称（言葉）は聞いたことがある」が 29.5%、「多少は内容を知っている」が 17.0%となっています。



⑨くるみん認定

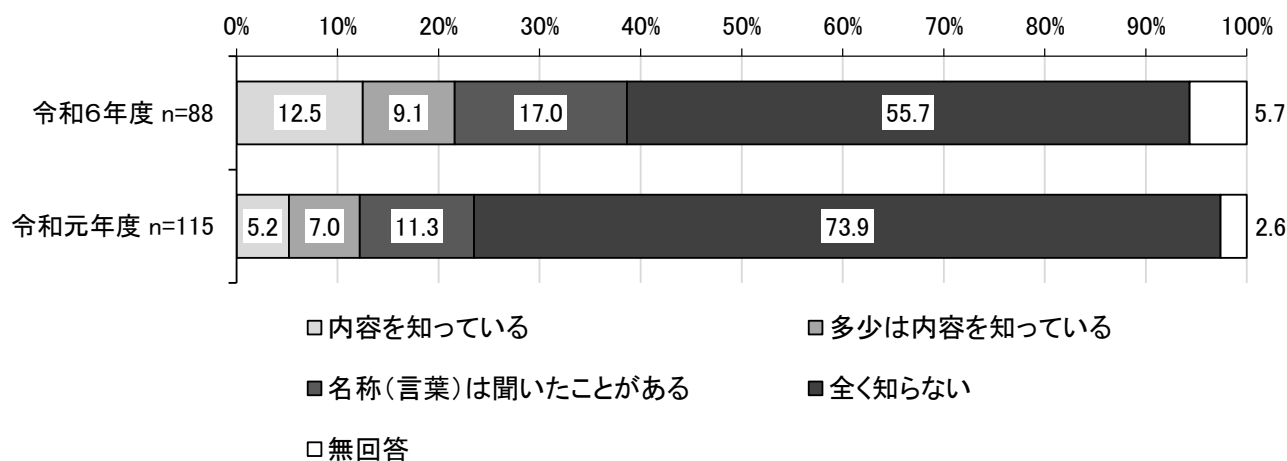
くるみん認定については、「全く知らない」が53.4%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が19.3%、「内容を知っている」が14.8%となっています。

前回調査と比較して「全く知らない」が18.8ポイント減少しています。



えるぼし認定については、「全く知らない」が55.7%で最も高く、次いで「名称(言葉)は聞いたことがある」が17.0%、「内容を知っている」が12.5%となっています。

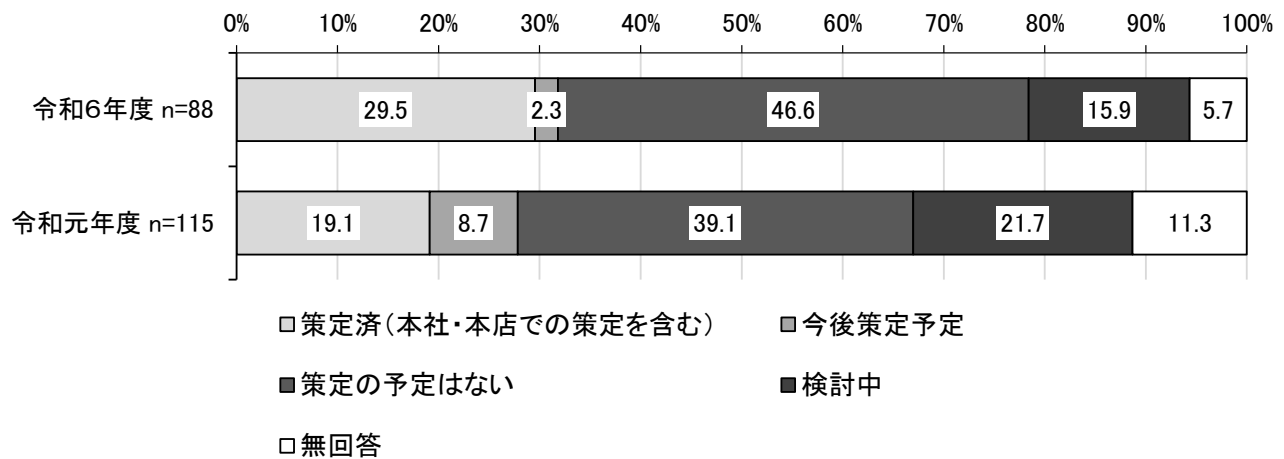
前回調査と比較して「全く知らない」が18.2ポイント減少しています。



問 19 令和4年に改正女性活躍推進法が全面施行され、一般事業主行動計画の策定・届出義務及び自社の女性活躍に関する情報公表の義務の対象が、常時雇用する労働者が 101 人以上の事業主に拡大されました。貴事業所における一般事業主行動計画の策定状況についてお答えください。なお、労働者が 101 人未満の事業所についても同様にお答えください。(SA)

一般事業主行動計画の策定状況については、「策定の予定はない」が 46.6%で最も高く、次いで「策定済(本社・本店での策定を含む)」が 29.5%、「検討中」が 15.9%となっています。

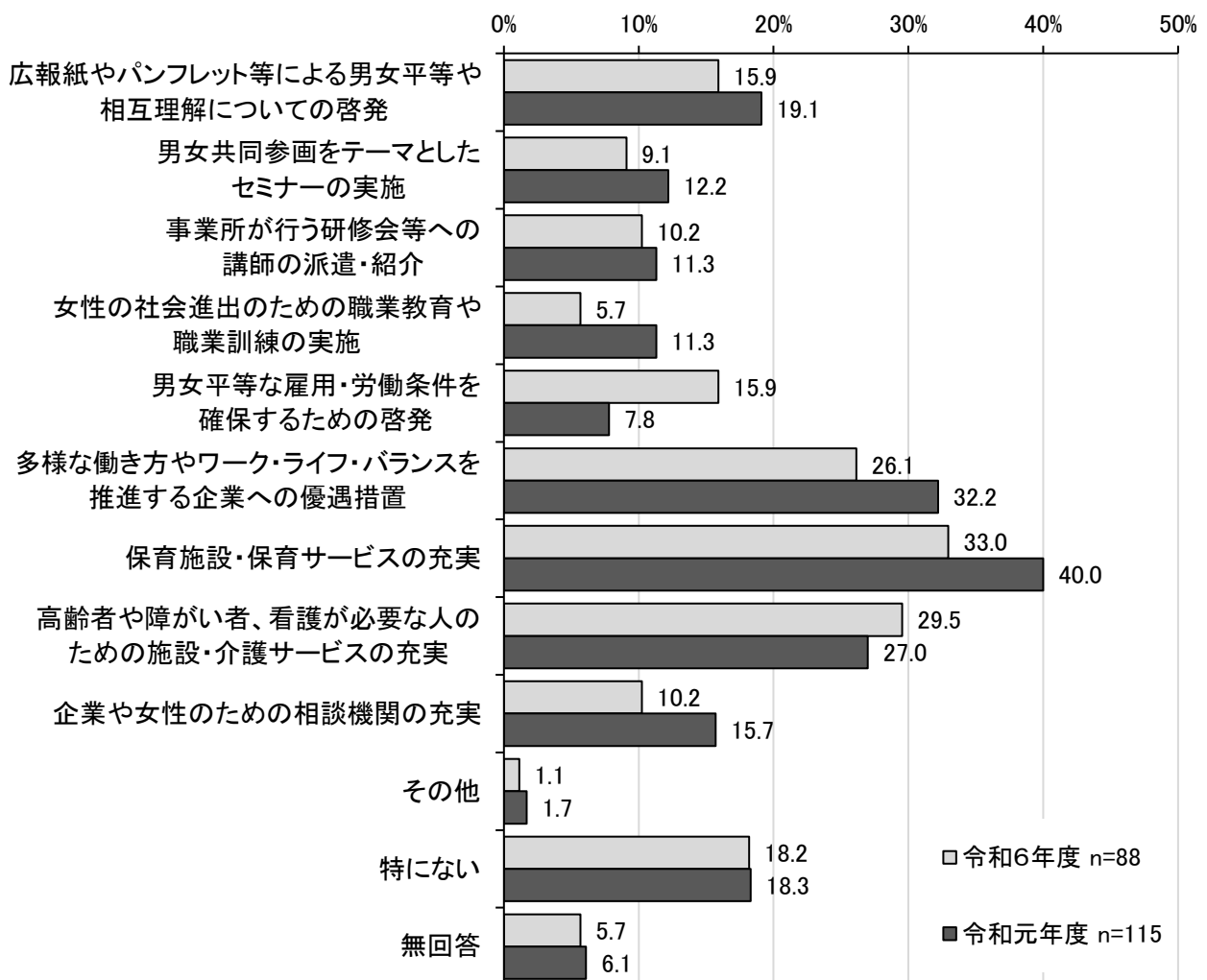
前回調査と比較して「策定済(本社・本店での策定を含む)」が 10.4 ポイント増加しています。



問 20 今後、貴事業所において男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、女性の活躍を推進するにあたって、市にどのような取り組みを期待しますか。(MA)

男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、女性の活躍を推進するにあたって、市にどのような取り組みを期待するかについては、「保育施設・保育サービスの充実」が 33.0%で最も高く、次いで「高齢者や障がい者、看護が必要な人のための施設・介護サービスの充実」が 29.5%、「多様な働き方やワーク・ライフ・バランスを推進する企業への優遇措置」が 26.1%となっています。

前回調査と比較して「男女平等な雇用・労働条件を確保するための啓発」が 8.1 ポイント増加しています。



問 21 貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍を推進するために今後実施予定の取り組みがありましたら教えてください。

貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍を推進するために今後実施予定の取り組みについて、4 件のご意見が寄せられました。なお、掲載にあたり、誤字等一部修正を行っています。

No.	内容
1	日本初の女性総理誕生と期待しましたが、やはり男性社会変わるとしたらここからではないでしょうか。
2	育児・介護休業法の改正に伴う、子育て世代の柔軟な働き方への対応。くるみん認定。女性管理職のさらなる登用に向けたキャリア形成支援。
3	言葉では何とでも言っているが、結局広まらないならやらないでほしい。そういうことを言われると期待するので、落胆が大きくなるだけ。
4	現在は特に財務の安定がプライオリティ No.1 であり、その後考えます。

問 22 男性も女性も共に輝く社会づくりに向けてのご意見や、男女共同参画について感じていることがありましたら、ご自由にお書きください。

男性も女性も共に輝く社会づくりに向けてのご意見や、男女共同参画について感じていることについて、10 件のご意見が寄せられました。なお、掲載にあたり、誤字等一部修正を行っています。

No.	内容
1	同上。いつまでも年配者が席を譲らないと(中には必要な人もいますが)。新しい若い世代へと変わらないとなにも変わらないと思う。もっと日本は女性を大切に、地位認めないと男性社会のまま。
2	本社は女性の社員がいますが、事業所では女性の採用はしていません。
3	男女平等にしたいが、男性の方が不平等になっている気がする。女性にもやる気を出して活躍してほしいが、どうしたものか当分の問題です。
4	子どもが小学校に上がる前までは女性は専業で家を守る家庭がのぞましいと思う。
5	大きな会社であればあるほど、下のほうは男尊女卑が大きい。何年経っても変わらない。
6	トランスジェンダーです。世の中の理解はだいぶマシになりましたが、自社内でもカミングアウトできていません。いつかできる日を目指し頑張っています。
7	今後の課題であることは十分承知の上ですが、業種によってという偏見はないとは言えない。特に若いスタッフや学生の方が常識として取り入れられやすいと思う。事業所での特に役員部長クラスの理解がとても大切だと思う。どうしても会社方針、価値観が優先される為。
8	男女平等参画の平等が実現できている企業または職種を紹介してほしい。
9	男性、女性の社員数が半々であれば良いが、女性のみ%で何%の雇用、管理職を目指すというのは反対です。政治でも企業でも男性の数が多い場合は、男性管理職が多いのは当然です。女性の雇用、又、比率を UP すれば職場は変化すると思います。
10	当社は女性が輝ける人生を過ごすことを理念とし、女性の割合も多く雇用もあります。社内研修でも、働き方改革や制度改革でゆとりある生活をもてるよう呼びかけられております。以前に比べると少しずつバランスのとれた環境になりつつあると感じております。社会全体のとりくみが企業を通じ個人レベルに浸透するまで時間は要りますが、女性の働きやすい社会が実現されていくと嬉しいです。(個人諸意見です)

下野市
だれもが輝く社会づくりに関する
アンケート調査結果報告書
令和7年3月

下野市役所 総合政策部 市民協働推進課
〒329-0492 下野市笹原 26 番地
TEL : 0285-32-8887 FAX : 0285-32-8606